



会長方針
「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」

2021-2022 年度 釧路ロータリークラブ会報 (上期)

会 長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹 事 市橋多佳丞

クラブ会報・雑誌委員会
委員長 横田 英喜

2021-2022年度 釧路ロータリークラブ会報（上期） 目 次

月日	回数	通算	プログラム内容	担当
7月1日	1	3628	ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問	理事会
7月8日	2	3629	会長・幹事・四大委員長挨拶	理事会
7月15日	3	3630	講師例会「鉄道ファンからみたひがし北海道の魅力」	プログラム委員会
7月29日	4	3631	スタートアップパワーランチ	親睦活動委員会
8月5日	5	3632	台北中央ロータリークラブ姉妹クラブ締結報告/会員卓話	国際奉仕委員会
8月19日	6	3633	講師例会「JALの地域での取り組みについて」	プログラム委員会
8月26日	7	3634	講師例会「K-Biz開設3周年実績とサポート事例」	プログラム委員会
10月7日	8	3635	全道中学親善硬式野球大会報告会/会員卓話	青少年奉仕委員会
10月14日	9	3636	地球温暖化と釧路の気象災害について	プログラム委員会
10月21日	10	3637	地区大会報告会・新入会員歓迎例会	理事会・親睦活動委員会
10月28日			クラブアッセンブリー	理事会
10月28日	11	3638	ガバナー公式訪問例会	理事会
11月4日	12	3639	ビジネス書のベストセラー作家が釧路に今伝えたい～採用と知名度の脱安売り、一気に解決するならブランド戦略～	プログラム委員会
11月11日	13	3640	釧路ロータリークラブ創立85周年記念例会 Part1	理事会
11月19日	14	3641	釧路ロータリークラブ創立85周年記念例会 Part2	理事会・親睦活動委員会
11月25日	15	3642	鉄道高架と都心部まちづくり計画について	プログラム委員会
12月2日	16	3643	年次総会	理事会
12月9日	17	3644	年末クリスマス家族会	親睦活動委員会
12月16日	18	3645	情報集会報告会	クラブ研修委員会
12月23日	19	3646	釧路ロータリークラブ2021重大ニュース	プログラム委員会
			釧路ロータリークラブ創立85周年記念事業について	
			会長幹事懇談会	

2021.7.1 (木)
第 1 回例会
(通算3628回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 夢佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
R1会長 ジェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ

本日のプログラム 「ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問」(担当：理事会)

次週例会 「クラブアッセンブリー」(担当：理事会)

■ロータリーソング：「君が代」「奉仕の理想」 ■ソングリーダー：後藤 公貴君

■会員数 97 名

■ビジター 2021-2022 年度国際ロータリー第 2500 地区 長倉 巨樹彦ガバナー補佐

〃

上川原 昭ガバナー補佐幹事

■ゲスト なし

ハンマー伝達式



開会に先立ちまして「ハンマー伝達式」を執り行います。杉村会長、舟木直前会長、邵 S A A はご登壇ください。

ハンマーの伝達は、

舟木直前会長より邵 S A A へ、邵 S A A より杉村会長へお渡しいただきます。

事務局の青島さん、舟木直前会長へハンマーをお渡しください。

ただいま、杉村会長がハンマーをしっかりと受け取りました。ありがとうございました。舟木直前会長、邵 S A A はご降壇ください。

それでは、歴代会長の思いが詰まった歴史と伝統のあるハンマーを引き継ぎました杉村会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

ご挨拶 杉村 莊平会長

はい、舟木直前会長におかれましては体調のよろしくない中をご出席ありがとうございます。

ただいま、歴代会長の思いのこもったハンマーを引き渡していただきました。

今年度は、この 7 月 1 日木曜日から始めて、来年の



6 月 30 日木曜日まで続くという尾越会長年度以来のフル操業年度でございまして、48 回の例会を予定しております。

85 周年、48 回の点鐘に思いを込めて、滝越エレクトにしっかりと引き継げるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ご来訪のお客さまのご紹介 杉村 莊平会長

それでは本日のお客さまをご紹介させていただきます。お名前を読み上げますのでその場でご起立の上、歓迎の拍手をお受けください。

国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区ガバナー補佐・長倉巨樹彦君。同じくガバナー補佐幹事・上川原昭君。本日はビデオでのご出演になりますが、今年度の各クラブの会長幹事様をご紹介させていただきます。

釧路北ロータリークラブ会長・平井昌弘君、同じく幹事・田野竜之介君。白糠ロータリークラブ会長・美馬俊哉君、同じく幹事・本城慶児郎君。釧路西ロータリークラブ会長・山本秀基君、同じく幹事・舟木雅司君。釧路東ロータリークラブ会長・猿子満彦君、同じく幹事・川上登君。釧路音別ロータリークラブ会長・水野

昭人君、同じく幹事・川口恭弘君。釧路南ロータリークラブ会長・亀井麻也君、同じく幹事・澤山理恵君。釧路ベイロータリークラブ会長・貝嶋政治君、同じく幹事・池田圭樹君。釧路北ローターアクトクラブ会長・松永憲人君、同じく幹事・加納萌子君。以上でございます。

長倉ガバナー補佐におかれましては、後ほどご挨拶を頂戴いたしますので本日はどうぞよろしく願いいたします。

乾杯のご挨拶 清水 幸彦パストガバナー



どうぞ座ってください。新しい年度が始まりました。漆崎ガバナーは国際大会にたくさん出席したことで有名な方です。それからガバ

ナー補佐の長倉巨樹彦さんは南ロータリークラブ。私のガバナー年度の1981-1982年にできたただひとつのクラブです、頑張ってください。

いろんな方が今日集まって来ております。このコロナはまだ明確でない先のことですが、ダーウィンの言葉を借りると「生き抜く者は頭の良い者ではない。力の強い者ではない。よく適応できる者だ」ということ。どうぞ皆さん、各クラブに合った、コロナに負けないような適応で頑張ってください。

ということで、乾杯をしましょう。

それでは、ともに社会を渡れる者のロータリーに、乾杯。

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方はそのままお続けください。

改めまして、こんにちは。釧路ロータリークラブ第85代会長を務めさせてい

たきます杉村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ここに至るまで山あり谷ありの連続でしたが、皆様のご協力をいただきまして何とか無事に第1回のこの例会にたどり着くことができました。この場をお借りしまして感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

いよいよ始まったなという責任の重さをひしひしと感じているところでございますが、何とか前を向いて1年間しっかり頑張っていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

改めまして長倉ガバナー補佐、上川原ガバナー補佐幹事におかれましては、まさにこのコロナ禍、そして新年度初日の大変お忙しい中、釧路ロータリークラブに来ていただきまして本当にありがとうございます。これから表敬訪問も始まりまして、お忙しい日々が続くと思いますが、今日はできる限りごゆっくりお過ごしいただければと思っております。

例年であれば、ここに第7分区分各クラブの会長さん・幹事さんが勢揃いしてスタートということになりますが、本年はやっぱりコロナの影響の中でビデオでのご挨拶という形を取らせていただきました。少々、寂しい感じは否めませんが、どうかご理解いただければと思います。

今日は時間の関係上、私の挨拶は来週のアッセンブリでゆっくりと喋らせていただきたいと思います。改めまして、本年度はこのコロナから改めてロータリーを離陸させて行く。そして、ロータリーの素晴らしさを再確認して行くという大切な1年になるだろうと思っております。

改めまして、今年度の活動に対する皆様のご支援とご協力をお願い申し上げまして、本日1回目の会長挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

■ 本日のプログラム ■

ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事表敬訪問

国際ロータリー第2500地区第7分区分

長倉巨樹彦ガバナー補佐

上川原 昭ガバナー補佐幹事

皆さん、こんにちは。今年度、第7分区分ガバナー補佐を務めます釧路南の長倉でございます。補佐幹事はそちらにおります上川原昭君となりますので1年間、皆さま、よろしくお願いいたします。



今年度このコロナ禍の中で杉村会長の下、釧路クラブさんの第1回例会が無事開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

また、昨年度は、石田パストガバナー補佐におかれまして、このコロナ禍で思うように事業ができない、いろいろな面でご苦労されたかかと存じます。本当に1年間、お疲れ様でした。また、ありがとうございました。

本日は表敬訪問ということですが、見てのとおり例年どおりになりません。コロナ禍でありましたので、私

と補佐幹事が伺わせていただきまして、各クラブの会長の表敬のご挨拶は動画にて皆さまにご覧をいただくことといたします。事情を考慮し、ご理解いただきますようお願いを申し上げます。

さて、R I 会長・シェカール・メータ氏の方針は「Serve to Change Lives (奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)」の中で「Each One, Bring One (ひとりひとりが誰か一人を連れてきて会員増強しましょう)」ということです。現在の世界中のロータリアン 120 万人を 130 万人に増やすということです。パーセンテージでいうと 8 % となりますので、釧路クラブさんの会員数に 8 % を掛けた人数分を会員増強していただければいけないことになりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

漆崎ガバナーの地区のスローガンは「ロータリーの素晴らしさを広めよう」。方針は「親睦と持続可能な奉仕活動の推進」。具体的な目標につきましては 9 つ挙げられておりますので、本日は割愛させていただきますが、活動計画書でご覧いただきたいと存じます。

ガバナー、R I 会長、R I 理事から昨今言われております「戦略計画」それから「D E I」と、いろんな方針が掲げられております。時間がございませんので割愛させていただきますけども、杉村会長・市橋幹事の下に随時進めていただきたいと存じます。

最後に貴クラブのますますの発展と皆さまのご健勝をご祈念申し上げまして表敬のご挨拶とさせていただきます。

1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

釧路北ロータリークラブ

平井 昌弘会長 田野竜之介幹事



こんにちは。今年度、釧路北ロータリークラブの会長を仰せつかりました平井昌弘です。隣に映っていますのが幹事の田野竜之介君です。どうぞ 1 年間、何卒よろしくお願いいたします。

私ども釧路北ロータリークラブは釧路クラブ様のスポンサーのもと、昭和 33 年に創立させていただき今年で 64 年目を迎えることとなりました。その昔、一時 100 名を超える会員数を誇っていましたが経済状況の変化、そしてコロナ禍の影響で減少を余儀なくされ、本年度は 70 名のスタートでございます。

今年度会長方針としまして「BE A GIVER ～求めるのではなく、与える人になろう～」とさせていただきます。ロータリアンにとって大切なのは、与えるもの、奉仕するものであり、与える時も謙虚さが大事であります。クラブは個人の才能の集合体であり、そのクラブがさらなる成長を遂げた時、社会に対して素晴らし

いものを与えるきっかけになるのではないかと考えています。与えることで、会員皆さまが幸せを感じ取れるようなクラブ運営をしたいと考えています。

当クラブは入会暦の浅い会員、若い会員が多い中ではありますが、変えて良いものと、そうではないものを諸先輩からしっかりと学び、常に真実と向き合う必要があると思います。友情と親睦という言葉があるように、生涯そのお付き合いができるのがこのクラブだと思います。時にはお互いを戒め合う場面もあるかもしれません。しかし、今一度なぜクラブに入会したのか、何のために活動しているのかを理解すれば、おのずと答えは出てくるはずです。ですから、求めるのではなく与える人になることで、心身ともに成長していくものと信じています。

そして、昨年度よりわがクラブではクラブ内クラブという位置付けで『ノースサテライトクラブ』を 28 名の会員でスタートし、月 1 回、Zoom での例会を開催。更なる奉仕の活動の域を広めて活動していくところでございます。

また、釧路北ローターアクトクラブは今年 50 周年の節目を迎えることとなり、分区の皆さまには改めてご支援ご協力を賜りたく存じあげます。

最後になりますが、長倉ガバナー補佐はじめ第 7 分区の会長・幹事様、会員皆さまのご健勝をご祈念申し上げ表敬のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

白糠ロータリークラブ

美馬 俊哉会長 本城慶児郎幹事



白糠ロータリークラブ第 61 代会長を務めます美馬です。そして私を支えてくださいます幹事の本城君です。よろしくお願いいたします。

本来ならばそれぞれのクラブに表敬訪問をしたいと思っておりましたが、コロナ禍で難しいこともあり、ビデオメッセージでご挨拶させていただきます。

当クラブは本年度、コロナ禍でも毎週例会を開催しようと思っています。会員 11 名ということもあり、またコロナワクチン接種済者が 4 名、このままにいけば 8 月中に全員接種できるとおっております。早く通常のロータリー活動ができればと思っています。

多分、皆さま方とお会いできるのは地区大会だと思っています。それを楽しみにロータリー活動ができればいいと思っています。

本年度、白糠ロータリークラブは少数精鋭で頑張っていると思っていますが、他のクラブにもいろいろとお願いすることがあるかもしれません。その時はロータリーの寛容の精神でよろしくお願いをしまして、表

敬訪問のご挨拶とさせていただきます。

1年間、よろしくお願いいたします。

釧路西ロータリークラブ

山本 秀基会長 舟木 雅司幹事



皆さん、こんにちは。今年度西ロータリークラブ会長の山本です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。実は、釧路西ロータリークラブで初めて2回目の会長を務めさせていただきます。

この大変なコロナ禍の時代に私は改めて原点回帰、先輩ロータリアンに教えていただきましたロータリーは親睦と奉仕の元にテーマを掲げて例会運営に取り組んでまいりたいと考えております。

例会を楽しく、出席率の向上、そして会員増強・退会防止にと、さらなる努力を考えております。ロータリーの奉仕活動を楽しみ、活動できて嬉しいと感じるようなクラブ運営を目指して取り組んでまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

釧路東ロータリークラブ

猿子 満彦会長 川上 登幹事



皆さん、こんにちは。今年度釧路東ロータリークラブの会長を務めさせていただきます猿子でございます。1年間、よろしくお願いいたします。

当東クラブは1971年9月4日に釧路ロータリークラブ様がス

ポンサーとなり、釧路市内で4番目のロータリークラブとして24名の会員にて設立しております。以来、50年が経過し、今年度は節目の1年になります。これまでの間、各クラブの皆さま方には当東クラブの運営にあたり、ご理解とご協力を賜り誠にありがたく厚くお礼を申し上げる次第でございます。

新年度、当東クラブは33名の会員での出発となっております。

R I 会長シェカール・メータ氏の「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の会長テーマの下、漆崎ガバナーは地区スローガンを「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」と地区活動方針を「地区の明るい未来のために、地域の人々と親睦と持続可能な奉仕活動の推進として地区活動目標を掲げております。当クラブも以上のことを踏まえまして、5つの活動目標を定めております。内容につきましては割愛させていただきますが、詳細は当クラブの活動計画書をご参照願えればと思います。

最後になりますが、各クラブの益々のご発展と会員皆

さま方の一層のご健勝ご活躍をご祈念申し上げまして簡単ではございますが、ビデオメッセージの挨拶に代えさせていただきます。

1年間、よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

釧路音別ロータリークラブ

水野 昭人会長 川口 恭弘幹事



皆さま、こんにちは。私は音別ロータリークラブ第43代会長に指名されました水野昭人と申します。今年1年、一緒に頑張ってください幹事は、3年目のベテラン川口幹事です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

いたします。

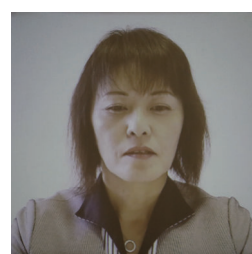
私は以前、2014-2015年度から3期に亘って幹事を勉強してまいりました。その時には皆さま方のクラブひとつひとつ回って、たくさんの勉強、そして歓迎いただきました。誠にありがとうございます。今回、その時の思い出を交えてお話できたら良かったのですが、このような状況下でできなくなりましたことを残念に思います。

さて、音別ロータリークラブは今年度15名の出発となります。人口減、しかもこのコロナ禍の中で何をやって行くかですが、特に5年、10年の節目でないこともありまして、特に大きなことは考えておりません。ただ、奉仕活動として4～5年前に無くなったひとつの奉仕活動がありまして、それに代わる新しいことを考えていこう、そう思っております。また、会員増強もその中のひとつでもあります。

早くこのような状況を乗り越えて皆さんと親睦を深めることができることを願って本日の挨拶とさせていただきます。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

釧路南ロータリークラブ

亀井 麻也会長 澤山 理恵幹事



皆さま、こんにちは。本年度釧路南ロータリークラブ第40代会長を務めます亀井麻也でございます。当クラブでは女性会長としては2代目で、サポートしていただくのは幹事の澤山理恵会員です。女性初コンビはロータリー歴9年迎える私と6年の幹事で、経験も浅く、クラブメンバーの応援があってこの日を迎えることができました。副会長には初代女性会長で大先輩の工藤ゆかり会員が控えておりますので厳しく指導いただきながら1年間を全うしたいと思っております。この度はコロナ禍により訪問が叶わず大変残念でなり

ませんが、状況が許されるようになりましては澤山幹事とともにご挨拶にお伺いしたいと思っております。その節はよろしくお願いいたします。

さて、釧路南ロータリークラブ会長として『be proud (誇りを持って)』とテーマを掲げました。引き続き、これまでと同様の活動が困難な状況であります。昨年度は奈良パスト会長テーマ『Challenge』のもと、Zoomを活用して仕事の都合や緊急事態宣言等で集うことできない状況でも例会に参加できる体制を構築してきました。休会を最小限にとどめ、いかなる環境でも多くのメンバーがつながるツールとして今後も持続し、会員相互の結束をより強くしていこうと思っております。

本年度は長倉ガバナー補佐の輩出、40周年行事、地区補助金事業は釧路市動物園に梨の植樹を予定しており、盛りだくさんな1年となります。

南クラブは最年少41歳から最年長77歳の会員数28名でスタートいたします。年代、性別に隔たりなく、アットホームな雰囲気は先輩会員が培ってきたもので、この誇りあるクラブを受け継ぎ、この1年も笑顔あふれるクラブ運営と持続可能な奉仕活動を目指して参ります。

結びになりますが、貴クラブの益々のご繁栄と会長・幹事はじめ会員皆さまのご多幸をお祈りし、表敬訪問のご挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

釧路ベイロータリークラブ

貝嶋 政治会長 池田 圭樹幹事



皆さま、こんにちは。本年度、釧路ベイロータリークラブ25代目の会長を承りました貝嶋政治です。幹事は池田圭樹君です。本来ですと直接例会に参加し、皆さまと懇親を深めたいと思っておりましたけれども、このコ

ロナの流行のせいでそれが叶わずビデオでの出席となってしまう非常に残念です。

さて、本年度は漆崎ガバナーの下、10月10日に地区大会を予定しております。本来ですと記念ゴルフ大会など、種々の催し物をやりたいところではございますが、コロナの影響のためにそれらの行事を割愛せざるを得なく10月10日の1日だけの大会、しかもZoomとのハイブリット方式で行うことが決まっております。

当初の予定ではコロナのワクチン接種が非常に遅いと予想されていたのですが、最近急速にワクチンの接種が早まり、10月に入るところにはかなりの方が接種を済ませていると思われます。ただ、2回の接種が終わっても絶対大丈夫とは言えませんので、強制はできませ

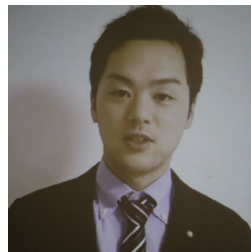
んができるだけ地区大会へ直接ご参加をよろしくお願いいたします。ワクチンを済ましていない方はZoomでの参加をよろしくお願いいたします。

最後に貴クラブの今後のますますのご繁栄を祈念して表敬訪問の挨拶とさせていただきます。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

釧路北ローターアクトクラブ

松永 憲人会長 加納 萌子幹事



皆さま、こんにちは。今年度釧路北ローターアクトクラブ第51代会長の松永です。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。さて、今年度の釧路北ローターアクトクラブのクラブテーマは『繋ぐ』です。私たち、釧路北ロー

ターアクトクラブは創立51年目を迎えます。これまで先輩方が受け継いできた意志や誇りを次世代に継承し、これからの50年、100年と釧路北ローターアクトクラブが繁栄し続けるようにと思い、このクラブテーマに決めました。

私はこれから更に50年とクラブを繁栄させるためには、その時に時代によってクラブ運営を変化させることが大切だと思っております。今年大きく変化させたのは例会の回数です。これまで通常例会や移動例会を含めると計24回例会を行ってきておりましたが今年は18回と計画させていただきました。

ただし、例会回数は減っておりますが地域の方々と交流できるような例会を多く取り入れました。中でも昨年大好評でしたハロウィンのカボチャを子どもたちと一緒に作る『ジャック・オー・ランタン例会』や、子どもたちに職業体験していただく『キッズタウン例会』は継続して行っています。こういった奉仕活動を計画し・実行する・そこで反省し・また次に生かす、そういった一連の活動がより会員自身を成長させると私は思います。

10月には50周年記念式典。来年5月にはアクトの地区大会が釧路にて開催されます。行事が多くなる1年ですが会員はもちろん、ロータリアンの皆さまのご協力をいただきながら精一杯活動を行っていきたく思います。

最後になりますが、毎年私たち釧路北ローターアクトクラブにご協力いただいております第7分区のロータリークラブの皆さま、誠にありがとうございます。今年度1年も、どうぞ釧路北ローターアクトクラブをよろしくお願いいたします。

長倉巨樹彦ガバナー補佐

以上をもちまして表敬訪問とさせていただきます。

1年間皆さまご指導よろしくお願いいたします。

司会

長倉ガバナー補佐、ありがとうございました。ここで杉村会長より謝辞をお願いいたします。

会長謝辞 杉村 莊平会長

今回のビデオのご挨拶が思いがけず順調に行きまして、時間に多少余裕ありましてこういう感じになっておりますが、謝辞をあまり長くするのもいかなものかと思えます。

改めまして長倉ガバナー補佐、上川原補佐幹事、本当にありがとうございました。

今回、ビデオの表敬訪問となってしまいましたが、8月1日に中学親善野球大会を再開する予定であります。この時にはちょっと「大人数で」とは行きません

が、ある程度の皆さんが顔を合わせて分区事業をまた再開できると思っております。本当に楽しみにしております。今年度も第7分区、結束してしっかりと前に進んで行きたいと思えます。

改めまして、今日本当にありがとうございました。第7分区、しっかりと結束しながら今年1年やって行きたいと思っております。第7分区の皆さま、各クラブ会長・幹事の皆さま、ご健勝をご祈念いたしまして本日の謝辞とさせていただきます。

どうも今日はありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 一年間頑張ります。宜しくお願い致します。
- 浅川 正紳君 一年間、例会司会に専念致します。宜しくお願い致します。
- 市橋 夢佳丞君 一年間宜しくお願い致します。
- 滝越 康雄君 本年度始まりました。次年度（2022年度）も含めて、クラブ無事と活性を祈ります。
- 邵 龍珍君 杉村年度、一年間宜しくお願い致します。
- 吉田 秀俊君 一年間、お世話になります。
- 中島 徳政君 一年間、宜しくお願い致します。
- 小野寺 俊君 一年間、宜しくお願い致します。
- 甲賀 伸彦君 一年間、宜しくお願い致します。
- 村上 祐二君 一年間、宜しくお願い致します。
- 得地 哉君 一年間、宜しくお願い致します。
- 田内 泰章君 今年度、一年間、宜しくお願い致します。

今年度累計 36,000 円

2021.7.8 (木)
第2回例会
(通算3629回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ

本日のプログラム 「クラブアッセンブリー」(担当: 理事会)

次週例会 講師例会「鉄道ファンからみたひがし北海道の魅力」(担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 「四つのテスト」 ■ソングリーダー: 水口 喜文君

■会員数 96 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方は、そのまますくください。

皆さん、こんにちは。先週は、皆さまのおかげで無事第1回目の例会を終えることが

できました。ありがとうございました。間違いなく時間が足りなくなるという進行で、しっかりと綿密に進行を考えたつもりですが、まさかの時間前終了になってしまいました。これもひとえに、スタート1回目の若葉マーク三役に免じてお許しをいただければと思っています。

このコロナで、われわれが学んだことは「いままで当たり前だと思っていたことが、実は大切なことだったと気付けたこと」だと思っています。今日も、こうして2回目の例会を当たり前のよう開催させていただいておりますが、いつまた休会になるかも分かりません。こうやって私も挨拶をさせていただいておりますが、あと残り46回の例会を若葉マーク会長として、しっかりと大事に、そして少しでも有意義になるようにやって行かなければいけないと気持ちを新たにしております。また改めてよろしくお願いいたします。という思いの下、本日は『クラブアッセンブリー』とさせていただきます。

当初、皆さんに書面を郵送して承認をいただく考えもありましたが、やはりこのような顔合わせの場でやるべきと考えまして、今日の開催とさせていただきます。その分、時間がタイトになっておりますが、何卒ご理解をいただければと思っております。

尚、本日、発表の場が得られないであろう小委員長の皆さまには、どうかお気を悪くされないようお願いを申し上げます。今月の29日にはゆっくりとご挨拶をしていただく時間を取らせていただくことを小委員長の皆さまにはお願い申し上げまして『アッセンブリー』をスタートしていきたいと思っております。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。本年度、幹事を仰せつかりました市橋でございます。1年間、皆さまに分かりやすい幹事報告を行わせていただくように務めさせていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の幹事報告です。新入会員の選考に当たりまして、職業分類の開設を1件行わせていただきました。この度、職業分類として『建設コンサルタント業』の開設をさせていただきます。こちらをホワイトボードに貼ってありますので後ほどご覧いただければと思っております。

また、7月のロータリーレートは111円となっておりますので、ご確認をお願いいたします。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

議長 杉村 莊平会長

ここからアッセンブリーとさせていただきます。例年と多少やり方が変わってきますが、どうぞよろしくお願いいたします。



今更ではございますが、ご挨拶だけさせていただきます。本年度釧路ロータリークラブ会長を務めさせていただきます杉村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

そして、副会長・浅川正紳君、幹事・市橋多佳丞君、副幹事・得地哉君、同じく副幹事・田内康章君でございます。この5名で1年間、運営をやらせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

本日のアッセンブリーの進め方です。基本的には例年と同じでございますが、先ほどお話をしたように大委員長から委員会の計画活動について一括での発表とさせていただきますことをお許しください。多少、時間がなくなって駆け足になるかと思いますが、それもどうぞご理解いただければと思います。

それでは、アッセンブリーを始めさせていただきます。ここからは、着座にて失礼をさせていただきます。

それでは、進めさせていただきます。まず、会長方針の要約を読み上げさせていただきます。

会長方針の要約

釧路ロータリークラブは、これまで85年に亘り独自の歴史と伝統を築き上げ、規律と寛容を両立させた素晴らしいクラブに発展してきました。

ロータリーの本質が、例会に出席しメンバーと楽しく語らい、学び合うことにより自身の心を豊かに成長させるという「親睦」と、その心をそれぞれの家庭や職場・地域に持ち帰って実践につなげていく「奉仕」であるとすれば、これからもわれわれは、ロータリーを楽しむことと豊かな地域を育むことがより強く連繋し、好循環していく活動を目指すべきだと考えています。

これらを踏まえ、今年度は、コロナ禍での再出発という思いも込めた『創立85周年』を節目とし、我がクラブの歴史を振り返ることにより、その存在意義を再確認し、このロータリークラブで活動できる喜びを分かち合い、その活動の輪を広げていく1年にしていきたいと考えております。

多少補足をさせていただきます。この釧路クラブが持

つ素晴らしい文化を「規律」と「寛容」という言葉で表してみました。このふたつを併せて「釧路クラブの品格」ということになるかもしれません。どちらにしても、85年に亘って積み重ねてきたこの釧路クラブの良さを、これからもしっかりと継承をしていかなくてはと考えています。

僕が思うロータリー活動の第一歩は、難しい議論ではなく、今日の例会の出席を迷っている時に、少し無理をしてでもみんなの顔を見に行こうと思えるか。要は、ロータリーを楽しめているかどうかだと思っています。またその一方で、ロータリーは地域の活力があってこそその活動だとも思います。そう考えるとわれわれは、ロータリーを楽しむ「親睦」と地域を育んでいく「奉仕」がより循環し、大きくなっていくような活動を目指していくべきだと思います。

これを踏まえ、今年度の釧路ロータリークラブのスローガンを『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』とさせていただきます。

自分ごととして、前向きに関わるという思いを込め「ロータリーを」ではなく、あえて「我がロータリーを」としています。今年1年、何とか自分も会長として、「我がロータリー」を楽しめればと思っております。続きまして、クラブ活動目標の説明をさせていただきます。

クラブ活動目標

1番、「入りて学び、出でて奉仕せよ」「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」などの言葉があるように、とにかくロータリーの原点は例会への出席だと思います。委員会とも密に連繋をしながら「今日も例会へ来て良かった」と思えるプログラムを作りたいと思っています。

2番につきましては、ロータリー全般ではなく、あえて釧路クラブの歴史と絞らせていただきました。たどって行けば、どこかで自分たちにもつながるような釧路クラブの先人たちの足跡を学び、これからの活動の糧にしていきたいと思っています。

11月には、昼と夜の2回、85周年例会を開催し、パストガバナーやパスト会長などのベテランメンバーに少し碎けた昔話などをしていただき、釧路クラブの歴史を共有したいと思います。また85周年の節目に、天方年度から引き継がせていただいております浄財にて、記念の品を釧路市に寄贈させていただこうと考えております。

3番ですが、これは言うまでもなくクラブの基盤の強化と活性化には欠かせないものと考えております。もう既に、増強委員会の頑張りによりまして、早速、先日の理事会でも4名の新入会員の承認をいただき、幸先の良いスタートを切ったところ です。

ただ、いま僕が心配をしていることは、このコロナ禍

で、しばらく例会に来られていないメンバーの中に「ロータリーに行かなくても別に問題はないな」と思



い始めているような方が少なからずいるのではないかということです。これから増強をしっかり行いますが、退会防止にも気を配りながら活

動をしていきたいと考えています。

退会防止策として、しばらく出席をされていないメンバーをリストアップし、その方と近い方やスポンサーから定期連絡や訪問をしてもらうようなことを委員会と一緒に考えていきたいと思っています。

4番、今年度は協研修委員長にクラブ研修リーダーとしての任務をお願いしております。研修委員会にご協力をいただき、あまりお堅いものではないセミナーを開催し、ロータリー活動をより理解し、楽しんでもらうきっかけにしたいと考えております。

5番、これもロータリーを楽しむきっかけとして他クラブの例会や雰囲気を知っていただき、今後の活動に活かしていこうというものです。

6番、これも何年か続いていることですが、『マイロータリー』の登録をぜひともお願いしたいと思っています。

7番と8番、これらの活動は例年どおりしっかりと支援・協力をさせていただきたいと思っています。

9番、この国内提携ですが、僕の年度で具体的に相手を決めようということではなくて、90周年に向けて議論をしていきたいと思っています。姉妹提携・友好提携などいろいろなやり方がありますが、あまり負担にならない中で、交流の中からいろいろなものを学んでいければと思っています。

まだまだコロナの状況を見ながらのクラブ運営が続きますが、今年度はコロナからどのようにロータリー活動を離陸させていけるか。少し大げさに言えば、ロータリー活動の存在意義が問われる大事な1年になると考えております。今年度のそう遠くない日に夜例会や情報集会、野遊会など通常に近いロータリー活動ができることを信じて、改めてロータリーの楽しさ、原点をみんなで考えていく1年にしたいと思っています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、クラブ概要及び会務方針につきまして、市橋幹事より説明をしていただきます。

クラブ概要及び会務方針 市橋多佳丞幹事

それでは、私からクラブ概要及び会務方針についてご説明をさせていただきます。

本日皆さまのテーブルに追加資料ということで、変更



になりました資料をお配りさせていただいております。クラブ概要及び会務方針のところが2ページ目・3ページ目で1枚となっております。

続きまして、例会予定の9ページ目、予算書の24ページ目・25ページ目・26ページ目とA3で計3枚、皆さま方にお配りさせていただいております。資料に不備がございましたら副幹事の方までお申し付けください。

それでは、クラブ概要の説明をさせていただきます。例年でありましたら6月に開催をさせていただいておりますクラブアッセンブリーで、7月1日現在を想定しての人数でやるのが通常ですけれども、本年、7月1日は既に過ぎております。昨年6月30日付けで打矢会員が退会をされて、いま現状の会員数96名、7月1日現在、となっておりますので、こちらに合わせて資料を変更させていただきました。2番、会員の年齢。3番、会員・クラブの在籍年数の分布等につきましては、ご一読をお願いいたします。

クラブの財政につきましては、例年と変わりはございません。ニコニコ献金の目標額も80万円、例年と同じとさせていただきます。

5番、理事会。6番、委員会活動につきましても例年と記載の方法は変わってございません。

7番、クラブ協議会ですけれども、第1回目を本日7月8日と設定をさせていただいております。第2回を9月30日、こちらガバナー公式訪問が設定されている日程ですので、皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。第3回・第4回は、予定の日程となっておりますので併せてご確認をお願いいたします。

また8番、総会でございますが、本年度は12月2日に行う予定となっております。

9番・10番・11番につきましては、ご一読をお願いいたします。

12番の例会ですけれども、例会は禁煙とさせていただきます。また2の部分で、年末クリスマス家族会は12月9日、新年交礼会は1月6日、最終例会（キャンドルパーティー）は6月30日とさせていただきます。その他、新入会員歓迎会を上期・下期に各1回、開催させていただく予定となっております。

13番、その他ですけれども、いまほどご説明をいただきました会長のクラブ活動目標から抜粋し、準じて作成をさせていただいておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

私からは以上でございます。

議長 杉村 莊平会長

続きまして、各委員会からお願いしたいと思います。
よろしくお願いします。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

クラブ運営委員会、本年度の委員長をさせていただきます中島でございます。副委員長には高橋直人君にお願いしております。



1年間、よろしくお願いいたしますと思います。会長も申し上げているとおり、大委員長が一括で説明とさせていただきますので、ウチの委員会は喋られる方がたくさんいらっしゃいますが、私の方から一括で説明をさせていただきます。

クラブ運営委員会には3委員会がございます。出席委員会・親睦活動委員会・プログラム委員会の3つです。

出席委員会では、本年度1回でも多く、楽しく出席をしていただきたいという部分と、会長から「ぜひ他クラブの例会に参加をするメイクアップの体験会をしてほしい」とご要望をいただいておりますので、そちらを活動の方針に入れさせていただいております。

親睦活動委員会はコロナ禍の中で、今まで夜間例会を担当という形でしたが、本年度は昼の例会にも親睦の部分で委員会に担当をしていただこうと考えております。

次が、プログラム委員会です。プログラム委員会は、会長方針に従いまして地域社会やクラブの理解を深めて、会員相互の理解も深めていくような形でプログラムを構成して行きたいと思います。プログラムや親睦の活動を通じて多くの方が例会に出席をしていただき、出席率向上を「正の循環」のように進んでいければと思っております。

年間スケジュールが計画書に載っておりますので、こちらは皆さままでご一読いただければと思います。

クラブ運営委員会からは以上となります。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

クラブ広報・会員組織委員会の委員長を務めさせていただきます村上でございます。



私は何分経験がないものですから白幡副委員長のご指導ご鞭撻をいただきながら1年間活動をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたしますします。

クラブ広報・会員組織委員会は3つの委員会で構成されております。要約をして私の方からご報告申し上げます。

まず、クラブ会報・雑誌委員会です。こちらは例年と変わらずの活動となると思いますけれども、横田委員長は職業柄ミスのない完璧な仕事を求められている男でございます。そういったところが色濃く出る委員会活動になるかと思っておりますのでよろしくお願いいたしますします。

そして、会員増強・選考・職業分類委員会ですが、既にもう会員増強の方は皆様のご協力をいただいで進めているところでありますが、つくづく7月に入っていることは、時には会員増強は力業で問答無用で入会をさせることも必要かと思っております。やはり私たち、私自身がこの釧路ロータリークラブの活動をどれほど楽しめているのか、どれだけこの例会に参加したいと思っているのか、またこの例会で培ったこと・知ったこと・学んだことを日頃の会社でどれだけ反映をさせているのかがきっと会員活動に当たって大事な部分になるのだらうと感じております。

いま私自身は、非常に楽しんでやっておりますのでそういった気持ちで会員拡大に臨みたいと思っております。

続きまして、クラブ研修委員会ですが、こちらは私が要約をするわけにはまいりませんので、協委員長、よろしくお願いいたしますします。

クラブ研修委員会 脇 弘幸委員長



クラブ研修委員会委員長の脇でございます。決して「喋らせろ」と言ったわけではございません。大委員長から「言うなら自分で話さない」ということですので、委員会活動についてお話をさせていただきます。

先ほど杉村会長がご説明をされました会長基本方針を踏まえまして、また「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」のスローガンの下、ロータリーの楽しさへつながる一助となるよう会員が語らい、また学び合う機会を作っていきたいと考えております。そのためにも理事会や各委員会と連繋・協力を図りながらしっかりと活動を進めていきたいと思っております。

活動目標につきましては、ここに記載のとおりですが、まだまだコロナ禍でなかなか先が見通せない中ですが、オリエンテーションからクラブ研修セミナーまで何とか開催できると信じて活動を進めていきたいと考えておりますので、皆様ご協力のほどをよろしくお願いいたしますします。

大委員長、このような感じ でよろしいでしょうか。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

奉仕プロジェクト委員会を今年度仰せつかりました小野寺でございます。副委員長には白崎義章君になっていただきまして、土建屋コンビで1年間進めてまいりたいと思います。



奉仕プロジェクト委員会は、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の4委員会で構成をしております。詳細につきましては、クラブ活動計画書をご一読いただきたいと思いますので、今日のところは各委員会をかいつまんでご説明申し上げます。

はじめに社会奉仕委員会です。社会奉仕委員会の今年度の事業計画としては、先ほど杉村会長からお話がありました『創立85周年の記念事業』として釧路市への物品の寄贈を予定していますので、その窓口等々のお仕事をさせていただきたいと思っています。

続きまして、職業奉仕委員会です。例年、会員間の職場を見学する例会をやっておりますので、今年度につきましても1回、できれば下期にもう一度できれば良いと思っています。当面、1回目は秋口を予定しています。

国際奉仕委員会については、昨今、台北中央ロータリークラブとの姉妹提携の継続もございますので、当面はその窓口をやらせていただきたいと思いますと思っています。

最後、青少年奉仕委員会です。こちらは、例年どおりの内容となっておりますが、主な活動としては『全道中学親善硬式野球大会』の分区事業で、支援協力ということで8月1日に1日で開催をする予定です。ロータリーアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流は例年どおりです。また『ライラセミナー』への参加も会員企業の中から若手社員の方を出していただいて数名を派遣させていただきたいと思っています。

4番目、活動計画書に『釧路ロータリーカップ北海道アイスホッケー大会』の開催と記載させていただいておりますけれども、アイスホッケー事務局との年度前の打ち合わせの中で、高校アイスホッケー大会の関係もありまして、例年行っておりました11月下旬、または12月上旬のロータリーカップの開催が非常に難しいということで、今年度は開催ができない状況になっています。締め切りの都合上、計画書には記載しておりますけれども、そのような事情になっていることをお詫び申し上げます。

私からは、以上です。

ロータリー財団・奨学推進委員会

栗林 延次副委員長

こんにちは。ロータリー財団・奨学推進委員会副委員長の栗林でございます。本来なら甲賀委員長が発表をするところでございますが、代わりまして代理を務めさせていただきます。



甲賀委員長は、この委員会の副委員長を故五明会員にお願いしていたと聞いております。残念ながらご逝去により、それも叶いませんでしたが、五明会員の志を受けてこれも代理でございますが、微力ながらロータリー財団・奨学推進委員会を支えて行きますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、甲賀委員長から預かった報告書を代読いたします。

代読

杉村年度において、ロータリー財団・奨学推進委員会大委員長を拝命した甲賀です。今回は、杉村年度の活動方針発表の場である『アッセンブリー』に出席できず大変申し訳なく思っております。

さて本年度、当委員会はロータリー財団寄付推進委員会、米山記念奨学会委員会、嵯峨記念育英会委員会の3委員会で構成されており、それぞれ濱谷さん、川本さん、清水輝彦さんに委員長をお願いしてまいりました。

クラブ活動計画書には、皆さんの思いが込められており、特に米山記念奨学会委員会の川本委員長は活動計画書で初めてだと思いますが、米山シンボルマークを掲載しその意味合いを示してくれました。本当にありがたいです。

当クラブに由来する公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会については、理事長が吉田潤司さんから石田さんにバトンタッチされました。石田理事長の今後の方針を参考にさせていただくためにも杉村会長には、育英会をテーマにした炉辺会合をお願いしているところであります。嵯峨記念育英会委員会・清水委員長と協力して推し進めてまいりたいと思っています。

また、ロータリー財団寄付推進委員会についてはSDGsにより変化していると聞いております。濱谷委員長には、最新の財団の説明などを企画していただき、会員の皆さまに正しい理解をしていただきたいと思います。

杉村会長の基本方針の下「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」のスローガンに則りこの委員会が活性できることを祈念しております。

以上でございます。

邵 龍珍 S A A

S A A の邵でございます。副 S A A は後藤公貴君でございます。よろしくお願いいたします。当クラブ今年度創立 85 周年を迎える歴史と伝統あるクラブでございますので、例会も品位と秩序を保つよう皆さまのご協力を心からお願いいたします。



3 つ掲げておりますが、特に 2 番目、外部からのご来賓、またご講演者の講話時には私語を慎むよう皆さまのご協力をお願いしたいと思います。3 つ目ですが、年間数回、これは夜間例会を考えております。夜間例会の場合は座席の工夫をして、先輩・後輩のロータリアンが多く交流ができる場になるよう親睦委員会と協力をしながら取り組んでまいりたいと思いますので皆さまの協力をお願いいたします。以上でございます。

議長 杉村 莊平会長

ありがとうございます。続きまして、市橋幹事に代ります。よろしくお願いいたします。

収支予算案説明 市橋多佳丞幹事

私から 2021-2022 年度の収支予算案の説明をさせていただきます。予算案の内容に入る前にニコニコ献金についてご説明をさせていただきます。ここ数年の検討課題として、ニコニコ献金の収支予算書への予算繰り入れにつきまして、例年は収支予算書の中に「当年度の必達目標」という目標額が記載をされておりました。このことにつきまして、目標額に達しない場合も想定され、その差異は収入が減額となってしまう、単年度の赤字を起しかねないという状況でした。そういった状況を踏まえて、本年は一昨年の方会長年度に繰り越していただきました特別対策基金より天方会長年度のニコニコ献金 90 万 7,000 円が決算をされており、そちらを今年度の雑収入として繰り入れをさせていただきたいと考えております。

そして、先ほどクラブ概況で申し上げました本年度のニコニコの目標額 80 万円は、翌々年度 2023-2024 年度へ繰り越したいと考えております。この年度のずれですけれども、当クラブの決算額が翌期の 10 月頃に確定する状況がございます。本来であれば、クラブアッセンブリーにて皆さまにご説明をするタイミングと決算のタイミングが合わない状況がご

ざいまして、決算後の確定した金額を引き継げるのは翌々年度になることをご理解いただきまして、各年度に亘って引き継いでいく予定であります。

こちらにつきましては、天方パスト会長、本年度の杉村会長、そして滝越会長エレクト、昨年度の舟木パスト会長・荒井幹事ともご相談の上、決定をさせていただいたことを皆さまにご理解をいただければと思っております。

そういった状況で、収支予算案の収入の部の最下段、当該年度会員の皆さまから拠出していただくニコニコ献金につきましては、2023-2024 年度へのニコニコ献金として繰り越すものとするという一文を記載させていただきます。

それでは、収支予算案の詳細の説明をさせていただきます。

R I 人頭分担金です。本年度は上期 35 ドル+1 ドル、下期 35 ドルとなっております。先ほど皆さまにご説明をさせていただきましたロータリーレートが 7 月現在 1 ドル 111 円です。それに合わせた計算式となっております。

地区の方です。予算が記載されていない欄が上から 2 段目・3 段目・4 段目になります。リソースとサポート事業、職業研修チーム (V T T)、国際青少年交換事業、は予算が記載されておりません。こちらは 2500 地区の方より「昨年度はこちらに関する事業が行われなかったことがあり、こちらの金額は昨年度の予算を流用させていただく、よって本年度は会員の皆さま方から徴収することはない」という通知が来ておりますので、記載をしておりません。本来であれば削除しても良い項目かもしれませんが、次年度以降は復活することが想定されますので、あえて名称の方は記載させていただきます。

続きまして、6 行目、地区大会登録料です。こちらの方は、本年第 7 分区より漆崎ガバナーが輩出されております。また会長・幹事会におきまして「第 7 分区のクラブの皆さま方には全員登録をぜひともお願いしたい」という依頼も来ております。そういった状況を踏まえ、現在 12,000 円で設定をしている大会登録料は 96 名の全員登録をさせていただきたいと思っております。

その下、文献・分区につきましては、例年と大きく変わりませんので割愛させていただきます。

続きまして、クラブの方では、上期の会費・各種祝い品・景品・年末家族会 (本人の部分) の数字が 95 となっております。こちらは昨年末に伊藤邦彦会員から休会届けが提出されております。休会の単位は半期単位となっております。96 名のところですが本人負担の会費は請求しない取り決めになっておりますので、こちらだけ 95 名の計算となっております。

続きまして、特別の部分です。他ロータリークラブ

周年登録料ですが、当クラブの80周年の時に登録いただきました他クラブの皆さま方の登録状況を鑑みて、こちらの金額に設定をさせていただいております。

続きまして、支出の部に移らせていただきます。先ほどのR Iの人頭分担金につきましては、先ほどのロータリーレートによって算出しております。基本的に皆さまからいただいた金額をそのまま拠出する形になっております。地区も同じ金額となっておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

文献費につきましても例年とほぼほぼ変わりませんが、ガバナー月信は例年どおり35冊となっておりますので、そちらを合わせていただいております。

分区分・研修費・会議費・渉外費につきましては、前年とほぼほぼ変わらない金額で設定をさせていただいております。

また、例会費ですが、4行目です。釧路ロータリークラブ創立85周年例会と本年ならではの項目として設けさせていただきました。杉村会長からご説明がありましたが、11月に『創立85周年の例会』を行う予定となっており、そちらに使わせていただく予算として計上をさせていただいております。新入会員歓迎会、並びにキャンドルパーティー、年末家族会につきましては、例年と同じ金額となっておりますのでご確認をお願いいたします。

続きまして管理費ですが、事務局の青島さんと打ち合わせをさせていただきまして「例年どおりの金額で問題ない」というお話をいただいておりますので、例年どおりの金額を記載させていただいております。

続きまして、委員会費ですが、特記事項としてクラブ研修委員会、先ほどありましたように情報集会を今年度できれば3回行いたいと考えている都合上、例年より多少増額をさせていただいておりますのでご確認いただければと思います。その他、委員会につきましては、ほぼほぼ例年どおりの金額となっております。支出の部の特別に関しましては、基本的に収入の部からの右から左となっておりますので、ご確認をお願いいたします。また予備費の方も多少設けさせていただいております。

上期の支出合計ですけれども1,488万4,281円、下期1,110万7,895円、合計として、通期で2,599万2,176円の予算にて行わせていただきたいと思いますと考えております。

伴いまして、皆さまに会費の請求を今後させていただく予定となっておりますけれども、現状、上期の請求額ですが13万9,986円、下期は11万6,870円、合計25万6,856円の請求とさせていただく予定となっております。こちらロータリーレートによって多少の前後があるかと思うので、ご了承いただければと思っております。

本クラブアッセンブリー終了後、早急に皆さまに請求

書を郵送させていただく予定となっております。ぜひ会のスムーズな運営のために早急なお振り込みをご対応いただければと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

発表をしていただいた皆さん、本当にありがとうございます。話合いに多少駆け足で、聞き取りづらいところがあったかと思いますが、発表は以上でございます。

質疑応答

議長 杉村 莊平会長

続きまして、質疑応答の時間に移りたいと思います。ご意見・ご質問がある方、挙手の上お願いしたいと思います。

奇跡的にオンタイムで進んでおりますので、まだ多少はお時間がありますので遠慮をなさらずにご意見・ご質問があればどうぞよろしくお願いいたします。それでは、何もないとかえって心配になったりしますが、このような形で進めさせていただきたいと思います。

わがまを言いまして、この時間、このような設定でアッセンブリーをさせていただいたことを本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

2021.7.15 (木)
第 3 回例会
(通算3630回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ

本日のプログラム 講師例会「鉄道ファンからみたひがし北海道の魅力」(担当：プログラム委員会)

次週例会 「スタートアップパワーランチ」(担当：親睦活動委員会)

■ロータリーソング：「我等の生業」 ■ソングリーダー：吉岡 央君

■会員数 98 名

■ビジター なし

■ゲスト (株)釧路新聞社 代表取締役 星 匠様

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方はその
ままお続けくださ
い。本日も多数ご出
席いただきまして本
当にありがとうございます。また、舟木
パスト会長もご出席
ありがとうございます

す。

ひとつ反省点からでございます。先ほど各種お祝いの
時に良かれと思って皆さんに握手を求めたのですが、
この非接触をやっている中で「何を握手しているのだ」
ということでございまして、途中から気付いたのです
が、途中から止めるわけにもいかないものですから、
すみません。握手してしまった方、手洗いをぜひお願
いしたいと思います。大変失礼いたしました。

先週のアッセンブリー、多数ご出席いただきまして本
当にありがとうございます。皆さまの熱い友情のおか
げで奇跡的に時間どおりに終わることができました。
本当にありがとうございました。日程的に少し不規則
な開催でございましたが、やはり年度の節目として
やってよかったと思っております。改めて感謝・お礼
申し上げます。ありがとうございます。

新年度が始まりまして、いよいよ各委員会が動き出し
ています。まずは、佐藤委員長率います青少年奉仕委

員会。全道中学親善硬式野球大会が 8 月 1 日に開催が
決まりまして、今年は工業高校のグラウンドで行われ
ることになりました。今年も委員会一丸となって頑
張っておりますので、ぜひ皆さんの応援をお願いでき
ればと思います。よろしくお願いいたします。

セレモニーが続いたことで少し落ち着いた感じになり
ました。と言っても今日も時間がないのですが、少し
会長挨拶をさせてもらえればと思います。

もう 10 年くらい前でですけども、帯広の某有名企業の
会長さんとお話する機会がありました。その会長さん
と話している時に「僕らの小学校時代の修学旅行先は
釧路だった。釧路は帯広と比べるまでもなく大都会で、
もう前日から行くのが楽しみだったんだ。けども、
そんなことを言う人も、いなくなってしまったね〜」。
なんて言うことを聞いたことがあります。

大都会釧路がなぜ帯広に抜かれてしまったのか、追い
越されてしまったのか。これはいろんな要因があると思
います。これは皆さん、耳にタコの狩猟民族・農耕
民族論というのがありまして、釧路地域というのは本
当に資源に恵まれて、石炭・水産・木材という産業的
資源以外にも観光的資源でも阿寒湖・摩周湖・屈斜路
湖・釧路湿原・タンチョウ・マリモト、あって当たり
前の感覚から抜け切れなかったのが釧路で、ないもの
を作り、コツコツと育ててきたのが十勝だったのだと
思っています。

そういう釧路をどうにかして良くして行かなきゃとい

う方法論、いろいろあると思います。この素晴らしい資源をひとつひとつ掘り起こして、ブランディング化していこうというのが、いま木下さんがやられている「ひがし北海道」の活動だと思っています。

僕は、ひがし北海道のエリアの中で、屈斜路から川湯・硫黄山を通るラインが大変好きな所です。実はいま、川湯駅周辺が大ブレイク中なのをご存じでしょうか。カフェや雑貨店ができて、混んでいる所は休日になるといっぱい入れないカフェがありまして、大変賑わっています。

そこで気づくのが、この釧網線の観光鉄道としての大いなる可能性です。私論ですが、釧網線を「ひがし北海道満喫線」とか、そんな名前に名称変更して、ひがし北海道のブランディング化のひとつにして大いに売り出していいただければと思っています。山田支社長、よろしく願いいたします。

どちらにしても地元として大いに釧網線や花咲線を応援すべきだと思っているところです。これ以上続けていきますと星社長のお話のお邪魔になるかと思うので、今日の挨拶はこの辺にしたいと思います。

これからも会長挨拶、頑張りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告の1点目です。先日発生しました7月の熱海豪雨災害の義援金のお願いにつきまして、2620地区から2500地区を通してご依頼がありましたので例会中に義援金ボックスを副幹事が回します。本日は講話となっておりますので音を立てない静かな物を入れていただければと思います。ご協力をお願いいたします。

また、世界会議が2022年6月4日から8日までアメリカ・ヒューストンで行われることになっております。この事前登録の受付が始まっております。登録用紙は私の所に届いておりますのでご興味のある方はご一報ください。よろしくお願いします。以上です。

新入会員紹介

スポンサー 小野寺 俊会員

それでは、曾我部元親さんのご紹介をさせていただきます。曾我部さんは昭和41年、阿寒町でお生まれになりました。大学卒業後、サラリーマンを経て地



元阿寒町に戻られ、家業に入られました。その後、令和元年にお父様が経営する北泉開発株式会社の代表取締役に就任して現在に至っております。

多方面で活躍されている曾我部さんを皆さまはよくご存じかと思います。本業の建設業というよりも、エゾシカ肉での活躍をよく耳にしていると思います。関連事業のエゾシカの養鹿（ようろく）や食肉加工では、事業立ち上げ時より陣頭指揮をとり、エゾシカ肉の組合の代表理事を務めるなど普及に尽力されております。

田中パスト会長年度に一度、エゾシカ肉の講演をしていただいたことがありますのでご記憶の方もいらっしゃるかもしれません。

私とは年齢も近いこともあり、地元の良き兄貴分としてお付き合いいただいております。数年前から活動しておりますNPO法人の活動でも力を貸してくれる頼もしい先輩でもあります。

ご家族は奥様とお二人の娘さんとの4人家族で、長女は札幌で社会人、次女も札幌で大学生とのことです。現在はご夫婦が阿寒町で暮らしております。ちなみに奥様ですが、阿寒町セイコーマート脇で『牧場ソフトクリーム』の販売をされておりますので、皆さんもソフトクリームを購入したことがあるのかなと思います。

趣味は映画鑑賞とゴルフで、ハンディキャップは13と大変お上手です。最近、パッティングが絶不調で悩んでおりましたけれども「パターを新しくしたら調子が良くなってきた」そうです。

そんな多方面でご活躍されている曾我部さんですので、釧路クラブでの活躍でも尽力していただけるものと思っております。それでは、曾我部さんからご挨拶をいただきます。

北泉開発株式会社 代表取締役 曾我部元親様



皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介にあずかりました北泉開発の曾我部と申します。この度、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブ様に入会させていた

だき、誠にありがとうございます。また、推薦に当たりましては、親戚で叔父にあたるマルカツ吉田新聞店の吉田会長様、そして地元で大変親しくさせていただいております小野寺社長、お二人の推薦をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げたいと思います。

仕事の件なのですが、今、小野寺社長からいろいろ説明がありましたが、本業は砂利砕石業、墓石を中心にやっております。最近、エゾシカ肉が少し有名です。で「北泉開発といえばエゾシカ肉」と言われることもあります。このコロナ禍で大打撃を受けていて、非

常に苦戦している部門でもございます。

また、いろんな活動を今までしてきましたが、ロータリー活動に関しましては全くの無知でございます。先ほど、脇さんからレクチャーをいただきましたが、まだまだ分からないことがございますので、今後は先輩皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りながら頑張りたいと思いますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

スポンサー 村上 祐二会員

私から本日入会されました濱口憲太さんの紹介をさせていただきます。冒頭、市橋幹事より「手短に、できれば30秒程度でやりなさい」と言われておりますので、手短にしたいと思います。



お仕事は、環境コンサルタント株式会社の代表取締役。環境テクノスではございません、環境コンサルタントでございます。環境テクノスの樋口さんと見た感じが公家のような感じで似たタイプですけれども、環境コンサルタントでございます。

お生まれは昭和52年、44歳です。濱口さんは、私は十数年前から一緒にいるのですが本当は真面目、曲がったことが大嫌いという方。私のように心身ともに曲がりくねった男では、たまに酒を飲んでみると冷ややかな目で見られることがあります。本当に素晴らしい青年でございます。

趣味はゴルフと水泳。ゴルフはハンディキャップ30。最近ゴルフに随分ハマっているということで、皆さんどうぞ誘っていただければと思います。ご家族は奥様と16歳の娘さん、12歳の息子さんです。

それでは早速、濱口さんから一言ご挨拶、お願いいたします。

環境コンサルタント株式会社

代表取締役社長 濱口 憲太様



皆さま、こんにちは。ただいま村上様よりご紹介を賜りました環境コンサルタント株式会社・濱口憲太と申します。天方様、村上様よりお声がけを賜りまし

て、正直、私ごときがこのような素晴らしい会に本当に適しているのかと大変恐縮な思いをさせていただいております。しかし、それにもまして歴史と伝統あ

る釧路ロータリークラブに入会をさせていただく光栄の思いが、私の中では溢れかえっている状況でございます。

弊社の創業者であります祖父がかつてロータリアンでありました時、私は当時7歳でありましたけれども、何も分からない中このように手をつないで歌を歌ったような記憶が微かに残っています。それから37年経ち、いま私は44歳でこのように皆さまにお迎えをいただいたこと、祖父は亡くなっておりますが、きっと喜んでくれているだろうと感じております。

釧路ロータリークラブの一員としてお認めをいただいた誇りを胸に、愛する郷土釧路に少しでも恩返しができますように先輩の皆さまに多くを学ばせていただきながらロータリアンとして真摯に何事にもチャレンジしてまいりたいと考えております。

活動もゴルフも頑張ります。皆さま、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

歓迎の言葉 杉村 莊平会長

お二人、ありがとうございました。大期待の新人お二人ということで、素晴らしいスピーチいただきましてありがとうございました。釧路クラブを代表して心から歓迎いたします。ありがとうございます。

手短にと思いますが「ロータリーの出席は義務ではなく権利だ」とよく言われます。せっかく入ったロータリーですからその権利を大いに活用して、楽しく有意義なものにしてもらえればと思っております。最初の三カ月に少し大変なところがあります。そこを乗り切ってもらえればだいぶ楽になってくると思います。積極的に飛び込んで一日も早く馴染んでいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

新入会員の配属について 杉村 莊平会長

配属委員会を失念いたしておりました。大変失礼いたしました。曾我部さんにおかれましては会員増強職業分類委員会、委員長は五十嵐委員長でございます。よろしくお願いいたします。濱口さんにおかれましては親睦活動委員会、委員長は滝波君でございます。よろしくお願いいたします。

何かありましたら配属委員長にご相談いただければと思います。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■

講師例会「鉄道ファンからみたひがし北海道の魅力」

株式会社釧路新聞社

代表取締役 星 匠様

プログラムの順番を変えていただいたりしてすみません。データをきちんと入れて来たつもりでしたが、残念ながら違うデータが入ってしまっていて、人生



で久しぶりに焦りました。いま準備をいたします。

今日は『鉄道ファンから見たひがし北海道』というお題をいただきました。一応、私も釧路新聞社の人

間なので、本来であれば地域のオピニオンリーダーとしての市役所どうなのか、商工会議所どうなのかという話が来なくて、最近私に講演してくださいというのは「鉄道の話」しか来なくなってきました。そんな中で少しお話させていただきたいと思います。

今日は花咲線と釧網線の魅力を中心に、この絵面でお話したいと思います。自己紹介は先ほどしていただいたので、最初のお話は花咲線と釧網線はこの辺ですよということです。

では、花咲線の魅力はということで。2週間ほど前、この講演をやるのだったら改めてこれに乗ってこなきゃとだめだということで乗ってきました。ちょっとご説明したいと思います。

花咲線は、まず釧路川を渡り、別保を過ぎると珍しくこういう山間地帯に入ります。緑色で見づらいのですが、これは谷内坊主（ヤチボウズ）です。秋から冬にかけてポンポン出てきて、特に本州の方には「会合やっているみたいだね」というお話も受けます。厚岸に近づくと、こういう海岸線を走ります。大黒島だとか遠くに厚岸大橋が見えて、沿線のポイントになっています。

厚岸を過ぎると、進行方向に向かって右側に厚岸湖が見え始めてカキの養殖場が見えております。続きまして、間髪入れずにラムサール条約登録湿地のひとつ、別寒辺牛湿原のど真ん中走って行きます。釧路湿原の釧網線も確かに良いのですが、ど真ん中走るのはここが唯一だと思います。

浜中町に入って行きますと、ルパン三世を作ったモンキーパンチ先生の生まれた所ですので、各駅にはこういったルパンや銭形警部がイラストで飾られております。浜中を過ぎるとだんだん酪農地帯に入って行って、厚床を過ぎると根室市の落石に入って行きます。ここは花咲線の最大のポイント。たぶんここが「一番日本離れをしている風景」だと思われます。この日は、私の精進が悪いのか霧が出ていて、奥の落石岬が見えないのです。本当は霧の先にダーッと岬が見える所なのです。が、私はこの景色もさることながら車窓の左側、こういう低木しか育たないような原野を進む、こういう所がかえって本州の方にとっては魅力的なのではないかなと思っています。

それから冬場ここに乗ると、エゾシカ君たちが周りに寄って来て、時々列車と衝突してひかれてしまいます。

そしてそれをオオワシとオジロワシが狙って、たまに列車と並行して走る感じになります。ただ、これも不幸にしてオオワシ君たちも列車にひかれるというのが、いま問題になっています。

この落石を過ぎると昆布盛駅、ちょうどサオマエ昆布の干しているところです。これも全部車窓から撮りました。釧路から根室までずーっと後ろのデッキに立って、こういう写真ばかり撮っておりました。

根室のひとつ手前が東根室という駅です。これは「日本で最東端の駅」で、ちゃんと標識が立っております。終着・根室です。この駅前のインフォメーションセンターには『北の勝』も売っています。僕が着きましたら観光協会の方がいて、ちょっとしたワゴンがあり、『サンマ弁当』も売っていました。私、この日は用事があるのですぐの折り返しの列車で帰って来ましてので、滞在時間は15分くらい。「サンマ弁当は大丈夫ですか」と聞いたところ、「すぐできます」と根室駅の建物にあるお蕎麦屋さんで調理してもらって、5分くらいでこの弁当が出てまいりました。

次は釧網線です。釧網線は釧路を出ると、最初は遠矢の手前にこうやって湿原が広がって釧路川が見える所があります。この辺から湿原が見えてきて、遠矢を過ぎると水門が見えてきます。今年は釧路川治水計画ができてちょうど100周年という記念の年で、今は弊社と釧路開発建設部さんと釧路建設業協会さんとかで、いろんなことを考えております。いま一番、釧路川の治水にとって大事なのが岩保木の水門、これが車窓から見えてきます。

これは釧路湿原駅です。これを横から見るとタンチョウが羽を広げた形と言われております。その後、達古武湖。そして細岡を過ぎて釧路川と一番接近する場所があります。ノロッコ号ですとここで徐行するのですが、私が乗ったのはノロッコ号ではないのでサーっと過ぎて行きます。ここでカヌーの方と会うと、お互いに手を振り合う光景が見られる所です。



続きまして、塘路を出て茅沼までの間、シラルトロ湖です。ここが湿原の本当にど真ん中を走って行く所です。

茅沼駅は冬になるとタンチョウが駅の周りに来ています。今は斉藤さんという方の大根畑になっていて、冬場はそこにタンチョウが集まって来る所です。

これは摩周駅です。摩周駅には足湯があります。ちょっと熱いですがいい感じのお湯です。次の川湯温泉駅も足湯があります。弟子屈町は温泉をうまく利用していると思います。

それから川湯温泉をひと山超えるためにトンネルを抜けて行くと、ちょうど今はジャガイモの花が一番咲いていて、斜里岳もバックに見える所です。馬鈴薯や小麦とか、この辺は畑作地帯だなという感じです。

知床斜里駅を過ぎると、止別、北浜、藻琴は昔の駅舎を利用したレストランやラーメン屋が入っていて大変美味しいのですね。私たち鉄道好きからすると、列車を見ながらご飯を食べられるという、こんな特等席はないのです。が、列車の本数が少ないので、列車ダイヤに合わせて行くしかないですね。

これは浜小清水。ここは道路の道の駅と一緒にあって、特産品なんかもずいぶん売っています。浜小清水駅の下にモンベル（mont・bell）さんが入っているのです。なかなか小清水町やるなと思っていたら、釧路でも三ツ輪さんがアウトドア専門のお店をオープンして、やっぱりこういうのがトレンドなのかと思います。

浜小清水を過ぎると原生花園の真ん中を過ぎ、一応、黄色やオレンジの花がちょこちょこ見えるのですが、これは車窓からです。この程度しか見えません。ただ、そのバックには知床連山が見えますので、ここも釧網線のポイントかなと思います。



これがいわゆる一般の方が「いいな」と思っている所なのですが、私たち鉄道好きから言うと、風景ももちろん良いのですが変なところに萌えます。釧路駅であ

れば、昔の改札はこんな感じで、電光掲示板の時計があって、「どこ行き」がぶら下がっていて、また、特急列車が入っていると、昔はこんな特急だったなとか、こういうのを頭に思い浮かべながら駅や列車を利用しています。

これ今の釧路駅なのですが、4番線・5番線から見ると何か変な建物があります。これは昔の雄別鉄道が走っていた時の跡で、この写真は昭和40年前後の釧路駅の駅裏を写した写真なのです。このように雄別鉄道の列車が走っていた所でした。

東釧路駅は昔、臨港鉄道が走っていたのでこんな広い構内だったのですが、今は住宅地になっています。

あと、上尾幌や尾幌とか。これは厚岸駅の2番線、3番線。これは昭和40年代に厚岸カキ祭りに臨時列車がボンボン出ていた時のものです。当時、車で行くという発想がなくて、臨時列車の利用が多かったようです。この車両の形を見て、僕らもまた「この車両、こんなだったよな」とかを厚岸駅に着くと思出すわけなのですね。

これはタカナシ乳業さん、茶内駅。昔は浜中町営軌道

が走っていて、ここにミルクを小さい列車で運んでいました。

厚床駅来ると、昔の『青春18切符』のポスターの基になった風景がここで見るができます。今もほとんど同じです。あと、厚床駅にターンテーブルという機関車をぐるぐる回すのがあって、これ今まだ残っています。

最後に、これは網走駅に着いた時なのですが、今の『おおぞら』の前の型の特急がまだ走っているということで、「この特急のエンジン音を聞いただけで、ちょっと萌える」という僕は、いわゆる変態なのです。これは皆さん理解しがたいものなのですが、線路や列車を見るだけで気分が高揚するというタイプなものですから。そんなことまず知ってもらえればと思います。花咲線・釧網線はたしかに観光客が多くなったのですが、一番多い利用者は高校生です。私はこういう人間なので、自宅は緑ヶ岡で東釧路駅から毎日のように列車で通っています。その時に、東釧路駅で厚岸方面や標茶・弟子屈方面からの高校生がすぐく降りて来ます。私、数えました。そしたら毎日、標茶・弟子屈から東釧路で降りるのが40から50です。釧路駅まで行く高校生もいるので、多分50～60人位乗って来ると思っています。厚岸方面からはもっと多くて多分、70～80人位来ると思っています。ちなみに彼らは厚岸発6時半の列車に乗って来るのです。ということは、釧路の高校に1学年分くらいの地域のお子さんたちが通って来るのです。「何で下宿させないのか」とお父さん、お母さんに聞いたことがあるのですが、「やっぱり高い」「今、下宿は実際のところあまりない。なので、列車の便は悪いけど通わせている」と。

右側の下に東釧路駅の様子が載っていますが、高校生がここから乗る自転車です。江南・明輝・工業・湖陵・北陽、武修館の子もいるかもしれませんが、ほとんどの高校がちょうど東釧路駅から近いのでここに自転車を置いて行くわけです。もし、ロータリークラブの皆さんで次どこに何か寄付したいなというのがありましたら、自転車を綺麗に並べる物があるのですが、それ東釧路駅にはないので、「星があんなこと言っていたな」と思ったら、余裕がある方は寄付をいただければ、そういう自転車を綺麗に整理する物を整備できたらと思いますので、よろしく願いいたします。

これは全く私見です。花咲線や釧網線も経営的には苦しいと思います。山田支社長さんがいる前と言うのも何なのですけども。僕なりに考えると、やっぱり貨物列車がないのが痛いと思うのです。旅客だけだと人口がたくさんいる所でないと経営的にかなり厳しいです。太平洋石炭販売輸送臨港線という昔の釧路臨港鉄道がつい2年前まで動いていたのは、貨物だけなのですけど効率が良いからですよ。2人の運転手さんと1人の車掌さんで720トンの石炭を一気に運ぶこと

ができるのです。これ、もしトラックで換算すると24人のドライバーさんがいないと運べないということで、やっぱり大量輸送には鉄道が一番だと思うのです。

もうひとつはやっぱり観光ですね。特にインバウンドの方は、レンタカーなどあまり使えない方もいらっしゃるし、高齢者の方もそうです。あと鉄道の路線があるということでもいろいろな地図に載りますので、そこが注目されます。だから観光が大事だと思うのです。

たぶん、皆さんそうだと思うのですけども、美味しい料理にお酒は欠かせないわけなのです。私もお酒を飲みながら列車に乗るのが一番の時間だと思っています。

お酒を飲むには車では行けないので、やっぱり公共交通機関を使わざるを得ない。でもバスでお酒を飲むのはちょっと辛いので、そこで列車になるわけですね。そうすると、車窓を見ながら飲んで食べるというのが一番だと思います。

左側の写真ですけど、これは以前、釧路支社さんに『バーベキュー列車』というのがあって、これは私のお仲間たちなのですが臨時列車を仕立てて、帰りは酒を飲みながらバーベキューをつつつきながら来るという列車が昔ありました。最近はないのですが札幌に出張で行った時に、夕方の特急に乗って帰る際、コンビニとかで酒やつまみを買って、列車の中で、1人で飲んで。僕らは『居酒屋おおぞら』と言って楽しみながら帰ってくる、これがやっぱり一番かなと。

こういう別寒辺牛湿原の自然を見ながら、花咲線沿線には、福司あり、厚岸ウイスキーあり、厚岸の氏家のカキ飯あり、タラバガニチラシとか、いっぱいあります。そして、根室方で行くと落石の海岸を見ながら、エスカロップは重たくなってきたので食べられないですけど、浜中のソフトクリーム、忘れちゃいけない北の勝、こういったものを食べたり飲んだりしながら、オオワシを見ながら、とかがやっぱり一番いいかなと思うのです。

J R北海道さんではこういうハマナス編成という観光列車を作って、今度10月にぐると、ひがし北海道を回るようになっています。こういう列車も良いのですが、ここら辺を走っている普通の列車をちょっとだけ改造して、ああいうテーブルを付けて楽しめるのがいいなと私は思っています。一例ですけど、レストラン・イオマンテの舟崎さんにフレンチのいいのを作ってもらとか、都寿司さんで寿司を出すとか、そんなのがあればいいかなと。

寿司が良いかなと思いました。お寿司はカウンターで食べるのが一番いいのですが、実は1960年代に当時の国鉄で「寿司カウンターを備えたビュッフェ」という食堂車が実際にあったのです。こういうのを『おお

ぞら』の端っこでも良いのですが作ってもらえないものだろうかと思いました。

最後に「1人、1年、4,000円」と書いているのは、以前に「JR北海道さんのために、必ず道民1人が今乗っている以上に、プラス4,000円乗れば、それなりに経営が安定するのではないか」と言われたこともあり、皆さんのようにJRさんを利用する機会、特に花咲線、釧網線、なにも用事がないのに乗るかというところではない。じゃあ、そのきっかけとしてさっきの生寿司列車や飯寿司列車とかイタ飯列車、あとは炉端列車があると乗りやすいのではないかなと思っていました。

もうすでにやっている所があります。函館に『道南いさりび鉄道』というのがあって、『ながまれ号』というなんも変哲もない、列車を少しだけ改造して車内で食事を楽しめるようにしました。これに地元の方々がいろんな特産品を売りに出て来るわけなのです。

千葉県の『いすみ鉄道』では『お寿司・天ぷら列車』を作り、車両はこの辺で走っている列車にテーブルを付けただけなのです。こういうのがあるとどうでしょう、皆さんも乗りたいなと思うのではないのでしょうか。そこで結論ですけど、いま「ひがし北海道ブランド化」というのがありましたけど、鉄道を利用した観光客の方にそういった食材も「全部、これ、ひがし北海道の物だよ」「釧路・根室の物だよ」とアピールする場にもなってほしいのです。さっき「路線の名前変えた方がいいのじゃないか」とお話がありましたが、私もそれは賛成で、どうせなら花咲線をひがし北海道根室線とか、ひがし北海道釧網線とか、そういう感じに変えていくのもひとつの手かなと思いました。

こういうことやることによって鉄道の利用が増え、地域の食材の利用率もアップすると、地域の経済に貢献しますし、何よりも皆さんの身近に鉄道が感じられるのではないかなということでもあります。

というわけで、本当に早口で終わりましたが、以上、私の講演を終わらせていただきます。皆さん、ご清聴ありがとうございました。

会長謝辞 杉村 莊平会長

星社長、ありがとうございました。写真も満載で、分かりやすく楽しい講演をいただきました。我々も大変ヒントになったことが数多かったように思います。気のせいか、小野寺君が身を乗り出して、非常に共感しながら見ていたのを、この席から本当によく見えました。

なにせ、われわれとしては会長挨拶で言ったように「あって当たり前」と思わないことが大事だと思っております。日本製紙しかり、無くなってから「あらっ」と思わないで。やっぱり釧網線、花咲線という素晴らしいものがあることをしっかり認識して、これから活

用するように応援していきたいと思います。本日はありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 荒井 剛君 先日の日ハム戦、オリックスの来田選手のおかげで小野寺組とともに全国デビューしました。
- 小野寺 俊君 来週発表の釧路～白糠開業 120 周年記念切手シートに写真を採用して頂きました。

今年度累計 41,000 円

2021.7.29 (木)
第 4 回例会
(通算3631回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ

本日のプログラム 「スタートアップパワーランチ」(担当:親睦活動委員会)

次週例会 「台北中央ロータリークラブ 姉妹クラブ締結報告 / 会員卓話」(担当:国際奉仕委員会)

■ロータリーソング:「それでこそロータリー」 ■ソングリーダー:熊谷 任明君

■会員数 98 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はお続けください。本日も多数のご出席をいただきまして本当にありがとうございます。すみません、反省ができていなくて。先週も少し席が足りない状況で皆さまにご迷惑をおかけしましたが、本日も少々席が足りない状況になりましたことをお詫び申し上げます。来週から改善させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

今日は、久しぶりにゆっくりとした時間で、この会長挨拶を迎えられましたのでゆっくりとお話をさせてもらえればと思っています。

協会長年度の時に、隣でよく協会長が「1 週間はあっという間に来るのだけれど、1 カ月は経つのが遅い」という話を散々していました。いま 1 カ月が経とうとしていますが、この言葉がいましみじみと心にしみてくる今日この頃でございます。「まだ 1 カ月経っていないのか」というところですが、引き続き頑張っていきたいと思っています。

その中でひとつ、皆さんにまずご報告をさせていただきます。先日、8 月のプログラムを流させていただきましたが、8 月 26 日の第 4 例会をいまのところ夜

例会にさせていただこうと思っております。理由としては、8 月末ということでも少なくとも 65 歳以上の方々にワクチンが出回るだろう。他の市内のクラブは 6 月から通常に夜例会を行っていることを踏まえて。最後に釧路地域のコロナの感染状況が沈静化しているだろう。が 3 つ目の理由だったのですが、昨日少々上がりまして 12 名となっております。

一応いまのところ、目標として 8 月末に夜例会を再開したいと思っています。これは臨機応変に、8 月のお盆前ぐらいの状況を見たらうで判断をしたいと思っておりますが、その判断をしているということだけ皆さんのご理解ご協力をお願いしたいと思っております。

さて、ゆっくりということで。私はいま 56 歳になってきますが、50 歳を過ぎたところから「やはり、この釧路クラブが 1 番居心地のいい素晴らしいクラブだ」と考えてきました。この居心地の良さはどこから来るのかと思っている時に、このようなエッセイを読みました。うまく話ができるかどうか分かりませんが。親子で散歩をしているお父さんが、9 歳の息子に「お父さん、俺ね、自分で頭が良いと思っているんだよ」と言われます。確かに学校では勉強もできるし運動もできる。目立つ存在の息子ですが、そのようなことを言うようではロクな大人にならないと思ったお父さんは、ここでソクラテスの「無知の知」の話を返し技として出します。

この「無知の知」は、「俺は何でも知っているぞ」という相手に対して、「いや私は自分が無知ということを知っている分だけ君より賢いよ」というカウンターを当てる最強技です。

それを返したら、息子が「いやいや、お父さん違うよ。いまはそんな時代じゃないよ。いまネットでそんなことを言ったらバカにされるだけだよ」とすかさずクロスカウンターを返すわけです。

「うーん」となったお父さんがふと思ったことは、ソクラテスが言いたいことは知性ではなく品性ではないかと。この社会で大事なことは知性だけを誇る人間に対して、賢者的な態度で静かに諫める品性なのではないかとお父さんは考える、というお話です。

ここでなぜこの話をしたかという、このエッセイを読んで僕が思ったことは、これはまさに釧路クラブのことではないかと思ったわけです。

どういうことかという、毎年若いイケイケのお山の大将・新入会員が入ってきます。そこで釧路クラブにいるいまはもう立派な賢者となった元『お山の大将』が静かに諫める、背中で語りかける。そうすると、よほど鈍感ではない『お山の大将』は、いかに自分が素晴らしい環境にいるかを気付き始めて知らず知らずのうちに賢者へと向かって行くというシステムができてるのが釧路クラブではないかと思っています。

釧路クラブは、この85年の歴史の中で歴代の『お山の大将』が長い・長い戦いを繰り返して、この品性を土台にした素晴らしい釧路クラブの風土・歴史をつくってきたのではないかと思っています。また今回85周年ですので、この85周年の役割はいままで歴代の『お山の大将』様たちに感謝をすることが、この85周年の役割ではないかと思いました。という構想に半年かかった会長挨拶でした、ということで。

今日例会をさせていただきますが、今日お話いただく方々もさぞかし賢者になっている、かなりのレベルに達している方々だと確信しておりますが、今日の設えはやっと来ましたまさにマッハのスピードで賢者に向かって爆進中の瀧波委員長です。親睦活動委員会の皆さんには、コロナの中で大変ご苦勞をされながら活動いただいていることに感謝を申し上げまして会長挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。クラブに今年釧路にて行われる「地区大会」の案内が届きました。後日、皆さま方には、正式にスケジュール等々のご周知をさせていただきたいと思っておりますので、まずは地区大会のご案内が来ていることだけご理解をお願いいたします。

皆さま方に参加をしていただきたいプログラムとし

ては、10月10日(日)の1日開催となっております、国際交流センターで開催される予定となっております。また今年度はコロナ禍で「大懇親会」等々は開催されない模様です。また、合わせまして「地区大会決議事項」をそちらのホワイトボードに貼らせていただきました。「第1号議案から第9号議案までの周知を各クラブメンバーの皆さまにお諮りください」というご案内が来ておりますので、ホワイトボードに掲示しております。

皆さま方には、お時間があります時にご一読いただければと思っております。8月25日までに皆さまのご意見を頂戴した中で、先方に返信したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

転勤挨拶

日本銀行釧路支店 熊谷 任明支店長



皆さん、こんにちは。マスクを外してご挨拶をさせていただきます。先ほどご紹介いただきましたとおり、今週月曜日付けの辞令で東京の

本店に戻るようになりました。ほぼ2年間ということで、大変ありがとうございました。

着任が、2年前の8月頭でしたけれど、ロータリーには8月下旬に木下さんがスポンサーで入会をさせていただきました。その後間もない10月に「地区大会」がありました。それに親睦活動委員会で参加をさせていただきました。それを機会に皆さまとお近づきになれて、ロータリーの活動はスムーズに行けたと思っていました。たまたまでしたけれど大変ラッキーだったと思います。

その後、半年ぐらいでコロナということになりました。以後、緊急事態宣言などで活動が休止になり、それが後半の1年半ありましたけれども、その中でもロータリーに参加できる時に参加して、皆さんといろいろなお話をさせていただいたことは、私にとっても大変ありがたかったです。

また、この2年間で活動休止期間が多かったにも関わらず、2回ほどお話をさせていただく機会もありました。こちらも大変光栄でしたし、私も支店長をやって良かったと思えた機会のひとつでございました。

私の場合、珍しく子供が小さいものですから家族で釧路に来ていまして、息子も夏休みが始まる前で、お別れ会をやってもらいました。後半の半年ぐらいは毎日のように放課後、友達と遊んで馴染んでくれたのを引き離すことは少し辛いですが、これも息子の成長にとって良い機会になったと思っております。

この後、私は本店の検査室の検査役というポストに就きます。これは日銀の内部で、本店・支店あるいは海外事務所も含めて定期的に検査に入る機会がありまして、そのようなことを行う立場であります。私は今まで検査を受ける立場を何回も経験しましたけれども、検査に行く立場は初めてです。コロナ禍での支店運営1年半、苦労した経験を活かしながら、またいろいろな人たちの悩みにも正面から向き合ってなにがしかのアドバイスもできればと、抱負として考えております。

後任は、二宮という者で、本店の金融市場局で総務課長を務めていまして、そこからまいります。日銀のいろいろな金融政策を決める会合では、政策を決めるうえで市場の状況がどうなっているか判断をすることが前提となりますけれども、そのようなことを主に担当していた者であります。それ以前も、いろいろなポストを回って来ておりますので、二宮も皆さまのお役に立てることもあろうかと思っておりますので引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

2年間、誠にありがとうございました。

嵯峨記念育英会から報告

公益財団法人嵯峨記念育英会 吉田 潤司前理事長

皆さん、こんにちは。簡単に報告です。私は公益財団法人嵯峨記念育英会理事長の吉田ですが、先般の育英会理事会で私は退任をしまして、新しく新理事長として石田博司君が選任されましたのでご報告させていただきます。

これからも給付金やいろいろな問題があると思いますが、その意味では若い人に代わってもらって少し改革ができればと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

公益財団法人嵯峨記念育英会 石田 博司新理事長

第5代の理事長吉田潤司さんの後をご指名いただきました石田です。改めてよろしくお願いいたします。嵯峨育英会は、チャーターメンバー・嵯峨晃さんが昭和36年に設立されました。その時の拠出資金が1,000万円、いまの貨幣価値で言いますと1億円ぐらいだろうと言われています。

1億円という私財を出して青少年育成のための財団を設立した、その精神が脈々と釧路ロータリークラブに受け継がれているから、先ほどの会長に対するアンサースピーチではないですけども、それが雰囲気としてあるのがわがロータリークラブではないのかと私は思います。

人材の育成というのは、人類の重要課題のうちのひとつだろうと思います。いま釧路は経済的に大きな大打撃を被っている状況の中、何よりも明日の釧路・北海道・日本を担う若者の育成にわれわれ先輩たちが

心を砕かなければいけない時期だと思います。

大変なウイルス感染症もありまして、価値観の大転換のときに運が悪くというか、試練の機会をいただいたというか、果たして私ごときで青少年育成が担えるのか、と思いますけれども、まずは皆さまのご協力をいただいて明日の釧路をつくるために微力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ スタートアップパワーランチ

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

皆さま、お疲れ様です。ただいまご紹介いただきました親睦活動委員会委員長の瀧波です。どうぞよろしくお願いいたします。まだまだ賢者見習い中ですので、品性に欠ける発言が多々あるかもしれませんが温かい目で見守っていただければと思います。

さて、7月から始まりました2021年度体制ですが、この1年間を担う委員長・大委員長のご紹介がまだできていなかったことから、本日の昼例会にてぜひこれを行いたいということで開催をさせていただきました。

時間の関係上、大委員会ごとにご登壇いただきます。大委員長には各委員長をご紹介いただき、各委員長から1年間の抱負を2～3分程度で述べていただけるとありがたく存じます。

それでは、早速スタートしたいと思います。はじめにクラブ広報・会員組織委員会、村上大委員長、ならびに横田委員長・五十嵐委員長・天方副委員長、ご登壇をよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長



皆さん、こんにちは。クラブ広報・会員組織委員会委員長を務めさせていただきます村上です。いまの説明を聞いていると、私には「喋る

な」と聞こえたので喋りませんけれども、ただただこの1年間釧路ロータリークラブの活動を自分自身が楽しむそんな1年にしていきたいと思っております。瀧波委員長に続き品性に欠けるお山の大将、大委員長ですけども、皆さん1年間よろしくお願いいたします。

それでは、クラブ会報の横田委員長からお願いいたします。

クラブ会報・雑誌委員会 横田 英喜委員長

本年度、クラブ会報・雑誌委員会の委員長を務めて

おります横田と申します。副委員長にはいま写真を撮っていただいております柴崎さん。委員の方にも協力をいただいております。



個人的な話で、嬉しいと思ったことは昨年まで一緒に副幹事をしていた池田さんも同じ委員会に属しています。勝手に「イケヨコペア」と感じていて、また安心して池田さんに頼りながら今年1年間過ごしていきたいと思います。

このような不規則な発言をしても議事録は職権で消させていただきますので安心をして皆さんも自由な雰囲気発言をしていただきたいと思います。

また、クラブの写真を撮ってホームページにあげて、釧路クラブは楽しく過ごしていることを地域に発信をしていきたいと思いますので、皆さんどうぞ協力をお願いします。

ありがとうございます。

会員増強・選考・職業分類委員会 五十嵐 正弘委員長



皆さん、こんにちは。会員増強・選考・職業分類委員会委員長を仰せつかりました五十嵐です。

今年度、当委員会では「5%の純増」と

いう大きな目標を掲げて既に動き出しております。年度が始まる前から、杉村会長の熱い思いと委員会の重要性についてレクチャーを受けまして、また大きなプレッシャーもいただきまして、早くから動き出しております。しかしながら、二つ返事で入会を決断してくれる皆さんがなかなかいませんので本当に苦慮しているところです。

先ほど会長からありましたけれども、釧路クラブの素晴らしい魅力と仲間をみんなに分かりやすく説明をしながら根気強く口説いていきたいと思っております。

何分、未熟者でございますので、お手伝いをお願いする機会も多々あるかと思っておりますけれども、優しく手を差し伸べていただけたらと思います。

1年間頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

クラブ研修委員会 天方 智順副委員長

研修委員会副委員長・天方です。今日欠席の協委員長、そして舟木副委員長と3人で務めてまいります。会長のお話にありました、どう見ても協委員長が昔はお山の大将、舟木さんもお山の大将、私はどうか分か



りませんが。今年に限って言えば、行き場のない吹きだまりのような三人衆となっております。

先日、会長と協委員長と私で委員会をいたしました。会長は思い起こされること・やりたいことがあるそうですので、炉辺会合も久しぶりに復活して、皆さんにうとんじられない研修委員会として1年間頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長



今年度、奉仕プロジェクト委員会を率いることになりました小野寺でございます。よろしくお願いいたします。

見てのとおり強力な

布陣でやらせていただくことになりました。ですので、大委員長の私が不適切な発言・行動をして辞任に追い込まれないように十分気を付けながら杉村年度を支えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、社会奉仕委員会・須藤さんからお願いいたします。

社会奉仕委員会 須藤 隆昭副委員長



社会奉仕委員会副委員長の須藤です。よろしくお願いいたします。

3年目になりますけれども副委員長という役割をもらったこと

が初めてで、まだまだ会長方針にある自分自身がロータリーを楽しめていないこともありまして、こういうテーマを掲げていただいた杉村会長の下、自らが楽しみ、そして地域を育むための社会奉仕活動、特に今年は85周年ということもありまして記念行事も控えております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会 吉岡 央委員長

職業奉仕委員長の大役を仰せつかりました吉岡と申します。よろしくお願いいたします。ロータリークラブだけが持つ職業奉仕を行って社会奉仕活動ができればと思っています。

具体的には、昨年コロナで実施できなかった「職場訪問例会」を実施させていただいて活動をしていきたいと思っています。



とはいえ、私自身も会員になりましてまだ日が浅く、職場訪問例会を体験したことがありませんので、先輩にいろいろ指導をいただきながら行っていききたいと思っています。

私はこのような身なりなので社内では品性のない方の人間の扱いをされていますが、釧路ロータリークラブの名を汚さないように1年間頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会 荒井 剛委員長



今年、国際奉仕委員長になりました荒井です。よろしくお願いいたします。

国際奉仕に関しては3回目になると思いますが、直近で国際奉仕事業に携わったものとしては3年ぐらい前、邵年度だったと思いますが、タイのカンチャナブリーに皆さんと一緒に行き「結核キャンペーン事業」に関わらせていただきました。その前にもタイの他の地域で水の事業、クラブの80周年事業の時には、プータンに行かせていただいたこともあります。

国際奉仕事業は、国際奉仕事業をとおしてでしか味わうことができないものがたくさんあると感じております。ただ残念ながら昨年もそうですし、今年もそうですし、コロナの関係で日本国内もそうですが、海外にも行けないような状況です。

その状況ですので今年度、具体的な何か国際奉仕事業ができるかと言われれば難しいかもしれませんが、ここ10年ぐらいで行ってきた釧路クラブの国際事業を検証して、今後また何か新たな事業ができないか、今年1年間取り組んでいきたいと思えます。

また近い将来、国際奉仕事業として参加することができましたらぜひ皆さんと一緒にいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

青少年奉仕委員会 佐藤 貴之委員長

青少年奉仕委員会の佐藤です。私も今回青少年委員会の委員長2回目を仰せつかっております。

前回、青少年奉仕委員会をやった時は、野球大会のグラウンドを確保することが非常に大変で、副会長の浅川さんが当時の幹事でした。公立大学をお借りし、厚岸

まで行って球場をお借りしてと、当時幹事の浅川さんにも厚岸まで来ていただいて本当に大変な思いをしました。また今年、「委員長を」と



伺った時に、グラウンドが大変だなということが第一印象でした。

当初は「コロナで市民球場が空いている」という話で今年は楽だなと思いきや、ふたを開けたらもう予定がいっぱい詰まっている。「グラウンドはもう硬式を使えませんよ」という話を突然されて、本当に1カ月前「どうしよう」と。そこで急に、工業高校から「使っても良いよ」とお話を奇跡的にいただきまして、今回はそんなに苦戦をせずグラウンドを何とか確保できた経緯がありました。

前回も大変な思いだったのですが、いま函館にいてほとんど釧路には帰って来ない浅野さんが副委員長となっております。今回は顔も見えていない感じなのですが、小野寺大委員長と幹事にご相談をさせていただきまして、何とか進めさせていただいております。

このコロナ禍、去年は全く青少年、開催できていなかったもので、今年は何とかうまく開催できればと思っております。

どうぞ、皆さんよろしくお願いいたします。

ロータリー財団・奨学推進委員会

栗林 延次副委員長



それでは、ロータリー財団と奨学推進委員会の発表をさせていただきます。本日は甲賀委員長が出張中のため副委員長の栗林でございます。

それぞれ委員会から報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

ロータリー財団寄付推進委員会 濱谷 美津男委員長



ロータリー財団寄付推進委員会の濱谷です。例会よりもゴルフ場で会う方が多いと思いますが、ロータリー財団の寄付推進

委員会という寄付金集めばかりしているのかなど。その年次寄付金も財団のファンド、DDFやWF、地

区や国際の活動資金からクラブ、また地区の地区補助金事業やグローバル補助金事業に当てられているものです。ロータリーとして大変重要な役割を果たしている部分でありますので、ご理解をいただけた中で寄付を募ってまいりたいと思います。

また、最近コロナ禍の中で補助金事業もなかなか進まない状況、お金の集まり方も少なくなっていることで、DDF・WFの配当のやり方も多少変わってきて、財団のルールもそれに伴って変更をしています。

あとは、『ポリオプラス』ということで、ポリオ撲滅を進めていますが、昨年、アフリカの方の野生種のポリオが撲滅されました。しかし、ゲイツ財団やユニセフなどばかり報道に上がりまして、ロータリーが皆さまに伝わっていない現状であります。そのようないろいろな情報をメンバーの皆さまに広げ、寄付を募ってまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

米山記念奨学会委員会 川本 和之委員長

こんにちは。米山記念奨学会委員会の担当をいたします川本です。副委員長には、米本さんをお願いをしております。先ほどテーブルでお



話を聞いていたら「いろいろな委員会があるけれど何をやっているのかよく分からない」という意見がありましたので、この米山奨学会委員会を少し説明させていただきたいと思います。

米山というのは、米山梅吉さんは日本のロータリー創設からの方で、その方の名前をとっています。自費で留学をされている各国の方々に奨学金をお渡しし、活動をしていただくのをロータリーとして、国内の民間では一番大きい奨学会ですけれども年間、約900人位の方々に支援をさせていただいている委員会です。なかなか直接支援という形にはなりませんけれども、この釧路クラブは、今年10月31日にゴルフ大会を行います。その時に同時開催で、できるだけ多くの方に参加をしていただいて私財をつくって支援をしていく。またはこの米山の内容をより多くの方に理解をしていただいて、賛同をしていただく活動をするということが、この米山の委員会の目的です。

なかなか難しい委員会ではありますけれども1人でも多くの方に内容を理解していただき、またこの財団は、だいたい「寄付をお願いしますよ」という形が多い委員会ですけれども、ぜひその内容を理解していただきながら皆さんと一緒に1年間頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長



嵯峨記念育英会委員会の委員長を務めさせていただきます清水です。この委員会につきまして、僕が説明をしようと思っていまして先

ほど石田新理事長からご丁寧なご説明がありましたので、そこは割愛させていただきます。

1番の問題は、身近な方たちを奨学生としてお迎えして、旅立って行くことをサポートすることだと思いますが、このコロナの中で、皆さんの顔がきちんと見えるように、ご活躍を、あるいはこれからこのようなことがしていきたい、をうまく伝えられるかが大事だと思っています。

皆さまのご協力をいただいて活動をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



クラブ運営委員会の大委員長を引き受けさせていただきます中島でございます。1年間、よろしくをお願いいたします。

私のところの3人、出席委員会樋口委員長、プログラム委員会工藤委員長、親睦活動委員会の瀧波君という形になっておりますが、私は選んでおりません。会長の直接指名でございます。「ロータリーに思いのある3人に頼んだので後はよろしく」ということで、私はここにはまっております。

それぞれ時間が後7分ございますのでよろしくお願いしたいと思います。それでは、1年間よろしくお願い致します。

出席委員会 樋口 貴広委員長



今年度、出席委員長を務めます樋口です。よろしくお願いいたします。通常であればクラブ運営で出席が一番先に話すはずなので、身構えて

いたのですが、ちょっと出鼻を挫かれた感じで時間調整的な立場になっております。

今年の当委員会の目玉は「メイクアップ体験」を8年ぶりぐらいで行います。なぜこんな時期にと思う方

もいらっしゃるかもしれませんが、私もそう思っています。

ただ杉村会長からの厳命で、「これはぜひやってください」ということですので、社会情勢にもよりますが、年明け2月～3月に予定をしておりますので、ぜひ多くの方々に体験参加をしていただきたいと思います。他のクラブへ行って他のクラブを知るということは、自分の釧路クラブを見つめ直せる良い機会になると思っています。

私も過去何度か幹事の立場として他のクラブを訪問しております。そうするとウチのクラブの良さなどいろいろ見えてきますので、ぜひ一度、参加されていない方も参加をして、そういう機会につなげていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

入会20年、まだ賢者になれずにチョロチョロしている今年度プログラム委員長を仰せつかりました工藤です。

活動計画書には、いろいろ書かせていただきましたけれども一番大切なことは、会長の思いをどうプログラムの例会に乘せるかだと考えております。一度会長とお話をした結果、かなり数多くのやりたいことが、思いがあるみたいです。きっと滝越年度に食い込むぞ大変だと思っていましたけれども、少しは絞り込んでいきたいと思っております。

メンバーもNHKの小野さん、道新の竹村さん、木下さん、森村さんと知識と情報と人脈の豊富な方を配置していただきました。かなりのことはできっております。1年間、いろいろ皆さんにはご協力をいただくこともあると思います。よろしくお願いいたします。



親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

そして、私は親睦活動委員会、先ほどらい自己紹介をしております委員長の瀧波です。副委員長には石田さんと松井さんにやっていただきます。

この親睦活動委員会ですが、本来コロナでなければロータリーを楽しむという中核の委員会になるかと思うのですが、マスクを外して夜の例会等ができ



ないという中で、この年度においても感染拡大の防止と、合わせて会員間の交流の充実、この両極端なことを一緒にやっていかなくてはならない年度だと思っております。

とは言っても元々、楽しいこと大好きな私ですので、皆さんに笑顔になってもらえるような1年の夜例会を作り上げていきたいと思っておりますので、どうか1年間よろしくお願いいたします。

得地 哉副幹事



皆さん、こんにちは。「リリーフ登板があるかもしれない」とは聞いていましたけれど、いま時間を見てもう終わりとすっかり油断を

しました。

もちろん1年間頑張らせていただきますが、自己紹介を忘れていました。今年度副幹事をおおせつかりました得地です。よろしくお願いいたします。

私は、熊谷さんと同じ日の入会で、それから同期みたいな感じで、同じ委員会だったりしたものですから、そのようなことを思いながら今日は熊谷さんの話を聞いていました。

今後1年間、もう始まっていますけれども熊谷さんの思いも引き継ぎつつ頑張っていけたらと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

田内 康章副幹事



皆さま、こんにちは。今年度副幹事をおおせつかりました田内でございます。昨年の7月に入会をさせていただきました。

昨年の年末に杉村会長から「副幹事をやってくれないか」というお話をいただいたのですが、例会の休会が結構多かった中で、右も左も分からなかったもので断るにも断り切れず、やらせていただきますということになりました。

やっと約1年が経ちまして、本当に釧路ってすごく良い街だと分かってきて、体もかなり釧路に慣れてきたところでこの暑さは相当こたえています。皆さまもご自愛いただければと思っております。

微力ではありますが、釧路ロータリークラブ、ひいては釧路に少しでも貢献できるように一生懸命頑張ります。皆さま何卒よろしくお願いいたします。

2021.8.5 (木)
第 5 回例会
(通算3632回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間
本日のプログラム	「台北中央ロータリークラブ 姉妹クラブ締結報告 / 会員卓話」(担当：国際奉仕委員会)
次週例会	講師例会「JAL の地域での取り組みについて」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：「君が代」「奉仕の理想」 ■ソングリーダー：樋口 貴広君
- 会員数 99 名
- ビジター RID2500 地区大会 植原 元晴実行委員長 (釧路ベイ RC)
地区財務委員会 渡辺 雅樹委員長 (釧路ベイ RC)
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方はお続けください。本日は多数のご出席をいただきましてありがとうございます。まず、ご報告から。8 月 1 日、全道中学親善硬式野球大会が無事に工業高校グラウンドにて行われました。早朝、少し雨があって天候が心配されたのですが関係者のご努力もありまして、無事 3 試合完全に開催させていただきました。改めまして、佐藤委員長率いる青少年奉仕委員会の皆さん、そして当日応援にかけつけていただきました釧路クラブの皆さん、本当にありがとうございました。この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

もうひとつ、大変嬉しいニュース、素晴らしいニュースです。うちのメンバーの東堂君のお嬢様がこの度、女子サッカーのアンダーフィフティーン (U-15) の日本代表に選出されたようです。以前から、お嬢様が「サッカーをやられていて中学からサッカー留学で札幌に行かれている」とは聞いておりましたが、日本代表とはすごいことです。パリオリンピックの『なでしこ』の代表と勝手に思っておりますが、これはご本人とご家族の努力の賜物だと思っております。お父様

におかれましては、格別なニコニコを期待しております。ぜひ、よろしくお願いいたします。

さて、今日の例会内容についてお話しさせていただければと思っております。

姉妹クラブの件です。2016 年、台北中央ロータリークラブと姉妹締結してから今年で 5 年が経過となりました。当初の規定では「3 カ月前までに意思の確認をする」規定になっておりましたので、舟木年度の 5 月に意思の確認が行われまして、先日、郵送のやりとりで姉妹契約の再締結が完了しております。

ここに至るまでは今年度、荒井国際委員長が年度をまたぎながら台北さんと大変ご苦労しながらの折衝に当たっていただいております。荒井委員長にはこの場をお借りして感謝とお礼を申し上げたいと思います。

せっかくの機会ですので、私の方から台北中央ロータリークラブとの姉妹締結の馴れ初めについて、簡単にお話させていただければと思います。

2010 年羽生会長年度の初めに、台湾のライパストガバナーから当クラブの小船井パストガバナーに友好クラブのご相談があったのが始まりと聞いております。その後、2010 年の 4 月に「まず話を聞いてみよう」と羽生会長が台湾を訪問したのが始まりです。

その後、年度が変わり尾越年度の 7 月に台北中央ロータリークラブの方が初めて釧路に来られたことから相互の訪問が始まりました。その後 2013 年の吉田秀俊

会長年度に台北を訪問した時に、台北から正式に「釧路クラブの80周年の時に姉妹クラブを締結してはどうか」と提案があって、話が具体化していきます。その後、2016年8月に木下会長年度に姉妹クラブ締結がされ、その年の11月、当クラブの80周年に正式に台北の方々が姉妹クラブのメンバーとして来ていただいたのが経緯でございます。

今日の例会では、お互いの会場をネットですつないで合同調印式を行う案があったのですが、このコロナの影響でなかなか準備が進まずにいて、今日は報告だけの例会となってしまうことをぜひご理解いただければと思います。

それにしましても、正式に5年間延長しての台北との姉妹クラブ再締結となりましたので、改めてお互いに負担感をなるべく持たないながらも、より深い交流、楽しい交流を続けていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

もうひとつ、今日はその時間を利用して、転勤族の皆さんからの卓話をお願いしております。先日も日銀の熊谷支店長が異動になりましたが、このコロナの中でなかなか顔を合わせずに転勤族の皆さんが異動になってしまう経過になりつつありますので、異動してしまう前に、外からの目線を持っている皆さんから、この釧路についてもぜひ辛口を含めたアドバイスやメッセージをいただいて、私のテーマであります地域を育むヒントにしたいという思いの企画でございます。

以前、吉田秀俊パスト会長は会長挨拶の中で、素晴らしい挨拶だったのを思い出してご紹介いたします。「釧路クラブの素晴らしさはこの風土にある。この風土は何かというと、この地元のメンバーが土だとすれば、転勤族のメンバーが風である。この土と風が絶妙なバランスを保って成り立っているのがこの釧路クラブなのだ。この風土を大切にしなければならない」と吉田パスト会長がされたのを本当に記憶しております。

本日はその思いを含めながら、転勤族の皆さんに改めてこのクラブを支えていただいている大きな柱だという感謝の念を持っていただきながら、ぜひお話を聴いていただければと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします

幹事報告 市橋夢佳丞 幹事

皆さま、こんにちは。それでは幹事報告させていただきます。詳細は皆さまにお配りの例会案内をご一読いただきたいと思います。

8月のロータリーレートは110円となっております。また、本日は皆さまのテーブルに出席確認シートが配布されていません。事務局のプリンターの調子が悪くて印刷できませんでしたので、まずは私からお詫びを

申し上げます。申し訳ございませんでした。出席の方は副幹事がしっかり取っておりますのでご安心ください。よろしくお願いいたします。また、メイクアップ等々の申告は副幹事にお申し付けいただくか、次回の例会の時に書きいただければと思っております。先ほど小西様が入会されました。今現状、99名となっております。100名までもう1歩です。ぜひ皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。以上、幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

RID 2500 地区大会のご案内

植原元晴地区大会実行委員長

渡辺雅樹地区財務委員長

皆さん、こんにちは。今年度、地区大会実行委員長を仰せつかっております釧路ベイロータリークラブの植原と申します。隣におりますのは財務委員長の渡辺雅樹君です。



本日、お伺いしたのは、本年度の地区大会の登録のお願いにまいりました。

本年度の地区大会を来る10月10日、国際交流センターで行う予定でございます。昨今、コロナ禍の影響で会合がみんなオンラインになってしまっていて、昨年度の地区大会もオンラインで非常に寂しい会が続いているのですが、現在、コロナのワクチン接種が徐々に進んできている状況で、10月頃にはかなりの方々にワクチンが行き渡るのではないかと予想をたてまして、10月の地区大会は現地開催とさせていただきます。まだ感染状況が非常に厳しい状況ではございますので、感染対策を十分にいたしまして、地区大会を準備してまいりたいと考えております。

地区大会では記念講演といたしまして、法政大学教授の坂本光司様にご講演を賜る予定です。ただ、残念ながらコロナ禍の影響、コロナの感染対策ということで目玉の大懇親会は残念ながら中止とさせていただきます。また、会期も当初は2日間を予定していましたが、これを1日に短縮させていただきました。

その結果、遠方のロータリアンの参加が見込めない状況になりましたので、是非とも釧路市内のロータリアンの皆さまにはぜひ全員登録をお願いできればと考えております。

まだまだ感染状況は非常に厳しくて、日々の感染対策は皆さま大変だとは思っていますが、何とか地区大会で皆さまとお会いできることを念じております。重ね重ね登録の方をよろしくお願いいたします。

新入会員紹介

スポンサー挨拶 脇 弘幸君



本日ご入会の方をご紹介させていただきます。お名前が小西卓哉様でございます。勤務先が釧路信用組合、『しんくみ』で常務理事を務めら

れております。

先ほども話をしていたのですが、しんくみさんからは11～12年くらい前までは当時の理事長が入会をされておりましたので、小西常務は満を持しての入会となりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ゴルフはされない、麻雀は得意にしているということです。趣味がドライブとウォーキングと読書と書いてあります。ハンドルを握ると性格が変わるタイプなのかもしれません。

先ほどお聞きしましたら、ご家族は奥様の美由紀様と30半ばの息子さんがお二人。長男が東京、次男の方が釧路におられるというお話でした。年齢ですけども、今年20日で61歳です。西村パスト会長、スズキの青木君と高校の同期と聞いています。このクラブにも湖陵高校OBがたくさんいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小西さんは非常に明るい方です。話も大変好きなので、すぐにこのクラブにも慣れていただけると思っていますので、まずはしっかりと積極的に参加していただいて、皆さんと親睦を深めていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、小西さんからご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

新入会員挨拶

釧路信用組合 小西 卓哉常務理事

ただいま、ご紹介いただきました小西でございます。釧路信用組合で常務理事を務めております。本日は歴史と伝統ある釧路ロータリーク



ラブに入会ということで、感謝とありがたいと思っております。実はすごく緊張しております。先ほどの入場では、先輩が付いていただいていたので入場は結婚式以来、30数年振りかなと思って入ってまいりました。

いま高い所からですが顔を拝見させていただくと、先ほど紹介ありました高校の同期も2名いらっしゃいます。私どもの組合のお引き取り先様のお客様もいらっしゃいます。うちの父親が「泉先生が同級生だ」

と言っていましたので、ゆっくりお話を聞きたいと思います。そういう年代の大先輩がいらっしゃるの、いろいろお話を聞ければと思っております。

先ほど、オリエンテーション受けさせていただきました。奉仕ということではいま私に何が出来るかをいろいろ考えながら、また皆さんに教えていただきながら頑張っていきたいと思っております。

簡単な自己紹介させていただきたいと思います。今、脇さんからお話がありましたけれども、4人家族です。奥さんがそれこそ高校の同期です。子供が今年34と32になる男の子2人おります。長男が今つくば市にいます。実はここで話すことではないかもしれませんが、長男が昨日コロナに罹ってしまいました。職場内感染です。皆さんが気を付けていらっしゃるでしょうけれども、明日はわが身と思って、私自身も気を付けなきゃダメかなと思って、お話させていただきました。次男は釧路で福祉関係の仕事をしていただいています。孫が2歳半くらいの男の子が1人いて、その孫に会うのが楽しみで、休みの癒しと思っていま暮らしております。

最後になりますが、皆さんからいろいろご指導いただきながらやっていきたいと思っております。改めてよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

■本日のプログラム■

台北中央ロータリークラブ 姉妹クラブ締結報告 / 会員卓話

国際奉仕委員会 荒井 剛委員長



皆さん、こんにちは。国際奉仕委員会委員長の荒井から報告させていただきます。

今日の報告では台北中央ロータリークラブ

との姉妹締結クラブの更新の報告と、元々のクラブ提携に至った経緯を一生懸命調べて、この場で報告するために原稿を作ってまいりましたが、杉村会長の挨拶と私の原稿のほぼ8割が丸被りしておりました。私の持ち時間5分のうち、8割の4分が削られてしまったので、残り1分ほどで短くお話させていただきます。

「ここでZoomを使って例会を」という話がありましたが、私がここに至るいろいろと難儀をしておったのですが、台北中央ロータリークラブの前年度の会長のブライアンさんは日本語が大変お上手で、あと台北の方は比較的英語が達者だと聞いております。何とかLINEとかメールもそうですが、日本語と英語で毎回送るのですが、返事はなぜかいつも中国語で返ってきて、いつもGoogle翻訳さんを使って準備を進めてい

たところですよ。

かみ合わなかったことも多かったのですが、この姉妹クラブの締結を更新するかどうかに関しては、台北中央ロータリークラブの理事者の中でも全員一致で「それはぜひ更新させてください」という返事をいただきました。また、釧路クラブも先ほど杉村会長からもご報告ありましたとおり、前年度の舟木会長年度の際に、理事会にお諮りし、「更新する」という承認をいただきましたので、締結書に署名させていただきました。今、手元に新しくなった締結書がございます。左側が中国語で書かれたもの、右側が日本語で書かれたものです。それぞれ一部ずつありまして、台湾にも同じものが1部ずつあります。今日までに郵送して無事に協定書の交換をすることができました。

ちなみに今回の協定書ですが、署名者は杉村会長と市橋幹事と一番下が国際奉仕委員長となって私が署名させていただきました。前回の協定書も同じような役職で会長・幹事・国際奉仕委員長となっているはずだったのですが、なぜか前回の協定書は当時の木下会長、樋口幹事、そして私が署名していたのです。その時の国際奉仕委員長は土橋さんでした。土橋さんが「お前が書け」と言われまして、私が代わりに書かせていただきました。

なかなかコロナの関係で今は行き来ができないですし、昨年度予定されていた6月の国際大会にも行くことができなかったのですが、コロナが収束し、お互いにまた行き来できるようになりましたら、ぜひ皆さんと一緒に台北に行きたいと思います。

以上、ご報告でした。ありがとうございます。

司会 続きまして、次のプログラムは会員卓話になります。

クラブ運営委員会中島委員長、よろしくお願いいたします。

『会員卓話』

NTT東日本北海道・北海道東支店釧路営業支店支店長 池田いずみ君



皆さん、こんにちは。NTT東日本の池田です。いま中島さんからご紹介いただきましたが、7月1日に釧路での勤務が4年目を迎えました。

また、7月26日にはロータリーの記念の3回目のお祝いをいただきました。

年齢がわかってしまうのであまり言いたくないのですが、私は平成元年に入社して33年間会社に勤めております。釧路は13カ所目の職場ですが、4年目を迎

えるのは新入社員で入った小樽支店以来で、入社して「2つの職場での4年目」を迎えました。6月に上司から「続投」といわれて「やったー」と心から喜びの思いが浮かびました。また、別の上司から「ステイ」と言われて、流行っている言葉なのですが「人事異動でステイはちょっと」と思い、続投という言葉の方が嬉しいなと思いました。

なぜ嬉しいかと言われると、釧路は本当に人が温かいと思います。ロータリークラブの方もそうですし、お客様の皆さん、すごく温かくしていただいています。やはり昔ながらのいろいろな人が還流して育ってきた風土なのかなと思います。また手前味噌なのですが、職場も非常にいい職場でチームワークがとてもいいです。困った人がいても助け合うことができています。私も13カ所回って来て、他の職場にはこのような所がなかなかないので、これも土地柄かなと思います。少し、仕事の話をさせていただきたいと思います。日本で電信電話が創業したのが1869年で、「釧路」という地名ができた年と全く同じ年となっております。1884年に釧路の電信創業でそれから137年、電話は112年経っております。釧路の加入電話が1万件を超えたのは杉村会長が生まれた1965年。そこから毎年1万ずつ増えて、釧路の発展と共に電話の加入数も増えてきました。

今は「光」が主流になってきているのですが、2003年から光回線のご提供をさせていただいております。今年、総務省の事業で「高度無線環境整備事業」を行っているのですが、「(電話回線の)光化」は町の中心部だけで郡部には行き渡っていなかったのですが、子どもたちにギガスクールでパソコン1台ずつ配置されて、家でも学校でもインターネットを使ったICTの教育を実現することもありまして、各エリアに光を引くのを今年度かけて行うことになっております。

今まさに牧場・酪農家さんが光を非常に求めています。どんなことに使うかというと、カメラで牛が産んでいるところを監視していて、今まで、ずっと牛舎で見なければいけなかったものを自宅で監視しながら、生まれそうになったら行くとなっているそうです。また、AIなどを使って牛の背中画像を撮って解析して病気かどうかを調べる実験をこれから始めようとしております。本当にこれは大きなプロジェクトで、釧路・根室エリア・8自治体で今年度いっぱいかけて光化していきますので、この光が受付できるようになりましたら、しっかりとそれを活用して釧路の産業に貢献できるように頑張っていきたいと思います。

4年目を迎えましたが、できる事なら「5年目」と言ってもらえるのを期待して今年1年頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



はい、「土になりたい」と思っています。「風」の日本生命、廣部です。今日はよろしくお願いします。

会長から「釧路の良

いところ、悪いところを率直な外からの目という形で教えてください」というお話をいただきましたので、少しメモをしてきましたのでお話をさせていただければと思います。

まず良い点なのですが、最近は少し暑いですが、何とんでもこの気候、夏の温度はどこにも代えがたいものがあると思います。猛暑とは思えない所だと思うのです。東京の方でいうと軽井沢が避暑地で有名ですが、あそこの夏の平均気温は大体 20.6 度くらい、釧路の 7 月は統計によると 16.1 度で釧路の方が涼しいです。8 月も 3 度ほど違うことで考えると、これは日本の宝だと思っています。関西人からすると、この涼しさは本当に天国だと思っています。そういった素晴らしい所だと再認識しております。

2 つ目でいうと、やっぱり食べ物美味しいと思います。特に魚介類でいうと、私は前任地が札幌でしたけど、札幌から比べても釧路の魚は本当に日本一だと思います。素晴らしいと思っております。

3 つ目はやっぱり自然が豊かだと思います。これも当然だと思うのですが、四季折々を体感できるのです。先日は私の家族が大学 4 年、1 年の娘と妻が初めてこの釧路の地にやってまいりました。車でサーッと動いていると鶴が出てきて、そしてキツネが道路に出てきて、ちょっとスピードを緩めるとキツネが私の車を追いかけて来たのです。それだけで家族が大喜びということです。それから冬になると驚、少し離れると熊なんかも見られ、本当に自然の宝庫です。自然の宝庫という意味では何事にも代えがたい所だと思います。

ここからプライベートになりますけど、このこと池田さんがなぜ言わなかったのかなと思いましたが、ゴルフ場がやはり近い・安い・お手軽。関東・関西でいうと、ゴルフをするのは一仕事、一日を全部使ってしまいます。フォーマルの格好をして正装しながら行って、あっちで着替えて、そして 1 日使って、渋滞に巻き込まれて帰るのが定説なのですが、釧路のゴルフは本当に近くて、ゴルフ場も素晴らしいです。ゴルフをする恰好をして行って、そのまま帰ってくる。これだけ素晴らしい所はホントにない、素晴らしいなと思っています。値段も安いので本当に何回も何回も回れるなど。ゴルフ好きの方には天国だと思っています。

もうひとつ、私の趣味のひとつでたまに釣りをしますが、海に近い。日本でいろんな海に近い所がありますが、岸壁まで車で行って車から釣りができるという所は、多分ここだけかなと思います。釣りをしてもカレイとか簡単に釣れるのですね。本州でカレイはなかなか釣ることできません。船に乗って釣りをしますと、ホッケ、タラの大きいのが釣れます。先日はブリを狙いに行ってきましたが残念ながら釣れませんでした。今度はマグロを釣りに行こうと思っています。こんな雄大な釣りができるのはやっぱり釧路・道東の地なのかなと思っています。

あとこれも私の趣味なのですが、キャンプ場が素晴らしいです。キャンプができる上に近くに温泉がある。これはなかなかないロケーションだと思います。湖がたくさんあって景観も素晴らしい所と思っています。あとは観光でいうと釧路湿原をはじめ国立公園も含め、言わずもがなと思います。本当に素晴らしい立地だと思います。

最後に先ほど池田さんも言うておりましたが、何とんでも最初、来たときに釧路の方って怖い方が多いのでは思っていました。けれど少しお話をさせていただくと本当に優しい方が多くて、相手のことを思いやっていた。私の会社でも本当に助け合いができてるのが釧路の人かなと思います。そういった意味で、転勤族としてもすごく救われていると思います。最後にもうひとつだけ、いいところ。これは芸能人の芸芸や歌謡ショーの組み合わせとか、ステージを作ったら芸能界のパイオニアと言われておりますカルーセル麻紀の出身地だという、これも素晴らしいなと思っております。

反対に悪い点、ここから見てどうかというところ。これは寒いところはありますが、寒くても雪が少ないから過ごしやすいと感じました。あと交通の便ではやっぱり自家用車じゃないと動きづらいのがしんどいところかなと思っております。

あと、都会まで遠い。何が言いたいかというとデパートがないのですね。イオンがモールとして最高に大きな所だと思います。皆さんに「ブランド物をどう買うのか」と聞くと「ネットで買われている」ということで特に問題はないかもしれませんが、そういったショッピングはしづらいのかなと思います。

人口が少し減ってきているというのですが、調べますと男性が 7 万 7,000 人くらい、女性が 8 万 6,000 人くらいいるのです。男性天国という意味ではいい点なのかなと思います。ただ、私も来て驚いたのはいわゆる廃墟といいますが、入居されていないビルが多いと思います。私のマンションの前も廃墟、元デパートだと聞いています。廃墟で、毎年壁がどんどん崩れてきている状況です。観光で来られた方が末広町に行かれると少し驚かれる所があるかなと思います。

あとは、物価が思ったより安くない。もっと言えば少し高いなと思います。一番わかりやすいのは家賃、これは札幌並みだと思います。そう感じたということです。娯楽施設も少し少ないのかなと思います。もう1個だけ、仕事がてらお話をさせていただきます。これは北海道全体なのですが、いま日本生命でこういった『バースデー検診の薦め』とか、『健康クイズ』などお配りしています。実は、北海道民の肺がん率は全国47都道府県で男性がワースト4位、女性はなんとワースト1位なのです。喫煙率は男性がワースト8位、女子はこれも全国ワースト1位。女性で1番たばこを吸っている所が北海道です。なのに、北海道は肺

がんの検診受診率が最下位。

会長が仰っていました「地域を育む」という中では、われわれも本業を通じて地域住民の皆さんの健康、というところに向けて『バースデー検診の薦め』などを提供しながら、地域貢献につなげて行ければと思い、日々活動しております。

私からは以上です。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 全道中学硬式野球大会が無事開催されました。皆様ありがとうございました。
- 泉 敬君 傘寿のお祝いを有難うございます。
- 荒井 剛君 週末、札幌で行われた息子の全道少年軟式大会でベスト8になりました。
- 大道 光肇君 先日の硬式野球大会、雨模様にもかかわらず無事開催出来ました。お陰様で釧路リトルシニアが優勝出来ました。感謝です。
- 佐藤 貴之君 1日に開催された「全道中学親善硬式野球大会」で見事釧路リトルシニアが優勝しました。ありがとうございます。
- 東堂 光春君 私の娘が今回 JFA 全日本女子サッカーアンダー 15 に選ばれました。北海道から1人ということで頑張ってます。

今年度累計 67,000 円

2021.8.19 (木)
第 6 回例会
(通算3633回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	講師例会「JAL の地域での取り組みについて」(担当：プログラム委員会)
次週例会	講師例会「k-Biz 開設 3 周年 実績とサポート事例」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：「四つのテスト」 ■ソングリーダー：杉浦 裕之君
- 会員数 99 名
- ビジター なし
- ゲスト 日本航空(株) 地域事業本部 北海道地区ふるさとアンバサダー 小林 千秋様

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はお続けください。初めて少し余裕のある、ゆっくり感のある会長挨拶の時間をいただきました。きまして、ゆっくり話そうかなと思っております。まずは、例会プログラムの件、ご報告させていただきます。先々週、話したばかりで大変恐縮でございますが、来週に予定しておりました夜例会を苦渋の選択ですが 9 月 16 日に夜例会再開を延期させていただきたいと思っております。この件について様々な意見があるかと思ひます。最悪、理事会でいろいろ意見を交換しながら判断させていただきたいと思っております。何卒、ご信頼・ご理解いただきながら判断をお待ちいただければと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は少しお時間もありますし、せっかくの会長の時間でございまして今月は地域に関するお話が続いておりますので、会長特権で自己紹介を兼ねながら古き良き釧路の時代を少しお話したいと思っております。

私は 1965 年、昭和 40 年に弥生町 1 丁目に生まれま

した杉村でございます。ひぶな幼稚園、東栄小学校、東中学校、湖陵高校と根っからの橋南地区育ちです。小中高とも木造のいわゆるルンペンストーンの校舎で、冬には窓の隙間から雪が積もるような学校です。小中高とも水洗トイレというのが見たことがなく、いわゆるボットントイレというのでずっと育っている下品な会長です。

われわれ昭和 40 年 (1965 年) 組なのですが、メンバーはたくさんいます。小学校時代はピンクレディーとキャンディーズ。中学校・高校は金八先生・校内暴力・横浜銀蠅。大学時代はオールナイトワズ・おニャン子クラブ。そのままバブリーに突入してジュリアナ東京。就職してみてもアッという間にバブル崩壊というような、まさに時代の先頭走って、その当時は『新人類』と言われた輝かしい世代でございます。

昨今では、大量採用の使えない『バブル世代』と言われているとか、言われていないとか、聞いたことがあります。

そんな小学校の思い出をひとつ言うと、弥生町 1 丁目のすぐ近く、弥生中学校の下にむかし中村水産という大きな水産工場がありました。僕の家の前を、魚を満載した大きなトラックが通るのです。この当時、買っていたサバですけども、急カーブになればザザッとサバを落として行くのです。杉村少年は母親に褒められたい一心で、その落ちているサバから一番いいサバ

を選びすぐって、「母ちゃん、これ持ってきたよ」とやるのですが、「そんなサバ、持って来るんじゃない」と怒られ大変傷ついた少年時代を過ごしておりました。それくらい魚が本当に大量に獲れていた、余っていた時代なのかなと思っております。

その当時、弥生町界隈は、朝6時くらいになるとイカの行商の方がラッパを吹きながら来たり、夕方になるとリヤカーで野菜売りのおばさんが来たりして、非常に活気がありました。ただ、弥生町1丁目といっても、同じ弥生町でも東栄小学校から米町にかけては高級住宅街が展開するわけです。そこには浅川さんのご実家や小船井さんのご実家があるわけです。僕の弥生町は、貧富の差が非常に激しくありまして、長屋がずらっと続いていて、皆さんは鍵をかける習慣もなく、勝手に人の家に上がり込んで生活していたというような環境でした。

もうひとつ、この当時、東栄小学校のライバル校は隣にあった日進小学校でした。日進小学校もすぐ近くなのですが、大きなお宅とか公務員住宅がありまして、東栄小学校とはかなりランクの差があったのです。その日進小学校の50年前ですが、なんと屋内プールがありました。実は東栄小学校の人間は夏になるとプールを借りに日進小学校に行くわけです。日進小学校に行きますと、2階・3階から日進小学校の生徒が東栄小学校の生徒に今ではもう言えない、放送コードに引かかる罵詈雑言を浴びせてくるわけです。今の言葉で言えば「お金のなさそうな東栄小学校の生徒さん、君たちはここに来る生徒じゃありませんよ」みたいなことを罵詈雑言で罵ってくるわけです。そんなことを経験して社会の格差はすごいものだなと大変勉強になりました。ちなみに当時、その日進小学校には栗林君と羽田野君がいらっしゃいました。その窓から顔を出していたかどうか知りませんが、そんな時代を過ごしました。

この自己肯定感満載のアバウトの性格の杉村はこんな少年時代から来たのかなと。親に恵まれたのか、地域に恵まれたのか、時代に恵まれたのか分かりませんが、非常に良い少年時代を過ごさせていただきましたという『ワンス・アポン・ア・タイム (once upon a time) in 弥生町』で自己紹介でございます。ご清聴ありがとうございます。

長々とお話しましたが、本日の小林さんは同世代でございます。誕生日が出ていますのでお話をさせていただきます。日本航空では『地域ふるさとアンバサダー』という制度作りまして日本各地で素晴らしい地域貢献をしていただいております。今日はゆっくりと時間がありますのでお話を拝聴したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

幹事報告 市橋孝佳丞幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。

他クラブの例会につきましては、お手元の資料をご一読いただければと思っております。先日もお話をさせていただきましたが、本年度メイクアップの推進に取り組んで

いく試みのもと、皆さまのテーブルにあります出席表にご自分の出席のところに丸を付けることお忘れにならないようにしていただければと思っております。

また、出席表の下段に「メイクアップ確認表」という欄がございます。記載もありますけれども、8月1日に行われました全道中学親善硬式野球大会もメイクアップ対象となっております。今後、メイクアップ対応の事業につきましては事務局からのご案内の際に必ずその旨一文を記載させていただきますので、担当の方で出席者は押さえておりますが、メイクアップ確認表にご自分でお名前をお書きいただく習慣をつけていただければと思っております。

現状、コロナ禍でメイクアップの反映がその年度内1回のみ有効となっております。ぜひ、有効にご活用いただければと思っております。

また、先ほど会長のご挨拶にありました8月第4例会の例会プログラムが夜例会から昼例会に変更となりました。来週ですが、12時半からお昼の例会となっております。皆さま方、お忘れのなきようお願いを申し上げます。

また、皆さま方のメールボックスに入れさせていただいた資料がございます。本年度、会員増強に大変取り組んでいるところで、この増強のパンフレットを表裏1枚の用紙で作らせていただきました。ぜひ、皆さまこちらをご活用いただきまして身の回りの方、お知り合いに会員増強の取り組みをしていただければと思っております。

こちらは印刷して置いてあります。データでもお渡しすること可能ですので、データが必要な方は私までご一報いただければと思っております。

以上で、幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■本日のプログラム■

JALの地域での取り組みについて

プログラム委員会 木下 正明会員

皆さん、こんにちは。プログラム委員会の平会員の木下です。平会員なのに何回もご紹介いただくのも心苦しいのですが、本日の講師のご紹介をさせていただきたいと思います。

本日、ご講演いただきます小林千秋様は日本航空に入社後、国際線の客室乗務員を長年務められ、教官や管理職といった指導的な立場をお務めになっておりま

す。先ほど杉村会長からありました『ふるさとアンバサダー』として本年4月に釧路にご着任いただきました。積極的にご活動いただきまして、小船井会長がおりますけども、釧路ばかりではなくひがし北海道のブランド化のためにご尽力を賜っているところでございます。

本日はJALの地域での取り組みについてということでご講話をいただきたいと思っております。

小林様、どうぞよろしくお願いいたします。

**日本航空株式会社・地域事業本部支援推進部地域アンバサダー室・北海道地区ふるさとアンバサダー先任
キャビンアテンダント 小林 千秋様**



皆さま、こんにちは。ただいま、ご紹介いただきました日本航空の小林と申します。このようなお昼の皆さまの大切な貴重

なお時間を頂戴しまして、お話をさせていただけるという事を木下さんから声がけいただきまして、本当に嬉しく思っております。お時間は25分ほど伺っておりますので、手短にお話させていただきつつ、私が今なぜここに居りますのかといった事をご理解頂戴できれば嬉しいなと思っております。

本日、お話をさせていただく内容としましては、大きく3つに分けてお話をさせていただこうと思っておりますが、私は話が行ったり来たりしてしまうので、分かりにくい点などございましたらどうぞご容赦くださいませ。

さて、私の略歴は木下様からご紹介いただきました通りですが、先ほど杉村会長が懐かしいお話をされておりました。全部「うん、そうそう」と私は頷いておりました。まさに、私も昭和40年(1965年)生まれ、新人類世代でございます。

余談になりますが、私も客室乗務員、私が入社の際はスチュワーデスと呼ばれておりましたが、創業当時の続き番号でスチュワーデス1期、2期、3期と『期』というものが存在しておりました。今はもうなくなってしまいましたが。この『期』というのは、よく同じ入社時期の仲間を「同期」と呼ばれると思いますが、それより比較的幅が狭く、同じ入社時期でも、一緒にクラスで訓練を受けたクラスメイトのような感じです。私はたまたま「昭和62年6月入社の600期」というクラスでした。キリのいい期、100期・200期・300期・400期・500期、そして600期ということで少し話題にもしていただきました。100期、200期台の大先輩は私が入社の際にはもう現役の方はあまりいらっしゃらない伝説の方々が多く、その後はその

頃の社会状況などを反映して「向こう横丁の300期」だったかな、「体力の400期」などキャッチフレーズがつくのですが、100期先輩の500期は美人が多くて『花の500期』と呼ばれていました。自分たちのクラスが「600期」だと分かった私たちは訓練が始まると教官に「私たちは何の600期ですか？」とワクワクして尋ねたら、「お前達はただの600期だ。花の500期の次はただの600期！」と言われたことを覚えています。でもその後で朝日新聞さんに「新人類600期が登場」と書かれていました。(笑)

いま思えば私が数年前まで現場で一緒に働いておりました若手CAの方々の方がよっぽど新人類だと私は思っているのですけれども、まあ、いつの時代にも新人類は巡ってくるということですね。

職歴は先ほど木下様からご紹介いただきましたが、私が地域でのお仕事をさせていただききっかけとなりましたのは、2016年です。以前から支店を中心に地域での活動、社会貢献、地域貢献の活動はずっと行っておりました。本社でもCSR活動を取りまとめる部署なども当然ありますが、支店以外に初めて地域活性化に特化した部署を地域に置くということで、2016年に東北にオフィスを作りました。その時に初めて客室乗務員の本部を出て外の部署に、その東北の部署の創立メンバーとして参加いたしました。その時から早5年、私自身としましてはその頃から地域の皆さまと一緒にお仕事をする業務に携わっております。

まさに「ターニングポイントは5年前」ということで、地域と一緒に何か業務をするきっかけが始まったのが、この東北事務所の立ち上げでした。

2010年に経営破綻をし、社会の皆さまには大変ご迷惑をおかけした時期と重なって2011年3月東北で東日本大震災が起きました。その頃、私どもがやりたいと思っていた支援のお手伝いも十分にできなかった想いもありまして、まず地域での活動をどこにするかということで東北にオフィスを構えました。それが5年前です。今でもこのセクションは部署名こそ変わりましたが稼働し続けております。

では私個人として、そこで何をしていたのかと申しますと、ここに書いてございますが、東北観光推進機構という外部団体に兼務で出向し、他の企業から出向の方、東北全県、仙台市など行政から来ているメンバーと共に、観光で東北を盛り上げる仕事・業務に就いておりました。

これらはたまたま日本航空の一員という立ち位置で地域でのお仕事をしている写真を選ばせていただきましたが、ほぼ制服を脱いだ仕事をしておりました。

そもそも、私は客室乗務員として入社しましたし、客室乗務員として長い間飛行機の機内で仕事をしておりました。2016年に初めて機内から外の世界に出て、非常にやりがいを感じました。飛行機の中の仕事は、

私は今でも好きですしとてもやりがいもあります。いろいろな出会いもありますが、基本的には一期一会のお仕事です。ですが、地域でお仕事するとすると、その地域の方々と長く関係を持って仕事ができる、それが非常に魅力だなと思っております。

具体的にどのような事をしていたのかと申しますと、これらの写真はほんの一例ですが、学校や観光等に



関係する企業様等にお声掛けいただき、主に接客のお話をさせていただきました。こちらは、子供たちの職業体験のイベント

があり、その中に日本航空も出展させていただきました。これすごく可愛かったのですが、子供たちが機内サービスの体験をするのです。パイプ椅子をお客様の座席に見立てて、台所で使っているワゴンを機内のワゴンに見立て、ジュースサービスしてもらったり、「笑顔でお客様にご挨拶しましょう」みたいな話をして体験イベントをやってみました。こちらは、宮城県と日本航空との共同記者会見のときの司会の様子です。これは東北観光推進機構の中で、観光人材育成の取り組みの「フェニックス塾」の担当者をしておりました時の修了式です。このようなことを地域で行い、飛行機の中から出て地域での仕事の魅力に惹かれていった3年間でした。

さて、私個人のお話から、日本航空として地域の活動・地域活性化推進の活動、そもそも東北を皮切りにどんどん広げて行こうとなったのですが、どのような考えのもとに行っているのかをお話をさせていただきたいと思います。

JAL・日本航空の事業は、そもそもお客様・人を運ぶ、物を運ぶ、航空輸送業です。人・物をお運びする、運航をするということはA地点からB地点への移動・輸送手段として、地域と地域を繋ぐという意味がございます。

2016年東北での部署立ち上げのきっかけは、そろそろ体力的にも社会への恩返し、感謝を事業で恩返しできるタイミングであり、それはやるべきである、やりたい、という気持ちで地域での仕事をJALが取り組み始めました。その取り組みには、社会にかけたご迷惑の恩返しという意味ももちろん大きくあります。同時に、物をお運びする、人をお運びするために、まずは日本の国内に着目してのケースですが、国内線事業の維持・発展、路線をキープする、路線を増やす事ももちろん裏にはございます。路線がなくなってしまうと人も物もお運びすることはできません。路線をなくさないためには人の交流・人流、それから物の流れ・商流がもっともっと活発になることが必要になってま

いります。そのお手伝いをできないだろうか。

そして、日本の地域には地域の素晴らしい物、資源がたくさんある。その資源を次の世代に残していきたい。これも地域貢献の考え方のひとつかもしれませんが、素晴らしい日本を次世代に残していきたい。その素晴らしい資産・財産は日本の地方と呼ばれる地域にたくさん眠っている。現代の日本の抱える課題でもある少子高齢化、都市への一点集中、これらの解決のためにもいろいろな地域にも発展してほしい。そういう願いのもとに日本航空は地域活性化の推進事業に取り組んでおります。

どういうことを具体的にしているのかといいますと、人の流れ、交流人口の拡大、それから物の流れ、物流の活性化といったところと、一部には国策・地域の政策の支援もございます。北海道でいうと『ウポポイ』には日本航空も支援・協力もしております。先月末には、奄美が世界自然遺産に、縄文遺跡群が世界文化遺産の登録になりました。本当に嬉しいなと思います。そちらも応援・支援しておりました。そういったことを目的にいろいろな素晴らしいものを見つけて磨く、そして育てる、それを流通に乗せる、六次産業化につなげる、プロモーションをする、そういったそれぞれのことをしております。

その一環として、2016年に立ち上げた東北の部署のお話をしたのですが、それ以前にも各地の支店を中心にいろいろと取り組みをしておりました。国内における取り組みとしては、2011年から『JAPAN PROJECT』という名前で、毎月ある地域をテーマにしてその魅力を発信するプロモーションをしております。機内誌に特集記事を載せること、国内線ファーストクラスの夕食メニューを地域とコラボレーションをする、Webを使ったプロモーションで旅行商品キャンペーンを組むなど、今でもこれは続けておりますが、それを始めたのが2011年です。

北海道はかなり頻繁に特集させていただいております。7月末に記者発表をして、今まさに取り組み真っ最中の8月は『十勝』を特集させていただいております。来月はまた違う県になるのです。まだプレスリリースをしていないので、ここで大きくは言えないのですが、皆さまにもちょっとお楽しみにしていただきたいエリアが何か月後にやってまいりますので言えるタイミングになりましたら、ぜひ告知させてください。そして、このJAPAN PROJECTが途中、『新 JAPAN PROJECT』に変わり、少し取り組みに厚みを出しました。

2016年の東北部署立ち上げ、2011年から今に続く地域プロモーションをはじめとした地域活性化に資する活動、そういったものをすべて包括する本部として、昨年2020年11月に『地域事業本部』として正式に社内には本部組織が出来ました。地域事業本部として、

今までのプロジェクトに更に厚みを加え、今年から『JAL ふるさとプロジェクト』として取り組んでおります。

地域プロモーション以外には、このニューノーマル対応、これはまさにワーケーションですとか、アニメツーリズムですとか、いろいろな新しい形の生活様式や新しい旅の形に対応する応援・協力をしております。これは実は私が行っているプロジェクトの写真なのですが、地域密着の活動としてパートナーを「青森県の白神山地区」に取り組んでおります。この地域にもっと人が来るような何かをやりたいというプロジェクトを、JALグループの中で公募して、「地域活性化活動をやりたい」と自ら手を挙げたグループ会社社員が集って実施しています。この人たちは地域活性化推進部の部員ではなく、客室のCAや空港のグランドスタッフ、JALカードの社員であったり、営業の社員や貨物本部の社員といった色々なセクションの人が混ざって一緒に取り組んでいます。現在コロナでプロジェクトが停滞中なのですが、学生を取り込んで何かやろうと計画しております。

ふるさとプロジェクトは、他に地域産品の支援、観光振興もやっております。これは香川県、実はフルーツがとても有名、美味しいフルーツがある所ですけどなかなか有名にならないので「何かできないか」というものです。香川県のキウイフルーツだったのですが、東京のメゾンカイザーというパン屋さんとマッチングさせて販売をしました。そんな取り組みもしております。

そして、だんだん今の私の立ち位置に近づいてきますが、現在のコロナの影響でフライトの機会が少なくなっている乗務員がたくさんおります。その点も『ふるさとアンバサダー』という取り組みができたきっかけにもなったのですが、その乗務員たちは自分たちが応援したいエリア、応援したい地域があります。その応援をYouTubeで流すチャンネルもできております。よろしければ後ほどYouTubeで検索してみてください。JAL・ふるさと・応援みたいなキーワードで出てくると思います。乗務員だけではなくてその地域の空港のスタッフやいろいろなメンバーが出てきてその地域を応援しております。ちなみに北海道の番組は、私は釧路在住のアンバサダーですが、一足先に札幌に3名が着任しております、その札幌のメンバーの馬場ちゃんという可愛い子が出ておりますのぜひご覧ください。

コロナ禍の中での取り組みとして、番外編になりますが、このパイロットという職種も実はフライトの機会がなくて、職場が失われている部署のひとつなのですが、このパイロットが昨年、「地域貢献としてこういうことをやりたい」と会社に伝え、そしてそれが実現しました。

ちょっとクイズ形式なのですが、伺ってみてもよろしいでしょうか。3択です。1番・出身地での航空教室を開催した。2番・農家で収穫作業を手伝った。3番・チャリティーコーラスの動画を配信した。どれだと思いますか？この2名が声をかけて仲間を集めてやったことです

1番だと思ふ方、手を上げてみてくださいませんか？ありがとうございます。2番だと思ふ方いらっしゃいますか？結構いらっしゃいますね、ありがとうございます。3番だと思ふ方いらっしゃいますか？ありがとうございます。2番が多くて、3番がその次という感じですよ

ね。答えは2番でした。「『りんごたすけ隊』ということでパイロットたちが青森に行き、リンゴの収穫作業を手伝った」とニュースにも取り上げていただいたので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが。実は先ほど出ていました航空教室とコーラスもやっていますので、3問とも正解とも言えますが。

私がびっくりしたのは、こういったことを考える者、「やりたいな」とか「やるべきだ」と考える者は沢山いるのですが、なかなかそれを実現するのが難しい。タイミングもあったのかもしれないのですが、この者たちが「こういうことをやりたい」と、部長なり本部長なりに声を上げました。「いいじゃないか」ということでスピーディーに話がまとまり、周囲の協力も得てスピーディーに実行に移せた。いま、「JAL OODA（ジャル ウーダ）が大切です」という考え方が弊社の中で常々出てくるのですが、まさにその『JAL OODA』の考え方で、自らが自分たちで考えて、自分たちでできることをスピーディーにPDCAを回していく。人から言われるのを待つ、業務指示を待つのではなく、それをまさに体現した出来事です。という事例だったもので、少し力を込めてご紹介させていただきました。

さて、もうお時間も少ないのですが、では最後に北海道で何をしているのかを少しお話させてください。

私は、地域事業本部の『ふるさとアンバサダー』という肩書で釧路に着任し、ひがし北海道を中心に活動させていただいております。同時期に「ふるさと応援隊」という客室乗務員も東京をベースにして約1,000名おります。先ほど応援チャンネルでYouTubeに出演している者は、ほぼ応援隊のメンバーです。彼らは、自分が応援したい所縁のある地域、出身地であったり、学生時代住んでいたとか、理由はそれぞれですが自分はここを応援したいというCA達が、私は「釧路の応



援隊」です、「女満別の応援隊」です、「島根の応援隊」ですと言う風に全国各地の応援隊として存在しています。

ちなみ釧路は最初 10 名いたのですが、今は少し人数が減りました。様々な理由で登録が減ってしまいましたが、その内の 1 人はひがし北海道地区のアンバサダーとして先日釧路に着任しております。彼女は元応援隊です。

応援隊は東京にいて応援する地域のイベント等、活動がある時に東京から出張してまいります。しかし、ふるとアンバサダーはその地域に移り住み、その地域の方と一緒に何かの事業を取り組んでいけないだろうか、地域がもっと元気になる取り組みと一緒に種を探して一緒に育てていきたい、そういう活動をその地域でやっております。



すみません、この情報が古いのですが、現在は 10 か所で 19 名まで増えました。当初、社長が「20 名まで増やしたい」と

言っていたので、そろそろ規模的にはこれぐらいののかなと思いますが、全国、各地に配置ができないにしても、私としてはもう少し規模を増やしてもいいのではないかなと思っております。こういった活動しております。

では、具体的に北海道で何をしているのかをご紹介します。先発隊 3 名が札幌に着任しております。私が釧路に着任する前までは、この道東地域も札幌から出張して来ておりました。

これは『オホーツク流水ライド』というアドベンチャーツーリズムの P R 動画を作るお手伝いをしました。このファットバイク、私は北海道に来るまで存じ上げませんでしたが、こういった「アウトドアの自転車は氷の上も雪道でも、ぐんぐん行ける」んですね。という事でアドベンチャーツーリズムの P R、「冬の北海道も楽しいこといっぱいあるよ、冬の北海道も来てね」という P R 動画の撮影協力をしました。こちらは支笏湖のヒメマス・チップの P R 販売を埼玉県浦和の伊勢丹で行ったもの。こちら、現在進行中なのですが、でも「ハマナスを使った化粧品の商品開発をやりたい」と札幌地域のアンバサダーが頑張っております。こちらは J R 北海道さんと J A L パック、J T B さん、日本航空とで企画をしている『HOKKAIDO LOVE ! ひとめぐり号』という周遊の列車の旅。こちらは 10 月に実施させていただくのですが、その企画などもアンバサダーが入ってやっております。私も乗車する予定です。機内サービスならぬ車内サービスをする予定となっております。

そして、私は着任後すぐに緊急事態宣言、まん延防止等重点措置がありましたので、いろいろな所にお邪魔することが出来ず少しスロースタートになってしまいましたが、阿寒湖での『湖水開き』とか、『KAMUY LUMINA(カムイルミナ)』のイベントのお手伝い、それから行政さんでは浜中町で接客マナーのお話ですとか、先日は北見のカーリングチームの選手の皆さんの勉強会に参加させていただきました。こちらは 9 月 8 日に釧路商工会議所さんの接客セミナーを担当させていただきますので、皆さまの会社の新入社員の方ですとか、接客フロントラインに立たれる方で興味のある方はぜひ商工会議所にお問い合わせいただければと思います。あと、木下さんからのお話にもございました「ひがし北海道ブランド化推進協議会」の皆さまと一緒に何かいいことができないかなと企画している最中でございます。

このような形で地域の皆さまと共にお仕事をしていきたいと願っております。まだまだ始まったばかりの取り組みですし、私自身も着任してまだ間もないので、いろいろなこと勉強しながら、一緒に行っていきたいなと思っております。

皆さまのお手元にパンフレットをご用意したのですが、それは簡単なご紹介です。アンバサダーが実施できるもの、それから本社に持ち帰ってその専門セクションで実施するもの、様々な事業の取り組みがございます。もっと分厚いパンフレットもあるのですが、こちらはご紹介ということで、ご興味ございましたら私、または釧路支店にお声がけをよろしくお願いいたします。ちょっと最後は宣伝になってしまいましたが、このような活動をしてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆さまよろしく願いいたします。拙い話で恐縮でしたが、ご静聴いただきありがとうございます。

会長謝辞 杉村 莊平会長

小林さん、本当に今日はお忙しいところありがとうございました。大変貴重なお話を聞かせていただきました。特に小林さんが話した中で「まず動いてみるんだ。動いてみて P D C A を回すんだ」というお話もありました。まさにそのとおりだと思っております。私も「この地域があつてのロータリーだ」と思っておりますので、『地域を育む』ということで今年テーマにしてやらしていただいております。釧路地域も日本製紙の件もあり暗いニュースがあったりするわけですが、まさに J A L さんの取り組みとしっかり連携しながら行っていかなければならないだろうと思っております。

J A L さんも民間企業ですから、地域に魅力がなくなれば便もなくなってしまうということでございますので、J A L さんに見捨てられないようにわれわれも

しっかり地域を磨きながら、しっかりと連携を組んで
行っていきたいと改めて思います。よろしくお願いいたします。

それでは、これから釧路も寒くなってきますのでお体
に十分気を付けていただきながら、地域とのパイプを
どんどん太くしていただければと思います。今日はど
うもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■邵 龍珍君 先日 16 日の当店ぎゅう太が開店 21 年目に突入しました。
今後ともよろしくお願いいたします。

今年度累計 77,000 円

2021.8.26 (木)
第 7 回例会
(通算3634回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	講師例会「k-Biz 開設 3 周年 実績とサポート事例」(担当: プログラム委員会)
次週例会	会員卓話「私の怖いもの。1,2,3」(担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: ■ソングリーダー: 池田 一己君
- 会員数 100 名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz 副センター長 田辺 貴久様

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はお続けください。本日も多数ご出席いただきまして、ありがとうございます。まずは先週と引き続きプログラムの件でご報告させていただきたいと思えます。54 歳以上のワクチンが進んできて、やっといい方向に向かうかなと思っていた矢先ですが、緊急事態宣言が発令されてしまいました。今年度、年度が始まる前に理事会でコロナに関する規定については協議済みでございまして、「緊急事態宣言が発令されたら、自動的に休会でいこう」という申し合わせをしておりましたので大変残念でございますが、来週の 9 月 2 日と 9 日の例会は休会とさせていただきます。また、宣言明けの 16 日ですが、これも例会でお話していたように、私も大変楽しみにしておりました夜間例会を再開する予定でしたが、12 日の緊急事態宣言明けすぐに夜例会というのはさすがに難しいだろうなと思っております。大変、苦渋の選択でございますが、今月中、正式に皆さんにメールでプログラムのご案内をしたいと思えます。何卒、ご理解・ご協力いただければと思っております。

メンバーの皆さんには本当にご迷惑おかけします。特にプログラム委員会の皆さん、また親睦活動委員会の皆さまには二転三転のプログラムになりまして、ご迷惑おかけしております。何卒、事情を理解していただいた上で引き続きご協力お願いしたいと思えます。16 日には皆さんの元気な顔をもう一回、再開して拝見したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。暗い話は以上でございまして、先ほど言い忘れましたが、今日の田中君の入会でメンバー数が 100 名に戻らせていただきました。久々に 100 名復活でございますので、増強委員会の皆さまを含め 105 ぐらいのように引き続き頑張っていきたいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。コロナに暗いニュースが多いものですから、今日はコロナに関連して少し明るい有意義なお話を、有意義になるかどうか分かりませんが、したいなと思えます。まずはクイズを行いたいと思えます。最近、コロナ報道でカタカナ表記が多くててんやわんやしておりますが、ワクチン・ウィルス・インフルエンザ、これ何語が語源が分かりますか? 多分、天方さんあたり分かるかと思うのですが、これ、ラテン語が語源でございます。第 2 問でございます。インテリ・イクラ、このあたり

はロシア語でございます。ボンコツ・メリハリ・テンパる・ビじる、これ何語か分かる方いらっしゃいますか？ 天方さん、分かりますか？ 残念でございます。日本語でした。これは日本語なのですね、すみません。ということで大変有意義なクイズでございました。もうひとつ、いろいろコロナで調べて全く違う視点で考えております。コロナで大変多くの犠牲者がいま出ているところで、少し不謹慎なところもありますが、これまで毎年コロナ以上に人間を殺してきた生き物が多数います。この「ベスト3は何だろう」という話です。ヒントですが、第3位は蛇で5万人。第2位は人間なのですね、人間で47万5,000人。じゃあ、1位は何かというところですが、分かる方いらっしゃいますか。

あっ、中島君が言った、ピンポン。蚊でございます。蚊が72万5,000人、毎年殺しているようですね。これは何かと言うとご存知の通り、デング熱とかマラリアでして、これは蚊を媒介にした犠牲者だとなっております。

この犠牲者の72万5,000人を何とかならんのかという議論があるようです。これ、遺伝子工学を利用して蚊に不妊になる遺伝子を組み込んで野外に放つだけ、という研究結果が出ておまして、もうそろそろ実証実験に入るようでございます。こうしていくと、だんだんこの遺伝子が何代も引き継いでいって、その蚊の集団が絶滅していくという仕組みのようです。自然界にこんなことやっていいのかという話なのですが、専門家によると蚊は無くなってもいいという話らしいのです。人間がそんなジャッジをしていいのかもありませんけども、そういう話がありました。大変、有意義なお話でした。

そういうことで、われわれもコロナとやって行かないかならないのですが、人間が今までに撲滅できた疫病は天然痘だけなのですね。ポリオもロータリーは一生懸命頑張っていますが、まだ根絶まで至っていないので、根絶できたのは天然痘だけということです。

そうすると、コロナとこれからも共存していく選択をしていかなければならないのかなと思います。この共存ということで行くと、やはり消毒や殺菌という対抗措置とは別に、子どもの頃からそのウィルスや雑菌に馴染んで、それから子どもの頃から免疫を作っていくことが重要になるようです。そう考えますと、この人間界は全く同じことで、新しいさまざまな人間と出会うことによって、自分を成長させることが人間界でも本当に同じことだと思っております。

このコロナの中でロータリーは、皆さん今日もたくさん来ていただいております。見渡しますと、この釧路クラブにはさまざまなタイプのウィルスの宝庫としていっぱいいらっしゃるわけですが、みんなのことですよ、いらっしゃるわけですが、このウィルスもここに甘んじることなく、今日の田中君もそうなのですが、

これからもどんどんウィルスを受け入れて、抗体を強くしていくことが、これから100歳、150歳を迎える心身共に健康である釧路クラブにとって、これからも健康でいく唯一の方法じゃないかと思います。85周年の会長挨拶でございます。

本日はこれから田辺さんに講演いただきます。非常にまた有意義なワクチンを打っていただけそうなお話ですので、どんどん皆さんに有意義な抗体を作りながら、どんどん心身共に健康になっていきたいなと思います。

以上でございます。ありがとうございます。

幹事報告 市橋孝佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。他クラブの例会につきましては皆さまにお配りしております例会報告をご覧くださいと思います。

また、杉村会長からご案内がありましたとおり、当クラブ9月2日と9月6日の例会を休会とさせていただきますので、例会案内に書いてあります次週のプログラムにつきましては休会となりますので、皆さまご理解をお願いいたします。

また、来週に予定しておりました理事会の開催日も延期させていただきます。理事者の皆さま方に改めてご連絡させていただきますので、ご承知おきいただければと思います。

また、先日皆さま方にご協力いただきました熱海豪雨災害に対する義援金が、2500地区で取りまとめが終了して、総額187万1,540円を皆さま方からのご協力いただいたという報告が来ております。ご協力ありがとうございました。

最後ですが、『ロータリーの友』から案内が来ております。この度『日本のロータリー100年史』という書籍が発刊になりました。「在庫がたくさんあるので皆さまにご協力いただきたい」と、当クラブ在籍のバスター吉田潤司君からロータリーの友第1ゾーン顧問を務めているということで案内が来ております。詳細はホワイトボードに貼っておりますので、ぜひご興味のある方はご確認をいただきたいと思います。

当クラブの方に1セットありますので、ぜひご覧になっていただければと思います。ご協力よろしく願いいたします。

以上でございます。

新入会員紹介

スポンサー 石田 博司会員

田中弘明君をご紹介いたします。

料理空間たなか。先ごろ、栄町公園のA面横から越しに来ました。まだ引っ越してきて間もないが、張り切っ



できるとことと思います。

年齢が44歳なのですが、花の44歳は3人いるのですよ。菅原住職、それから純水・純ちゃん、それから彼が44歳。

一番若いのは誰でしょう。一番若いのは一番左にいる副幹事の田内君が37歳。そういうことで非常に若返ることになると思います。

以上、簡単ですけれども私からのご紹介といたします。では、本人からどうぞ。

新入会員の挨拶 田中 弘明君



皆さま、こんにちは。今、紹介いただきました田中弘明でございます。この度は歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入会のお許しをいただきまして、誠にありがとうございます。

私は専門学校卒業後、釧路に戻り調理師として全日空ホテルで15年、八千代本店で3年、そして7年前に『料理空間たなか』という小さな日本料理店を開業いたしました。

ホテル時代には常陸宮殿下・妃殿下が釧路にお見えになった時に代表として責任を持っておもてなしをさせていただいた経験もございます。5年前からは、厚岸翔洋高校調理科の日本料理の講師もさせていただいております。

今後は釧路ロータリークラブの一員として身を引き締め、奉仕活動を通じて社会貢献をし、郷土釧路の役に少しでも立てるよう精進して参ります。

ご指導賜りたくお願い申し上げます。誠にありがとうございます。

歓迎の言葉と委員会配属の発表 杉村 荘平会長

田中君、ご入会おめでとうございます。クラブを代表いたしまして歓迎申し上げます。

いつも同じ話ばかりで恐縮でございますが、入会は義務ではなく権利、出席は義務ではなく権利だと言われております。せっかく入ったロータリーですから、その権利を大いに活用

して積極的に溶け込んでいただければと思っております。

で仕事しています。ご家族が奥様とお嬢さん二人。趣味としてはゴルフも麻雀もしない、お酒は大好き、ということであれわれとお付き合い

最初の三カ月が、非常にハードルが高くて大変なのですが、そこを乗り越えていただいて、積極的に参加していただければと思っております。

委員会は増強委員会でございまして、五十嵐委員長は今日来ておりませんので、池田一己副委員長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

分からないことがあれば委員長・副委員長・スポンサーになんなりと聞いてください。

よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■

k-Biz 開設3周年 実績とサポート事例

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

プログラム委員会の工藤さんが旅に出られましたので、代わりに本日の講師をご紹介させていただきます。その前に『料理空間たなか』のお店の場所を石田さんはパスされましたけども、第15エーワンビルプレミアムの2階です。1階が言わずと知れた『金ちゃん』のあるビルの2階でご商売されております。大変、美味しいお料理ですので、ぜひ機会があればお願いしたいと思います。

それでは、本日のプログラムに入りたいと思います。本日のプログラムは「k-Biz 開設3周年、実績とサポート事例」ということで、昨年9月3日にご講演いただきました釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz 副センター長の田辺貴久様です。

皆さん、有意義な時間をお過ごしいただければと思います。よろしくお願いいたします。

釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz

副センター長 田辺 貴久様



皆さま、こんにちは。このような場でお話をさせていただく機会をいただきまして、誠にありがとうございます。ただいま、ご紹介をいた

いただきました釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz 副センター長の田辺と申します。この間、8月21日に k-Biz 開設いたしまして3周年となりました。今日はその実績と、k-Biz の方でサポートさせていただきました事例をいくつかご紹介させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

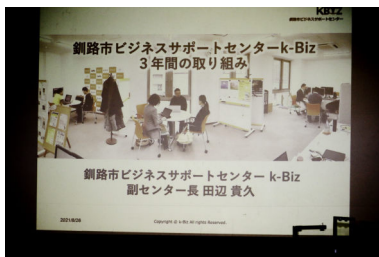
はじめに、釧路市ビジネスサポートセンターは、釧路市と地元の金融機関・商工会・商工会議所等で運営している「釧路市ビジネスサポート協議会」の下での無料の経営相談所になっております。こういった相談施設はいま全国で開設予定を含めて26か所あるのです

が、釧路はもともと地元の同友会さんからこういった場所を開設したいというお声をいただきまして、市の方で開設に至ったということで、地元の皆さまからのご協力をいただきながら運営をしております。

具体的には、売り上げアップ、商品のコンセプト作り、情報発信、等ビジネスのプラスになるようなご提案・ご相談を行っております。基本的に1回1時間でご予約制となっています。何度ご利用いただいても、どんなサポート受けても無料でご利用いただいております。

お話を聞く中で会社様や店舗の強みを一緒に見つけて、それを伸ばしていくことで売り上げをアップしようということを特徴としています。手ぶらで来ていただいて、雑談の中からいろいろヒント、チャンスの兆しを見つけていくスタイルで行っております。

2018年8月21日に開設いたしまして、当初は釧路センター長1人でサポート相談を承っていましたが、



非常に多くの方にご予約を賜りまして、長い時は2カ月待ちという状態だったため、体制強化をすることになり、私が

2019年12月にブランディングマネージャーという肩書で加入させていただきました。

オープンから約3年の累積相談件数が、ちょうど今年の7月に累計5,000件となりまして、市長にもお越しいただきまして簡単なセレモニーを行わせていただきました。

現在、事業者様でご相談に来ていただいている数が約750社様、これは個人事業主の方も入るのですが、こちらが釧路市に登録されている法人数が約8,000と聞いておりますので、1割弱の方にご利用いただいている計算になるかと思います。

おかげさまで、k-Bizでご支援した取り組みについてはテレビ・新聞などでも報道いただいております、市民の皆さまにも認知いただいているような状況でございます。

k-Bizではただいま3人で相談対応させていただいております。センター長の澄川はもともと『リクルート』で営業のマネージャーをしていた人間です。私は現在、副センター長として事業全般の相談業務に携わっております。私もリクルートで澄川と同じく住宅メディアを担当していました。澄川はSUUMO(スーモ)の営業で、私は雑誌の編集を行っておりました。

よく「澄川さんに引き抜かれたのか」と言われるのですが、私がたまたま出張で釧路に来る機会ありまして、その時に澄川さんが釧路にいたな、ということで、そのとき初めてどんな仕事をしているのか話を聞いたの

です。その際に「中小企業の売り上げ支援の仕事をしている」と話を聞きまして、非常に有意義な仕事だなと思い、私から「もし、求人があるようだったら、応募させてもらいます」と話をしたのです。もともと澄川とは直接おなじ部署で働いていたわけではなかったのですが、現在はお互いの強みを補完し合いながら、チームで協力して業務にあたっています。

もう一人、ITアドバイザーとして佐々木さんがサポート業務を行っています。地元でずっとIT関係のお仕事されている方で、ホームページの作り方、あるいはSNSの発信で情報発信・情報作りのサポートをさせていただいております。

k-Bizは、請け負って何か作るという場所ではないので、一緒に画面を見ながらホームページの作り方などをサポートさせていただいて、自力で作れるようになった方もいます。

スタンスとしては、あくまでも評論家として客観的に物事を言うのではなくて、一緒にお仕事をしている実務者のような立場でお話を聞かせていただいております。イメージは「1時間だけ御社の社員です」ということで使っております。

一般的に「この業界だとかいうことが一般的ですね」みたいな話をしても、それがその会社様や店舗様に必ず合致するか、適切か、は別の話ですので、あくまで個別にその会社さんや店舗さん、個人の方の特徴に合わせた「一番、最適なやり方は何か」を考えるようにしています。

私、個人の自己紹介ですが、千葉県出身です。大学卒業後は一貫して雑誌社にいたのですが、なかなかいい会社に恵まれずに1年ごとに転職をして、やっと『リクルート』で12年勤めました。昨年、機会を頂戴いたしましてLGBTの話をさせていただいたのですが、会社でも人事部でダイバーシティの担当をさせていただいております。2019年12月に釧路に引っ越して来まして、ただいま副センター長として働かせていただいております。

では、K-Bizの3年間の活動実績ということで簡単にご紹介させていただきます。

先日21日、ちょうど開設3周年の日に釧路新聞さんに大きく取り上げていただいたのですが、2020年度の相談件数はこれまで最多の2,025件で、今では2〜3週間くらいお待ちをいただいております。

昨日までの件数としましては、累計5,266件の相談対応させていただいております。その内訳としては、事業全般のご相談が約3割強、販路開拓のご相談が約3割強、情報発信のご相談が約1割強。新商品・新サービスのご相談が約1割強となっています。それから個人の方ですと創業・独立のサポートとして、例えば事業計画書作成のお手伝いをしたり、融資な

どの段取りをお伝えしたりといったことをおこなっております。

また、人材確保についてのご相談も多くいただいております。最近では給与面だけでなく、働き方や職場環境について重視される傾向もありますので、求人票にそうした情報を盛り込むアドバイスなどもさせていただいております。

月ごとでみますと、月に 200 件前後ご相談対応させていただいております。この青い部分は新規相談で、毎月 10 件くらいの新規の方にお越しいただいております。おかげさまで、ご紹介で来ていただく方も結構いらっしゃいます。

相談の申込内容ですが小売りの方、サービス業の方、飲食の方が多いのですが、製造業の方、あるいは建設業の方にも来ていただいております。

K-Biz の支援の特徴として、これは各地の Biz を作った小出宗昭さんが仰っている言葉ですが「どんな会社・どんな方にも必ず光るものがある」ということで、そのセールスポイントを見つけて、それがどういったビジネスにつながるのかターゲットを絞ってみたり、あるいは利用シーンを想定してそれに合った情報発信をしたり、うまく連携・コラボをするとそのシナジーが光るところと接点を見出したりといったご提案をさせていただいております。

また、大事にしているのがお金をかけずにチャレンジできる、そして必ず実現できそうなことをご提案することになります。それを効果的に情報発信するという特徴となっています。

では、具体的にどんなサポートさせていただいているのか実例を少し紹介させていただきます。

こちらは『美味いッタラ！フライ』という商品を製造販売されている、マルヒ菅野水産加工株式会社さん。千代ノ浦の方でタラの加工を長らくされている創業約 80 年の老舗の水産加工業者さんです。こちらのお写真に写っていらっしゃるのが、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、マルヒの母さん。商品開発を長くされているお母さんが「タラを使ったフライを作りました」というお話でしたので、こちらの商品のブランディングと販路開拓をお手伝いさせていただきました。

売上アップを実現したポイントは、マルヒの母さんが非常にチャーミングな方なので、このキャラクターを生かすことと、全部手作りですので製造量にも限りがあるため、どのように売っていったらいいか販売方法を一緒に考えました。

マルヒの母さん、菅野さんがこの商品を開発したきっかけは「魚嫌いの方にも食べてほしい」ということでした。タラの臭みを抜こうと軽く干して味付けをして、と、普通の白身魚フライのより、かなり手間をかけたフライを、2 年くらい何度も作って試食して開発され

たとのことでした。課題としては、世の中では白身魚という海外で作った物も含めて非常に安いのですが、このたらフライはこだわった部分をちゃんと伝えて、適切な価格で販売したい。そのためには、どういう風にこのコダワリや特徴を伝えていくかということ、それと美手作りのため大量生産できないので、一気に売れ過ぎても困るので、売り方を工夫したいということ。その 2 点をどのように解消していくかを一緒に考えました。

このお母さんのキャラクターが分かるようにと、魚嫌いの方に食べてもらおうということで、お子さん向けにもチャーミングに見えるような名前とロゴを一緒に開発いたしました。

また販路については、もともとマルヒ菅野水産さんは卸売が中心なのですけれども直売所が工場横に併設されていたので、直売会を販売方法としました。実際に「直売所で販売会やりますよ」のチラシも簡易なものですがお作りするのをお手伝いしました。さらに販売会実施をメディアにもお伝えして、新聞等でも紹介いただいたことで、当日はたくさんの方にお越しいただきまして、1 回でだいたい 300 セット売れるような人気の販売会になりました。

直売会のあと、このフライの情報を見た桜ヶ岡のハンバーグレストランの『ビストロカーサ JiZi』さんでもメニューで取り扱っていただいております。また、釧路の城山にある高級品を多く扱っていらっしゃる『ミニスーパーはっとり』さんで取り扱いが決まり、さらには渋谷に本部があり全国展開する『J.S. BURGERS CAFE』でも取り扱っていただいて、じわじわと人気が出ています。

ほかにも例えば地元の阿寒商工会とは、阿寒湖温泉のクラウドファンディングに『刃牙（バキ）』の作者の板垣恵介先生を巻き込んで、クラファンを盛り上げるきっかけ作りをしました。実際に板垣先生が阿寒湖に来ていただいて、自宅にあったこの刃牙の立像を寄贈していただいたり、原画をいただいたりと協力していただいて、これは全国ニュースにもなったお話でした。このほか、今日は時間に限りがあり、他の事例のご紹介ができないのですが、支援事例を報告書にまとめてホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。引き続き、何かお役に立てるようなことございましたら、お気軽にお声がけいただければと思っております。これからも地元の皆さまのお役に立てるように頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今日はお時間いただきましてありがとうございます。

会長謝辞 杉村 莊平会長

田辺さん、今日はどうもありがとうございました。もう少しお喋りいただいても大丈夫だったのですが駆け足にさせてしまいまして、すみません。ありがとうございました。僕も最初、ご相談に行かせていただいたことありますが、どちらにしても3周年迎えて5,000件ということで、素晴らしい実績だと思っています。

僕は先週もお話しましたが、地域あつてのロータリーだと。何でもそうですけどね。どの商売もそうだと思います。何とか地域を良くするヒントをいただきたいと思いながら、こういう例会も今年はさせていただいております。やっぱり地域に活力があるように何とかして行きたいと思っている中で、k-Bizさんの存在は本当にわれわれ市民にとってもありがたいことでございます。大変、助かるところでございま

す。

1年ずつの更新という逆になっていますが、釧路に根付いていただいて、釧路にどんどん成果を出していただいて、可能であれば違ったプロジェクトなんかも、クラウドファンディングになるか分かりませんが、そこはk-Bizさんのお仕事じゃないかもしれませんが、そういうのにつながっていくように、どんどん輪をかけて輪をかけて大きくなるような活動になっていただけるように祈念しております。

われわれも、改めてまずは自分の商売をしっかりとやるということになりますけども、釧路市のために協力しながら頑張っていきたいと思います。

これからもぜひ協力、ジョイントさせていただきながら釧路のためにやっていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

今日はありがとうございました

本日のニコニコ献金

■木下 正明君 武漢ウィルス下のどさくさに紛れて娘と息子が結婚しました。

今年度累計 82,000 円

2021.10.7 (木)
第 8 回例会
(通算3635回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副 会 長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	中学親善硬式野球大会報告会・会員卓話 (担当: 青少年奉仕委員会・理事会)
次週例会	講師例会「地球温暖化と釧路の気象災害について」(担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 奉仕の理想

■ソングリーダー: 芦名 賢一君

■会員数 100 名

■ビジター なし

■ゲスト 釧路リトルシニア球団 監督 橘 幸司様

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。1 カ月ぶりの再開でございます。まずは、皆さんの元気な顔を拝見して例会を再開できたことに感謝申し上げます。

いま、入ったニュースですが、佐藤貴之君とテーブルで話をしていましたら、野球の報告なのですが、ご子息がリトルシニアに入られていて、旭川大学校付属高校に特別優先推薦入学が決まったようです。おめでとうございます。活躍をご期待しております。そのような子どもたちがどんどん出てくることを祈りながらこの活動をやっている訳ですので、本当に良いことだと思いました。おめでとうございます。

1 カ月ぶりの再開ですが、皆さん、いろいろスケジュールの方でご迷惑をおかけしております。まずは、今週末に『地区大会』が開催されます。今回は釧路での開催となりますが、コロナ対策のために本会場は交流センターですけれども、第7分区のクラブは全日空ホテルでの別会場となります。いろいろ手法も変わってくるようでして、多少、皆さんにご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ぜひご出席とご協力をよろしくお願

しくお願いしたいと思います。

また、28 日には『ガバナー公式訪問』『クラブ協議会』を開催させていただきます。少し時間が空いてしまいましたが、発表をされる各委員長の皆さんにおかれましては抜かりなくご準備をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、もう何回「いよいよ」と言ったか分かりませんが、いよいよ 21 日に「夜例会」を再開させていただきます。親睦の皆さんにはご活躍を期待しておりますけれども、皆さんもぜひご理解とご協力をいただきながら大いにロータリーを楽しめる夜例会にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

お休みの間、テレビなどを見ておりましたらコロナのニュースがひっきりなしに流れておりました。このニュースを見ていると、改めて世の中にはいろいろな意見があり、そのいろいろな意見の中でひとつの答えを出すということは本当に難しいことだと思っておりました。

また、私のネタでございますが、小学校 1 年生の時のことを思い出しました。何てことのない話しですがご紹介させていただきたいと思います。

1 年生の時に、授業で天気の関係の授業をやっていたと思うのですが、その時に、担任の先生が「皆さんは雨の日と晴れの日、どっちがいい」と聞きました。

クラスみんなが「晴れの日が良い」と。だいたいクラス全員が言いますよね。そうすると担任の先生が「そうですか、じゃあ雨が降って欲しいと思っている人はいないのかな」と言うのです。そうすると自信満々に杉村少年が「そんな人いるわけないでしょ。晴れが良いに決まっているでしょ」と言うわけです。そうすると先生が「じゃあ莊平君、農家の人は雨が降らなかったら困るよね。雨が降って欲しいと思わないのかな」と言うのです。そうすると杉村少年はもう脳天に雷がズガガガガーンと落ちました。なるほど、と。自分が間違いないと思っていることにも必ず反対意見があるんだ、答えはひとつじゃないのだ、と。いまでも思い出す僕にとっては大切な出来事でした。

また、もうひとつ、答えが難しいというお話を紹介させていただきます。これは皆さんご存じかもしれませんが、イソップ童話で『ロバを売りに行く親子』という物語がありまして、ご紹介をします。親子がロバを売りに市場へ行くわけです。2人でロバを引いて歩いていると道路にいる人が「何をやっているのだ。せっかくロバを引いているのだからロバに乗らないともったいない」と言うのです。なるほどということで、今度は息子を乗せてロバを引いて歩きます。すると通った人がその子どもを見て、「親を歩かせて息子がロバに乗っているとはどういうことだ」と言うわけです。すると「分かった」と、今度はお父さんがロバに乗るわけです。また通った人が、「子どもを歩かせて親が乗っているとはどういう親だ」と言われます。すると、今度は親子2人がロバに乗るわけです。また通った人が「ロバがかわいそうだ。2人も乗せて重そうだ。もっとロバを楽にさせてあげろ」と言うわけです。すると親子は、ロバの両足をひもでくくりつけて棒で担いで今度はロバを持ち歩いて向かいます。すると、橋の上で嫌がったロバが暴れ出して落ちてロバが死んでしまうというお話です。

これは、人の意見を聞き過ぎて振り回されてしまうというお話です。この教訓は、人の意見を聞きながらもしっかりと自分の意見・考え方・信念を持つことが大事です、ということかと思えます。

僕はここでもうひとつ大切なことは、目的と手段をしっかりと区別する考えを持つことが大事なのだろうと思っています。この場合、この親子の目的はロバを売ってお金に換えることが目的で、市場へ行くことはあくまで手段です。だから、この親子はこのロバを売るという目的をしっかりと理解さえしていれば、人の意見に左右されずに市場に着けたのではないかと思います。

ということでコロナの話に戻りますけれども、目的は皆さんが平和で豊かな生活を送られるようになることで、コロナ対策はあくまで手段でしかないと思っています。ですから大事なことは、みんなでしっかりと

知恵を出し合って、前を向いて、目的と手段を履き違えないようにして向かって行くことだと思いました、という話でございます。

わがロータリーもこの令和3年の10月、ここが目的達成への分岐点になるようにみんなで祈念しながら例会を今日から再開していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事



皆さま、改めましてこんにちは。私から幹事報告をさせていただきます。

いま杉村会長からもうございましたが、今度の日曜日に『地区

大会』が行われます。9時45分を目途に国際交流センターの入口にて皆さまとの写真撮影を行いたいと考えております。皆さま、お時間をお忘れなきようにご移動をお願いいたします。

写真撮影の後、ANA クラウンプラザホテル釧路に移動をしていただき、そちらの会場にて同時中継の地区大会を見ていただく流れになります。その後、同部屋にて昼食をとっていただきます。

その後、同じ場所で第1から第8分区のクラブの方が食事をとる関係上、皆さまには食事のお席から一度ご退席をいただくという少々面倒くさい動きになっております。なんとか協力をして地区大会を成功に持って行きたいと思っておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。詳細につきましては本例会後、事務局より案内を送付させていただきますのでご覧いただければと思っております。

続きまして、先ほど杉村会長からもありました『夜間例会』を10月21日に再開予定となっていて、本日まで案内をさせていただきます。とりまとめの期日が短くなっておりますけれども皆さまのご出席を心よりお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

また、10月28日の第4例会にて『ガバナー公式訪問』が行われます。本日、皆さまのパーソナルボックスに活動計画書を配布させていただきました。そちらを当日午前中に行われる『クラブ協議会』で使用しますので、お忘れのなきようお願い申し上げます。こちら本日ご案内を皆さまに送付させていただきますので予定となっております。

また、今月10月のロータリーレートは112円となっております。

また、本例会終了後、理事会が行われますので理事者の皆さまはローズホールの方へご移動をお願いいたします。

以上でございます。

■本日のプログラム■
中学親善硬式野球大会報告会・会員卓話

青少年奉仕委員会 佐藤 貴之委員長

青少年奉仕委員会佐藤でございます。先ほど杉村会長からお話が出ると思っておりませんでしたのでニコニコをしておりますでしたが、後ほどニコニコをさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



それでは、本日のプログラム『全道中学親善硬式野球大会』の大会報告をさせていただきたいと思います。例年ですと、このプログラムでは『ライラセミナー』も同時にご報告させていただくのですが、今年度はライラが中止となっておりますので、本年度は野球大会の報告のみとさせていただきます。

本日は、まず7分ほどの動画をご覧になってから、監督にご挨拶をさせていただきたいと思います。それでは動画をお願いいたします。

(全道中学親善硬式野球大会動画 鑑賞)

釧路リトルシニア球団監督 橘 幸司様



皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路リトルシニア監督の橘と申します。よろしくお願いいたします。

本年も『全道中学親善硬式野球大会』の開催に向けご尽力いただきました全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

11回目となる今大会は、このコロナ禍での開催となりましたので、規模を大幅に縮小して道東地区の3チームによる総当たりで実施いたしました。十勝帯広チーム・大空チーム・釧路、この3チームは毎年近郊ということもあり練習試合を常に行っており、相手の手の内も知る仲ではありましたが大会という緊張感を持った試合はやはり練習試合とは全く違う雰囲気です。選手はプレーできていたと感じました。結果は釧路チームが優勝ということになりました。

今回は少々規模が縮小した分、総当たりということもありまして、選手に個人賞を設定することを初めて行ってみました。選手はとても喜んでおりました。

また、グラウンドを提供していただきました釧路工業高校の皆さんが、グラウンドを貸すだけでなく、整備

やお手伝いなど全てをしていただけて、良い指導をされていると強く感じ、見習わなくてはいけないと思いました。さすが高校生と感じました。

当球団ですが、現在、3年生9名が引退して1・2年生14名で活動しております。常に全道大会ですので移動が大変なのですが、14名で活動しております。ただ、団員数不足は否めないもので、皆さまのお近くに野球少年がおられましたらぜひご紹介いただければと思います。

重ねてですが、当球団OBの佐藤龍世選手ですが、今シーズン途中で北海道日本ハムファイターズに移籍をしております。一軍の試合にも出させていただいておりますので、併せてご声援いただければと思います。

今後も本大会を継続し、釧路の地にまだまだ根付かぬ中学硬式野球の発展と野球人口の増加、釧路の野球の底上げの一端を担っていければと思っております。次年度以降も全道中学親善硬式野球大会開催に向け皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。

『会員卓話』

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

この後は、『会員卓話』でお時間を使わせていただきたいと思います。

いまのVTRは佐藤君が作りましたので、かしこにロータリー色の多いビデオとなっております。ご苦勞様でした。

それではこの後、須藤さんに会員卓話という形で。須藤さんは『旅する鍼灸院』という本を著作され販売されております。本日はご厚意で、皆さんに一冊ずつお持ち帰りいただければとテーブルの方に置かせていただきましたのでご紹介をさせていただきます。

それでは、須藤様、お願いいたします。

あんずの種 釧路本院院長 須藤 隆明君

皆さま、こんにちは。あんずの種の須藤隆明と申します。いま言われたような形で『旅する鍼灸院』という本を出したので



「お話をしてください」と言われて、このような場に呼んでいただきお話をさせてもらうことを嬉しく思っています。

釧路ロータリークラブに入って4年目になるのですが、あまり活動ができないところもありますけれども、僕にとってロータリークラブとはすごく異質な世界と思って少々ドキドキ、勇気を持ちながら入ったのです

けれども、このような私を温かく迎え入れてくれている仲間の方がたくさんいたこと、本当に嬉しくて感謝したいと申します。

今日は、時間が限られているのですけれども伝えたいことは、この異質なものに飛び込むということはいいなという話と、僕 35 年間鍼灸師として健康のことをやっています。いろいろな健康法がありますけれども、この『旅』も健康法のひとつではないかと思っていますことなのでその話をさせていただきます。

杉村少年ならぬ須藤少年も小学校のころ、米町公園から海を見ていると外国船などたくさんの船が入っていて、それを見ては「いつか遠くへ行ってみたい。外国へ行ってみたい」という夢見心地な少年を過ごしていました。大学へ入ったときに探検部というクラブに入っているいろいろな活動をするが増えました。いろいろな所へ行ってきました。

今日みたいな青空を見ていると、32 年前の 10 月の今頃は台湾にいました。鍼灸学校を出て中国に留学をしようと思っていましたけれども、ちょうど 1989 年の「天安門事件」があって中国へ行けなくなって、その間、台湾で勉強をしたり中国語を習おうと思って半年暮らしていました。10 月 10 日が台湾の建国記念日で、街は活気溢れておめでたいところですがけれども、その時僕は 1,200 円～1,300 円の安宿に泊っていました。宿の 2 階のテラスから見上げると立派なシエラトンホテルが見えて、いまはものすごく立派なホテルがたくさんありますけれども、「いつか将来あのようなホテルに泊まれるようになりたい」と思いながらなかなか泊まれなかったのです。恥ずかしい話ですがけれども、上の方に泊まり客のみのプールがあるのでけれども、泊まり客のふりをしてごまかして入ってチャプチャプして、いけないことをやっていた台湾の方あるいはシエラトンホテルには申し訳ないと思ったのですがけれども、4 年前に念願のシエラトンにも泊まることができました。

もう皆さん方は世界をあちこち行かれている方ばかりですがけれども、僕がひとつ自慢できることは、19 歳の時に初めて世界をグルッと回るバックパッカーをやっている時はものすごい貧乏旅行だったということです。台湾の時もそうでしたけれど、その前の時も限りなく貧乏旅行をしながら、ルートは飛行機などはあまりなく陸路などが多かった。世界最悪の陸路の国境越えという南イランからパキスタンへ抜けるルートで、そこを超える時や、砂漠で移動をしている時にバスから急に下ろされて、何もない所でヒッチハイクでギリギリ帰れて生き延びたり、ケニアではパンツに隠していたお金を税関の人にピュッとポッケされたりなど結構ハラハラすることもあったり。

人生の中では、火事で家が軒丸焼けになったこともありますけれども、いろいろなことを乗り越えて、人

生っておかしいですけれども「何とかなるな」という哲学だけは持って帰って来ました。詳しくはその本に書いてありますので、読んでいただければ。

今日、本をプレゼントされて良かったと思う人が半分ぐらいで、余計なゴミが増えたと思う方も多いかもしれないけれども、帰りにゴミ箱に入っていないことを秘かに祈りながらお話をします。

先ほど言った「旅が健康法だ」というひとつは、僕自身がそうでした。鍼灸院を開業してから忙しくバタバタしたり、ストレスが溜まってこの辺が重苦しくなっていて、知り合いの医者に診てもらって。自分ではお酒も好きでしたから肝臓がんかと思いましたけれども検査の結果は「異常なし」、ただ疲れやすい、やる気がでない、体重が何となく減ってくる。会うと「須藤君、痩せたね」と言われると何かドキッとすると。「痩せたね」と言われて嬉しい時もあったけれど、そういう時は何かドキッとてあまり嬉しくない時でありました。

ずっと動けないでいたので、南のクックという島に何もしないで 1 週間ぐらいいました。このような仕事をしていますから、自分で針を打ったり漢方薬を使ったりいろいろやっても全然良くならなかったのが、1 週間、海の前でボーっとしているだけですぐに良くなりました。鍼灸師としては「なぜ針だけで治せなかったのだろう」と悔しい思いもあるけれど、でも何か異質な世界で言葉が通じない、使うお金も違う、食べる物も違う、という所にいることで、何か細胞には良い方向に変わる力があつたのか、という気がしました。その後、皮膚がすごく弱くて、この辺がブツブツだらけでした。鍼灸師をしていて今はマスクをしていても「コロナだからね」と言われるけれど、当時はずっとマスクをしていると「どうしたのですか」と言われたり、あるいは会合に行くと「鍼灸師は自分の顔の治療はできないの」と言われて、情けないというかショックだった時期が結構長くありました。けれど波があつて良かったり悪かったりしていましたが、それはケニアに行つてまた少々異質な世界に触れて帰つて来たら嘘のようにきれいに治りました。

これも本当に「なぜか」という話で、自分では思っていました。いま患者さんとお話をしていると、どこかへ行こうとか、どこかへ帰って帰って来たら元気になる人が多いです。だから何か非日常の世界に行つて、いつもと違う時間を過ごすことがストレスの解消になると言えば簡単ですがけれども、それだけではない遺伝子のスイッチなのか何のスイッチなのか分かりませんが、そのようなもので元気になる可能性があるところ、それを伝えたくて『旅する鍼灸院』という本を出版しました。

いま釧路と宮古島を行ったり来たりしながら。よく「釧路にいないでしょ」と言われますが、いま行っている時が 3 カ月に 2 週間ぐらいなので、だいたいこっち

にいます。行ったり来たりで3,000kmを移動するので、「疲れるでしょう」と言われるけれど、僕にとっては行かない方が疲れるというか。緊急事態で行けなかった時もありましたが次の日曜日にまた久しぶりに宮古島に行けます。まだ宮古は30度あるので、釧路の今朝の5度ぐらいの所から移動をすると30度近い気温差があります。「そんなに気温差があって風邪を引きますか」と聞かれたりします。サウナから水風呂に入った時は何となく元気になりますよね。その感じなのです。中途半端に東京から戻って来ると風邪を引いたりするけれども、それくらい変わっている所の刺激を受けると自分もいま元気で、特に薬を飲んだりすることなくやって来られているのは旅をしていることが大きいと思うので、何か異質なところに飛び込む、チャレンジをしてみるということも良いかと思えます。

ありがたいことにロータリークラブに入れていただいて、こちらにいらっしゃる方でも針治療をやったことのない方も来てくれたりしています。『あんずの種』の針を受けたことがないという方には多分ものすごく異質な世界だと思います。針だけでも異質だし、『あんずの種』はあまり認知されていなくていろいろのことをやっているの、そこの異質な世界の扉を開くと、もしかしたらもっと違う元気な自分になったりするかもしれません。

この本を読んだ人の感想が嬉しいことに「何か読んだら元気になった」「心がちょっと楽になった」「どこかへ行きたくなった」「何か新しいことをやってみたくなった」という人も多いので参考にさせていただいて。ちょっと見てこの本にも旅をしてほしいので、あまり面白くないと思ったら興味のありそうな人にあげてくれたりしてくれると嬉しく思います。

これでお話を終わります。まだ大丈夫ですか。ありがとうございます。

先ほど言った「なぜロータリークラブが異質か」です。先ほど言った貧乏生活が長くて、家は普通ですけど、自分がそのような世界が好きで、お金を使わない生活をやりながら旅行資金を貯めては外国へ行き、また戻って来てバイトをして三畳一間ぐらいでパンとラーメンの生活が当たり前、そのような習慣があったから仕事を始めてからもそのような意識があまりなく、「食べていけばいい」ぐらいに思っていて、仕事の意義と理念とか「ウチの治療院は何のためにあるのか」を

あまり考えていなかったから。

夫婦2人で暮らしていければ良いと思っている時に、11月の風が強い日に丸焼けになってしまいました。タイマースイッチで入ったストーブから強風で集合煙突が割れてカーテンに引火して、1階が火の海になっていたのです。2階で夫婦で寝ていて、きな臭い臭いがして何だろうと思ってドアを開けたらもうブワッと、前髪がチリチリっと焼けて。「起きろー！」と。低血圧の妻も何か尋常ならぬ声で降りて来て、「わー！」と。

釧路台という釧路町の奥、かなり田舎の一軒家を300万円で買って住んでいました。向かいの家に頼んで119番をしてもらったのですけれども、なかなか消防車が来ないのです。来ない間に、どんどん燃えて、僕の車も溶ける、バイクも溶けるという状況です。車が来たと思ったら消防車ではなくNHKの中継車で、カメラが回っていました。消防車よりもNHKが早くて、釧路町は何をやっているかと。来ない原因が分かりませんが、その後2台で消防隊員が強力な放水をして火事を止めてくれました。その時、消火活動に当たる人と僕に1人張り付く消防士がいて「須藤さん、夕べは何時ころ寝ましたか。酒は飲みましたか。たばこは吸いましたか」など、いろいろ聞いてきます。きっと火事の出火原因を調べるのかと。後から聞いたのですが、必要な情報を後からゆっくり調べるのではなく、ちょっと焦っている時に本当のことを言うらしいから、というのです。「お酒は飲みましたけれど、たばこは吸っていません」などいろいろなことを言いながら、その消防士の最後の一言が「須藤さん、誰かに恨まれていませんか」。ドキッとしてね。昔の彼女からそのようなことはないしと思いながら、でも例えば放火みたいなことも含めてそのような時に聞くのかな、と貴重な体験をしました。

その時、会社のことなど何も考えていなかった僕が少し考えようと思ったり、理念や何のためにやるのか、釧路のためにとか考えられなかったのが、旅と火事のおかげでとなるので、人生の中で何が学校になるか分かりません。旅が学校になったり、いろんな嫌な事件が、大変だと思ったことが後々のいま、あの事件があった本当に良かったなと思っています。

つたない話しでしたけれども、またよろしく願います。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

■杉村 莊平君 いよいよ再開です。皆様よろしくお願いいたします。

■浅川 正紳君 やっと皆さんにお会いすることが出来ました。司会でかまない様頑張ります。

■市橋夢佳丞君 例会再開となりました。改めて宜しく願い致します。

今年度累計 89,000 円

2021.10.14 (木)
第 9 回例会
(通算 3636 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 夢佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 ジェラルド・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	講師例会「地球温暖化と釧路の気象災害について」(担当: プログラム委員会)
次週例会	地区大会報告会・新入会員歓迎例会 (担当: 親睦活動委員会・クラブ研修委員会)

- ロータリーソング: 四つのテスト
- ソングリーダー: 篠原 実君
- 会員数 101 名
- ビジター RI2500 地区大会実行委員会 植原 元晴実行委員長 (釧路ベイ RC)
RI2500 地区財務委員会 渡辺 雅樹委員長 (釧路ベイ RC)
- ゲスト 釧路地方気象台 観測予報管理官 中山 寛様

会長の時間

杉村 莊平会長



本日も多数ご出席いただき本当にありがとうございます。先日、地区大会を無事開催いたしました。例年とは少し違った形での開催でございましたので、少し戸惑うところも多かったかと思ひます。まずは地区全員が実際に集まって大会をできたことに感謝して、このままスムーズにロータリーに限らず、すべてのことが軌道に乗って行ければと願っているところでございます。

さて、会長挨拶でございますが、年当初からこの 10 月・11 月においては、85 周年を記念しまして、釧路のクラブの歴史についてのお話をさせていただければと思っております。いろいろ話題はありますが、今回から 5 ~ 6 回に分けて釧路クラブの歴史についてお話をさせていただければと思っております。

今回はまず 1 回目、釧路クラブの創生期について 1986 年の 50 周年記念誌を調べさせていただきました。そこに載っているところで、当時の両角克治さん、北村藤兵衛さん、そしてわが清水先生もご出席されておりましたが、そのことを中心にご紹介したいと思います。

まず、皆さんご存じのとおり創立は 1936 年昭和 11 年 11 月 23 日です。全国で 26 番目、北海道で 7 番目、認証番号が 4092 番というのが釧路クラブです。当時、一番の中心人物であった両角克治さんが創設当時から 4 年連続で幹事を務められた中心人物でございます。実は、本人が語っておりますけれども、創立前の昭和 7 ~ 8 年から両角さんの取引先で東京の内外編物という会社の小林会長が東京ロータリー、日本ロータリーの重鎮の方で、その方から「早く釧路にもロータリークラブを作れ」と再三言われていたのです。

その当時、両角さんが今の釧路ガスの会社設立準備で大忙しです。それをほったらかしていたらしいのです。そうすると、小林会長から札幌クラブに重鎮で北大総長、確か男爵の佐藤昌介さんというガバナーがいたのですが、そこに行って「釧路を何とかせよ」という指示があったようです。当時、札幌の幹事で、後にガバナーも務めた宮脇さんが釧路に来られて、いよいよ両角克治さんも「観念した」と語られています。

「当時は書籍・書類すべてが英語の物しかなくて、設立の申請には本当に難儀をした」と語っております。釧路ガスの設立がもう少し早ければ釧路クラブの創立も少し早く、帯広ロータリーよりも早く創立できたのではないかと思います。この頃、日本のロータリークラブの構成が朝鮮半島と満州も入れた第 70 地区という 1 地区なのです。創立

してすぐの 1938 年の地区大会が朝鮮の京城、今のソウルで行われて、その当時のエレクトだった清水源作さんがはるばる京城まで参加したという記録になっています。

ちなみにこの清水源作さんが戦時中にこのロータリー旗とロータリーゴングを自宅の押し入れに入れて守ってくれた方です。

翌 1983 年、地区協議会が開催されております。これが比叡山の延暦寺で開催されておまして、この時には両角さんも裏日本を 3 日間かけて汽車に乗って比叡山延暦寺に行き参加しております。また、本人が「昼食は梅干しだけの日の丸弁当だけだったけども、さわやかな味わいだった」と語っております。

一方で、1940 年に釧路クラブは国際ロータリーを脱退しまして、その後「木曜クラブ」「釧路職域懇談会」と名称を変えながら活動を続け、1950 年に再び

チャーター、再創設されております。

ここで皆さん、初代会長の飯田会長はどういう方か知らない方が多いかと思しますので簡単にご紹介させていただきます。

飯田会長は福岡市の出身で、中学卒業後、満州やシベリアで貿易に従事した後、明治 36 年に釧路に移住します。とんけし郵便局長を務め、釧路郡漁業協同組合の創設に関わった後、そこから中小商工業者の金融救済を目的として釧路信金の前身である釧路信用組合を創設し、初代理事長を務められました。戦後はホクレンの理事などをお務めになり、昭和 29 年、82 歳で亡くなられております。

創立時、31 歳の両角さんに当時、62 歳の飯田さんが初代会長になられたいきさつをお聞きしたところ、「何といっても人格者であったから」というお答えだったということです。

少し長くなりますが、もう一人ご紹介したい方がいらっしゃいます。その両角さんが創立当時に、事務的なことをほとんどやってもらったというキーマンがおります。リチャーターメンバーのお一人で商工会議所の専務や市議会議員を務められた三原正二さんという方です。三原さんは 1950 年のリチャーター年度から 2 年連続、幹事を務めた後、その後の 15 年間で副会長を 4 回やっております。そして、何とリチャーター年から 25 年経った 1975 年に第 30 代の会長を務めております。

この頃からも釧路クラブを支えていただいた、まさに縁の下の力持ち的な方だと考えております。85 年のご逝去にあたっては追悼集に清水先生をはじめ多くの方が筆を寄せておりますけど、その中でも最後のリチャーターメンバーとなった北村藤兵衛さんが「この前の年に亡くなった村上祐二さんが釧路クラブの生みの親であれば、三原正二君は育ての親でもありました。お互いに 35 年にわたり手続き要覧を読みながら盛ん

に勉強をしてロータリー充実のためにお手伝いをさせていただきました」と語っております。

釧路クラブにはそれぞれの時代に縁の下的な「ミスターロータリー」がいらっしゃいましたが、僕が釧路クラブの歴史をたどった中では三原さんが初代ではなかったかと思えます。

長くなりましたが、現在のロータリー活動もこのコロナの中、大変な状況でございますけれども、先輩の苦勞と比べれば比較にもならないと思っております。この 85 周年を期に先輩がロータリーに捧げた情熱に思いを巡らせながら、改めてロータリーを楽しんで行ければと思っている次第でございます。

こういう「歴史編」をあと 4～5 回やりたいと思っております。すみませんが、お付き合いいただきながら、本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋孝佳 丞幹事

皆さま、こんにち。今週の幹事報告させていただきます。

先日行われました R I 2500 地区の地区大会に多くの皆さまにご参加いただきましたことを心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。また、その場で皆さまに登録グッズをお渡しさせていただきましたけれども、登録グッズの中にお菓子が入ってありました。全員登録の関係上、そちらが大量に余っております。賞味期限もあることから本日、皆さまにお配りしましたので、この会場で食べていただくか、お持ち帰りいただければと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

来週いよいよ夜間例会を再開させていただく予定となっております。一応昨日までが返信期日となりますが、まだ未返信の方は私にお伝えいただくか、青島事務局員にご連絡いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

他クラブの例会につきましてはお配りの例会案内をご一読いただければと思います。

以上でございます。

地区大会参加のお礼

植原 元晴地区大会実行委員長

ご紹介いただきましてありがとうございます。本日は



渡辺雅樹財務委員長と一緒に地区大会のお礼ということで参りました。

先日、行われました地区大会におきましては、釧路クラブの

皆さまには全員登録、そして多数のご参加をいただきまして誠にありがとうございます。おかげさまで予想

を上回る 912 名の登録と 720 名の参加と、非常に多くの方に来ていただきました。例会プログラムも天候に恵まれて特に問題なく行われました。

これだけの参加をいただけたのは正直、予想外だったのですが、コロナの感染が落ちついてワクチンが進んできたのがあると思います、やはり、1 年半ぶりで現地開催が行われたということですかね。コロナでずっとオンラインの会合ばかり続いておりましたので、みんなが集まって会議をするのは久しぶりのことで、皆さん、多くの地区の会員が集まっていたのかと思っております。

特に会の中身につきましては、小沢一彦 R I 会長代理が「本当に今回が最後」と仰っていましたけれども、わざわざ釧路まで来ていただきまして貴重なご講話をいただきました。また、坂本光司教授には日帰りでも来釧していただきまして、経営について、皆様の明日からの経営に役立つような本当に貴重な講演をいただきました。

地区実行委員長としましては、これで一応任務も終わると言いたいところですが、このコロナで大会後 2 週間程はコロナ感染が起きないかどうかを十分注意しながら様子を見ることになってしまいます。コロナのためもありまして一切、新聞とかマスメディアには広告をしておりません。もし、感染・クラスターが出た場合、地区の皆さまにお知らせするのはどうかということで、バイクラブでは差し控えましたことをご容赦いただければと思います。

そういったことで、2 週間もし感染者も出ずに無事終了しましたらクラブで直会を予定しております。この 2500 地区の地区大会は他地区に先行して行われております。ですから他の地区のモデルになるような現地開催ができたということでは、今回の現地開催は本当に良かったと自分では思っております。

また、漆崎年度がまだ半年以上続きます。地区の行事などまだありますので、ぜひ釧路クラブの皆さまにはご協力・ご指導のほどよろしくお願いいたします。重ねて地区大会、本当にありがとうございました。

スポンサー 青田 敏治君



それでは、下川部知洋君を紹介いたします。皆さんが既にご存じの下川部さんのお父さんは当クラブの会員で、メンバーで長い間在籍しておりました。また、私のゴルフ仲間でご紹介させていただいたところがございます。知洋君は 1 回だけ会っているのです。カントリークラブのロッカーにクラブを

置いたままだったので、初七日が終わったところですがクラブを自宅に届けた時にお会いしたことがあります。

それでは、紹介いたします。下川部知洋君、協立海上運輸株式会社の代表取締役社長でございます。東京の方にお住まいでして、東京で事業やられて、それで釧路の協立海上の社長という大変忙しい方です。こちらになかなか参加・出席するのも厳しいことかもしれませんが、できるだけ出てもらうようにしていただきたいと思います。

「ゴルフをやります」ということですが、今ハンデを聞きましたら「無制限だ」ということです。それから麻雀はしないということです。できるだけ出席できることを期待して、代わります。

協立海上運輸株式会社

下川部 知洋代表取締役



ご紹介いただき、ありがとうございます。協立海上運輸の下川部知洋と申します。本日は歴史と伝統のあるロータリークラブに加入すること

を許可していただき、誠にありがとうございます。また、先代である父がゴルフや会食ですとか、大変お世話になったと生前聞いております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

「ロータリークラブの目的は奉仕をすること」と先ほど伺いました。奉仕をするためには力が必要だと思っております。私はまだ若輩者でございますので、大先輩である皆さまの背中を見て、1 日でも早く力をつけて、その目的を達成できるような人間になりたいと思っております。皆さま方のご協力をいただきながらだと思っております、いろいろとご指導・ご鞭撻をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日はありがとうございます。

スポンサー 吉田 潤司君

皆さん、こんにちは。新しい仲間をご紹介いたします。二宮拓人さん、日本銀行釧路支店の支店長、前任の熊谷さんの後任であります。私は今日初めて二宮拓人さんとお会いしまして、すぐく親しく感じましたのは二宮拓人

さん、私の息子も拓人と言いまして、同じ字ですごく近くに感じましたけど。

生年月日は昭和 49 年 2 月ですから、現在 47 歳。非常に若い支店長です。これからは前途洋々としている

支店長だと思います。

趣味はゴルフも麻雀もやらないそうです。ぜひ、釧路で覚えていただきたいなと思います。趣味としては登山と料理ということで、今回は単身で来ていますけども、多分、料理・食事に対しては苦勞されないかと思います。お酒は十分飲むそうですから、ぜひお酒の付き合いも皆さんにはしていただければと思います。これからも何年間釧路にいらっしゃるか分かりませんが、皆さま、ぜひ一緒に楽しんでいただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。では、二宮さんをご紹介します。

日本銀行釧路支店 二宮 拓人支店長



ただいまご紹介に与りました二宮と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この度は、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの会員として、お認めいただけるということであれば、大変光榮でございます、誠にありがとうございます。

日本銀行は大体全国に30超の支店がございますけれども、私自身はこれまでずっと26年間ぐらい本店で仕事をしてまいりました。実は地方に来るのは初めてでございますし、北海道に来るのも初めてでございます。そういう意味で、思いっきり単身で参っております、分からないことだらけで、尚且つ寂しい独り身でございますけれども、すぐく当地に赴任してくるのをすごく楽しみにしておりました。

と申しますのも、私の発令が出た時に歴代の釧路支店長の人からいろいろとメールをもらいました。歴代の者が異口同音で、「当地の支店長をさせていただいて本当に素晴らしい経験で、自分の人生の中で一番楽しかった1ページである」とみんなが申し出ておりまして、それだけ当地の方に大切にさせていただいて、いい経験をさせていただいたということであると思っております。

私もぜひ皆さま方と親しくお付き合いさせていただき、奉仕をさせていただいて、皆さんからいろいろと当地のことを学ばせていただければと考えております。ぜひ、当地に貢献してまいりたいと考えております。

私もぜひ皆さま方と親しくお付き合いさせていただき、奉仕をさせていただいて、皆さんからいろいろと当地のことを学ばせていただければと考えております。ぜひ、当地に貢献してまいりたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 地球温暖化と釧路の気象災害について

プログラム委員会 小野 正晴副委員長

プログラム委員会の小野でございます。本日、講演していただきます中山寛様をご紹介します。中山様は札幌市のご出身で、昭和61年に気象庁に入庁、その後は道内各地の気象台、気象庁本庁で勤務されまして、去年4月に札幌管区気象台から釧路地方気象台の観測予報管理官として異動されて来られました。現在は予報や観測を行う現場の統括をされていらっしゃいます。今日は『地球温暖化と釧路の気象災害について』と題しまして地球温暖化の現状や予測、温暖化がもたらす影響、それらの変化による釧路の気象災害や防災情報などについてお話いただきます。

では、中山様お願いいたします。

講演な内容については次頁以降に記載

会長謝辞 杉村 莊平会長

中山様におかれましては本日お忙しいところ、本当にありがとうございます。大変分かりやすく解説していただいて、理解できたと思います。

釧路も明らかに大雨が多くなったり、釧路らしくない夕立ですか、夕方に雷を伴った雨があたり、ここ何年か雪も多くなっているということで、明らかに異常な気象が続いているのかなと思います。

この気象の変化に伴って、災害もすごく増えてきて、ますます気象予報の重要性が大きくなって来るだろうと思っております。

中山様におかれましては、われわれの社会基盤を支えてもらう意味でも今後ますます活躍していただきながら、今後ともお体に気を付けながら頑張っていただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■佐藤 貴之君 息子が旭川大学高校に入学いたします。

今年度累計 94,000 円

釧路地方気象台観測予報管理官 中山 寛様

釧路地方気象台の中山と言います。本日はよろしくお願いします。

地球温暖化と釧路の気象災害についてということで、まず自己紹介と気象台の紹介をさせていただきますと思います。私の経歴はこのようになっておりまして、ほぼ道内の予報畑をやってきました。気象庁には地震や火山とか観測があるのですが、どちらかというと天気予報をやってきたといったところです。

ちょうど平成7年ころ気象予報士制度が始まって、実は、気象庁は気象予報士の資格を持っていなくても予報が出せると取り決められているのですが、力試しを兼ねて平成7年頃に気象予報士の資格を取っております。

釧路地方気象台の紹介になります。釧路地方合同庁舎の9階に気象台は入っております。北海道でいいますと、札幌に札幌管区気象台という北海道を統括する気象台があって、6カ所の地方気象台があります。全国で見ますと都道府県に1カ所ずつ気象台が配置されています。

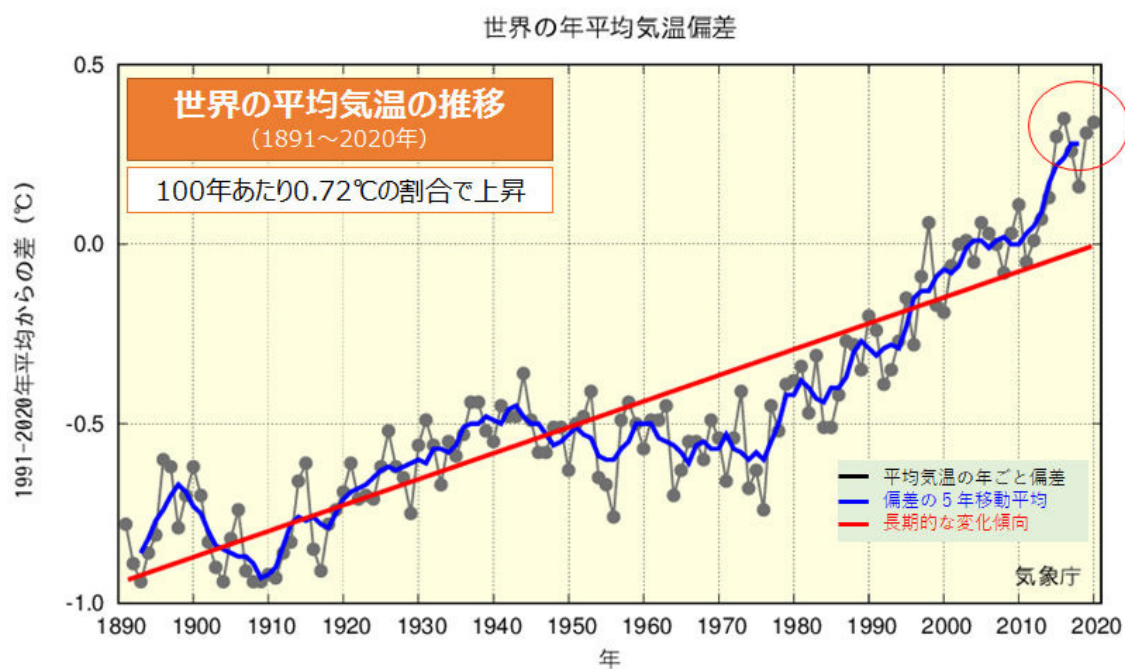
気象台の歴史ですが明治22年に現在の幣舞町あたりに作られています。一時期は標茶町に移転したのですが、明治43年に再び幣舞町に戻ってきて、昭和14年には国営化されました。最初は文部省だったのですが、昭和18年に運輸省、現在は国土交通省所属の外局となっています。平成12年に現在の幸町に移転をして9階に入居しております。

気象台の他に広尾測候所、根室測候所があったのですが、こちらはそれぞれ無人化になっています。これが昭和37年当時の気象台があった場所の写真になっています。

それでは、本題に入りたいと思います。『地球温暖化について』と2つ目の『釧路の気象災害について』というお話をしたいと思います。少し資料を用意し過ぎたせいで釧路の気象災害については時間が足りなくなって途中までとなってしまうかもしれません。ご容赦ください。

地球温暖化についてです。このグラフは1890年から2020年まで、横軸が年で、過去30年の平均気温からの偏差を年平均気温についてプロットしたものです。年々、気温が上がってきている様子が分かると思います。統計的に計算すると100年あたりで0.72度上昇しています。赤い丸で示した右上の方、2020年は統計開始以降で第2位になっております。人間の影響によって、既に産業革命以前より約1度上昇していると言われています。

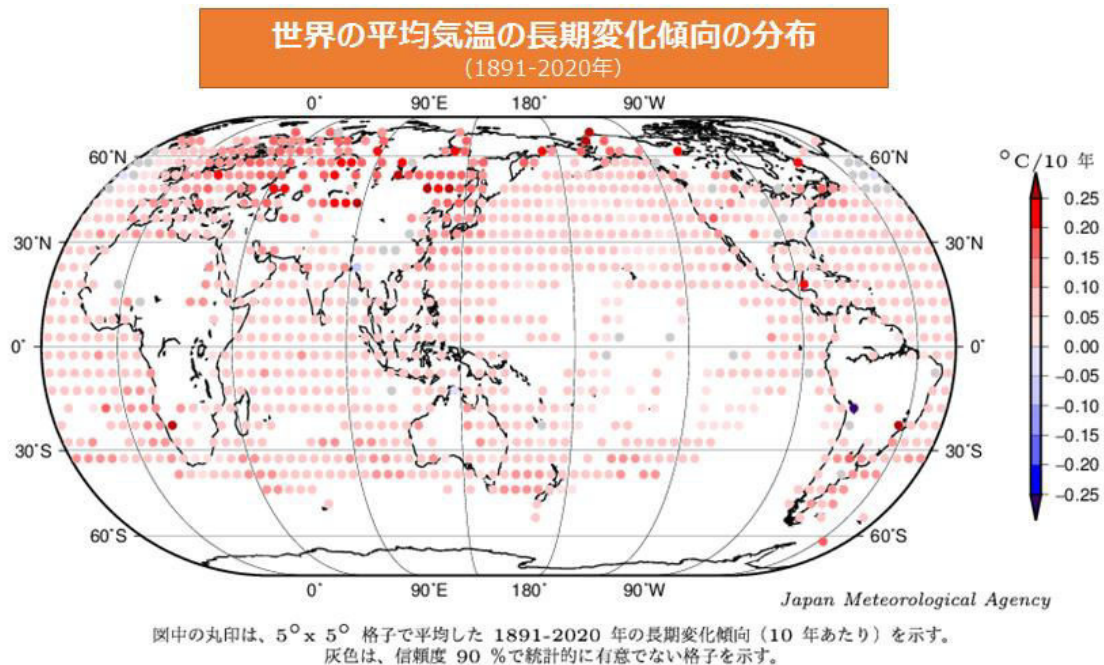
このグラフ見ますと1990年代末から2010年代初めに少し横ばいになっているのが分かるかと思います。これは『ハイエイタス』と呼ばれています。最近の研究では、赤道付近を東から西に向かう風・貿易風の影響で一時停滞したことが分かっています。そのころは気象庁でも温暖化は中立の立場でした。現在は科学的にも間違いはないだろうと地球温暖化にも気象庁も取り組んでおります。



出典：気象庁「気候変動監視レポート 2018」を時点更新

これは世界地図で、気温がたくさん上がっている所が赤い点々になっていて、あまり上がっていない所は白くなっています。この図から分かることは、陸上と海上で比べると陸上のほうが温度の上昇が大きいことが分かります。これは、海は熱を蓄える力が大きいので多少気温が上がっても海水温はそれをカバーしてしまうのです。それから北半球の高緯度と南半球では熱帯を比べると北半球の高緯度の上がり方が大きいと分かるかと思います。

特に冬です。雪に覆われる地方で、雪に覆われると雪は白いですから太陽の光を反射します。ところが温暖化によって気温が上がってくると、地表があらわになってしまいますので、黒い地表が現れると太陽の光を反射しなくなってしまい、より一層温暖化の効果が大きくなって、温暖化によって大きく影響受けるのは北半球の陸上ということが分かります。

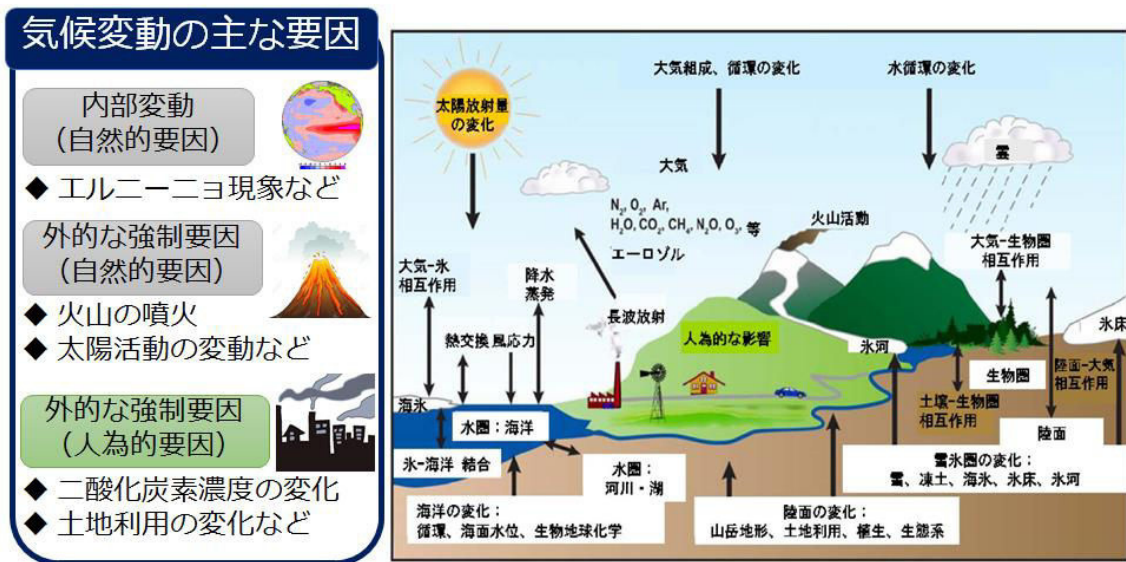


出典：気象庁 HP https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_wld.html

気候とは大気の平均的な状態のことで、気候は自然的な要因と人為的要因で変動しているという説明になっています。左側に3つありますが『内部変動』というのはエルニーニョ現象や先ほどのハイエイタス、赤道の貿易風の影響といったような影響です。

真ん中の『外的強制要因』というのは、例えば火山の噴火です。フィリピンのピナトゥボ火山が噴火した時は、上空1万メートル以上の成層圏に、噴火したチリが漂っていて、その年の平均気温を下げる方向に影響にしました。

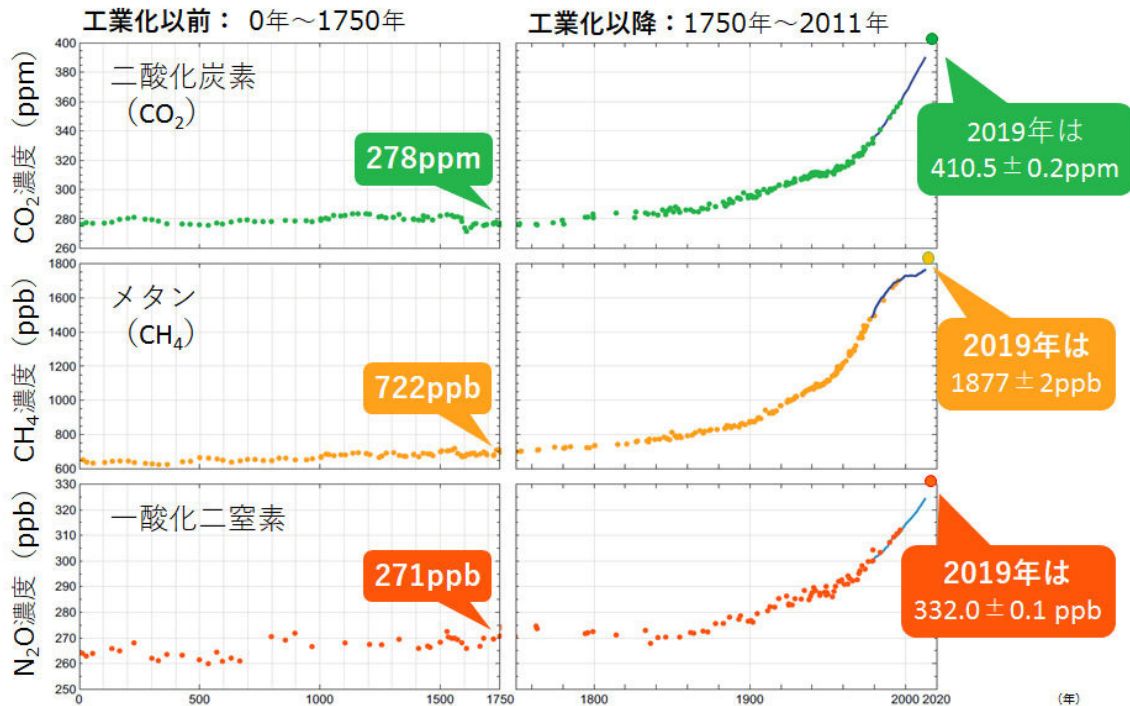
3番目の『外的要因』というのは、人為的要因で二酸化炭素濃度の変化といった形になります。大気にわずかに含まれる温室効果ガス、二酸化炭素などは太陽の光で暖められた地表から放出される赤外線を吸収して、地表に向けてこれを放出することで、温室効果のような影響を及ぼしています。



出典：IPCC(2007), AR4 WG1 概要及びFAQ（気象庁訳）

字が小さいかもしれませんがそれでも、もしこの温室効果ガスがないとすると地球の平均気温はマイナス 19 度、ところが温室効果ガスがあるおかげで地球の平均気温はプラス 14 度に保たれています。温室効果ガスは悪者ではないですけども、温室効果ガスが多くなり過ぎると悪影響を及ぼすことになります。

このグラフは二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の濃度を示しています。グラフは右と左で分けていますが、工業化以前が左側、工業化以降が右側のグラフになっています。二酸化炭素に比べてメタン、一酸化二窒素です、メタンは温室効果の力が二酸化炭素の 20 倍以上、一酸化二窒素は 300 倍以上という温室効果の能力を持っているのですが、濃度がメタン・一酸化二窒素は三桁ぐらい小さいので悪影響を及ぼしてなくて、二酸化炭素に注目が集まっています。



出典：IPCC(2013), AR5 WG1 Fig 6.11、WMO 温室効果ガス年報第 16 号 (2020)

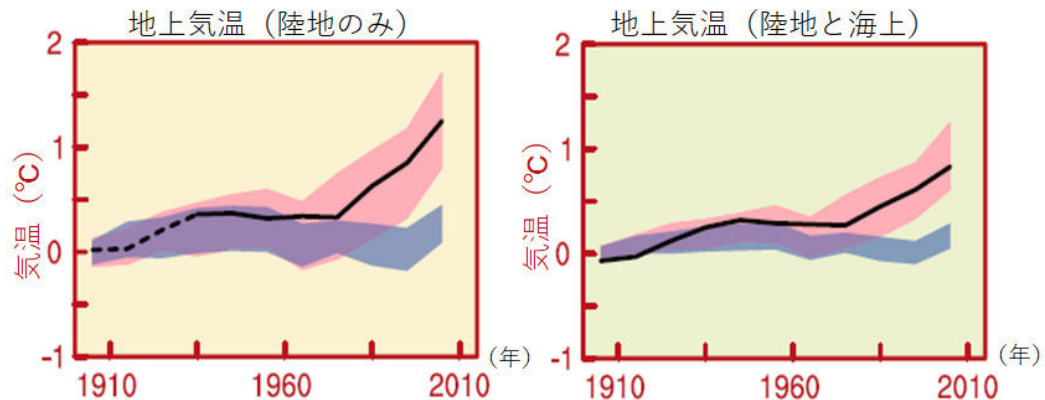
実は、ずっと大昔は現在の気温よりも気温が高かった時期もありました。ちょうど恐竜が跋扈していた時期です。そういった 10 万年のサイクルで温かくなったり、寒くなったりを繰り返しているのですが、最近の温暖化は 10 万年サイクルに比べて数百年という極端な速さで温暖化していることが問題視されています。

これは実証実験の結果によるシミュレーションになっていまして、横軸は年になっていて、コンピューターのシミュレーションでどれだけ予測ができるかを検証したのになっています。

黒い線が観測結果で、温室効果ガスなど人為的な要素をシミュレーションに組み込んだ計算結果が赤い帯になっています。青い線はその温室効果などを取り除いて計算したものです。シミュレーションでも温室効果の影響で気温が上昇していることが証明されています。先ほどのノーベル賞を受賞された真鍋さんの研究はこのシミュレーションの『大気海洋結合モデル』をいち早く作られたことで受賞されたと聞いています。こういうシミュレーションを 40～50 年前にされていて先見の明があったこととなっています。

■ 観測結果とシミュレーション結果による気候変動の比較（世界平均）

人間活動の影響を加味しないと、シミュレーション結果が観測結果と合致しない。



黒線：観測結果（データの量や質が十分でないところは、破線で示されている）

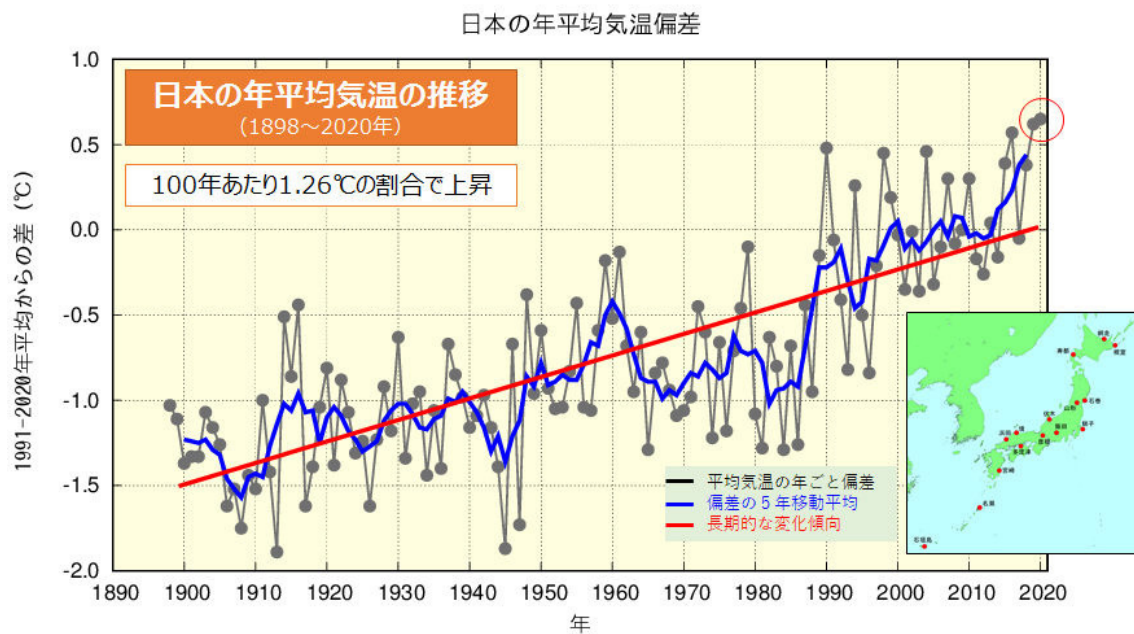
青帯：自然起源（太陽活動＋火山活動）の影響のみを考慮した複数のシミュレーション結果

赤帯：自然起源＋人間活動（人為起源温室効果ガス等）の影響を考慮した複数のシミュレーション結果
（青帯と赤帯の幅は、複数のシミュレーション結果の5～95%が含まれる範囲）

出典：IPCC 第5次評価報告書

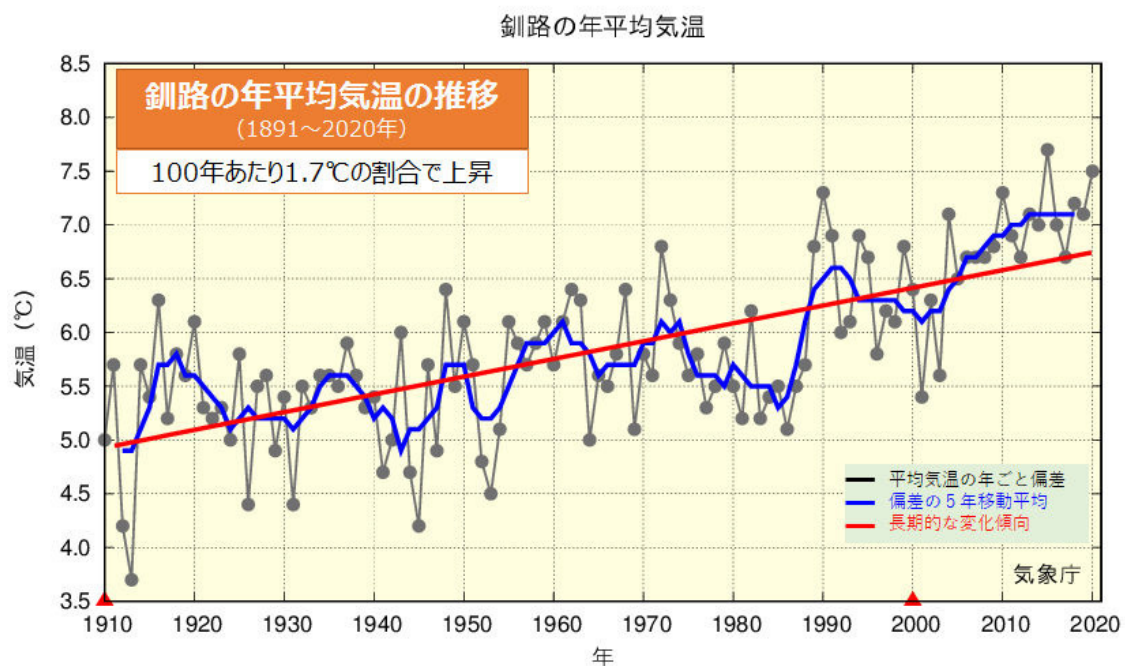
これは日本の平均気温になっています。見方は先ほどの世界のものと同じです。これは都市化の影響を受けていない国内の15地点で計算されたものです。残念ながら釧路は都市化の影響を受けているということで、北海道では網走・根室・寿都の3カ所だけ温暖化の影響を見る観測点になっています。

世界に比べると北半球高緯度ということもあって100年あたり1.3度の割合で上昇しています。2020年の年平均気温は統計開始以降で最も高かったとなっています。



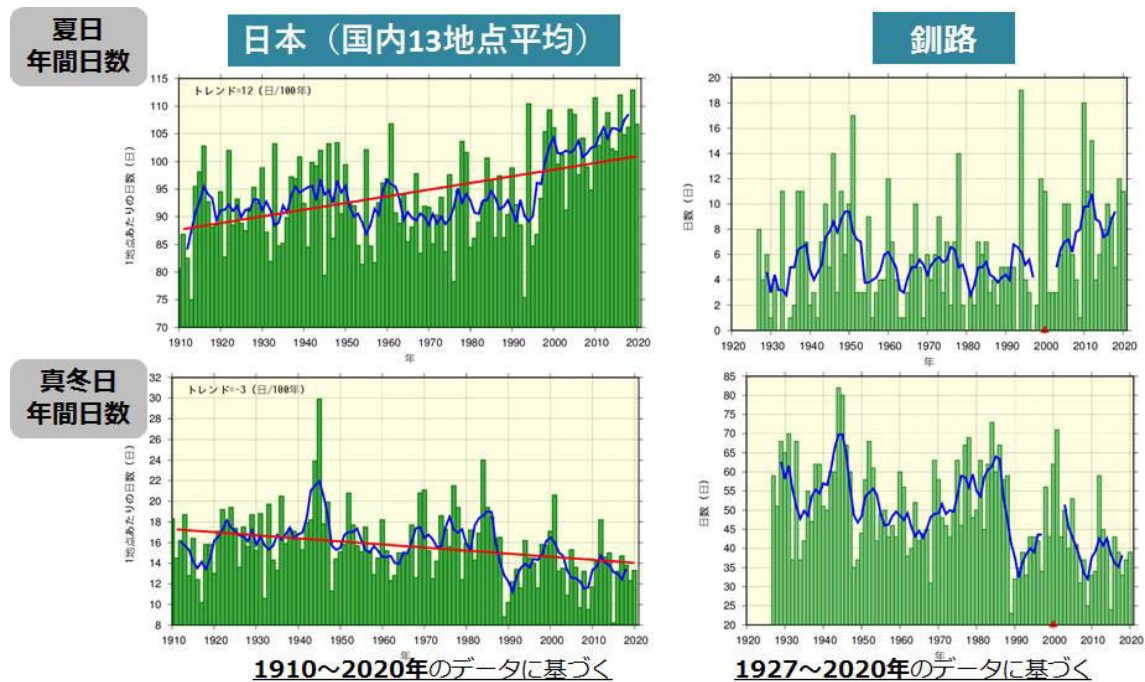
出典：気象庁「気候変動監視レポート 2018」を時点更新

釧路で見ますと 100 年あたり 1.7 度の割合ということで若干、都市化の影響を受けています。



今度は日本の夏日。左上が『日最高気温が 25 度以上の夏日の日数』の年々の変化を見えています。これも増えていることが分かります。右側が釧路です。釧路では増えているような

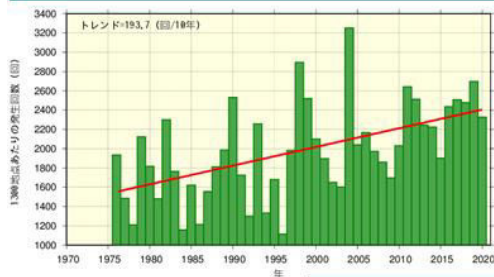
印象を持ちますが、統計的には有意ではないと。それから下は真冬日で「日最高気温が0度未満の日」です。これも全国的にも左下のように減っています。釧路でも統計的に有意ではないのですが減ってきていることが分かるかと思います。



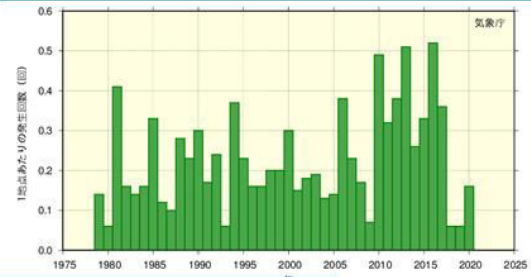
それから左上のグラフは『1時間に30ミリ以上という激しい雨の年間の日数』を全国的に見たものです。こちらも増えてきていることが分かります。北海道地方、左上で見ますと統計的には有意ではないのですが、やはり増えてきている印象は否めないと思います。

雨の降る日です。『日降水量が1ミリ以上の年間の日数』を全国的に見ているのですが、これは減ってきていることが分かります。どういうことかと言いますと、雨の降り方が極端になってきているということです。

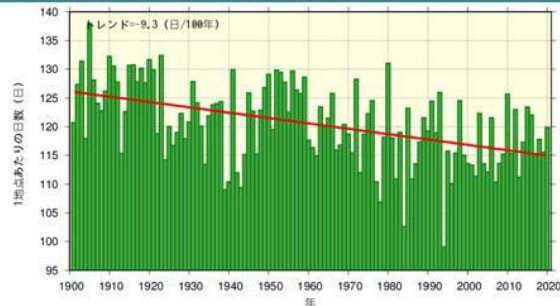
1時間降水量30mm以上の年間日数（日本）



1時間降水量30mm以上の年間日数（北海道地方）

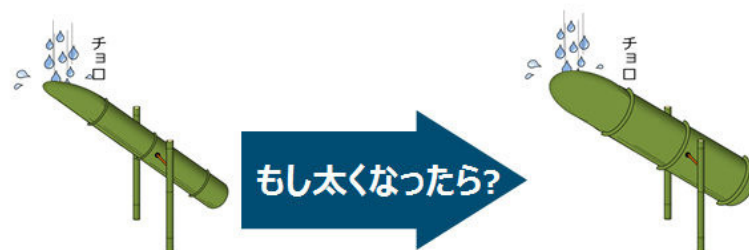


雨の降る日（日降水量1mm以上）の年間日数（日本）



これは大気中の水蒸気と直結しています。気温が高ければ高いほど水蒸気を空気にたくさん含むことができると分かっています。空気が含むことのできる最大の水蒸気量は気温が1度上がると約7%増加します。簡単に例えますと『鹿威し』です。鹿威しの筒が太くなったイメージで思ってもらえればいいです。チョロチョロと水が竹の中に入っていきますが、竹の筒が太くなるとなかなか倒れない。ただし、倒れると水の量は左の鹿威しよりも多いので大雨になってしまいます。先ほどの様に1時間に30ミリの激しい雨が降る日は増えていますが、ところが雨の降らない日も増えていきます。なかなか雨が降らないのですが、一旦降ると大雨になりやすいという温暖化の影響で表れています。

筒が太くなる（空気中にためられる水の量が増える）



傾くまでに時間がかかる→雨の降る日の減少
傾いたときにこぼれる水の量が増える→大雨の増加

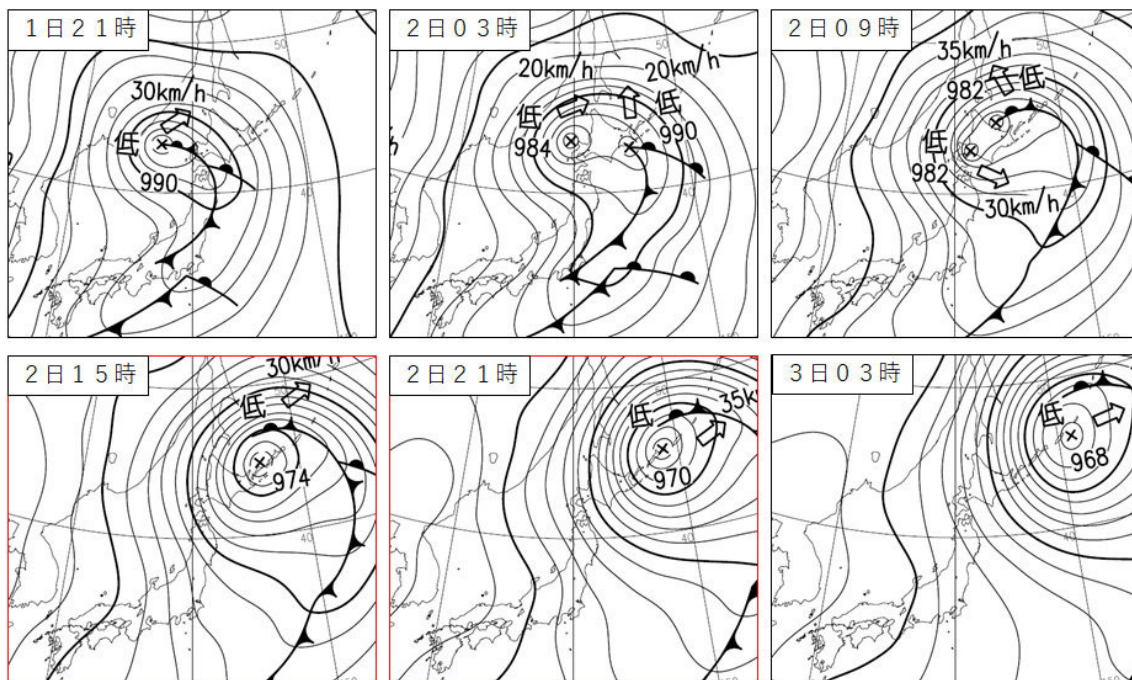
あと、釧路川の大洪水です。これはどこの写真でしょうか。湖でしょうか、沼でしょうか。これが現在ではこのような形になっていて、「大正9年には釧路川で大洪水があった」と。



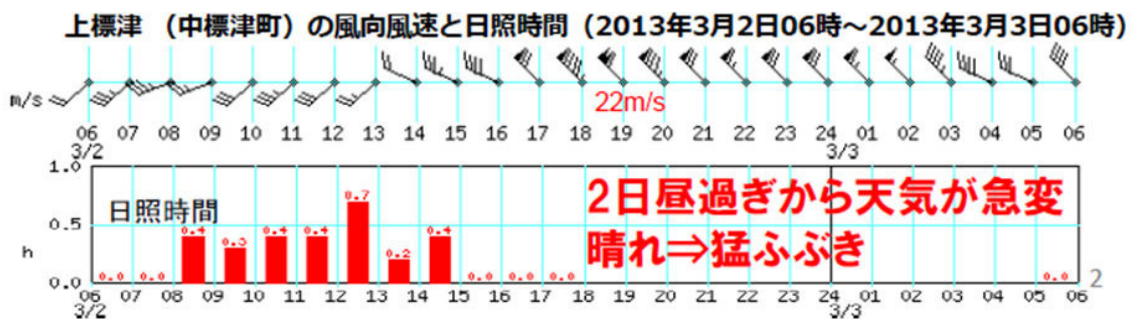
釧路市提供

市役所に残っている記録を基に描いてみると、このような広範囲で水浸しになっていたことが想像されます。昔の阿寒川はこのように流れていて、それで釧路市内が水浸しになったのですが、その後、新釧路川が作られて大洪水はなかなか起きにくくなったと。当時の地名等がその川に残っているそうです。

では、暴風雪の話です。暴風雪というのは平均風速が概ね 20 メートルを超えて雪を伴って猛吹雪になる現象です。2013 年 3 月 3 日の写真です。この時の暴風雪で一家 4 人がお亡くなりになったことがありました。これはその時の天気図です。ポイントとしては等圧線が混んでいる所で風が強いのです。低気圧の中心付近はあまり等圧線が混んでいないのが分かるかと思います。台風のようにかなり発達して、発達しきった低気圧というのはこういう特徴を持っています。これは 1 日から 3 日にかけての天気図です。日本海側から低気圧が東側に進んで行って、赤く示した 2 日 15 時～21 時あたりで暴風雪となりました。



これは、上標津にあるアメダスの日照時間と上の矢羽根が風になっています。天気図ではぼっかりと中心付近は等圧線が混んでいなくて台風の目のようになっていて、そこは晴れていました。ちょうど2日の昼間は晴れの領域に入っていて、風もあまり強くない。この日は土曜日だったはずで、いろいろな用事で皆さんが出かけていて、天気も晴れて風も弱い。ところが、2日の昼過ぎから等圧線が混んだ領域がこの管内に入ってきました。20メートルを超える猛吹雪になってしまいました。合わせて9名の方が亡くなっています。道路も通行止めになっています。新聞でも大きく報道されました。



この教訓といえば、やはり昼間は天気が良くて、晴れていて風が弱いのですが、气象台からは、こういった状況になると予め分かっておりますので、この現象が始まる大体6時間前には気象情報とか暴風警報を発表するようにしております。そういった防災気象情報を早め早めに察知していただいて備えていただければと思います。

私からの説明は以上となります。ありがとうございました。

2021.10.21 (木)
第10回例会
(通算3637回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	地区大会報告会・新入会員歓迎例会 (担当: 親睦活動委員会・クラブ研修委員会)
次週例会	ガバナー公式訪問例会 (担当: 理事会)

■ロータリーソング: 我等の生業

■ソングリーダー: 岩田 信一君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。本日も多数のご出席をいただきましてありがとうございます。例会で『こんばんは』と言うのは、昨年の舟木会長年度の家族例会以来でして、9カ月ぶりの『こんばんは』でございます。本当にありがとうございます。

最近、入会をした新入会員の方と話をしている時に、「僕は入会をしてからまだ夜例会を経験したことがない」「ロータリーでお酒を飲んだ経験がない」という話を聞きました。いよいよそのような事態になってしまったかと、『ロータリーを楽しむ』というスローガンを掲げた会長としては大変じくじたる思いをしていただいておりますが、まずは皆さんのおかげでこのように夜例会を再開できましたことは感無量でございます。ありがとうございます。楽しんでいきたいと思ひます。

せっかくの夜例会ですから駄弁は無用で長話はいたしません、ひとつだけご報告をさせていただければと思ひます。

先日、16日土曜日に、北ローターアクトクラブの50

周年の式典がありました。小船井パストガバナーと吉田パストガバナーと一緒に参加をさせていただきました。

ここでお伝えしたいことは、皆さんご存じかもしれませんが来年7月からいよいよアクトクラブがロータリークラブの正式な一員となって加盟されることでございます。その中で問題になっていたことは金銭的なところで、ローターアクトクラブの来年7月からRIの人頭分担金にいま優遇措置があつて8ドルらしいですが、8ドルと地区の負担金15,000円を払っていいのかということ、切実な問題になっているということです。

式典の中でも足立パストガバナーが「ローターアクトクラブはどこへいく」みたいな講演があつたり、「今後のローターアクトクラブについて」というパネルディスカッションがあつたりで、本当に切実な問題になってきているだと思ひております。

RIとしては、全世界にアクトクラブのメンバーが29万人いるようなのですが、このアクトクラブと一緒にすることによって一気に29万人の会員増強ができると考えているのだらうと思ひておりますが。個人的な見解ですけれども、金銭的な面や実際の活動の面から逆効果なところが出て来ないかと少々心配になって帰って来たという報告です。

釧路クラブとしては、真正面から堂々とロータリーク

ラブの意義と楽しさを訴えて、改めて会員増強にしっかりと取り組んでいきたいと思っている次第でございます。

ということで、『夜例会』です。本日は満を持して、親睦活動委員会の皆さんが楽しい設えをしていただいていると思っております。皆さんが高揚感たっぷり、私もかなり前のめりになっておりますが、何と云っても久しぶりの夜例会ですので事故のないように、はやる気持ち・高まる気持ちを多少なりとも抑えていただきながら、本日は「慣らし運転」の感じで臨んでいただければと思っております。

本日の夜例会を無事終了しましたら、次週は『公式訪問』と『クラブ協議会』と続きまして、『85周年記念例会』から『情報集会』の再開、と進めて行きたいと思っておりますので楽しみにしていただきながら、今年こそはみんなとロータリーを楽しみながら良い年末年始を迎えられるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日もよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事

皆さま、こんばんは。幹事報告をさせていただきます。

昨日皆さまにご案内をさせていただきました10月31日の「米山記念チャリティーゴルフコンペ」。こちらはNAYUTAの会の会員以外の皆さま、全メンバーに配布をさせていただいております。ぜひNAYUTAの会に参加されていない方にもご参加いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

また、それに併せて10月はロータリー月間というところの『米山記念月間』となっております。ぜひ、皆さまに米山記念奨学会へのご寄付をいただければと、こちらのボックスを用意させていただきました。例会中に皆さまのテーブルへ回しますので、ご寄付をいただければと思っております。講師例会などでは「音が出ないお金を」と申し上げていますけれども本日は夜間例会ですので、皆さまの小銭を全てこの中へジャラジャラと音を出して入れて、賑やかな雰囲気にと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、先ほど杉村会長からもありましたが、来週『ガバナー公式訪問』が開催されます。こちらの返信をされていない方は私、もしくは事務局まで返信をいただければと思っております。

また、来週のガバナー公式訪問に先立ちまして11日より『クラブ協議会』が開催されます。この会場は3階で行われる予定となっておりますので、対象者の皆さまはお忘れなきようお願い申し上げます。またその場で使いますクラブ活動計画書を先日皆さまのパーソナルボックスに入れておりますので、当日お忘れな

きようお願い申し上げます。

以上です。よろしくお願いいたします。

新入会員紹介

新入会員紹介 スポンサー 村上 祐二君



皆さん、こんばんは。私からは本日入会になりました石井孝行さんのご紹介をさせていただきます。石井孝行さん、昭和49年生まれの

現在47歳。ご家族は、奥様と長女・次女・長男と5人家族でございます。

趣味は多彩でして、キャンプ・焚き火・スキー・バイク・釣り・山菜採りと。バイクはハーレー、進駐軍のバイクに乗っているとのことでございます。そんな石井さんですけれどもお仕事は、武田建築設計事務所代表取締役をされております。市内各地に彼が設計をした建物がたくさんあります。最近でいいますと、道新さんの向かいに建て替えられた『釧路さかえ保育園』で、非常に素敵な保育園になりました。あの建物も彼の設計でございます。

性格は、非常に温厚で誰からも信頼される真面目な男で、非の打ちどころのない石井さんです。ただ、美味しいものを食べた時だけ、時折、白目を向いて「美味しい」と言ってしまう時があります。これは皆さんが驚くかもしれませんので先にご報告をしておきます。それでは、石井さんから一言、お願いします。

新入会員挨拶

株式会社武田建築設計事務所

石井 孝行代表取締役



初めまして、浦見町で武田建築設計事務所の代表をしております石井孝行と申します。歴史と伝統のあるこの釧路ロータリークラブに入会

をさせていただきまして大変誇りに思います。ありがとうございます。

まだまだ分からないことがたくさんありますけれども、先ほど天方さんからもオリエンテーションをいただきまして「肩の力を抜いて前のめりで参加していただければ」と言っていたいただきましたので、そのつもりでこれから出席したいと思います。

皆さん、よろしくお願いいたします。

新入会員紹介 スポンサー 吉田 潤司君

皆さん、こんにちは。新しい会員の藤井敬亮さんをご紹介します。スポンサーは私と脇さんです。そもそも声をかけたのは脇さんが最初です。私は檀家なので、お参りに来て



いただいてもロータリーの話しをしたことがなかったので、本当にスポンサーになることが申し訳なかったのですけれども、脇さんに代わりましていろいろとご説明をしたいと思います。

藤井敬亮さんは今年で49歳、お子様が3人いらっしゃいまして、お嬢さんがお二人と男の子がお一人で、男の子は現在幣舞中学校の1年生だそうです。ゴルフは「することはする」、麻雀も「することはする」と聞きました。趣味としましては「あまり趣味はない」と言っていましたけれど「奥深い仏教のことについて、暇な時にはいろいろなものを調べたり読んだりすることが趣味と言えは趣味ではないか」と言っていました。お酒は全く飲まないそうです。

大変な好青年で、これからいろいろと皆さまにお世話になると思いますけれども、またいろいろとご指導をしていただければと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

新入会員挨拶

浄土宗・大成寺 藤井 敬亮副住職



私、米町の大成寺の副住職をしております藤井敬亮と申します。この度は歴史と伝統あるこの釧路ロータリークラブに加入させていただき

まして、とても光栄に思うところでございます。

いまご紹介いただいたとおり、特に面白みのない人間でございます。けれども、このように多方面で活躍をされている皆さまとご一緒にさせていただくことで、見識を深めて勉強をさせていただきたいと思っています。お酒が飲めないということで、なかなかお付き合い難いかもしれませんがご容赦をいただきまして、お付き合いいただきたいと思いますところでございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■

地区大会報告会 / 新入会員歓迎会

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

ありがとうございます。マイクを確かにいただきました。それでは、これより『地区大会報告会／新入会員歓迎会』をスタートします。

はじめにクラブ広報・会員組織委員会村上委員長、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

村上です。このタイミングではないと思っていたの



で少々動揺をしております。まずもって本年度10名の新入会員の方がご入会ということで、会員増強にご協力をいただきました皆さまにこ

の場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

振り返りますと、私も6～7年前に入会をさせていただきました。きっとこの釧路ロータリークラブに入っていなければ、この人と出会うことはなかった。そしてこの人とこのように楽しむこともなかったと、いろいろなことが入っていなければこうならなかったと思うことがよくあります。そんなことで、私を勧誘してくれたスポンサーに感謝の気持ちでございます。話しは変わりまして、先日、私がスポンサーとなるとある方を勧誘していました。その方と私と釧路クラブではない方と3人で話をしている時に、私が勧誘をした彼が「〇〇さん、ロータリーに行っているのですか」と聞きました。「僕は釧路クラブが楽しくて、出席率100%です」と言いました。この方に入会してもらうためにすごく苦勞をしました。「断固として入りません。私は絶対に入りません」という姿勢でした。ある時、居酒屋に連れ出してお酒の力も借りて、たくさんお酒を飲んで、夜が明けるころようやく観念したかのように「参りました。仕方がないから入ります」と弱った声で言いました。

そんな彼が入会をして半年も経ちませんけれども、これは釧路ロータリークラブに入って、釧路クラブの活動と釧路クラブの人によって楽しく思っているのだろうと思わせていただいた場面でした。

本年度入会されました10名の方が、それぞれの生活の中にロータリークラブの楽しさがひとつ加わることを祈念して私からの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

乾杯挨拶

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



こんばんは。本日に9カ月ぶりということで、すぐ「乾杯」といきたいところですが、まだビールが配られていないようなので、少しだけお時間をいただきたいと思います。本日は、地区大会報告会と新入会員歓迎会です。

村上大委員長が半年の間に大変なご努力をされて、10名の新しい方がご入会いただいております。会長の話にもありましたが、夜間例会が釧路ロータリーのまたある一面を物語っているのではないかと思います。私は昭和の人間ですので、大学時代「飲みニケーション」という名称で飲み会ばかりやっていたうちに友達ができ、サークルで楽しい思い出をしてきました。この釧路ロータリークラブ、釧路の経済を動かしている皆さんが、なぜかお酒を飲むところをぜひ見ていただき、9カ月ぶりに楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

それでは、ビールが配られたようなので乾杯をさせていただきます。僭越ですが、ご起立をお願いできますでしょうか。

それでは、9カ月ぶりの夜間例会、本年度1回目の夜間例会を祝して乾杯をさせていただきますと思います。

地区大会報告会 市橋 多佳丞幹事

それでは、地区大会報告をさせていただきますと思います。

先日開催されました地区大会にて在籍表彰が発表されております。当クラブにもたくさんのお客様がおります。お名前をお呼びいたしますので、お名前を呼ばれた方はステージへご登壇をお願いいたします。

在籍10年、浅川正紳君、同じく荒井剛君、清水輝彦君、谷川富成君、土橋賢一君。

続きまして在籍15年、木下正明君。

続きまして在籍20年、白崎義章君、関向一君、田中正己君、西村智久君、梁瀬之弘君。

続きまして在籍25年、伊貝正志君、川本和之君。

続きまして在籍30年、石田博司君、久島貞一君。

続きまして在籍55年、清水幸彦君。

最後に、在籍60年、泉敬君。

それでは、R1第2500地区より皆さま方の記念バッジが届いておりますので、ここで杉村会長より皆さまへお渡しいただきます。

杉村会長、10年からよろしくお願いいたします。

(会長より在籍10年～60年の会員へ記念バッジ贈呈)

杉村会長、ありがとうございました。

それでは、本日ご登壇をされた方々より3名の方ですがスピーチをいただきたいと思います。まず10年を代表して荒井剛君、よろしくお願いいたします。

在籍10年 荒井 剛君

皆さん、こんばんは。

10年ということで、ちょうど10年前に入会したことを思い出しました。毎回、入会のお話をさせていただく際に思



い出すことは、入会が3月10日でした。10年前の3月11日は、ご存じのとおり「東日本大震災」が起きました。その前日に入会しましたので、入会日をいつまでも覚えております。あれから早くも10年が経ったのかと思っております。その間、ロータリーの最初のころは機会も合わなくて出ませんでしたけれど、徐々に行く回数を増やすことによって、国際奉仕関係で海外へ行かせていただき楽しい思い出をさせていただきました。

今日入会をされた藤井さんは「お酒が全く飲めない」と聞いておりますが、私も実は全く飲めません。飲めない中、10年間ロータリーの夜例会に参加して2次会などずっとウーロン茶を飲んで楽しい時間を過ごして、いまでも本当に楽しく過ごしております。ぜひお酒は飲めなくても、楽しく一緒に加わっていきましょう。以上です。ありがとうございます。

在籍20年 関向 一君



こんばんは。20年経ってしまった。入会した時は、何年ロータリーに通って来られるのかと思っていましたが、20年です。自分でも楽しいことや悲しいこともありましたが、やっと20年が来ました。これから先は、あと何年ロータリーに来られるか。頑張りますので、よろしくお願いいたします。

在籍30年 石田 博司君

30年前、青年団体に所属をしていました。「40歳で卒業」というあの会なのですからけれども先代の社長である父が、「その団体が終わったら次はどうするのだ」と言われたので、人の集まりにいたことがエネルギーがすごくてうっとうしかったので「団体活動はもう良

いから」と言ったら、父が「仕事だと思って行け」と言うわけです。

「仕事だと思って行くのなら貴方が決めてくれ」と言ったら、

「じゃ、俺はライオンズだからお前はロータリーに入ってもらいなさい」ということでロータリーに入りました。

仕事だと思って行けと言われたその言葉がとても私の背中を押しました。仕事だと思うといろいろなことが行く気にならないのです。随分、出席率良く来ましたが、不徳のいたすところで、仕事だと思っていたことが、いつの間にかうとうしいことがいろいろあって半分を潜在したような時期もありましたが、釧路クラブは誰がこの不思議な雰囲気を作ったのだろうかとしみじみ思うほど不思議なクラブです。機会があったらお話をさせてもらいたいと思いますけれども、本当に不思議なクラブです。

30年というキャリアで、この先輩たちが連綿として築いてきたこの不思議な空間、この空気を濁すことなく受け継いで、さらに後輩に受け継いでいきたいと決意を持っております。ありがとうございます。

市橋幹事

それでは、引き続きまして、先日行われました地区大会に参加をされた方から感想のスピーチをいただきます。まず、一人目、副幹事・田内康章君、よろしくお願いします。

田内 康章副幹事

皆さま、お疲れ様です。自分自身は数回目の夜例会なので、少々緊張もしつつ、早くまたビールを飲みたいと思っていますので、手短に話させていただきます。

10月9日11時から『3年未満会員研修』がありました。そちらに私も緊張をして誰よりも早く出席したもので、会場設営も手伝いながらやらせていただきました。

出席者が、全部で55名。そのうち釧路ロータリーとして一番多い9名の参加となっております。その中で、漆崎ガバナーのご挨拶やわたなべきよみさんの講演、葭本パストガバナーの講演もありました。その中で印象に残ったものを少し話させていただきますと思います。



まず、「2500地区のエリア」の説明をこと細かくしていただきました。その中で、米山奨学金支援をしている学校が4校あることを教えていただきました。「ロータリーの歴史」では、創立はシカゴで4名からスタート、会員同士の親睦と事業の発展を目的に設立されたということを初めて聞きました。

日本のロータリーの歴史としては、米山梅吉さんが『隠居のすすめ』という本を書いて、それを読んだ福島喜三次という方が感銘を受けて、2人でロータリーを設立したということでした。

一番印象に残ったのは、いまの女性会員についてです。日本のロータリーは現在92名いらっしゃるそうです。来年度のRI会長が女性のジェニファーEジョーンズさんで、2500地区もガバナーが久木さんという女性になるそうです。

その中で、日本初の女性会員が1989年の清水ロータリークラブで松田郁子さんという方が女性初の会員になったそうです。わが釧路ロータリークラブにも、池田会員が女性会員としていらっしゃいますが、どちらもNTTの女性局長で運命を感じるのだと改めて思いました。

その後に葭本パストガバナーからの講演がありましたが、なかなか聞き取れなかった部分もありまして、メモをすることができなかったのでもうなっています。

当日、ロータリーの歴史を分かりやすく講演いただいたので、とてもためになった研修会でした。本日入会された藤井さん、石井さん、もし機会がありましたらぜひ参加いただければと思います。

どうもありがとうございました。

及川 雅順君



皆さん、こんばんは。及川です。地区大会も終わりになって、幹事から「及川さん、報告会で喋ってくれよ」と言われて、何も考えて

いませんでした。今日もちょっと遅れてきまして申し訳ございません。

日曜日の本会議から出ました。午前の部はYouTubeでやって、少し音声途切れたりして内容がよく分かりませんでした。ベイクラブとしては、すごく考えてやったのだろうけれども、初めてのことで仕方がないという感じはしました。

午後からの部は、特別講演で坂本光司さんの話で「良い会社とはどのような会社」という話で、確かに「人が辞めない会社が良い」、それは当たり前のことです。でも会社はいろいろありますので、辞めてもらわなければいけない場合も多々あると思います。ただ、内容

的には「すごく為になった」と。

僕はもう経営者ではありません、経営者の次ぐらいなので、そういうことをいろいろ聞きました。いつもなら「くしろナイト」など楽しいこともたくさんありましたけれども、今回はこのようなことで致し方ないと思いました。そのような感じです。よろしいでしょうか。どうも、失礼します。

(歓談中)

「教えて新入会員」という新入会員自己紹介 親睦活動委員会 杉浦 裕之君

昨年11月にご入会いただきました東堂光春君です。それでは東堂君、自己紹介をお願いいたします。

2020年11月入会 東堂 光春君

皆さん、こんばんは。昨年11月に入会をさせていただきました東堂光春と申します。東興電気工業の社長をさせていただいております。



妻1人・子ども3人が札幌に住んでおりまして、私は逆単身赴任で釧路にいる時は自由の身で活動をさせていただいております。

先日、サッカーの『なでしこU15』日本代表に娘が選ばれました。先週、仙台の強豪校に特待生で行くことが決まりまして大変嬉しく思っております。何卒よろしくお願いいたします。

2021年5月入会 篠原 実君



皆さん、こんばんは。只今ご紹介いただきました篠原です。前任の古屋の後任という形でお邪魔をしております。私は5月6日に入会を

させていただきましたが、その後すぐコロナの関係で休会が続きまして、数えてみましたら12回ほど休会になっています。

私自身、夜例会が初めてでして、今日は心ウキウキ、朝から仕事が手につかない。大した仕事はやっていませんが、そのような状況で楽しみにやってみりました。今日は、ぜひ皆さんと親睦を深めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2021年8月入会 田中 弘明君

皆さま、こんばんは。田中弘明です。私もコロナ禍



の入会なので、今日が4回目、夜は初めてです。初めましての方も多いと思いますけれども、仕事柄、夜はほとんど私1人で和食料理店をやっています。1人ではないのですけれど、作り手は1人です。それで、なかなか夜は出られなくなると思いますが、なるべく出られる時は出たいと思います。よろしくお願いいたします。

2021年7月入会 曾我部 元親君



皆さん、こんばんは。曾我部です。入会をしてほとんど例会に出て来られなかったものですから、ロータリアンという自覚が全然あり

ませんけれども最近、違うロータリーの方から「釧路ロータリーに入ったのだね」と言われて、その時初めて「ロータリアンだったのだ。釧路ロータリーだったのだ」とちょっと自覚が芽生えてきたところであります。まだまだ未熟ですが、これからよろしくお願いいたします。

2021年7月入会 濱口 憲太君



皆さん、こんばんは。新入会員の濱口です。先ほど聞いた話かもしれませんが、私は入会をして、ある先輩に「僕100%出席です」と

言わせていただきました。誘われた時は、結構、断っていたのですけれども本当に参加をさせていただきすと自分の家族と同じように温かみを感じまして、本当に楽しく感じております。今後ともよろしくお願いいたします。

2021年8月入会 小西 卓哉君

釧路信用組合、「しんくみ」常務理事の小西でございます。年齢は61歳で、この7月に釧路ロータリークラブに入会させていただきました。8月5日の例会から参加させていただき、緊急



事態宣言等々もあり、6回目の例会参加となります。まだますので、今後とも宜しくお願い致します。

2021年10月入会 藤井 敬亮君

大成寺の副住職を務めています藤井敬亮と申します。この度、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに加えていただきとても光栄に思います。当会員の皆様は各業種において一見識のある素晴らしい方々です。私も浅学ではありますがそのような皆様の中で広く勉強させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



2021年10月入会 石井 孝行君

先ほども紹介をしていただきましたので恐縮です。



先ほど、ロータリークラブの在籍の表彰をお聞きしまして、50年・60年という話を聞いてびっくりしました。私、60年を足すと108歳

です。今日、ちょっと覚悟を決めました。頑張って60年を目指します。よろしくお願い致します。

(手に手つないで 合唱)

締めのご挨拶

クラブ研修委員会 天方 智順副委員長

恐縮です。久しぶりにロータリーでここに立っているような気がいたします。これも指名をした杉村会長のご配慮と申ひ思ひます。嬉しく申ひ思ひます。何はともあれ、久しぶりの夜間例会で皆さまの顔を拝見しながら杯を重ねることがすごく楽しいと思ひました。今後ともウィズコロナの時代ですけど、比較的安定した状況が続いて毎月の夜に楽しい例会ができればと思ひます。

新入会員の皆さま、入会おめでとうござひます。先ほど私がオリエンテーションをしたお二人の新入会員の皆さま特におめでとうござひます。「今日が入会の例会ですごく良かったですよ。ラッキーですよ」と申ひ上げましたけれど、十分に理解をしてくださったと思ひます。



村上委員長が挨拶で不良会員っぽい、頑なに入会を拒否している会員の話をしていました。すぐ誰が分かりましたけれど、9日土曜日、10日日曜日の地区大会の全てを出席された熱心な濱口君だったのかなと思ひます。やっぱり入会を口説くのに苦労をした方は、入会してから育ててくれると思ひています。何回も申ひいます、濱口君、私と村上君がスポンサーです。どうぞよろしくお願い致します。

多くの仲間を加えて杉村年度、回を重ねて来年6月、無事に帰港できるように。アッ、の船出ができなかったものな。皆さん、一種の出港式みたいなものですから、無事な門出を祝ひまして、ご起立のうえ、一本・一発で締めたいと思ひます。

それでは、杉村年度の益々の順調な航海と今日入会をされた。今年入会をされた新入会員の楽しいロータリーライフを過ごしてくださることを祈念いたしまして一本で締めたいと思ひます。

地区大会報告会・新入会員歓迎例会スナップ



2021-2022 RID2500 地区大会スナップ



本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 やっと再開できました。ありがとうございます。
- 浅川 正紳君 初めての夜間例会の司会もかまないよう頑張ります。
- 市橋 夢佳丞君 皆様、マスク会食の励行よろしくお願いいたします。
- 中島 徳政君 本年度初めての夜間例会です。よろしくお願いいたします。
- 瀧波 大亮君 ようやく夜間例会ができることに、感謝しかありません。
- 岩田 信一君 NAYUTA ゴルフコンペで優勝しました。

今年度累計 106,000 円

2021.10.28 (木)
号外③

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

クラブ協議会

会長挨拶 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。本日も来訪のロータリアンをご紹介させていただきます。

国際ロータリー第 2500 地区ガバナー・漆崎隆君。続きまして、国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区ガバナー補佐・長倉巨樹彦君。同じく第 7 分区ガバナー補佐幹事・上川原昭君。同じく第 7 分区ガバナー補佐幹事・奈良清成君。

本日、ご来訪の皆さまにおかれましては、当初の日程を変更していただいてご来訪いただいております。改めてどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

これから、クラブ協議会始めて行きたいと思いますが、

各委員会から活動方針を発表していただいた後、ガバナーから講評いただければと思っております。

年に 1 度の貴重な機会でございますので、皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第 2500 地区 漆崎 隆ガバナー

改めまして、釧路ロータリークラブの皆さま、こんにちは。今日はコロナ禍で開催できなかった公式訪問の協議会というこ



とで先般、会長・幹事会を行わせていただきまして、会長・幹事さんからは親しく近況とお話をお聞きさせていただきました。

今日は、委員会の皆さま方にはコロナの関係で今年度の活動はなかなかできない環境ではありますが皆さまの計画案をお聞きしながら、今後のコロナ以降の活発な活動に結び付けていただけるお話を聞かせただけかと思います。

短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。今日は開催ありがとうございます。

国際ロータリー第 2500 地区

第 7 分区 長倉巨樹彦ガバナー補佐



皆さん、こんにちは。第 7 分区ガバナー補佐を務めます長倉です。

日頃は第 7 分区のいろんな事業にご尽力を賜りまして誠に

ありがとうございます。今年度につきましても、全道中学親善硬式野球大会は釧路クラブの皆さまのご尽力によって成功裏に終えることができました。本当にありがとうございます。

本日、このクラブ協議会につきましては、パストガバナーが 3 人もいらっしゃるクラブですので、私の方から何も申すことは多分ないと思います。釧路クラブの皆さまの日頃の活動は、どのようにやられているのかをしっかりと勉強させていただきまして、他クラブにアウトプットをと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

クラブ活動計画の発表 杉村 莊平会長



改めて、よろしくお願いいたします。とてもテキパキと進行しておりまして、かなり進行が早まっている状態ですの

で、ゆっくり、しっかりと進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

僕の方からは会長方針、あと幹事からはクラブ概況等を説明させていただいた後、マイクを回していきますので各委員会から発表をお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、ここから着座にて進めさせていただきます。

会長方針から発表させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

釧路ロータリークラブはこれまで 85 年に亘り、規律と寛容を両立させた素晴らしいクラブに発展してきたと思っております。僕が一番言いたいのは、ロータリーの本質が例会に出席し、メンバーと楽しく語らい学びあうことにより自身の心を豊かに成長させるという親睦と、その心をそれぞれの家庭や職場・地域に持ち帰って実際につなげていくという奉仕であるとすれば、われわれはロータリーを楽しむことと豊かな地域を育むことがより強く連携し、好循環していく活動を目指すべきだと考えております。

特に日本製紙の問題とか地域のことに貢献できる活動していくべきだと個人的には思っております。

同じように今年度、漆崎ガバナーは「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」というスローガンを掲げられまして、地区方針に「親睦と持続可能な奉仕活動の推進」ということで、まさに親睦と奉仕を掲げていただいております。

これを踏まえて、本年度はコロナ禍からの再出発という思いも含めて、また創立 85 周年を節目としまして、わがクラブの歴史を振り返ることにより、その存在意義を再確認して、釧路ロータリークラブで活動できる喜びを分かち合い、その活動の輪を広げていく 1 年にしていきたいと考えまして、会長スローガンを「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」とさせていただいております。この循環をしっかりと作っていく活動を作っていきたいと考えております。

クラブ活動目標は 1 つ 1 つご説明しませんが、僕の考えとして増強にかなり力を入れたいと 1 年頑張っておりまして、各委員会、増強委員会などに本当に頑張らせていただきまして、既に 8 名の入会を今年度決めております。純増で 7 名ということになっておりますが、8 名拡大ということであと 2 名、純増で 3 名の 10 名を目標に頑張っていきたいと思っております。以上でございます。

クラブ概況および会務方針の発表 市橋夢佳丞幹事



それでは、私から「クラブ概況および会務方針」をご説明させていただきます。事業計画書の 12 ページをご覧ください。

まずは、会員数と内訳ですが、こちらは 7 月 1 日現在となっておりますが、10 月 28 日現在ですが 103 名の会員数となっております。こちらのチェックをお願いいたします。それに伴いまして、2 番・3 番の年齢とか在籍年数分布等に若干ずれが生じておりますけれども、こちらの方は後日、皆さまにご報告させていただければと思っております。

4 番、クラブの財政です。こちらはすべて予算に基づいて運営をさせていただきます。会費は上期・下期 7 万 5 千円の合計 15 万円で運営をさせていただければと思っております。新入会員の方には入会時に登録金 3 万円を納入していただくのは例年通りとなっております。ニコニコ献金につきましては、毎年の目標を 80 万円としておりますけれども、今年度も 80 万円として、目標額の達成目指して推進して参りたいと思っております。

5 番、理事会。6 番、委員会活動はご一読をお願いいたします。

7 番、クラブ協議会ですが、第 1 回は本年 7 月 8 日ク

ラブアッセンブリーを開催させていただきました。第2回9月30日となっておりますが、こちらは本日10月28日にガバナーによるクラブ協議会およびガバナー公式訪問となっておりますので日付の訂正をお願いいたします。第3回は1月13日、年が明けての上期活動報告ならびに下期活動計画の発表をさせていただきます。第4回は6月23日となっております。8番、総会ですが、本年は12月2日に年次総会を開催する予定となっております。詳細等が決まりましたら、皆さまに告知をさせていただきます。9番、クラブフォーラムおよび情報集会ですが、情報集会は近々に開催できるように三役ならびに理事会で検討を始めたところです。こちらも詳細決定し次第、皆さまに周知をさせていただければと思っております。10番、11番につきましては、ご一読をお願いいたします。12番、例会ですが、毎週木曜日12時半より13時30分までとなっております。ビジター・フィーは2,000円、ただし夜間例会は5,000円となっております。全ての例会は禁煙とさせていただきます。年末クリスマス家族会は12月9日、新年恒例会は1月6日、最終例会・キャンドルパーティーは6月30日となっております。現状、コロナ禍が多少沈静化しておりますので、こちらは開催する予定でありますので皆さま方のスケジュール調整をお願いいたします。新入会員歓迎会につきましては、先日、上期で行わせていただきました。下期にも開催させていただく予定となっております。13番、その他につきましては会長方針の下段にありますクラブ活動目標に即した記載の仕方となっておりますので、こちらは合わせてご一読をお願いいたします。私からは以上となります。

各位委員会発表

クリックすると活動計画書へ
リンクします

杉村 莊平会長

各委員会の皆さん、ありがとうございました。例年と違って4カ月経ってからのクラブ協議会ということで、これまた良いなと思いました。偉そうな言い方になりますが、本当に各委員会の皆さんから素晴らしい発表していただきまして、少し活動していただいてからの発表も貴重だと思い、頼もしく思いました。本当にありがとうございました。それでは、マイクを浅川副会長に戻します。

講評 国際ロータリー第2500地区

漆崎 隆ガバナー

皆さま、ただいまは各委員会の計画と杉村会長が仰った実績を踏まえた発表をしていただきまして誠にありがとうございました。

釧路クラブさん、皆さま方のクラブは現在、2500地区で最大のクラブであります。唯一の100名を超えるメンバーを抱えているクラブということで、2500地区のリーダークラブですから、地区の話を少しさせていただきますながらお話をしたいと思います。

委員会活動については全く申し分ございません。皆さん、仰っていた過去の実績といい、現在取り組もうとしている姿勢といい、それから今年度向かおうとしている姿勢といい、これらのことについては私、十分聞かせていただきました。皆さまの発表のとおり進めたいと思います。

地区の話を少しさせていただきますと、地区は以前3,200名のロータリアンがいたのですが、現在は残念ながら2,200名のロータリアンであります。100名以上のクラブは釧路クラブさんの1クラブだけです。そして、皆さんは今、会員増強に大変苦勞されていて、ロータリーも100年経ちまして、次の100年を目指しているんな形で改革をしようとしている最中であります。

私もガバナーノミニ・デジグネートを拝命したのが細川ガバナーの時ですから、足掛け4年に亘っている研修会に参加させていただき、世界の流れと日本の流れ、そして肌で感じる地区の流れをいろいろと研修させていただきました。

そんな中で、リーダーという存在が今こそ求められている時代はないのではないかなと思います。ご承知のようにロータリークラブは職業奉仕の高潔性を基準にした背筋を伸ばした部分と、皆さんが明日のエネルギーを培うための親睦の部分と、常にたくさんのファクターを合体してロータリークラブというのがあります。そんな中で皆さまは日々の仕事をしながら、このクラブの運営と当地区のことを考えながら、たくさんの地区役員を輩出していただき、パストガバナー、ガバナー補佐の皆さま方が活躍するバックアップをしていただいて、ここまで実績を積んでこられております。キャビネットの動きは大変なクラブの底力になりまして、このことが皆さま方の今日の発表の裏付けになるということは十分伝わってまいりました。

先ほど、出席委員会の中で「メイクアップ例会体験」と仰っていました。ぜひ、新入会員の方々を先頭に他クラブのメイクアップをしていただきながら、そして手を差し伸べるという部分、今現在、2500地区には大変なクラブがいくつもあります。このコロナでなお大変というクラブがいくつもあります。

私、66クラブの会長・幹事をリアルでやらせてい

ただきました。実は6月が始まる1日前だったのですが、残念ながら前年度『終結した下川クラブ』に行ってきました。下川クラブでは今年度の会長さん・幹事さんは決まっておりました。「月信」の人数申し込みもありました。それで、突然「終結」と聞いたものですから、幹事予定者と私が釧路から急いで下川まで行ってきました。残念ながら「届け出」を出した後だったもので、お話を聞いても止めることはできませんでした。

ただ、今は大変なクラブがあっても、ロータリアンの友情の下、そのことで手伝えることができます。大変で、クラブの存続をかけているというクラブが現在、2500地区には1000人減った時と同じような環境がいま現在繰り広げられております。

そこでロータリアンの皆さん方に、元気のある、活力のある、経験者が大変いらっしゃる釧路クラブさんの皆さんに顔を出していただきながら、このひがし北海道を、ロータリー活動を通じての経済活動に貢献していただきたいと思ってやみません。

ロータリーはやはり職業人の集まりです。特に釧路クラブさんは私たちの街の誇りのクラブです。そうそうたる方々がメンバーでもありまして、事業も立派にされています。また今日の発表のようにロータリー活動も緻密にいろんな活動を手掛けております。硬式野球大会も、私もガバナー補佐の時に参加させてもらいました。全道から父兄の方々と一緒に子どもたちが集まるのです。子どもたちの大会のみならず、親の人たちが子供たちの成長を願って応援している企画に参加していること、釧路クラブさんは事業に今回は30名出席して継続してやっていることについては大変素晴らしいことと私は確信いたしました。

ロータリークラブだけがこういうクラブではありません。しかし、このクラブが、皆さまのひとつひとつのことが、ひとつひとつの行動が、この2500地区と街の経済に間違いなく相当なインパクトを与えていることは事実です。

66クラブを回っている中で、町長さんが参加しているクラブがいくつもあります。街の中樞をなしているのです。1,650人の街でロータリアンが17名で、1%加入していることでR Iから3回表彰されたクラブもあります。そんな中で頑張っている人たちはすごく頑張っていて、経済にインパクト、リーダーシップ発揮しています。

また、それが「崩れそうだ」という町村もあるのです。こういう人たちはぜひ横の連絡を取りながら、皆さまが手を差しのべて、言葉かけて、それはロータリアンに会って、その地区の同僚の人とかいろんな形の中でコンタクトが取れると思います。メイクアップというのは、直接の素晴らしい手法です。そんな形でぜひ活動の中の考えに入れていただければと思います。

また、先般の地区大会ではご協力大変ありがとうございました。登録は900名超えました。実際に集まった方々は750名。ロータリークラブには大変素晴らしい方々がいらっしゃいます。「お医者さんの指導により感染防止に万全を尽くしてほしい」と、ご承知のようにソーシャルディスタンスを取ることから、換気を強制的に行い、消毒・検温・マスクなど万全の体制をとらせていただきました。そしてこれだけ経過して地区大会で発生は1件もありません。これは参加した皆さま方一人一人のコロナに対する考えと実行力と相手を気遣う気持ちがあって、このロータリアンのこの結束の素晴らしさから、こういう結果が出たと思います。

今回の2500地区大会は、今年度の全国の地区大会で最初だったのです。皆さん、開く・開かないで採めた結果、そして「そんなに集まって大丈夫か」という地区大会を開かせていただくことができました。これは釧路クラブの皆さんをはじめ地区のロータリアンの皆さまのコロナに対する日頃の思い、「ここからは発生させないぞ」という思いが現実には数字に表れた結果だと思います。

地区でひとつありまして、R Iから「このコロナにただ打ちひしがれるのではなくて、青少年に対する特別の計らいをしよう」と。実際、青少年交換留学生は来年の6月まで自粛・禁止になっています。まだ決定しておりませんが、この7月以降開始されると思われることに、R Iでは『オーバーエイジ枠』という方法を考え、実行をしております。これは、交換留学生は18歳までなのですが、「行く予定だったけど行けなかった」「留学をしたかった」人のために、「この交換留学生に年齢を超えても特別にオーバーエイジ枠でロータリーの特権を与えて扱おう」となりました。このオーバーエイジ枠は輩出の学校と受け入れ校の同意が必要なのですが、この制度を利用しながら「行きたいけど、諦めた」という子がないように、その子たちに手を差しのべてあげていただきたいと思います。手続きは少し面倒なものですから、候補生はガバナー事務所に言っていただければ地区を通じてお手伝いさせていただきますので、このオーバーエイジ枠で子供たちの夢を「コロナでしょうがない」でなく、ぜひ手を貸していただければと思います。留学生を受け入れて、留学生を輩出して、やがてはこの地のリーダーを育てていく。その行為はロータリークラブにとって最も大事なひとつの事業であります。ぜひ、ご協力をいただければと思います。

時間になりました。皆さま方の素晴らしい協議会、そして人の層の厚さをものすごく感じさせていただきました。皆さま方の熱意を、このクラブの素晴らしさを地域の活力に結び付けていただきますことお願い申し上げます。私からの言葉とさせていただきます。

どうも今日はありがとうございました。

講評 国際ロータリー第 2500 地区 長倉巨樹彦ガバナー補佐

皆さんの活動計画発表、お疲れさまでした。あまり偉そうな言い方にならないようにお話をさせていただきます。

まず印象は、釧路クラブの皆さんは歴史と伝統のある大人のクラブだなととても感じましたし、各委員会の発表も具体的ですごく分かりやすいと思いました。杉村会長からは会員増強のお話がありました。この第7分区の第1回会長・幹事会を開催させていただきましたときに、シェカール・メータRI会長の今年度の目標テーマの中に「世界中のロータリアンの数を120万人から130万人にしたい」というお話がありました。これ単純に計算すると8%になるわけですが、釧路クラブの皆さんはすでに会長の目標5%を達成し、いまは純増7名、3名プラスして10名の目標を立てているということで、本当に素晴らしいと思っています。

いくつか気が付いたことは、今回で第7分区は8クラブ目、釧路クラブさんが最後になるのですが、会員数の多いクラブの活動計画書を見せていただくと、やっぱり委員会の数も多いですね。多いのが悪いと言っているわけじゃないです。そもそもクラブ協議会に参加されている委員長の数、私の所属している南の会員数よりも圧倒的に多いのです。

皆さん、毎年ご覧になっている地区の委員会の組織図は必ず入れていただいています。各クラブも、うちのクラブもそうなのですが、クラブ内の組織図を記載されているクラブはなかったのです。これだけ数が多いと組織図を作るととても分かりやすいと思っているのです。それは、私やガバナーが分かりやすいという話ではなくて、新入会員が入られた時にこの委員会がどういう位置に所属しているのか組織図を見るとすごく分かりやすいです。これ、いま気が付いてお話をさせていただいて、そんなことを今後考えていただければなどと思っている次第です。

話が変わります。グローバル補助金の方です。タイの3330地区でもいくつか事業をやられています。今、コロナ禍で事業はストップしておりますが、次年度に向けて釧路クラブさんにはぜひグローバル補助金で手を上げていただきたいと思っている次第です。

また、収支予算案について市橋幹事からいろいろお話がありましたけれども、各クラブではここまで詳細に収支予算の説明をいただいた所はありませんでした。これだけ詳しく説明ができるということはクラブの内容をしっかりと理解しているということだと思います。それは会員の皆さんの信頼につながる場所と思っています。

私とすると、いろいろな面で「さすが親クラブの釧路クラブさんだな」と思います。いろいろ勉強させていただきました。今後も第7分区、また2500地区のリーダーとして各クラブを牽引していただきたいと思います。

本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

会長謝辞 杉村 莊平会長

漆崎ガバナー、長倉ガバナー補佐、本日は本当にありがとうございます。大変、ご丁寧な心のこもった講評いただきまして本当にありがとうございます。

前からそうですが、釧路クラブが100名のクラブということで、改めて僕らが思っている以上に周りからいい意味で見られているのだなと確認させていただきました。

やはり100人いるクラブということで各自が責任をしっかりと持ちながら活動していく必要があるのだと改めて思わせていただきました。本当にありがとうございました。

活動が始まりまして、4カ月経ちました。残り8カ月というところです。本日、いただきました貴重なご意見を参考にさせていただきながら、改めて各自がロータリーを楽しんで、そしてより有意義な年度になるように、しっかりとやっていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

各委員会の発表風景



2021.10.28 (木)
第11回例会
(通算3638回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	ガバナー公式訪問例会 (担当: 理事会)
次週例会	講師例会 「ビジネス書のベストセラー作家が釧路に今伝えたい」 (担当: プログラム委員会) ～採用と知名度の脱安売り、一気に解決するならブランド戦略～

■ロータリーソング: それでこそロータリー

■ソングリーダー: 東堂 光春君

■会員数 103 名

■ビジター 2021-2021 RID2500 漆崎 隆ガバナー ・ // 伊藤 広樹副幹事

同 第7分区 長倉 巨樹彦ガバナー補佐 ・ // 上川原 昭副幹事・奈良 清成副幹事

■ゲスト なし

乾杯挨拶 吉田 潤司パストガバナー



漆崎ガバナー、今日は釧路クラブにお越しいただきまして、また先ほどは『会長・幹事会』、また『クラブ協議会』で大変ありがたいアドバイスをいただいたと聞いております。本当にありがとうございました。

また、先般の『地区大会』は久しぶりの地区大会で、このコロナ禍の中で漆崎ガバナーの大英断、決意で開かれました。私も公式訪問で行った時に仲間になりました稚内の会員や利尻の会員など遠くからも来まし

んなに会いたと思っていたのだと、本当に漆崎ガバナーのご苦労とご英断に感謝でございます。私も公式訪問へ行きまして体力には結構自信がありましたけれど後半は風邪を引くとひどくなりました。漆崎ガバナーも体は大きいですが疲労はかなり蓄積していると思います。まだ7カ月あります。これからわれわれを引っ張っていただかなければいけないですから身体に十分ご留意されまして、これからまたお会いできなかったクラブ会員の所にも回られると聞きましたので、北海道は広いですがともガバナーの熱意を皆様に伝えていただき、みんなに勇気を与えていただ

きたいと思います。どうぞお身体に気をつけて頑張っていたきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、乾杯をしたいと思います。

今日の公式訪問で感謝の気持ちと漆崎ガバナーのこれからのますますのご活躍をご祈念いたしまして、乾杯をしたいと思います。

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方は、そのままお続けください。皆さん、こんにちは。

本日も多数のご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

ございます。気づいている方は、気づいているかもしれませんが、ちょっと変化があります。この卓数が少しずつ増えてきて、基本6名の卓数にしております。少しずつ with コロナと言いますかコロナ禍からの離陸を図っていきたくと思います。いつの間にかこのパーティションがなくなっている日が近く来るように願っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、漆崎ガバナー、伊藤副幹事、長倉ガバナー補佐・上川原幹事・奈良幹事におかれましては、大変

お忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。改めまして感謝とお礼を申し上げます。

漆崎ガバナー年度が始まりまして4カ月になります。この間、ガバナーにおかれましてはコロナの影響で次々と予定が変更になる中、2500地区66クラブを一生懸命に回られていると聞いております。

わがクラブも、実は9月30日の公式訪問例会を変更させていただきまして、ご迷惑をかけたクラブの1つでございまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

ということで、ガバナーは回られているのですが、まだ旭川方面を含めて10クラブぐらいの訪問が残っていると聞いております。通常でも大変なガバナー公式訪問ですので、改めてお身体には十分ご留意いただきまして、すべての訪問を無事終えていただければと思っております。

大変お疲れのところ、この後ご講話をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ひとつだけクラブのお話をさせていただきます。先週の夜例会は、多数の皆さんのご出席をいただきました。そしてまた親睦委員会の皆さんの大活躍のもとに無事に夜例会を再開させてもらえたことに礼申し上げます。これも皆さんのご理解とご協力のおかげだと思っております。ありがとうございます。改めてお礼申し上げます。

例会の形も以前の状況に少しずつ戻していきたいと思っております。ぜひ皆さんのご協力をいただきながら、また楽しくロータリーを進めていきたいと思っております。

本日の挨拶は、以上にしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ ガバナー公式訪問例会

国際ロータリー第2500地区 漆崎 隆ガバナー



釧路ロータリークラブの皆さま、こんにちは。先ほどは素晴らしいクラブ協議会に参加をさせていただきまして誠にありがとうございました。皆さま方の熱気

と、そして地域を代表する素晴らしい自負心が現れていたクラブ協議会であったと感じます。今後も2500地区のリーダークラブとしてご活躍をよろしくお願いいたします。

先ほど、杉村会長から「2回も開くようになってす

みません」というお話がございましたが、私は会長・幹事会、そして今日の会合と釧路クラブの皆さまと2回お会いできるという大変嬉しくラッキーな男だと思っております。今日の公式訪問例会を大変楽しみにしてやってまいりました。皆さま方との出会いが今後のロータリー活動に何かの形で生きてくればと思います。

今日は、公式訪問で初めて私の時間を30分取っていただきました。原稿は一生懸命に考えて、30分ちょうどで終わるように考えていますが、時には20分や15分しかなかったりして、途中オロオロする場面がありましたけれども、今日は30分間お話をさせていただきたいと思っております。

今年度のRI会長は、シェカール・メータさんというインドの方です。メータさんは、大変積極的で行動派の方です。そして私たちガバナーの研修『国際協議会』は毎年アメリカのサンディエゴですと行われてきまして、今年度からフロリダ州のオーランドで開かれるというその第1回目の協議会が開かれる予定でした。残念ながらコロナの影響を受けて「今年は集まることができない、WEBで開催します」と確定したのが開催をする1カ月と少し前でした。

その時、私も慌ててパソコンで協議会に参加をしなければということで、あまり得手ではないパソコンを特訓しました。もう1人は大変でしたけれども。

ガバナーのパートナーにも独自のプログラムがあって、「独自のパソコンでないと研修を受けられません」という話になって、私の家内はパソコンを全く触ったことがなく1カ月前にタブレットを購入して、その場で女の子にズームを入れてもらいました。そうしたらいまの時代はすごいことが起きるもので、2月1日～11日までの11日間、パートナーの協議会に遜色なく出席ができるようになりました。それは奇蹟としか言いようがない、また同じような方がたくさんいらっしゃいました。

そしてWEBで開催されることについては、アメリカのリーダーシップもまたすごいと思いました。各国の言葉を常時通訳が付いて同時通訳で会議が進むのです。世界8カ国の言葉に対応できるように段取りをしています。これがまたアメリカはやっぱり世界のリーダーの国だと実感をしたところでもあります。

前置きはそれくらいにしまして、シェカール・メータさんが、今年度2月1日～11日までの国際協議会でRI会長テーマを発表しました。2月1日の最初の演説です。このメータさんの演説は、私はもちろん、世界中のロータリアンが大変感動をして見ておりました。シェカール・メータ会長の今年度テーマの発表のシーンを8分間のビデオに収めておりますので、ぜひ感動をもう一度皆さんと一緒に味わいたいと思っております。8分間のビデオ、これは英語で話してまして、

下にテロップが出てきます。読めない方は移動してでも見ていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

国際協議会シェカール・メータ R I 会長テーマ演説 動画鑑賞



メータ会長の世界中で誰も知らない第一声がこれです。そして会長テーマが『Serve to Change Lives』と発表になりました。この Serve to Change Lives、日本語に訳しますと「奉仕をみんなの人生を豊かにするために」です。この時以来、今年度の活動がスタートいたしました。この言葉を受けまして、地区スローガンは『ロータリーの素晴らしさを広めましょう』としました。ロータリーの素晴らしさ、この本題に入る前に2つお話をしたいと思います。

その1つは、いまロータリーが大きく変わっていると感じているのは私1人ではないと思います。研修リソースが変わった背景には、次のような現実があります。今日の世界は、1905年のロータリー発祥時の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されております。不変なのは、ロータリーを定義付ける価値観に対するニーズであります。こうして生まれたのが2015年に発表された『ロータリーのビジョン声明』です。つまり、私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しております。

このロータリーのビジョンの実現に向けて、ロータリーの新しい戦略計画が発表され、ロータリーの行動計画である4つの優先事項が唱えられました。

- 1つ、より大きなインパクトをもたらす。
 - 2つ、参加者の基盤を広げる。
 - 3つ、参加者の積極的な関わりを促す。
 - 4つ、適応力を高める。
- であります。

つまりどのようなことが起きても、ロータリーの原点を見つめながら素晴らしい仲間と共に生き抜く、ということではないかと私は感じました。

しかし100年以上を経ても変わらないものがあります。それはロータリーの中核的価値観に変わりはありません。それらの行動は皆さまが常日頃から行ってお

ります「4つのテスト」、ロータリーの目的・五大奉仕部門に現れております。ロータリーの中核的価値観とは、親睦・高潔生・多様性・リーダーシップであります。

次の100年を目指して、次のことが現在検討され実行されつつあります。いろいろなことが出てきます。S R F委員会・ロータリー未来形成委員会もそのひとつです。また先ほどシェカール・メータ会長がおっしゃったD E I・多様性・公平さ・開放性・方針、これもそのひとつであります。地区協議会でも詳しくお話をさせていただきました。またローターアクトのロータリーへの参加、これも新しく変わってくることです。R L Iの活用も、そのひとつに数えられると思います。世界のロータリーの現状を踏まえて様々な改良・改善が組み込まれ、次の100年に向けていま活動が始めているところであります。

先ほど2つあると言ったもう1つなのですが、私はここが一番大切なことだと思います。それはいかにコロナ禍による影響からロータリアンが元気を取り戻し、地域のリーダーとして職業奉仕を完璧に行い、そして地域にいかに活気をもたらすか。これがクラブ活動で一番大切な部分ではないかと思います。このことに今年度一番力を入れたいと考えております。アフターコロナの牽引者に私たちロータリアンがなりましょう。

次に、「ロータリーの素晴らしさ」について少しお話をさせてもらいたいと思います。コロナ禍のこのような時だからこそ、立ち止まってもう一度ロータリーの原点を見つめ直してみたいと思います。

ロータリーは、慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。ましてお金集め・人集めが目的の団体でもありません。



ロータリーの本質には、素晴らしい魅力があります。ポール・ハリスの「ロータリーとは何か」という自問自答が『My Load two Rotary (ロータリーへの道)』に出ております。そこで、ポール・ハリスは「ロータリーとは何か。何千人のロータリアンに聞けば何千通りの答えが返ってくるだろう。しかし、もしロータリーがより寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら。そして、人生の美しさと歓びを発散し、伝えるようにしてくれるなら、それが、われわれが求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあろうか」と記しております。もう少しロータリーの原点を見つめてみたいと思いま

す。ロータリーを始めたのは、もちろんポール・ハリスです。ロータリーの基礎に「サービス」を教えたのは、皆さんよくご存じのアーサー・フレデリック・シェルドンです。このサービスを日本語に訳したのは「奉仕」という言葉です。この奉仕を辞典で引きますと、1つ、仕え奉ること。2つ、自己の利害を離れて頂上のも

のや公共のために尽くすこと。と書いてあります。これは、ロータリーの奉仕・職業奉仕にはなりません。サービスという言葉が日本で使われている多くの意味は、労力や金品を無料で相手やかかわいそうな人にやってあげる・与えてあげるという意味に使われることが多いように思います。

ロータリーでは、お医者さんが無料で診断をしてあげることが職業奉仕ではありません。むしろ社会奉仕です。また弁護士の先生が、無料相談をしてあげるのも職業奉仕にはなりません。社会奉仕と言えるのではないではないかと思います。

英語で職業は「occupation」ですが、ロータリーの職業は「vocation」です。つまり vocation は、天職、天から与えられた、神様から与えられた世の中のためになる職業です。これは、ロータリーの職業は人々が、社会が必要でないものはひとつもありませんという意味であります。

私事になりますが、34 年前、ロータリークラブへの入会を誘われた時の話です。ロータリーの名前は知っていましたが、内容はよく分かりませんでした。そこで「ロータリーとは何ですか」と訪ねました。そうしたら会員の方から「ロータリーとは、親睦と奉仕です」と言われました。その「親睦」という言葉は何となく分かるような気がしたのですが、「奉仕」という言葉はよく分かりませんでした。それで、その方に「奉仕とはどのようなことでしょうか」とお訪ねしたところ、「奉仕とは、自分の仕事・自分の職業・自分の事業を一生懸命にやることです。そうして仕事で知り合った相手に心から喜んでいただくこと。それが本当の奉仕です」と言われました。39 歳の私も、仕事を一生懸命にやるのならできるかという思いでロータリークラブに入会をさせていただきました。

まだまだお話をしたいのですが、時間も経ってききましたので「地区方針」について少しお話をさせていただきたいと思います。

地区方針は、「地区の明るい未来のために、地域の人々と親睦と持続可能な奉仕活動の推進」といたしました。具体的な方針については、次の 9 つにまとめました。

1 つ目、会員増強の目標を立て実行をしましょう。

シェカール・メータ会長は「Each One, Bring One（みんなが一人を入会させよう）」とおっしゃいました。会員増強は釧路クラブの皆さまが大変素晴らしい計画を立てて実行中です。2500 地区第 1 位、しかも 100 人以上のクラブは唯一のクラブです。このクラブを維持し、そしてまた新会員をさらに増強しようという姿勢は、まさにメータ会長の思いと同じだと思います。メータ会長は、「目標を立てる時に 12 カ月で達成できるものは目標ではない。14 カ月でできるかな、15 カ月で可能かな、という目標を立て、それに努力をする過程が一番大切だ」と、先ほどのビデオには出ていませんでしたけれどもおっしゃっていました。この目標設定とそれをやり抜く仲間の力、これはこれからも何事にも生きてくる力だと思います。

2 つ目、あと一步の「ポリオ根絶」に協力しましょう。

ポリオもあと 2 カ国となりました。1 つは、アフガニスタン。1 つは、パキスタン。今年になってからそれぞれ 1 件ずつの発生です。もう一步のところまでできました。去年は、アフリカで絶滅宣言がされました。ぜひ、あと一步のところを私たちの力を結集してこの目標を達成したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3 つ目、戦略計画委員会を立ち上げクラブの活性化を図りましょう。

皆さまのクラブは、85 年の素晴らしい歴史のあるクラブです。85 年前に創立会員の皆さまの熱い思いが、いまも脈々と生きている 2500 地区一番のクラブに育っております。ぜひこのことを大切にしながら、いまやれること、そして将来に向かってやっていくこと、を会員の皆さまでお話し合いをいただきながら 50 年後・100 年後のクラブをイメージしながら日々の活動をしていただけるかなと思います。

4 つ目、今期も寄付 0 クラブをなくしましょう。

先ほどの協議会でもおっしゃっていただきました。



4 年ほど続いております。吉田ガバナーの時も寄付 0 クラブを見事に達成されました。この会費を今年もぜひ続けていきたいと思ひます。皆さま方のご協力をよろしくお願ひいたします。

5 つ目、米山留學生の母國を理解し親交を深めましょ

う。

遠く母國を離れて、日本そして 2500 地区で高等教育を学んでいる留學生たちが米山の留學生です。私たちのクラブも今年の 3 月までフィジー出身の學生をホストさせていただきました。彼は 2500 地区で高等教育を学んで 3 月に歸國する時に、直行便がないの

で他国を経由して帰るのですが、飛行機のチケットが取れるかどうか分からないという時に、「大変皆さんにお世話になりました。フィジーに帰って政府の機関で私は働こうと思っています。ここで学んだこと、そしてこの恩は忘れません。日本とフィジーの架け橋になりたい」と言って帰って行きました。

ぜひ米山留学生と親しく交流をしていただき、その母国を理解し、その実のひとつひとつが結ばれていくことによってアジアの安定が生まれ、世界平和につながっていくものと確信いたします。ぜひこの芽を皆さんと一緒に育てていきたいと思いますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

6つ目、R L I を推進しましょう。

R L I は吉田がバナーの時にスタートをさせていただきました。それが、コロナでなかなか思うように進んでおりませんが今期もまたR L I を進展させて。これは、私はお酒を飲まない炉辺会合ではないかと思っています。皆さんと一緒にお話をしながら先輩のロータリアンの方も新入会員のロータリアンの方も、1つの議題に向かっていろいろな意見交換をする場です。ぜひR L I お声かけの時は参加をして、その良さを味わっていただければと思います。

7つ目、「ロータリー奉仕デー」を地域の人々と共に実施いたしましょう。

9月12日に、2500地区26クラブと269名のロータリアンが参加して、海岸清掃を行いました。これは、日本からスタートした「海岸清掃プラスチックゴミの回収活動」で、地球環境に優しいロータリーの7つ目の「環境」に関する重点目標の1つに数えられるものです。日本からこのような提案があるということがシェカール・メータ会長の耳に入り、9月12日に世界中で海岸清掃プラスチックゴミの回収作業を行いました。世界で23,000人のロータリアンが各国の海岸でこの作業に携わりまして、これからも開かれます。

メータ会長はアフリカにいたのですが、私たちが日本で行っている所と交換をしている時にアフリカからズームでお礼のメッセージが到着しました。このように世界に先駆けて、私たち日本の誇りとして環境問題の活動を今回行いました。ぜひこれからもご協力のほどをよろしくお願いいたします。

8つ目、ローターアクトと、種々の行事を共にいたしましょう。

ローターアクトクラブの皆さま方、ローターアクトの方々をいろいろなロータリアンの行事の機会にお誘いいただきながら、また力を貸して、青少年を将来のリーダーとして育てていただければと思います。よろしくお願いいたします。

9つ目、家族同伴例会を増やし、パートナーや家族にロータリー活動の理解とロータリーの素晴らしさ・楽

しさ楽しさを味わっていただきましょう。

私がこれに力を入れて、ロータリアンの皆さまの良き理解者のパートナーの方にロータリーの本当の良さ、そしてお父さんがどのような方々とお付き合いをしているのか、そしてどのような皆さんと一緒に奉仕活動をしているか、に触れていただきながら、ぜひ地域のリーダーとして仲間を大切に活動していただければと思います。

最後になりました。もう一度申し上げます。コロナ禍を乗り切るには、皆さまの家族が元気になることです。一人ひとりのロータリアンが元気になって職業奉仕を一生懸命に誓うとともに、地区でも・地域でも・クラブでも・家庭でも、すべての面でリーダーシップを発揮していただき、この閉鎖され息が詰まるようなコロナ禍の世界から皆さま方の力で、皆さま方のクラブの活力で、この大変な時期に、リーダーシップを発揮して吹き飛ばしていただきたいと思います。

ちょうど時間となりました。釧路クラブの皆さまの今年度1年間のロータリー活動の活躍をご期待申し上げます。私のお話とさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

会長謝辞



漆崎ガバナーにおかれましては、分かります、また丁寧に地区の方針・活動についてお話をいただきまして、みんなも理解を深めたのではないかと考えております。ありがとうございます。

今回の訪問に先立ちまして、ガバナーとの『会長・幹事懇談会』は予定どおり9月30日に行われておりました。その時に初めてガバナーとゆっくりとロータリーについてお話をさせていただきました。ガバナーは苦勞をして回られている分、各地域・クラブのことをよく把握されておりまして、いかに各クラブが工夫をしてこのコロナの中、ロータリー活動を続けているかをとても丁寧に伝えていただいたことが印象的でした。

いろいろお聞きしましたが、例えば、昨年から夜例会を含めて一度も休会をしていないクラブがあったということ、また奥様同伴でワクチンを打つ例会を催したクラブがあった、など興味深く聞かせていただきました。参考にさせていただきました。

改めて、ガバナーにおかれましては、このコロナ禍の中、難しい舵取りをお願いすることになるかと思いますが、釧路クラブ一同はガバナーのますますのご活躍を心から祈念いたしまして、本日のお礼に代えさ

せていただきたいと思います。
本日は、ありがとうございました。

司会

ここで、バナーの交換を行います。漆崎ガバナー、
杉村会長、ご登壇ください。



本日のニコニコ献金

- 漆崎 隆ガバナー 御礼
- 杉村 莊平君 無事に公式訪問例会を開催出来ました。ありがとうございます。
- 中島 徳政君 良い事がありました。ニコニコさせていただきます。
- 池田 一己君 今週土曜日に栄町公園午後5時から第10回ヒアガーデンを開催します。
寒いでしょうがビール一杯無料で提供しますので、是非お立ち寄りの上、
応援お願いします。午後8時までやっています。

今年度累計 106,000 円

2021.11.4 (木)
第12回例会
(通算3639回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	ビジネス書のベストセラー作家が釧路に今伝えたい ～採用と知名度の脱安売り、一気に解決するならブランド戦略～ (担当：プログラム委員会)
次週例会	釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part1 (担当：理事会)

■ロータリーソング：「君が代」「奉仕の理想」

■ソングリーダー：五十嵐正弘君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト スターブランド株式会社 代表 村尾 隆介様・ 〃 秘書 原 三由紀様
M&T 知的財産事務所 弁理士 谷口 誠様・ 〃 弁理士 小牧 哲也様

会長の時間



杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。お食事をお続けください。
本日も多数のご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

また先週行われました『クラブ協議会』『ガバナー公式訪問』は、皆さまの多数のご出席をいただき、ご協力をいただきましてスムーズな会合ができました。お礼申し上げます。ありがとうございました。

今日は少し趣向を違った形でやらせていただければと思っています。来ていただきましたお客様の前で、早めにとっておりますが、本日は私のクラブ歴史編の第2弾ということで、本日は村上祐二さん取り上げのお話をさせていただきたいと思っています。

ご紹介をさせていただきますが、その前にいま「ふふふ」とありましたけれども、当クラブの村上祐二君とは一切血縁関係がないことを本人にも確認しておりますことをご紹介した上でお話をさせていただきます。

村上祐二さんは、明治25年京都府亀岡市で生まれ、その後、根室に移られて根室実業高校の第1期生で卒業された後に、おじさんであります村上佐市さんに乞

われて村上物産さんに入社されております。

亡くなった北村藤兵衛さんが「釧路クラブの生みの親は村上さんだった」と言われておりますけれども、創立から48年間ロータリーに邁進して、その間32年間連続の100%の例会出席、そしてすごいことですが、全国の「地区大会」に102回出席という前人未踏の記録を打ち立てております。その間ロータリーのいろいろな活動をされますが、1984年(昭和59年)、92歳で亡くなられております。

亡くなる前日まで例会には元気に出席をされていたということです。亡くなる当日、地区大会の申込書を事務局に届けられる段階で倒れられたと聞いております。

私もいろいろ調べた中で、亡くなられる前年の網走の地区大会で村上さんが100回の特別表彰を受けられています。その時の謝辞を見つけたので、それをご紹介させていただきながらお話をさせていただければと思っています。ぜひ、聞いてください。

「私は、日清戦争の2年前、明治25年9月16日に生まれ、半月前に満91歳の誕生日を迎えました。クラブにおきましては、32年間100%出席を継続し、もっか33年目の100%出席の記録を作りたいと努力中でございます。

第1回目の出席は、釧路クラブが創立した直後の昭和12年春、当時のガバナーは北大総長の佐藤昌介男

爵で R I 会長代理は米山梅吉氏でありました。当時、この大会に出席をして現在釧路で生存をしているのは、両角バスターガバナーと私の 2 人きりでございます。爾来（じらい）100 回、各地の大会に出席しておりますが、ここを終えますと山口県の萩、明治維新英傑を生み出した萩に参りたいと思います。そうしますと 101 回の出席になります。どうぞお見知りおきください」というご挨拶で、その時の会場の驚きと敬服が交じった響めきは忘れることができない感動でした。という記述が残っております。そんな村上さんが、クラブ会長を務めるのが 1957 年（昭和 32 年）であり、少し遅い気がいたしますが、その貴重なエピソードも両角克治さんの追悼スピーチで垣間見られたので、こちらでも紹介させていただきます。

「戦後の昭和 25 年、最初に会長になられたのが長内氏で、村上さんが会長になられたのは少し遅れて昭和 32 年です。もっと早く会長のなるべきだったのです。村上さんは、戦中のロータリーの暗黒時代に入ってからすっかりロータリークラブが嫌になり、われわれが木曜クラブ・職域懇談会と名を変えて会合を続けていたほぼ 5 年間、村上さんは参加されていなかったのです。そのような訳で戦前のロータリアンの村上さんより戦中時代に入会をした人たちが、当時地下活動を行った同士ということで、村上さんより先に会長になったということのようです」。

そのようなエピソードがあるようですね。また、「その後、両角さんがガバナーになり事務所スタッフなどが足りず大変困った時に、ただ 1 人、村上さんだけが地区資金委員を引き受け、自ら東京へ赴き、各地区の状況を綿密に視察・打ち合わせをしてもらい、大変助かった。北海道地区資金をまともに軌道に乗せた第一歩は、村上さんのおかげです」

と語っております。本当に人格者であり人望も厚い方だったようです。ロータリーについて「理屈を抜きにして、肌で感ずるロータリーを」と言われ、「私の生き甲斐はロータリーであり、私の恩人はロータリーである」が口癖だったようです。というところが村上さんの歴史、それを少しお話させていただきました。ちなみに、この 32 年間で 100%出席という記録は私が調べている限りでは、その後、北村藤兵衛さんが 40 年連続 100%出席、その後はつい先日まで釧路クラブにいらっしゃいました川口さんの 44 年連続 100%出席が多分最長だと思っております。このお二人についても、第 3 弾・第 4 弾でお話をする機会を続けたいと思っております。

第 2 代村上祐二君におかれましてもこの記録を更新するように、ぜひ期待したいところだと思っております。もうひとつ、今日は大事なお話をしなければなりません。早いもので来年の理事を決める時期となりました。当クラブ細則第 5 条第 1 則に本クラブの年次総会を

12 月第 1 例会に開催し、そこで次年度選挙を行うとなっております、今年度の総会は 12 月 2 日を予定しております。

また、細則第 3 条第 1 節には、選挙の 1 カ月ぐらい前の例会において次年度理事を求めなければいけないとなっておりますので、まずは皆さまの中から立候補を募りたいと思います。立候補をお考えの方は、11 月 11 日の次週例会までお申し出いただければと思います。届け出がない場合には指名委員会を開催させていただきます。指名をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、長々となりましたが、本日はブランディングということで村尾さんのご講演となっております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。お手元の例会案内をご一読お願いいたします。本日本例会後、第 5 回理事会を開催させていただきます。本日の理事会の会場はホテル館 3 階「はなの間」になっておりますので理事者の皆さまは、例会終了後そちらへご移動をお願いいたします。

また、11 月のロータリーレートは、114 円となっております。また受付に赤い羽根共同募金の募金箱を設置させていただきました。今月いっぱい設置させていただく予定ですので、皆さま募金のご協力をよろしくお願いいたします。

以上で、幹事報告とさせていただきます。

■本日のプログラム■

ビジネス書のベストセラー作家が釧路に今伝えたい
～採用と知名度の脱安売り、一気に解決するならブランド戦略～

プログラム委員会 木下 正明君

皆さん、こんにちは。プログラム委員会の木下です。皆さん、今日の講演は楽しみにされているのではないかと思います。なるべく講演の



時間を多く取りたいものですから、ご講演をいただきます村尾隆介さんのプロフィールにつきましましては、お手元の紙をご覧くださいだと思います。

スターブランド株式会社／ビジネス書作家

村尾 隆介様

皆さん、こんにちは。30 分お時間をいただきましたので、今日は『ブランド戦略・ブランディング』について、普段、皆さんがなかなか触れ合わない話だと

と思いますが、ぜひ釧路のために話をしたいと思っています。

僕は、「中小企業のブランド戦略をブームとして起こし



た」「それまで大企業のものだったブランド戦略を中小企業のものにした」と、過去 15 年メディアからたくさん報じていただいています。北海道から沖縄までだいたい 300 社にこの『ブランド戦略・ブランディング』という分野でアドバイスをさせていただいています。講演セミナーは、年間約 100 本行っていますので、3 日に 1 回はどこかでこの「ブランド戦略の重要性」をお話しさせていただいていますけれど、その 9 割方は地方で行っています。どうか、今日のこの話は「東京の話でしょ」と思わずに聞いていただきたいと思います。

僕は地銀の顧問などもやっていますし、このブランド戦略と地方創生は非常に相性が良いので「岩手県の観光文化大使」、そしていま木下さんと一緒にこの「ひがし北海道全域のブランディング」、北海道右半分のブランディングに着手させていただいています。

僕自身は、元々、HONDA の社員です。HONDA ブランドをイスラム教圏で確立していくことが、社会人 1 年目からずっと携わってきた仕事なので、僕は社会人生活ずっとこのブランド戦略という世界にいます。たくさん本を国内外で書いています。国内外で合わせて 25 冊、最近だったら SDGs の本、そしてオリンピック・パラリンピックに合わせて日本が誇るブランドのミズノというスポーツ用品メーカーの本を書かせていただいています。

今日は、『採用と知名度と脱安売り』ということで、企業が常に悩んでいる話をさせていただきたいと思っています。資料は木下さんに後でお渡ししますので、もしメモなどが取られなかった時は後でもらってください。また写真を撮ってもらって構いませんし、録音もぜひ行ってください。これはぜひ皆さんのスタッフとも共有をしていただきたいと思います。

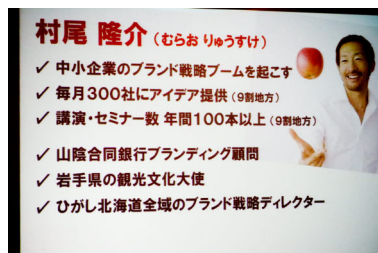
もし僕が、ここに中学 2 年生を連れて来たとします。そしてこの中学 2 年生が社会人の皆さんに「社会人の皆さん、ブランドとは一体何ですか」と聞きます。ブランド戦略、ブランディング、言葉は多少違ってても良いと思いますが、これに明確に皆さん答えることができるでしょうか。

ブランドという言葉、日々私たちは会議ないし公私ともによく使っている言葉です。ブランドはビジネスにとって重要なキーワードですけど、説明できる社会人はいないと思います。辞書を開けば、「焼印」と出ています。元々は家畜に「この牛はウチのだ」「この

豚はウチのだ」とやって始まったのがブランドの元々の語源であります。もしくは「商標」「商標登録」と出ていますが、「ブランド＝商標登録」と言われても何の解決にもなりません。

値段が高いこと、有名なこと、いろいろなことを想像される方がいらっしゃると思います。朝、皆さん歯を磨いている途中でチューブに目を落とすと、そこには「GUM」と書いてあります。言わずと知れたこれはブランドです。商品のことがブランドと思われる方がたくさんいると思います。ただ、このチューブをパッと反対にしたら、そこには「サンスター株式会社」と書いてありました。そこで皆さんは思うのです。「あれ、待てよ GUM という商品もブランドだけれど、サンスターという会社もブランドだよな」と。

そのようなことを思いながら、朝シャワーを浴びて出勤のために白いシャツを着ました。何の変哲のない白いシャツ、2,980 円でした。縫



製もしっかりしているメイドインジャパン。この 2,980 円の白いシャツ、ここにたったひとつの刺繍が入るだけでこれが 29,800 円になります。29,800 円、もしかしたら同じ工場で作られているかもしれない。両方は縫製だってしっかりしている。でもこの刺繍ひとつに 10 倍の値段を払う人がいるのです。これがブランドの世界です。知名度のため、もしくはステータスのためいろいろな理由がそこにはあるのですけれど、刺繍ひとつで物事が変わってきます。

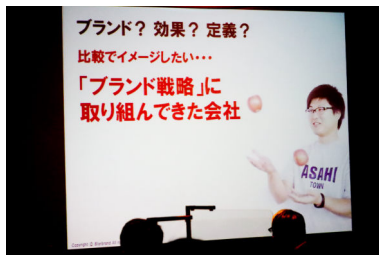
そのようなことを思いながら朝、出勤をしました。「東京メトロ」に乗りました。東京メトロは民営化されてから印刷物やロゴなど非常にお洒落になりました。そこで人は「なるほどデザインを良くすることがブランド戦略だろう」と思います。だったら話は簡単です。皆さんはデザイナーを捕まえて来て、きれいに皆さんの会社の印刷物を整えたら、それでブランドになれるはずです。

でも、話はそんなに簡単ではないのです。だったら世の中ブランドと言われる会社だらけのはずです。

そのようなことを思いながら朝、出勤のために最寄りの駅「表参道」で降りました。表参道という駅は、東京の中でもブランド力が高い土地です。実は土地にもブランドがあります。乳製品も「北海道」と付いただけで人は「より美味しいだろう。より高く値段を払っても惜しくない」と思うわけです。そのようなことを思いながら働く前にコーヒー 1 杯買って行こうと思って「スターバックス」にきました。スターバックスは少々値段が高いお店です。コーヒー 1 杯が安いものでも 310 円します。「なるほど値段が高いことがブラン

ド」と考える方もたくさんいます。でもその思いは店を出て斜向かいにある「ドトール」を見た瞬間にもろくも崩れます。そうです、ドトールだってブランドです。安い方のブランドです。「エルメス」もブランドだけれど「ユニクロ」だってブランドです。ブランド＝値段が高いこととは限りません。各価格帯に実はブランドが存在しています。

そのようなことを思いながら、お昼ご飯、ラーメン屋さんに来ました。このラーメン屋さんは全国区には知られてはいないけれど、でもその地域では局地的には有名。そう全国区・世界的に有名ではなくてもその地域・業界の一部の人だけに人気のブランドということもこれもまた存在するのです。そのようなことを考えながら、夜、ご飯を食べました。夜ご飯の食卓には、「きゅうりのキューちゃん」、「松阪牛」、すべてブランド名が付いていました。奥様と娘さんがブランド品の話・いわゆる高級バックの話をしていました。お孫さんが遊びに来ていました。お孫さんはまだ自分の名前



を自分で言えないのに「マクドナルド」の商業の黄色いアーチを見てキャッキョ騒いでいました。最近のブランド戦略の研究では、子どもは自分の

名前を覚える前にブランドの「ロゴマーク」を覚えると言われています。

そうブランド、われわれは、この文明社会で生きている以上1日たりともふれ合わない日なんてありません。皆さんが先ほど触っていた「iPhone」、今朝食べた「ブルガリアヨーグルト」、先ほど乗ってきた「トヨタ」、これは全部ブランドです。ただ先ほど中学2年生の例があるように、われわれはブランドという言葉がすぐに中学2年生伝えられるぐらいこの言葉を理解しているかと言ったら全くそのようなことではないと思います。

「じゃ、ブランドとは一体何なのか」。その定義のためにここに僕が今日立っているわけではありません。ぜひイメージしてください。その会社がどんなに小さくても、どのような業種・業態であってもブランド戦略・ブランディングを意識してきた会社と、そうではない会社ではこれぐらいの違いがあるということをぜひイメージしていただきたいと思います。

まず「ブランド戦略を今まで考えて来なかった」「ブランド戦略なんて全く重視して来なかった」「ウチの会社とは全く関係がないことだ」と思っていた会社の姿です。見てのとおり、あたふたしています。今日みたいな寒い日でも、お客様は神様です。営業に行かなければいけない。良いスタッフいないかな。いつも良

いスタッフを外に探す。せっかく入ったところですので辞められる。金融機関にも「お金を貸してください」「何か良い情報はないですか」「ウチとコラボレーションしましょう」、そのようなことを頼む時も全部こちらから行かないとダメです。これがブランドを意識して来なかった、地域・業界のブランドになろうという経営をして来なかった会社の姿です。

一方、どんなに会社が小さいところからも「ウチは地域・業界のブランドを目指すぞ」とやってきた会社の状態はどうか。これとは全く逆です。その会社・お店が、多少場所が悪い所にあってもお客様の方から、わざわざ世界中から探してそこに来てくださる。少々値段が高くて喜んでそれを理解して払ってくれる。スタッフもそうです。福利厚生がどうか、有休がどうか、そのような話ではありません。「御社で働くことが夢でした」と求人も出していないのに未来の優秀なスタッフが集まってくる。これが地域・業界のブランドと言われるような会社の状態です。

では、向かって右と左、どちらがより良い経営の状態にあるかと言ったら当然右。そう、ブランド力というのは皆さんの会社により強い引力を兼ね備える、そのような戦略だと思って理解をしていただけたら経営に役立つと思っています。つまりブランド戦略とは、効率の良い上手な経営をして行こうということと、これはニアリーイコール(≒)なのです。一般的には「デザインを良くして行こう」と思われますが、違います。特に中小企業にとってはデザインのような「部分戦略」ではなく、「全体経営戦略」なのです。

僕が率いる「スターブランド」という会社は、ブランドの定義を「ビジネスに関わるすべての人をファンにする。研ぎ澄まされた経営をしている会社」としています。デザインのことなど一切触れていません。関わる人すべてをファンにしていく。もしくは、いま働いているスタッフも社長のファン。このような状態の会社にしていく経営がある。このような会社のことを僕は『地域・業界のブランド』と呼びたいと思います。またこの釧路からひとつでも多くこのような会社が誕生することをこれからもとても願っています。

もちろんデザインもとても楽しい部分で大事です。日々、僕はいろいろなお店・会社をプロデュースしていますけれど、これは僕が最近オープンさせた群馬のコインランドリーです。このようにいろいろな色・デザイン・そして店舗の中、このようなものも全部僕が作っていくわけですが、もちろんこれは楽しい部分です。ただブランド戦略とは、決してこのようなことだけではないことを覚えておいてください。いずれにせよ今日ここまでの話を聞いて「ブランディング、いいな。ウチの会社もやってみよう」と思ったら、どうか明日は社員を集めて朝礼で「よし、ウチもブランディングだ」と言わないでください。そうしたらスタッ

フの皆さんは、だいたいこのような顔をして「また社長、変なセミナーを聞いてきたな」と思うと思います。ブランド・ブランド戦略・ブランディング、先ほど言ったように人は頭の中で定義が定まりません。ブランド・ブランド戦略・ブランディング、このような言葉を一切使わずに皆さんの会社をブランド化していく。これが優れた経営手腕だと思えます。

言い方を変えるなら、「お客様以上のファンづくりプロジェクト」「脱安売り大作戦」「採用における会社の魅力度アッププロジェクト」、もしくは「徹底した知名度アップ大作戦」、言い方はいろいろあると思います。これは全部、ブランド戦略ができることです。どうかブランドという言葉は一切使わずにブランディングに着手していただけたらと思います。

今日、タイトルは、『採用・知名度・脱安売りに効く』と言っていますので、それぞれの話をひとつずつして終わっていきましょう。

まず、ブランディングの好事例で、「採用」についてです。今日は時間に限りがあるので、ひとつだけポイントをお話したいと思います。皆さん、地域・業界のブランドと言われるような会社を目指すとしたら、目立つことを恐れないでください。具体的に言うならば、ユニフォームです。皆さんの会社にもしユニフォームがあるとしたら、ユニフォームを躊躇することなく格好いい物・目立つ物にしていってください。

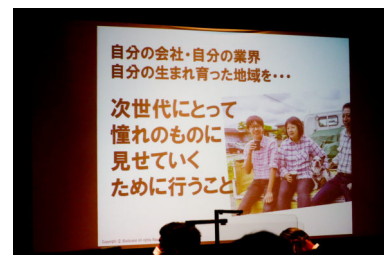
これは僕が兵庫県でお世話させていただいているブリティッシュパブです。見てのとおりただの「the 飲食店」の感じです。この方は社長ですが、社長も普通の格好でいつもお店に立っています。僕はこれではいけないと思います。特に飲食店は採用を非常に困っていて、なかなか人が集まらない。なので、僕はユニフォームを替えました。どう替えたのか。このように替えました。これは社長です。スタッフもこうです。こうすることによって「このユニフォームを着て働いてみたい」とワンサカ履歴書が集まるようになってきますし、社長以下スタッフもスター化しますので、お客様から「一緒に写真を撮ってください」ということで、やっぱり自分の仕事により誇りを持てるようになっていきます。

飲食店だけではありません。これは僕がお世話をさせていただいている土木の会社です。見てのとおり若い女性はリアル社員です。みんな面白いように集まってきます。実は最近ここ上場しました。なぜ上場できるのか。人が安定的に集まって来るからです。その理由は一体なぜなのかと言ったら、やっていることはいろいろありますけれど、でもユニフォームはひとつ大きな理由です。ちなみにbeforeはこれ、「the 土木の会社」のような感じです。たかがユニフォームされどユニフォームです。このように格好良くしていたら雑誌の表紙にこのように飾れるようになると思います。

僕は、全国いろいろな仕事をしています。水産加工に近いお話もぜひ釧路には伝えたいと思います。これはタコの加工の会社、茨城県で僕がお世話をさせていただいている所です。見てのとおりタコの加工で「B to B」だからユニフォームは必要ないのです。でも、ここもこのように全身タコの色、靴まで CONVERSE のタコの色、サッカーのように AWAY のユニフォーム、サッカーのようにサードユニフォーム。ちなみにサードユニフォームをこの色にしている理由はなぜか分かりますか。そう、タコの会社だから「ターコイズ」にしています。このような遊び心がとても大事。このようにすると面白いように若いスタッフが集まってくるので、ぜひ採用におけるブランディング。皆さん、着手すべきは、ユニフォーム。これは簡単にできることです。

そして経営者自体の見た目もとても大事です。パーソナルブランディング・個人のブランディング、これも僕は着手をよくします。僕は、社長を連れてダイエットプログラム、一緒にトレーニング、そしてこのようなファッション改革もやっています。

これは僕がお世話をさせていただいている山形の印刷会社の社長さんです。これも中小企業の社長にありがちなルックスだと思います。やっぱり印刷業、これから人を集めることが大変になるので変えました。6 か月かけてダイエットもして、一緒にショッピングに行って、一緒に髪を切って、いまどうなっているか。いまこうなって、全然違います。でもこうした瞬間に面白いように会社には人は集まっています。



いろいろな社長さんに僕はやらせていただいています。これは福島ガス会社、before はこのような感じで普通です。このような時に一緒に買い物へ行ったりもします。ある程度若手の社長もそう、この方は僕と同世代です。でも最近このように変えました。こうするだけで大分会社の魅力、採用の戦略度合いが変わってきますので、どうか「ユニフォーム+社長の見た目」をトコトン追求していただきたいと思います。一旦まとめます。ユニフォームは、採用戦略。ブランドイメージもしくは業界のイメージは、一夜にして皆さんが格好いいユニフォームを揃えることによって変わっていきます。今日はこれ以上のお話はできませんけれど、ぜひ僕がこれを書いた本で『できる社長は人が採れない』がありますので、またどこかのタイミングでピックアップしていただけたらと思います。「知名度」のお話もしましょう。ブランディングによる好事例。知名度に関して、ブランディングと言って

も付け足しの作業とは限りません。いまやっていることを削ぎ落としていく場合も多々あったりします。これ、八天堂のクリームパン。皆さんいまご存じかもしれませんが、僕は過去 15 年関わって来ています。僕は広島メーカーではなく、これをブレイクさせた販売会社のコンサルタントを過去 15 年務めて来ています。広島で忘れもしません、200 種類のパンを作っていたただのベーカリーでした。ある時「199 種類のパンをすべて止めて、一番美味しい一種類だけに絞ろう」と、この戦略をやりました。そこで残ったのがクリームパン。クリームパンに絞った瞬間、一体何が起こったのか。前年費売り上げ 600%。その後は全国に広がり世界に広がり、その世界進出も僕は一緒にやりました。

僕は『虫眼鏡の法則』と言っています。何でもできる。たくさんやっている。虫眼鏡でいうと、これは光をボワッとさせているような感じです。「いや、そうではない。やっていることを絞り込んでフォーカスすることによって光が集まって火が起きる」。僕はこのような場合も多々あると思っています。絞り込むほど火は起きやすい。

ブランド戦略も実は同じで、「あそこの会社と言えばあれだよ」「その会社と言えばあれだよ」、やっぱり人の頭の中で想起されないとその地域・業界のブランドとは言えないので、どうか発想を逆転して「何でもやる」から「これしかできない」もどこかのタイミングで、特に皆さんが新規事業を考える時には、考えていただきたいと思っています。僕は、日々そのような戦略を全国でして差し上げています。

これは愛知県の元々運送会社です。「何でも運ぶよ」とやっている所だったのですけれど、運送会社も競争でとても大変です。ひとつのことに絞ろうと読んで字のごとし『ジャストヨット運送』、「ヨットしか運ばないよ」という一事業を作りました。7～8 年前に作って毎年 140% の伸びを見せています。「ヨットなんて運ぶ人いるの」、いるのです。そのような方たちがいますし、大学のヨット部がありますから。彼らはいままで、どこそこの誰にでも頼んでいましたけれども、「大切なヨットだからヨット専門の人に運んでもらいたい」となり、これはひとつに絞り込んだことによって、その一部の人たちだけの間でとても有名になった例だと思います。

他にも僕は「離婚専門の法律事務所」などもプロデュースしたことがあります。これは日本初。いまはまねっこともたくさんありますが、このようなことも「弁護士事務所として何でもやります」よりも、このように絞り込んだことによって有名になった例です。

他にも、和服のメーカーで、これは和尚さんのカジュアル服で、左側が従来型です。「オショカジ」という名前でも和尚さんのカジュアル服を作りました。これを

最初に出す時に「和尚さんに向けてカジュアル服なんかを出して売れるの」と言われました。いまメチャクチャ売れていますし、メチャクチャ檀家さんへのプレゼントなどにも使われています。

何よりも面白がってメディアがこのように取り上げてくれます。そう、絞り込まれた物・サービス・会社の方が、メディアが面白がって報じてくれます。いまやっていることを止めましょうという話ではありません。どうか新規事業をつくる時には「絞り込まれたこれしかできません」という事業ブランドをぜひ考えて見てください。

ポイントはこれです、まずは小さな世界で一番に。これは僕が過去に書いた本、『安売りしない会社はどこで努力をしているか?』は、とてもたくさんの経営者に読まれている本なので、手に取った方もこの中にいらっしゃるのではないかと思います。「何でもできますよ」では、なかなかメディアに載りませんし、人から人に噂は伝わりません。どうか絞り込んで話題をつくる、これを考えていただきたいと思います。

「何でもできる」は一見便利そうだけれど実は何もできない、ととられる可能性もあるということです。最後、「脱安売り」に関してもポイントだけお話をし今日は終わります。

よくあるケースで、このような講演の後に名刺交換をして「うちも脱安売りをしたいのです。価格競争から抜け出したい」と言われる方と名刺交換をさせていただきます。

その受け取った名刺が何となくチープ。名刺に書いてあるロゴの色使いが何となく安っぽい感じ。それでは買い叩かれるはず。このような色使いなら何となく「安っぽい会社」だろう。色と心理学、このロゴやデザインの見た目の心理学はあるものです。

一方、このようにシンプルな色使いで、もっと余裕があって、余白があるデザイン、印刷物・カタログだったりすると、「ここはちょっと値段が高いし値段交渉はできなそう。でも、良い物だから買おう」となります。どうか皆さん特に中小企業など自分たちの会社が使っている印刷物を色使いからもう一度考えていただきたいと思います。

これは、先日、山梨の方からいただいた「さくらんぼ」です。「高級さくらんぼ」と書いてあります。でも、これをもっと高級に見せる方法はいくらでもあると思います。色を落とす。文字をもっと高級っぽくする。テカテカの箱にしない。艶がないようなものにする。などいろいろやり方はあります。自ら「高級」と言わないことも、もしかしたら大事なこともかもしれません。このように、より高く買っていただけるようにする術・策はいろいろあると思います。

コツは、いくつかありますが、ひとつだけ覚えていただきたいことは「カラフルにしない」、そして印刷物

でも何でも「余白美」。そう、余白の美しさ・余裕があること。ギュウギュウ詰めにしな、これはとても大事です。そして色、ダーク系の色の方が人は高級感を感じます。もっと言うならば、『名前のない色』です。何とも形容しがたい名前がない色には、人はより高級感を感じると言われています。

「ティファニー」などがそうです。これは「ティファニーブルー」と言われるけれど、ブルーかと言ったらブルーではないですよ。グリーンとも言えるしブルーとも言える、ティファニーブルーですよ。このように名前がない色、川崎グリーンもそうですけれど、このような色で人は高級感を感じるというのは。どうか皆さんの新規事業ないしいまの会社の色を変えていく上では、このようなことも考えてください。

もしも迷ったら、皆さん迷わずブラック企業になることです。つまり黒を基調とした会社になっていく。これがとても良いかもしれません。

ひとつご紹介をしたいことが、僕は2週間前にここに行っていたのですが、新潟の『SUWADA』という爪切りの会社です。爪切りは100円ショップでも売っていますが、ここでは1個5,000円や8,000円する爪切りを作って世界に輸出しています。工場がある日突然このように真っ黒にしました。黒を基調にしています。これは普通、日本の中小企業だったら非常に嫌がることです。「黒なんて、縁起悪い」という話になりますけれど、見てのとおり「Open Factory」と書いてあります。そう、誰でもいつでも見て良い。本当に何となく動物園・博物館化しているような工場になっています。

『爪切りの時間は「面倒」から「感動」へ』というキーワードでやっていますけれど、新潟へ行く機会があったら立ち寄って見てください。とにかく真っ黒。工場もこのようにラインを見せてくれますけれど、真っ黒。スタッフ、真っ黒。使っている機械は全部塗っているようで、真っ黒。置いてある備品、全部真っ黒。そして社員食堂とお客様が使えるカフェは同じスペースですけれど、そこもこのように自分たちが失敗をした爪切りをこのようにライトにしています。そして工場で見ただけで格好がいい箱などはお土産屋さんで売っていて、みんなバカスカ買って行きます。黒、決して安売りをしない。そして自分たちは違うことをやる。そもそも違うことをやるのがブランド戦略です。で、ここのやり方、ブラック企業になった。色ですよ、とても正解だと思います。

『ひがし北海道』のブランディングプロジェクト、これも黒を基調としています。ひがし北海道というこの広大な地。いろいろな会社さんがいらっしゃるので、やっぱりみんなにユニバーサルに使ってもらう黒と白、これが良いだろうと思って、木下さんをはじめ今日このテーブルに集まっているブランディングチーム

と日々活動をさせていただいています。

当然、意思統一、このようにしたいというのは、なかなか広い地域をやっているので伝わり切れません。ただ僕がこのように釧路に足を運ぶことによって、北見に足を運ぶことによって10年後・15年後、「ひがし北海道」という名前は根付いたね。素晴らしくなったね。安売りせずに済むようになったね。採用で困らなくなったね。そのような地域になって行けたらいいね。いろいろな願いを込めてこの活動を行っています。今日、このお話はしませんが、いまの黒の話からこの「ひがし北海道」のブランド戦略もなぜ黒白で行っているのか、ここから話がつながったら良いと思っています。

皆さんにお願いします。ホームページがもうすぐできます。そのホームページから「お手洗いのサイン」「Wi-Fiのサイン」「駐車場で使えるサイン」などが無料でダウンロードできるようになっています。この「ひがし北海道」のブランド戦略プロジェクトが1人でも多くの人に伝わるように、プリントアウトして皆さんのいろいろなところで使っていただけたら、より広がりが早いと思っています。

『中小企業のブランド戦略』ということで、足早に30分でお話をさせていただきました。僕はこの世界の第一人者、専門家として日々、このことだけ24時間考えて生きています。これは、誰のために行うものなのか。僕は端的に言うなら、もしくは深い所で言うならば、皆さんの会社でいま働いているスタッフのために、皆さんの会社はブランド戦略に着手しなければいけないと思っています。

これは、福井の鉄工所で僕が手がけている所です。これは『291 アイアンワークス』という名前で、291で「ふ・く・い」と読ませています。

忘れもしません。初日、僕がこの会社へ行った時にスタッフ1人1人の毛穴から本当に不安しか感じませんでした。「俺、将来引退できるのかな」「俺、将来結婚できるのかな」。鉄工所ですから、みんな火花を散らしながらそのような空気を感じました。

そこからブランド戦略を着手して、いまではたくさんのメディアに取り上げられるようになって、一体どうなったのか。

見てのとおり、ここの職人たち・スタッフたちがこのようにカメラの前で、本当に素晴らしい嘘のない笑顔を作れるようになりました。このような写真を撮った時に「僕の仕事は終わった」と思って、その会社去るようにしています。これもただの鉄工所ではなく「その地域・業界でブランド」と言われる鉄工所になったからこそ、彼らは自分の将来に自信を持ち、自分の会社に誇りを持ち、そして数年かけて「自分の業界を次世代に伝えていきたい」と心の底から思えるようになったからこの姿になったのです。

この方はこの社長です。社長の改善もちろんやっています。この社長には、アイアンワークスとアイアンマンをかけてトライアスロンに挑戦をしてもらうことにしました。僕もトライアスロンをやっているので、一緒にトレーニングをし、最初の大会と一緒に出てあげて、それからアイアンマンは世界最高峰の大会をこのように転戦するようになりました。15時間かけて3.8 kmのスイム(水泳)、190 kmのバイク(自転車)、そして42.195 kmのランを走るわけですけど、最近、社長はあるインタビューで「村尾隆介(僕)のコンサルをずっと受けてきて、一番良かったことはトライアスロンを始めたことだった」と言っています。何とも微妙なコメントですけど、このように言ってくれました。ここはいま「日本一明るい鉄工所」ということで見学者がたくさん来ます。

皆さんの会社で、働くスタッフがいまよりもっと輝けば、皆さんの業界はもっと盛り上がるはずです。ブランド戦略とは、回り回って結局このようなことだと思っています。自分の会社・自分の業界・自分が生まれ育ったこの釧路・ひがし北海道という地域を次世代にとって「憧れのもの」に見せていくために行うこと。そのための手段がユニファームだったり、色使いだったり、社長の見た目であると思っています。

皆さんの奉仕活動、もちろん会社が発展すればするほど地域にいろいろな形で奉仕ができます。また、奉仕だけではなく事業自体が社会貢献的であることが間違いなく良いわけですから、どうか皆さんの会社のブランド戦略という血肉を少しでも加味していただき、よ

り輝く釧路にしていいただけたらとても幸いです。

今日は、質疑応答などはありませんけれど、Facebookで「村尾隆介」と入れたらメッセージなどで連絡が取れると思います。どうかこれからも仲良くしてください。みなさんありがとうございました。そして、今日はお招き本当にありがとうございました。ちょうど予定の13時29分になったので、これで終わっていききたいと思います。ありがとうございました。

会長謝辞 杉村会長

村尾様におかれましては、貴重なお話、面白かったですね。あっという間の時間でしたが、本当にありがとうございました。

「目から鱗」と思った方々も多いのではないかと思いますし、刺激を受けたと思います。やっぱりパーソナルブランディング、制服を含めて、ブランドは経営戦略だというお話をされていました。まさにそのとおりだと思って聞いておりまして、非常に刺激を受けて、勉強をしなければいけないと思っております。

尾先生とスタッフの皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、今日のお話のお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 市橋 夢佳丞君 先日開催されました米山チャリティーゴルフコンペで優勝させて頂きました。ありがとうございます。
- 荒井 剛君 先日、息子が釧路選抜チームのピッチャーとして新聞に載りました。これで息子の小学生の野球シーズンが終了しました。
- 池田 一己君 11月1日付けで法人になりました。

今年度累計 135,000 円

2021.11.11 (木)
第13回例会
(通算3640回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part1 (担当：理事会)
次週例会	釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part2 (担当：理事会・親睦活動委員会)

■ロータリーソング：四つのテスト

■ソングリーダー：荒井 剛君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。皆さまのおかげをもちまして 85 周年記念例会をコロナの影響も受けず、無事開催することができました。本日は

「パート 1」ということで、来週の夜例会は「パート 2」ということでお世話になりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

この例会を開くに当たっては 5 周年ということもあり、あまり対外的な要素を入れずに、今日のこういう落ち着いた雰囲気の中で歴史を振り返る例会にしたいとの思いがあってこのようにさせていただきました。

今週・来週とベテランメンバーの方々にお話いただきますが、これまでの先輩がどのように歴史を紡いできたのかに思いを馳せていただきながら、次の 90 周年につながる例会にできればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

85 周年ちなんでの会長挨拶、歴史を振り返るパート 3 でございます。皆さんのお手元にあります、嵯峨記念育英会でおなじみの嵯峨晃さんについてお話ししたいと思います。

嵯峨晃さんは、明治 38 年に函館でお生まれになって

おります。釧路中学校から法政大学に進みまして、嵯峨漁業に入社するところですが、エレクトの時代に嵯峨さんを少し調べましたら、「昭和 40 年くらいの釧路新聞に、日経にある『私の履歴書』のようところに嵯峨さんが載っていた」という情報を聞きつけ、釧路新聞の資料室から探してきたのが皆さんの手元にある資料でございます。

それを見ますと、嵯峨さんは大学を出るまでは家業を継ぐ気はまったくなく、半ば勘当状態で演劇に心血を注いでおられたのが分かります。釧路に戻ってきてからの心境も詳しく綴られております。浅川副会長が一生懸命コピーしましたのでぜひお持ち帰りいただければと思っております。

ちなみに嵯峨さんは、昭和 40 年にガバナーを務められますけれど、昭和 40 年ころは北海道がまだ 1 地区で、「ガバナーは函館・札幌・小樽からしか出せない」という暗黙の了解があったように資料で見ました。その中で、2 地区になるまでの 24 人中のガバナーのうち、両角克治さん、嵯峨さん、旭川の岡田さんの 3 名だけが 3 市以外からガバナーになったという記述も残されておりました。

数々の成績を残された嵯峨さんが昭和 47 年に 69 歳で亡くнаられております。ご冥福をお祈りしたいと思います。

こんな資料を持ってきた私ですので、もう今年度会長

の役割は全うできたかなと自負しているところでありますが、もうひとつ皆さまにぜひお知らせしたいことがあります。

嵯峨晃さんには、釧路クラブにも在籍されました嵯峨誠さんという息子さんがおりました。ご存じない方が多いかもしれませんが、ご紹介をさせていただきます。嵯峨誠さんは昭和14年にお生まれになり、日進小学校・東中・湖陵高校・拓殖大学という経歴があって、嵯峨漁業に入社されております。残念ながら、昭和56年に41歳の若さで亡くなられております。嵯峨さんは三代に亘って釧路クラブにご在籍されてご活躍されていたことになります。

実は、天方さんのお父さんと昭和14年生まれの同い年でして、青年会議所時代からの親友だったという記述があります。その嵯峨さんが亡くなられた時に嵯峨誠さんの人柄が偲ばれる追悼文を見つけましたので最後にそれをご紹介させていただきたいと思います。読ませていただきます。

追悼文

嵯峨誠、ごつい体の上にかつい顔を乗せていた。体とは似合わない声。そんな、まこ（誠）と出会ったのは十数年前。それ以来、ずいぶんいろんなことがあった。仕事・社会・友・人生、そんなことを大きな声を張り上げて明け方までお酒を飲んだ。

お前の悪口・雑言を言い合おうと、昭和14年の生き残り7名が某所へ集まった。その時に出た中から、お前に聞かせたいことがあるからよく聞けよ。

まず、お前は無責任だ。そうだろ、男がだぞ、女房・子どもを泣かせておいて、知らん顔してお前だけ勝手に行きやがって。それで済むわけがないぞ。それにだ、俺たちとの約束をどうしてくれる気だ。

まこ、お前は馬鹿がつくくらい頑固者だ。お前と議論したら、こっちは辟易するくらい自分の言い分を曲げようとしなかった。長生きしていい分、短い間に全部言い張ったか。

ともかく、お前が行く某所で延々6時間、まこの歌はどうの、まこの癖はどうの、とか悪口・戯れ言の数々を並べて言ったつもりだったが、どいつもこいつもしょぼくれてしまって、酒は結構飲んだが生きながらえない日だった。つまるところ、みんな、お前が好きだということだな。

という文章でございますが、天方さんのお父さんの人柄まで偲ばれる文章だと思います。嵯峨さんには、せめて70歳くらいまでお元気でいてもらいましたなら、われわれの前でかっこいい先輩として立たれていたのかなと思っております。

こういう先輩たちが情熱を傾けてきたのが、今の釧路クラブだということにみんな感謝しながら、今日と

来週の85周年記念例会をしっかりと行っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。

次年度のガバナーエレクト事務所から「次年度のガバナー補佐予定者が決定した」という通知が来ました。わが第7分区では白糠ロータリークラブの今年度会長の美馬様がガバナー補佐に就任されるというご案内が来ております。後ほど、ホワイトボードに掲示しますので、1～8分区の皆さまが載っておりますのでご確認をと思います。合わせて、次年度のスケジュール、P E T Sならびに地区研修協議会・地区大会の開催日程が確定したというご案内、そちらもホワイトボードに掲載させていただきます。皆さま、スケジュールの調整をお願い申し上げます。

最近、事務局のメールに不調が見られております。皆さまに配信するさまざまなスケジュール等々が届いていない方がいるというお話を受けまして、先日から確認しておりますが、現状、皆さまにお渡ししているご案内を私をご紹介させていただきます。

まず1つ目ですが、来週に行われます創立85周年の記念例会パート2「夜間例会」の案内が流れておりまして、この取りまとめの期限が来週の月曜日（15日）までとなっております。こちらを再度ご確認いただければと思います。

続きまして、「12月例会のプログラム」も流させていただきますので合わせてご確認をお願いいたします。

12月第3例会で「情報集会報告会」を行います、それに先立ちまして炉辺会合を開催させていただきます。炉辺会合のスケジュール並びにグループ分けを皆さまに先日送付させていただいております。こちらも合わせてご確認いただければと思います。

また、12月第4例会は「釧路ロータリークラブ重大ニュース」と題して例会を行います、そこで使用しますアンケートを皆さま方に送付させていただいております。

現状、計4点のご案内が皆さまに届いているかと思います。こちらも私の報告が終わりましたらホワイトボードに掲載しますので、ご確認をお願いいたします。また、メールシステム不調が続いておりますので、再度、皆さまにお渡しすることもあるかと思っております。重複はご容赦いただければと思っております。近日中に復活させたいと思っています。

以上、幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■本日のプログラム■

釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part 1

清水 幸彦パストガバナー

皆さま、こんにちは。古い話です。



うちのクラブのスポンサーは札幌と帯広です。札幌ロータリークラブが昭和 7 年 12 月 3 日に設立総会をしまして、翌年の認証です。最初

の札幌クラブの会長は佐藤昌介という方で、札幌農学校の 1 期生です。ということは 1876 年にクラーク博士が札幌に来たその時の 1 期生が佐藤昌介です。この方は後々、うちのクラブと関係しますが、昭和 10 年にガバナーエレクトとなり、11 年にガバナーになったわけで、その昭和 11 年にうちのクラブができております。

昭和 11 年というと皆さま、お気づきでございましょうが、東京で陸軍のクーデター未遂が起きて、重臣が 5～6 人殺されたそんな大変な時代でした。

その 11 年には、北海道で大日本帝国陸軍特別大演習が行われ、天皇陛下が小樽までお召し艦「比叡」に乗ってこられました。私は小学校 2 年生で、公園通りでお迎えしましたが、天皇陛下があずき色のベンツに乗って、手を振るわけではなく真っ直ぐ前を見て過ぎて行ったのを覚えています。

その 11 年に釧路で何が起こっていたか。「釧路ガス」が初めてできた年です。両角克治さんは、それ以外にも忙しかったわけで 1 年の行事が済んで、うちのクラブが 11 月 23 日に発足したわけです。

その年の昭和 11 年に佐藤昌介先生が地区ガバナーになったわけです。そして、12 年の 5 月 14 日、当時は全日本が台湾・朝鮮も含めてひとつの地区で、北海道では初めての地区大会が催されました。その時の記録によりますと、上野発の昼の特別列車を使って、それに乗って札幌に着き、札幌で地元の方がたくさん歓迎をしたということです。

当時の札幌は人口が 18 万人くらい。その北海道の地区大会の様子は札幌グランドホテルの特別資料室に残っております。グランドホテルというのは、日本でも片手の中に入るほどの本式のホテルだったようです。12 年 5 月 14・15 日の北海道で初めての地区大会に、うちのクラブからは両角克治さんをはじめ何人もの方が出席していたと思います。

お気づきでしょうけれど、その 12 年 7 月 7 日、北京郊外、盧溝橋で志那事変が始まった。古い話で、その年の日本の総理大臣は近衛文麿公爵で、後に昭和 20 年、青酸カリを飲んで自殺なさった。そして、昭和

14 年（1939 年）9 月 1 日、ドイツがポーランドに侵攻して世界大戦が始まった。そういうことでロータリーが幕を下ろすことになった。札幌ロータリークラブの最終の例会は昭和 15 年 10 月です。札幌のグランドホテルの資料室に載っている。

うちのクラブは飯田要次郎さんが初代会長で、両角克治さんが 3 回くらい幹事を続けてやってらっしゃる。先ほどお話があったように当時、東北と北海道がひとつの地区になった。その後に、北海道がひとつの地区になった。ガバナーというのは札幌・小樽・函館から出ていた。今の 2500 地区、道東から出た最初のガバナーが両角克治さん、先進的です。それから昭和 40 年に嵯峨旻さんがなっています。それからしばらくおいて旭川の方がなって、釧路クラブというのは 2500 地区の歴史のうえからいくと大変立派な所です。

少し予定の話を変えて、うちの誇りとする、小船井さんのことについてお話したい。ちょっと偉そうなことを言うけど、国際研究会、つまりリーダーというのは日本から数人選ばれます。これに選ばれるということは大変なことで、北海道の地区から私が最初に選ばれています。それから 20 年経って小船井さんがなった。

もうひとつ、地区大会に R I 会長代理が来ます。これは R I 会長の専権事項ですから、うちのクラブでは、地区で最初になったのは私で、数回やっています。小船井さんも 5～6 回やっていて特筆することは、小船井さんは札幌の地区大会に R I 会長代理で出られ、これは大変な評判でした。札幌の人に「釧路には素晴らしい立派な人がある」と言われました。こんなことで、うちのクラブは誇りすることが沢山あります。こういった形で引き継がれていくことと思います。

それから、嵯峨さんの自伝で、ご自分が亡くなるころ書いていました。昭和 47 年 4 月 20 日です、いま思い出した。当時の地区ガバナーは鷲塚三郎さんという名寄の方です。当時の私はクラブ幹事をしていました。嵯峨さんの告別式の当日に来て、「嵯峨さんの弔辞を書いてくれ」と突然言われて、あの弔辞は 2 時間ぐらい前から急いでボールペンで書いたのが私です。

釧路地方では、さっきの国際協議会のリーダーだったのは私と小船井さんと足立さん。R I 会長代理も私と小船井さん、それから足立さんもやっていますね。うちの地区の中で、釧路というのは優秀なところ。その伝統を受け継いだ皆さん方、どうぞこれからうちのクラブは立派なクラブだ、大事にして育ててください。

原稿も何も持っていないので喋るの、これでお話を閉じることいたします。

ありがとうございました。

小船井修ーパストガバナー

こんにちは。私は清水先生と違ってあまり記憶力ありませんので原稿用意しました。それを読ませていただきます。



先生は90年ぐらい

前の話なのですが、私の場合は今から65年前、ちょっと古さが新しくなってきました。

今から65年前の1956年、私が小学校2年生の時でした。その年、父親が釧路ライオンズクラブに入会しました。ライオンズのクリスマス家族会で、大人たちが帽子を被って「ウォー」と吠えていたことを今でも覚えています。

釧路で2番目の北クラブの創設は1958年（昭和33年）ですから、1956年の時は釧路ロータリークラブしか釧路にありませんでした。特に「1業種1会員」という形でいろんな業界の中に1人しかいないのです。弁護士さんも1人しかいなかった。泉先生、おひとりだったと思いますが、制度が厳格に守られた時代でした。

釧路ロータリークラブのリチャーターを1950年10月2日に再承認されました。当時、釧路商工会議所会頭だった吉田利和さんを覚えている方いらっしゃると思います。釧路クラブのリチャーター会員で1953年にクラブ会長を歴任しています。吉田氏が社長をしていた会社の常務が私の父親でした。「1業種1会員」のルールでは、吉田会員が在籍している間はロータリークラブに父親は入会することはできませんでした。すでに職業分類に充填されている業種の経営者・専門職の入会希望者はロータリークラブに入りたくても入れなかったのです。変な言い方ですけど、父親はやむなくライオンズクラブに入会したと私は思っております。その意味で、65年前の釧路ロータリークラブは入りたくても入れない、敷居の高い社交クラブでした。

小学2年生の私はライオンズクラブよりもロータリークラブの方が偉い人が入るところなのだ、と思い込みをしたわけです。その思い込みがあったのか釧路に帰ってきて、当時、市議会議員だった割方会員から入会を勧められ入会させていただいた経過があります。私のロータリー歴、先ほどは清水先生にお褒めいただきましてありがとうございます。1983年5月に帰ってきました。1984年1月に釧路青年会議所入会。そして、1984年6月に釧路ロータリークラブに入会しました。35歳でした。当時、市議会議員の綿貫健輔さんも私と同じ例会に来て入会しまして、メンバー数が101名でした。37年前も今も100人というクラブはある意味では稀有な存在であると私は思っております。

ます。

私は1999-2000年の釧路ロータリークラブの会長をさせていただき、その後はガバナーをさせていただきました。入会して37年になります。現役会員で今、私は6番目に古いのです。川合会員と尾越会員は4月に同時入会しています。私は同じ年の6月入会でしたから、3人はほぼ同じ時期に入っています。ちなみに尾越さんは青年会議所に入りましたので、私は青年会議所に行くと尾越さんの先輩になります。だけど、釧路ロータリークラブでは尾越さんが私の先輩です。そういう関係であります。1984年に浦見町に東映ホテルがありましたが、駅前に移転したことに伴い中村隆会員の釧路パシフィックホテルに例会場が変更になってすぐ後の入会でした。

その当時のメンバーには最後のチャーター会員の村上祐二氏、リチャーター会員の北村藤兵衛氏がおられ、村上祐二会員が数年後に例会終了直後に逝去されたことを覚えています。階段から落ちて亡くなりました。そのころの長老が丸ト北村の北村藤兵衛さん、スタンダード石油の山本幸三さん、森口二郎さん、シロアム病院の高岡先生などがおられたことを思い出します。現在の釧路クラブ会員の先代も多く在籍していました。

もちろん清水幸彦先生もガバナーを終え、国際ロータリーの研修リーダー、規定審議会代表議員、地区大会会長代理と大活躍をされておりました。そして、三ツ輪運輸の栗林定徳氏。福司の梁瀬誠也氏、白崎建設の白崎功一氏、天方会員の先代の勇氏、登坂会員の先代、浅川会員の先代も元気に活動されていました。また、ロータリー入会の半年前に青年会議所に入会していましたが、釧路クラブに多くの青年会議所会員がおられました。その中で覚えておられますかね、金安時計店の金安時男さんも亡くなりましたが、金安さんから「修ちゃん、青年会議所に入っているならロータリー例会に無理して来なくていいから」と言われたのを今でも覚えています、そういう金安先輩たちのご助言があって、私は無理せずJCの現役時代は、ほとんどロータリーに顔を出していませんでした。無理せず、肩に力を入れないでロータリー活動させていただいたことで三十何年かロータリアンとして在籍できたと感じています。

釧路クラブの最大の美点はパストガバナー夫妻である。パストガバナーやパスト会長は威張らない。威張ることができない空気があることです。これは清水幸彦会員、泉敬会員のおかげ、と思っているのは私だけではないと思います。

これまで私は国内外の多くのクラブや地区を訪問しました。クラブ、地区でも選挙での混乱、主導権争いの課題などを見てきました。ロータリークラブが「1年交代」を創設以来維持している意味は、クラブは平等・安定という目的があるのを前提に全てのクラブ会員が

クラブ運営をととして職業人としての研鑽を積み重ねるという目的があるからです。

今後とも釧路クラブが、毎年の会長の皆さまが主体的に活動していただくために、クラブは真にリーダーを支えていくことを願って私のスピーチとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。

白幡 博パストガバナー補佐



いま、清水先生、そして小船井さんから90年前と60年前のお話、釧路ロータリークラブの歴史を感じさせていただいた時間だったと思

います。私は入会をして30年と少し経っていますので、ちょうど30年前に入ったころの私自身のちょっとした思い出、まだですけども残っている話をしたいと思います。

ひとつは委員会です。もちろん、皆さんと同時に委員会活動するのですが、委員長と副委員長の関係のお話をひとつ。当時、私は副委員長だったと記憶していますが、委員長は北電の瀬山さんという方で支店長さんでした。「白幡君」という言い方をさせていただきました。白幡君って言われると、小学校・中学校の女子によく言われていましたが、それ以来、ないものですからすごく心地よいというか、なんて言うのか自分自身が素直になった40代だったと思います。

前半ですので、「白幡君、ちょっと委員会の話をしよう。ぜひ、うちの会社に来てくれ」。北電の支店長室に呼ばれて、支店長室で委員会の打ち合わせをしました。北電の支店長室ですので緊張して、なにか舞い上がってしまって、コーヒーもあまり味を覚えていないぐらい。それでも瀬山さんはとても優しい方で、その後は「委員会を自分の公宅でやろう」と。弥生町にある北電の公宅に委員会メンバーが集まって、それぞれお酒やお料理を持ち込んで委員会を開きました。

そうしますと、すごく距離感が近くなって、その後の情報集会、炉辺会合も当時、私の記憶ではたしか弥生町に日銀の公宅があり、そこで、支店長は福田さんだったと記憶していますが「せっかくの釧路ですから炉端風にやりましょう」ということで炭火を起こしてサンマ。ちょうど脂が乗って美味しい時期だったものですから、お手伝いさんに焼いてもらったのです。そうすると公宅が煙だらけになっちゃって、もしかしたら火事のときの火災報知器が鳴る状況まで行ってしまいました。ですけども、皆さん仲が良く、本当に釧路を楽しんでいただいて、そして結果的には福田さんは、ご存じかと思いますがカヌーまで買い込んで釧路に何度

もいらっしゃっていると私は記憶しています。そんな意味で、当時の転勤族の方々とそういう近い関係を築けたことが記憶に残っております。

時間の関係もありますので最後に、シロアム産婦人科の高岡先生がおりました。その会員卓話には記憶がある方は記憶あるのしょうけれども。産婦人科医ですので当然、リアルな画面で図解もされて説明しておりました。「ロータリーは、こんなこともするのだ」というような会員卓話ですので、職業奉仕というのですか。そういった面で若かったものですから非常に衝撃を受けた、そんなロータリーでございました。

時間の関係で、私はこれぐらいで次は、泉先生にバトンタッチしたいと思います。

どうもありがとうございました。

泉 敬君

とても長くなりました。私は昨年、60年の表彰をしていただいたわけですが、何で60年ここにいられるのか、と考えた時にいくつかの理由があるわけです。私がロータリークラブに入会して62年になるのですが



1960年の数年前、ちょうど私の親父がこの会長やっていた時期がありました。その時にもともと釧路クラブは釧路市内で1つだったのですが、釧路クラブが昔の丸三鶴屋があったあそこの3丁目と4丁目の間で、鉄北側と川の方のふたつに分割されたのです。

私が入会した数年前に北クラブができました。釧路クラブから分かれて両角克治さんが創立者になって、釧路クラブの当時の幹事から副会長まで全部を引き連れて北クラブを作ったという経過があったわけです。したがって、釧路クラブのメンバーもおそらく半分近くに減ってしまった時代があったのです。その後は数年、若い人を入れなきゃいけないという問題があったのだと思うのです。

川口さんを覚えている方は結構おられると思うのですが、川口さんの話だと、「大正生まれの川口さんが入ったのも、分割して、すっかり減っちゃって、釧路クラブで補充しようということで入った」という話を良くされていました。

私が入った時は、私が試験を終えて、修習生を終えて開業した年が昭和35年の春だったのです。このロータリーは同じ年の11月に入会しているのです。半年しか経っていないですね。

職業分類というのは今でもあるのですが当時は、職業分類を厳格にやっていたまして、「1業種1人」という基準で会員を入れていたことがあります。そんな関係

で、私の職業分類は弁護士なのですが、その当時、親父がメンバーとして入っておりましたので、この分類としては重複することになるのですが、シニアになっていたその枠は外れるということでした。私については、当時メンバーだった赤松さんという公証人が推薦者で入会手続が行われ、入会が認められたということです。

当時は、今もそうでしょうけど 26 歳で入会するというのは極めて少ない、あまり前例がないことなのですが、そのために私が今までの長い期間メンバーとして残ってこられたことの原因になるのです。

その他にいくつかの理由がありまして、業績などもその分割によって激減していたということが 1 つ。もう 1 つがロータリークラブというのは「役職を当てると断ってはいけない」というのがありまして、非常に断りにくいということです。私の仕事で代理を立てることもできない、代わってくれる人もいない、ということがあります。1 人で事務所をやっていた関係もあり、多忙な仕事を引き受けることは困難だということで先輩が気を使ってくれて、外してくれていたのです。おかげでそういう大変な時期に大変な仕事からは外れるということで、会員として職責を果たすことが可能だったことがあります。そういう意味では優しい先輩が大勢いたということなのです。

ほとんど一世代が違うので、私が入会したとき昭和生まれの人は 1 人しかおられなかったです。誰がいたかという敷島商会の梁瀬さんです。今の梁瀬君のお父さんが私より 1 年先に入っていた若い年代ということで、昭和では 1 人だけだったのです。そういう関係もあって例会に出るのも大変な時代でした。難しいお父さんぐらいで、私の親父の年代の人がほとんどということで、テーブルに座っていても厳しい時代です。

私の仕事関係では、木曜日が例会で休みですから、これは昔から変わっていない。木曜クラブと戦後名前を変えてやった時期があったということなのですが、その延長線上にあって木曜日が例会日です。木曜日になると仕事の関係でできないという時がありますが、メイクアップということでは今あまり厳しく言わないのですが、メイクアップは各クラブが競っていたのです。これは、私が入会したときのクラブ会報を参考に持ってきたのですが、そのクラブ会報によると毎月各クラブはどれだけ出席したか全部が表になって出ているのです。そうすると今の 7 分区分ばかりではなくて、350 地区の中で競争するのです。他のクラブの出席率がどうなっているかが気になる。「出席率については 100% が当たり前」という時代ですから、欠席するのが非常に難しい。そうすると私たちはどうするかと思ったら、自分の例会に出られなかったら、1 週間に 1 回どこかでやっている例会場に行くことでカバーするのです。60 年前を考えてみますと、できていたの

は北クラブの水曜日しかないのです。木曜日行けない時には水曜日に行く、どっちかにしようというスケジュールを組んでやっていました。

そのうち、弟子屈クラブができ、厚岸ができたりして、そっちに行くこともありました。それから札幌や東京に出張する時に、ついでに行ってみることもやっていました。遠くは京都東クラブですが、そのクラブの雰囲気がぜんぜん違って、各クラブがこんなに違うのかというのは行って見て、初めて分かるということです。

先ほどの話に出ていた村上さんという方は恐らく 200% くらい出席だったと思うのです。なぜそれだけ行ったかということ、ほとんどはメイクアップなのです。自分のクラブにばかり出るのではなくて、全国を歩いています。この方は本当のチャーターメンバーなのです。リチャーターの時はもちろん行ったのですが、亡くなるまでずっと出席。

私が出席でいちばん言っておきたいのは、あの人はロータリーの記録を全部取っているのです。記録を取って、それを全部まとめてくれて、村上さんは亡くなるときに全部を当時の責任者だった方に渡したと思うのです。

皆さん、記録がどうなっているか分かりますか。いま私が気になっているのは、手元に 50 周年、60 周年、70 周年、80 周年の記録は本になってありますが、その前はないのです。恐らく発行していないのではないかと思います。誰か持っておられる方いれば別ですが、配布されたものとしては残っていないのではないかと思います。

資料というのはそこで失われると、なくなってしまうのです。私は青年会議所にいたのですが、青年会議所時代にやっぱり記録が必要がありまして、古い 10 周年から 20 周年を全部集めて、青年会議所卒業したあとと必要があって、ときの会長に渡して、全部引き継いでくれるように話をしたのですが、どれもどこへ行ったのか分からなくなって。

記録の係を決めてやらなければ、これは恐らく駄目だと。ロータリーの記録もそうだと思うので、その辺も今後気をつけて大事にしておくようにしていただきたいなど。特別な委員会でも作らないと難しいかもしれません。そんなことを感じております。

いろいろありますけれど時間がありますので、これで終わらせていただきます。どうも失礼しました。



本日のニコニコ献金

- 高橋 直人君 昨日、北海道新聞「釧根ビジネス探訪」に弊社の取り組みが紹介されました。
- 水口 喜文君 この度の父の葬儀に際し、ご参列頂き、またご供花、ご香料を賜りありがとうございました。
落ち着きましたら、復帰させていただきます。

今年度累計 160,000 円

2021.11.18 (木)
第14回例会
(通算3641回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part2 (担当: 理事会 / 親睦活動委員会)
次週例会	鉄道高架と都心部まちづくり計画について (担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 四つのテスト

■ソングリーダー: 川合 隆俊君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。本当に多数のご出席をいただきありがとうございます。また舟木直前会長におかれましては、初夜例会ですね。体調

が悪い中、本当にありがとうございます。85 周年 Part2 ということで開催をさせていただきます。先週の Part1 では、清水・小船井両パストガバナー、白幡パストガバナー補佐、泉先生には大変素晴らしいスピーチをいただくことができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

Part2 でございます。皆さんのお手元に少しでも雰囲気を感じ取ってもらえればと、昭和 11 年 11 月 23 日付の新聞と 1936 と書いてある 1936 にちなんだワインとジュース、それから 85 周年の記念品を置かせていただいております。三役が総力をあげて用意をさせていただいたものでございます。補足をさせていただきますが、このワイン、ジュースも 1936 と書いてありますが、1936 年産のワインではなく、1936 年とは特に関係ございません。そのような高価なワインを用意できるわけがありません。雰囲気を感じ取っていただければと一生懸命に探しましたので、どうぞよろしくお願いいたします。また、昭和 11 年の新聞で

すが、少し広告が多いように思われますが、調べましたら当時の新聞は第一面が広告面なのです。いまそのコピーサービスを取ると、第一面しか取ってもらえずどうしても広告面が多くなってしまいます。雰囲気を味わっていただければという三役の気持ちを汲み取っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

85 周年、杉村年度でいろいろ取り組んでおりますが、特に会員増強を頑張らせていただいております。村上大委員長、五十嵐委員長をはじめ皆様のおかげで、現時点で 7 名の純増をいただいております。ということで、今回は釧路クラブの歴史を振り返ろう・会長挨拶第 4 弾は、歴代の中で一番会員増強を行った会長に須貝寛一さんという会員がいらっしゃいます。その方をご紹介させていただきます。

須貝さんは、大正 3 年に米町で生まれて、南大通にある教科書販売の株式会社須貝の経営をされておりました。昭和 34 年に釧路クラブにご入会をされ、47 年にクラブ会長、51 年に分区代理をされております。私は増強を行うに当たって、歴代のどのような方々が行ったかを見ていて、この業績を見て本当にびっくりしました。須貝さんは会長年度に 28 名の会員増強を行っておいりました。これはダントツでトップだと思っております。この年に 9 名の退会者があったようで、それでも 19 名の純増で、年度末に 115 名の会員で終わっています。

この年に 115 名ということで、当時の 2500 地区では長年、旭川クラブが一番の会員数を誇っていたようですが、釧路クラブが創立後初めて旭川クラブを抜いて 2500 地区トップの人数になったようです。こちらの村上さんではありませんが、村上祐二チャーターメンバーから「釧路クラブ、創立以来の金字塔だ」とお褒めのお言葉をいただいている記述がございました。

そんな須貝さんも昭和 59 年に亡くなられております。当時、この功績を称えて多数の方が、いろいろな追悼文を寄せています。その追悼文の中で、清水先生がガバナーをお受けした時の有名な裏話がありまして、清水先生がご自分で書いた追悼文を見つけたのでご紹介をさせていただきます。

昭和 54 年 9 月の初めのころだったと思う。須貝さんが私を訪ねられた。午後の診療中のことであり、病院の応接室でお待ち願った。間もなく部屋へ入ると、彼の態度はいつになくぎこちなかった。

「今日は、頼みごとがあって来ました」。そして言葉を続けて言うことは「うんと言ってくれるまでは帰るわけにはいかない」とすこぶるちんちくりんである。

「まあまあ、どういうことですか」と訪ねてみると、地区ガバナーノミニー指名委員会で私の名前が上がり、両角パストガバナーに言われて私の所に打診と、それから OK を取り付けるというか、強要をしに来たということが、その来訪の目的であったのです。

当然、即答をするわけにはいかず、押し問答を繰り返しているうちに、外線電話がかかってきたり、「患者さんが待っているから」と看護婦が私を促しに来たりで、いつまでも須貝さんと向き合っているわけにもいかず、とにかく何とかお引き取り願おうとすると、「引き受けてもらったと解釈するから」という勝手な捨て台詞を残して退出した。

その夕刻に、彼に電話をして「固辞」を伝え、「もう『OK した』と伝えてしまった。私の顔をどうしてくれる」という始末。

もし、あの日、寛ちゃんが、夜に私を訪問したならば、もし飲み潰し作戦を取っていたならば、私のガバナーノミニーの話はなかったことになっていたかもしれない。合唱。

という追悼文でございます。われわれが仰ぎ見ている清水先生のロータリー人生の大きな役割を果たした人が、この須貝寛一さんというお話でございます。須貝さんも多分このように乱暴なことはしたくはなかったと思いますが、こうでもしないと清水先生が OK しなかったのだらうということで「悪者を演じた」と思っております。

ちなみに、この後、昭和 56 年に清水先生はガバナー

を務めるわけでございますが、当時は、この 2500 地区初めての『昭和生まれのガバナー』だったこともご報告させていただきます。

ということで、毎週同じようなお話になりますが、このような先輩たちの熱い思いを積み重ねて今日の釧路クラブがあったということを改めてみんなで確認をしながら、今日の 85 周年を楽しみたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事



皆さん、こんばんは。幹事報告をさせていただきます。

まず、入口に赤い羽根共同募金の募金箱を置かせてい

ただいております。まだ赤い羽根を付けていらっしゃる方が数名いらっしゃると思いますので、ぜひ帰りにはご寄付をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また先日、炉辺会合開催のご案内を皆さまに送付させていただきました。入会されて年数があまり経っていない方がリーダー・副リーダーとなっているかと思えます。炉辺会合は、まず開催日を決めていただきまして、事務局より担当のグループへご案内を流すシステムとなっております。まず、リーダー・副リーダーで開催日程を調整していただきまして、早急にグループメンバーへ日程のご連絡をしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、「台北中央ロータリークラブ創立 36 周年チャーターナイト」が 12 月に行われますので例年であれば、当クラブから台北さんの方へ行き祝意を表すところですが今年はできないことで、ここで皆さまと一緒にお祝いのビデオメッセージを撮らせていただきたいと思います。撮影時間はコンパクトに 1 分間程度と言われております。本例会の終了後に、こちらの方で場所をセッティングさせていただきますので、皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

以上で幹事報告とさせていただきます。

■本日のプログラム■

釧路ロータリークラブ創立 85 周年記念例会 Part 2

親睦活動委員会 松井 聖治副委員長

親睦活動委員会です。まずは、懇親会が始まる前に創立 80 周年以降にご逝去されました会員のお名前を市橋幹事より申し上げていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

物故会員

市橋 多佳丞幹事

それでは、80周年以降にご逝去された会員のご紹介をさせていただきます。



故・水野 哲君 1998年3月ご入会、2018年10月17日ご逝去、享年64歳

故・下川部善彦君 1991年8月ご入会、2018年10月21日ご逝去、享年73歳

故・白崎 功一君 1965年1月ご入会、1987年—1988年度会長、
2019年4月16日ご逝去、享年92歳

故・五明 正吉君 1990年10月ご入会、2011—2012年度会長、
2021年2月27日ご逝去、享年71歳
謹んでご冥福をお祈りいたします。

親睦活動委員会 松井 聖治副委員長

それでは、生前のご活躍・ご功績を偲び黙祷を捧げたいと思います。皆さまご起立をお願いいたします。黙祷。
ありがとうございました。ご着席ください。



それでは、これより『創立85周年記念例会 Part2』の懇親会の開会をさせていただきます。本日、司会をさせていただきますのは、親睦活動委員会副委員長をさせていただきます松井です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、はじめに85周年を祝いまして、皆さまで乾杯をしたいと思います。乾杯はテーブルのスパークリングワインにて行いますので、準備をさせていただきます。

乾杯挨拶 舟木 博直前会長



皆さん、こんばんは。お久しぶりで、皆さんの顔を見てもすごく嬉しいです。ちょうど5カ月ぶりぐらいの夜間例会なので、今日の体調が

良いことを願いながら楽しみに待っていました。

本日は、当クラブの85周年記念例会ということで、古いメンバーは耳タコだと思いますが、当クラブの変遷をたどれば、創立は1936年(昭和11年)11月23日、認証は12月21日になっております。その年の重大事件としては、歴史に残る「2・26事件」が起きています。それから昭和15年までに釧路ロータリークラブは続いていましたが、約10年間、第二次世界大戦の前後、国際ロータリーから脱会しておりました。1950年(昭和25年)10月2日に国際ロータリーに復帰しております。その時はまたも「朝鮮動乱」の最中ということで、戦争にすごく関係があるのかなと思っています。ちなみに、脱会の時は「真珠湾攻撃」の戦争が始まる年だったと思います。

わが釧路クラブは、世界のクラブの中で4,092番目、日本では26番目、道内では7番目の歴史と伝統を誇っております。これは歴代の会長になる時に皆さんが口にする言葉です。

会長になって思いました、少し余談になりますが、歴代会長の顔ぶれを見ますと、そうそうたる顔ぶれの方がおります。面白いのですけれど、歴代の中で一番多い名字が『吉田』さんで、4名でした。今日、吉田英一君は来ていましたか。来ていますね。ぜひ5番目の会長を目指して頑張ってください。続いては、釧路クラブでは名門の栗林さんが3名、両角さんが3名となっております。会長の任期では、清水源作会長が初期メンバーですが4期務めております。その方が一番長く会長となっております。話が長くなりましたので、そろそろ乾杯に移りたいと思います。それでは、皆さんグラスをお持ちください。釧路ロータリークラブ生誕85周年を記念して乾杯をしたいと思います。

「乾杯」

ありがとうございました。

80周年以降の歴代会長へ記念品の贈呈

はじめに、2016—2017年度会長・木下正明君、2017—2018年度会長・邵龍珍君、2018—2019年度会長・脇弘幸君、2019—2020年度会長・天方智順君、2020—21年度会長・舟木博君。

。

80周年以降歴代会長スピーチ

2016—2017年度会長 木下 正明パスト会長



皆さん、こんばんは。80周年の会長を務めさせていただきました木下でございます。皆さんのご協力のおかげで80

周年を盛大に開催することができました。唯一の心残りが、先ほどもありました会員増強が私は「0」です。最低会長ということで、これからは「最低会長」と呼んでいただければと思います。本当にありがとうございました。

2017-2018 年度会長 邵 龍珍パスト会長



お疲れ様です。
2017-2018 年度
81 代会長の邵でござい
ます。前年度が
80 周年で、素晴らしい
周年事業を行
なった年度で、われ
われの年度は、皆さん
がダラッとしたところ
だだと思います
けれど、僕は「あれ
もやりたい」「これ
もやりたい」とい
うことで、当時の
後藤幹事と工藤副
会長、また当時の
理事の皆さんがご
尽力いただき素
晴らしい事業を
させていただい
て素晴らしい
1 年になった
と思っております。

今年度、最後の務めで S A A をさせていただいております。杉村会長のもとで一生懸命頑張って、次年度は一兵卒になります。何でもやらせていただきます。ご恩をお返しするというので、何でもやりますので、「元気ですか」と言えば「元気ですか」と言いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

2018-2019 年度会長 脇 弘幸パスト会長



皆さん、こんばんは。2018-2019 年度会長を務めさせていただきました。先ほど来たら、「メインの席に座ってくれ」、「写真を撮ったら、前に座ってくれ」ということで、先輩のパスト会長がたくさんいる中で、尻が痒いような感じですけども。私の年度は次年度に吉田潤司ガバナーを出すというガバナーエレクトの年度でした。ですから『P E T S ・地区協議会』の開催などいろいろなことがありましたが、当時は今年度会長の杉村副会長、浅川幹事、村上・市橋両副幹事と本当に強力なサポートをいただき 1 年頑張ることができました。滝越エレクト、副会長などみんながやってくれますから何とかあります。安心をして頑張りましょう。本当に良い 1 年間を過ごせたと思っています。皆さん、本当にありがとうございました。

2019-2020 年度会長 天方 智順パスト会長

こんばんは。協会長は、吉田潤司ガバナーエレクト

の年度。私は本番の吉田ガバナー年度でございます。この 5 人の中で一番影が薄い会長だったのかと思います。「吉田丸」、要するに会長が「〇〇丸」と言われますけれど、その時だけは連合艦隊でしたので、それでも一生懸命にやったつもりでございます。自分がやったことで一番の功績は、良い吉田さん・悪い吉田さん・普通の吉田さんで作ったこと。あとは、しょうがなく杉村君を指名したことです。ということで、お世話になりました。ありがとうございました。



2020-2021 年度会長 舟木 博パスト会長



みんな話上手の後で、上手く話ができ
ませんが、正直
言って大変な 1 年
でした。半分为コ
ロナで、半分为
闘病のような
形でやっていま
した。もう 12 月
の『クリスマス
例会』が一番の
ピークだったよ
うな気がします。
それから、大見
得を張って 30
人で台湾の世界
大会に参加し
ようと意気込
んでいました。
でもいま思えば
、もし台湾があ
ったら、手術を
せずにそのま
ま行っていた
と思うので、
今ごろいなか
ったと思います。
そんなこんな
で、何とかこ
のように元気に
生きていただ
いていますこ
とも、皆さん
のおかげでござ
います。皆さん
、本当に大変
ご迷惑をおか
けして、また
幹事の荒井君
、そして副会
長の土橋君、
本当に一生付
き合える友だ
ちができて、
素晴らしい 1
年でした。ど
うもありが
とうございま
した。

親睦活動委員会 松井 聖治副委員長

皆さん、ご歓談中ではございますが、先週に引き続きまして 3 名の方よりスピーチをいただきたいと思っております。パストガバナー・パストガバナー補佐よりスピーチをいただきたいと思っておりますが、その前に若手を代表して工藤彦夫君よりスピーチをいただきたいと思っております。工藤君、よろしくお願いいたします。

スピーチ

工藤 彦夫君



皆さん、こんばんは。この後、吉田さんと石田さんが話をするらしいですけど、前座ということで、会長から「笑いを取れ」と言われました。「そう、20 年在籍して会長になれない人」の代表として挨拶いたします

良い宴席とはどのようなものか」ということである人が言っていました。料理は重要ではない。イベントも重要ではない。誰と一緒に祝いをするかということ。

今日は、85 周年を皆さんと一緒に祝いできることを大変嬉しく思います。

もうひとつ。いま会員が 103 人いますけれども、先ほど会長が須貝さんの 115 人の話をされました。杉村会長はいままで 20 人ぐらい入れています。ですからなるべくしてなった会長であります。須貝さんを抜いて 120 人ぐらい行ってほしいということがあります。やっぱり数は力です。この会員拡大は重要だと思っております。

僕が新入会員になる前のロータリーはパシフィックホテルで例会をやっていました。僕は近くに住んでいて、木曜日が釧路クラブの例会、うちの仕事も木曜日が定休日です。

そうすると木曜日は、パシフィックの前に黒塗りのピカピカの車が 20 数台並びます。そうすると黒塗りの車はやっぱりヤクザかその関係者だろうと、僕はロータリーのことを何も知らずに「いや、嫌だな」と思いながらの毎週木曜日です。「きちんとルールを守るヤクザかな」と思っていたら、いろいろ聞くとロータリーでした。

12 時ころ黒塗りの車が次々と並んで、12 時 30 分にはいっぱいになる。駐車しながら運転手が煙草を吸って待っている。そのうち 13 時 30 分ころになると人相の悪い人ばかりが、指名手配犯よりも酷い顔の人ばかりで出てきて、これはすごい会だと思いました。いまの人は違いますよ。いまの人は違いますけれども、本当に何をやっているのかなと思っていました。特に幣舞橋を渡って帰る人は特に人相が悪かったように思われます。

新入会員として入ってからは、写真を撮れるものだからすぐに会報をやらされました。当時は 12 人委員会、だいたい一年間 48 回の例会あるから 4 回やれば済みますが、古い人たちは全然やらないから新入会員が 10 回とかやらされて。当時のシステムは、写真はポラロイドで撮る。ポラロイドは広角だからこの辺まで来ないと良い写真が撮れない。この辺で目が合ったら

「こんにちは」と言いたくなるぐらい近い写真。そして録音したテープを自分で起こして 400 字～800 字にまとめて、それを月曜日の夕方までに伊貝さんの総合印刷さんに届けます。そうすると木曜日の例会までに会報誌ができてきて、伊貝さんの懷にチャリンと入るシステムでした。そのシステムに乗って、毎回一生懸命に会報をやっていました。

そうすると会報が辛いものだから「会報やるなら、ロータリーなんか」と言う人が結構いた時に、当時の藤井会長、幹事の吉田秀俊さんが「これでは大変だ」ということで、議事録を起こしてくれる「さわやか釧路」という所を見つけて、会報が楽になったという思い出があります。吉田さんの最大の功労はそれだけです。最近では、職業奉仕理論などを全然やっていなかったですけど、入った当時は、アーサー・フレデリック・シェルドンの『職業奉仕とは何か』を例会でもやりましたし、炉辺会合でもやっていました。当時は分からなかったけれども、歳を取って来てなかなか面白い話だと。

僕の中では、ロータリーにはこれが一番重要だと。ただのボランティア団体ではないという思想があってこそロータリーだと最近思っております。もしも、そういう話を知りたい人はネットで『源流の会』を探すとそういう話がたくさん出ていますので、よく見ていただきたいと思います。

前座としては、このあたりで終わらせていただきます。これからも仲良くやりましょう。よろしく願います。

吉田 潤司パストガバナー



皆さん、こんばんは。先ほど須貝さんの話が出ましたけれど、懐かしい人の名前が出ました。振り返ってみますと、たくさんの会員に会って、たくさんの会長に会いました。でも、いろいろな思い出がたくさんあり、ひとりひとり言うとな時間ぐらいかかってしまいますので、それは省略します。

私は、1980 年にロータリーに入りまして 42 年 5 カ月ぐらい経ちました。ということは、85 周年の半分ぐらいになります。そのような節目です。その中で、川口雄さんという会員がおりました。釧路クラブの精神的な支柱であり、生き字引であり、紳士であり、背が高く細く、すごく穏やかで熱心な人でした。でも、歌は歌いそうに見えませんが飲んだら歌も歌います。以前いた事務員さんとデュエットしたり、しゃれた人でした。川口さんという人をぜひ覚えていただきたいです。川口さんには、邵さんの後に

入会をした人はお会いできていないですね。邵さんの時までの人で、クラブでは25%ぐらいの人が知っていると思います。

私が入った時、清水先生がガバナーノミニーでした。川口さんの思い出はやっぱりガバナーに関係することです。私が1997年に会長に就任した時に川口さんから「吉田君、ちょっと来てくれ」と言われました。何かと思ったら川口さんが、「釧路クラブからガバナーが出ていなくなって17年になる。このままで行くと20年になる。釧路クラブにはたくさんの候補者がいるけれど、なかなか上手いかな。これからはアタックはするけれども、(会長が次々年度の会長を選びますから)ガバナーになれそうな人を選んでもらえないか」と言われました。

私にとってガバナーは上の空の世界ですけども「分かりました」ということで、いろいろ考えました。ある時、新聞を見ていたら小船井さんの写真が新聞に出ていて、この人はうちのクラブの人だと。小船井さんは当時、スリーピングでしたので私は例会でもあまり会ったことがありませんでした。でも、意を決して「この人にしたい」と思って小船井さんに連絡をしてお伺いしました。初対面です。話をしたことはありません。それで、小船井さんに会いました。小船井さんも「何の話をしに来たのか」と思ったと思います。

やっぱり穏やかな優しい笑顔で「何ですか」と言われたから、単刀直入に「小船井さん、次々年度の会長を受けてほしい」と。小船井さんも多分びっくりしてポワンとしていたと思いますが、さすが小船井さんです。その時に「分かりました。1週間の時間をください」と言われました。1週間いろいろ考えて、1週間後に連絡をいただきました。「いいです。分かりました」と言われて、でもガバナーの話は全くしていません。その後に、私は川口さんに「小船井さんにしました」と言いましたら、川口さんはどう考えたか分かりませんけれども、その後は「分かりました。任せてください」と。私はその後、一切タッチをしませんでしたが、小船井さんは見事に川口さんの希望に応じてもらいまして、次々年度の1999年の会長になり、翌年度、いまでいうガバナー補佐になってもらいました。その翌年度にガバナーノミニーです。その翌々年度にガバナーです。この短期間にガバナーになった人はいません。ものすごい勢いです。

小船井さんの素晴らしいところは頭がいいです。日大ですけど頭がいい、すごいのです。そして理解力が早いです。小船井さんがガバナーノミニーになった時に、多分パソコンは私の方が得意だったと思います。私は当時、ホームページを作ったりしていて、2500地区で最初にホームページを作ったのはうちのクラブです。

小船井さんにいろいろと教えました。1年ぐらい経っ

たら、小船井さんがメールを見て「写真、来たよ」と言って、写真を見ていました。私はメールで写真がどのようにして来るのか分かりませんでした。それぐらいの人でした。

ガバナーノミニーになった時、会議に出たら机の上にパソコンが置いてあって「キザな男だな」と見ていましたけれど、それは違っていました。小船井さんの素晴らしい才能のひとつは、スピーチをその場で瞬時に要約してパソコンに入力します。ですからガバナーになった時、公式訪問に来てもすべての記録がその日のうちに全部できています。この才能は、よく新聞記者が会見の時にパソコン入力をしていますけれども、素人でそのようなことができる人はいなくて、パソコンが置いてあっても今日の行事予定を見るぐらいだと思いますけれども、小船井さんは、そこがすごかったですね。

うちのクラブには全国区のガバナーが2人います。私も多くの他クラブ・他地区のガバナーに「清水先生は元気ですか」と必ずいつも言われます。それから、必ず言われることは「吉田さんはいいですね。小船井さんがいますから。何でも聞けていいですね」。

この全国区のガバナーがいるクラブも素晴らしいですけども、この小船井さんを育てたのは、やっぱり川口さんであり、釧路クラブの重鎮が育てたということです。

残念ながら釧路クラブは、ガバナーを選ぶのに随分苦労をしています。清水先生の周りには、柳田さんというトヨタの社長がいて、ガバナーノミニーまで行きましたけれど亡くなりました。小船井さんの後に両角さんもガバナーノミニーになりましたが奥様がガンになって亡くなりました。それから久島先生が、無競争でガバナーノミニーになる予定だったのが変な横やりというか、何かがあってなれなかったという苦労をしました。

でも小船井さんが、見事にやったことが一番の思い出だと思います

私はやっぱり思います。ロータリーに入っていないければ、このようにいろいろな人に会えず、友だちになれなかったと思います。だから、入っていなかったら寂しい人生だった気がします。

若い人、これからの人たちに言いたいことは、よく辞めていく人に「ロータリーはつまらない。何のメリットもない」と言われますけれど、ロータリーでは自分でメリットを求めていかなければいけない。そのためには、クラブに一生懸命出席をして、馴染んでいかなければダメだと思います。

私が入った時に先輩に言われたことは「100人も会員がいたら、みんなを覚えることは不可能だよ。それより覚えてもらいなさい」と言われました。「吉田です」「吉田です」「吉田です」と言ったらみんな覚えても

らえる。ここをぜひ汲んで、思っていたかまして、ロータリーを楽しんでいただき、あと 15 年経ちますと 100 年になります。100 年の時にみんなでまたこの笑顔で会いたいと思っています。

どうもありがとうございました。

石田 博司パストガバナー補佐

「ロータリーに入会したころの思い出を話すように」という指示を受けました。私が入会したのは 30 年前です。その時の印象



は、人数からいくと 110 名ぐらいの勢力だったかと思います。一緒に入ったのが、同じ町内で先ごろ他界した五明正吉君と年は 1 つ違いですけども彼と 2 人でした。入った時の印象は、いまの若い諸君と比べると同じ年の人がいなかった。あのころは若い人がいませんでした。ですから委員会でも先輩たちと随分交流がありました。歳が同じ者と寄るということがなかったと思います。ですからロートルの方とお付き合いをさせていただき、例会後の二次会には一緒に付いて行きいろいろな話を聞かされました。それが良かったと思います。いまお話の吉田潤司さんも、亡くなった川口さんも入会をして 3 年目でした。

それと、確かプログラム委員長を仰せつかりました。副委員長も経験がなく、いきなりプログラム委員長でした。とても困りまして、それこそ川口さんに「どうしたら良いですか」と聞いたら、川口さんが「石田君、君の好きなようにやったらいいよ」と言うのです。それは無責任ではないかと思うほど「好きなようにやったらいいよ」と言って。

でも一応、「ロータリーは年間を通して 1 月は〇〇月間、2 月は〇〇月間、とあるからそれに絡めてやるといいよ」とは言われました。けれども、ロータリーに入って 2 年～3 年目ですから「月間」という意味も分からず、たいしたアドバイスにはなりません。まず行ったことは、委員会のメンバーに声をかけたら、やっぱり巡り合わせでいてくれた人、名前は忘れましたけれども NHK の局長さんと日銀の支店長さんの福田さんを覚えています。このお二方がいて、「石田君、助けるぞ。サンドイッチ会があるからそのメンバーに講師になってもらって、組み立てて行けばいいよ」と言ってくれました。おそらく初めてだと思いますけれども、ロータリークラブでプログラム作成のための委員会、毎月お酒を飲みながらやらせていただきました。プログラム完成と同時にあのお二方とメンバーとの友情も培えた 1 年間であったと思い、とても意義深い 1 年間を送れたと思っています。

その時に、他のロータリーとも交流をする機会が増えました。近年では見ていない『合同例会』があって、他のクラブと一緒に例会を行い、お酒も飲みます。そして他のクラブのメンバーと一緒にテーブルで語り合っているうちに、うちのクラブと他のクラブはなにか違うことを感じ始めました。他のクラブは、居心地が悪そうなのです。うちのクラブの居心地が良いと言いますか、自分のことを出すのはおかしいですけども、うちのクラブに石田がいられるのは「釧路クラブだからいられる」ということを他のクラブの雰囲気を見ていて感じます。

随分不自由なのだと分かってきたのは、各クラブにはボスがいいます。ボスには、何かを決める時にお伺いを立てなければいけない存在があるのです。でも、わがクラブにはそれがありません。なぜなのだろう。僕が入会の時に吉田潤司さんがおっしゃったことは「昔は本当にうるさい煙たい先輩がいた。行儀・仕付けのうるさい人」と。例えば（これは名誉ありますので申し上げます）「北村藤兵衛さんは本当にうるさい人だった」と川口さんもおっしゃっていました。

私が受けた印象は、この方たちは入会の時にうるさい先輩にいいだけ潰されたから、「自分が先輩になった時にはそうしない」という決意の下に、われわれ若者を迎え入れていると思いました。ずっとそう思ってきました。だから釧路クラブの自由活発な空気とは、北村藤兵衛さんたちのような厳しい方にいいだけ仕付けられ、「あれでは嫌だと思った」反省をした結果が釧路クラブの雰囲気を作っているのだらうとずっと思ってきました。

けれども、どうもそれでは論理の整合性がないように思います。いつのころからか、まず間違いないと思っていることは、釧路クラブには、私が言うところの外人部隊、出先の方たちが常にいるのです。いま、杉村さんにメールで確認をしてもらいましたら、15 社、100 名のうち 15 人が出先の方です。一部上場で、社員数が数十万人という会社の出先の方がいらっしゃる。これでは地元の間人が『お山の大將』ではられません。大会社の出先の方がおりますからお山の大將的なことは恥ずかしくてできない。そうすると地元の間人はみんな行儀が良くなる。そういう不思議な添加物的作用が出先の方にはあると思います。

われわれも習って行儀良くなるということが起こっていると、僕はいかにも笑いを取るような言い方をしていますけれども、本当に大真面目に人間の力学として、私は、釧路クラブは出先の方たちがいてくれて釧路クラブの雰囲気を作っているとしみじみ思います。

ですから出先の方のおかげでこの釧路クラブの良さがある。そこに、われわれひとりひとりもこの釧路クラブの自由闊達さをとても愛していますから、それが連綿とした釧路クラブの良さとしてつながっていくので

はないかと思います。

「人が人から学ぶ」というのが僕の人生観ですから、ロータリークラブは学ぶ機会を与えてくれる場だと思っております。景気が非常に低下している中で、われわれロータリークラブは、非常に大きな役割をこれから負って行くし、負って行かなければいけない。そのような決意の下に行かなければ街がどんどん衰退してしまう。自分さえ良ければ良いという発想では自分が生き残っていけないと思います。

私も老骨という年齢になりましたけれども老骨にムチを打って頑張りますので、お互いに、一緒に釧路の文化と経済のために尽力を尽くそうではありませんか。

随分偉そうなものの言い方をしましたけれどもお許しをいただいて。

ありがとうございました。

締め挨拶 尾越 弘典パスト会長



皆さん、こんばんは。久しぶりにマイクの前に立たせていただきまして、少々緊張もしていますが、逆に少し嬉しくも思っています。

私は、32歳の時にこのロータリーに入りまして今年で38年、年齢で70歳になりました。70の半分の35年以上こちらにお世話になって、楽しんでいます。いろいろな思い出もありますし、いろいろな経験もさせていただきました。何と言っても一番良いことは、友だちができた、楽しい仲間がたくさんできたことだと思っています。

このような会はなかなかありません。ロータリーの方が少し早かったのですが、青年会議所にも入っていま

した。その会も良い会でしたけれども、ロータリーは私が辞めない限りずっと在籍ができる本当に特殊な会です。素晴らしい仲間、良い仲間もいます。悪い仲間もいました。そしていろいろな経験をさせてもらえました。地区大会へ行って仲の良い友だちや他のクラブのメンバーと麻雀をやったり、地区大会ではそこそこに抜け出して遊びに行ったこともたくさんあります。それも本当に良い思い出だと思っています。

私は38年間のロータリーの思い出と経験があります。この中には、1年の入会、5年・10年の方もいらっしゃると思いますけれども、その思い出と経験がこれからの自分の人生のためになると思いますし、本当に良い思い出になると思っております。

今回は85周年ですが、90周年・100周年が目の前に来ています。私も100周年までは何とか生きていけると思っています。皆さんとともにこの素晴らしい釧路ロータリークラブをつくって100年へ向けて頑張っていきたいと思っています。

今日は85周年をこのように盛大にやっていただいた杉村会長、本当にご苦労様でした。それでは、皆さんと一緒に一本で締めたいと思います。

それでは、釧路ロータリークラブ90周年・100周年へ向けてさらなる発展を、それから今日ご参会の釧路ロータリークラブの素晴らしい会員のご多幸をご祈念申し上げまして一本で締めたいと思います。それでは、ご唱和をお願いします。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉浦 裕之君 今年度なゆたの会、年間優勝とベスグロのダブル受賞しました。ありがとうございます。
- 米本 富夫君 昨年度、なゆたの会で総合優勝致しました。ありがとうございます。
- 濱谷三津男君 緑綬褒章を賜りました。
- 川本 和之君 本年会社が創業50周年を迎えることが出来ました。地域の皆様に感謝申し上げます。

今年度累計 179,000 円

創立 85 周年記念例会スナップ



Rotary 2021年11月18日 釧路ロータリークラブ創立85周年記念 Kushiro Century Castle Hotel



2021.11.25 (木)
第15回例会
(通算3642回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー財団月間
本日のプログラム	鉄道高架と都心部まちづくり計画について (担当：プログラム委員会)
次週例会	年次総会 (担当：理事会)

■ロータリーソング：それでこそロータリー

■ソングリーダー：小野 正晴君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト 釧路市都市整備部都心部まちづくり担当部長 山中 広徳様
釧路市都市整備部都心部まちづくり推進室室長 吉岡 亨様

会長の時間

杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。めっきり寒くなってきました。11 月も終わりになっていました。早いもので令和 3 年もあと 1 カ月というところでして、皆さんでこれから良い年越しをしていきたいと思っています。



2 週続けて開催をしてきました『85 周年記念例会』も皆さまの多数のご出席をいただきまして盛会に終わることができました。本当にありがとうございました。85 周年が終わって、私の会長挨拶もそれにちなんで「会長挨拶・歴史編」ということでやらせていただきましたが、もう 1 ~ 2 回お付き合いをいただければと思っています。

今日は、先日の吉田潤司さんのご挨拶にもありましたが、柳田さんという方がいらっしゃいます。その方のお話をさせていただければと思っています。

これまで釧路クラブでは、嵯峨さん・清水先生・小船井さん・吉田潤司さん、そして両角克治さんを入れれば 5 名のパストガバナーがいらっしゃいますが、実はその他に 2 名の正式なガバナー・ミニーがいたことをご存じでしょうか。先週、吉田潤司さんも少しお話を

されましたけれども。

お 1 人が両角靖二さんでした。家庭の事情でノミニーの時に辞退されております。もし、ガバナーをされていたら親子二代のガバナーになるところだったのですが、残念ながら辞退をされています。

もう 1 人が、柳田一さんでございます。僕がいろいろ資料を調べて見ていると、その時代・時代に釧路クラブには、ミスターロータリー的な方がおりまして、その初代が、以前に少し話しました三原さんかなと。二代目がこの柳田さんかな、と考えておりました。資料を見ていると、当時の記念例会になると必ずといって良いほど柳田さんが登場して、ロータリーの話をしていてところを記述しておりました。

柳田さんは、大正 6 年に根室でお生まれになり、昭和 28 年に釧路トヨタ自動車を設立されました。釧路管内法人トップクラスの企業に成長させます。その当時、その経営手腕を見込まれていろいろな所から経営参加の申し込みがあったようですが、釧路トヨタの経営に全力投球をすることが地域社会の発展のためになるという信念の下、釧路トヨタ一本で頑張ったという記述も残されております。

昭和 30 年に釧路クラブに入会されまして、45 年にクラブの会長をされております。そして、昭和 53 年 8 月にガバナー・ミニーのままご逝去となっております。その時のご葬儀では弔辞を村上祐二さんがされておりました。僕の毎回の挨拶ではよく追悼文を拝借す

るのですが、今回もこれが良い弔辞なものですから、少し紹介させていただきます。とても人柄が偲ばれるところがありますので、ぜひお聞きいただければと思います。

柳田一さんへ 村上祐二さん弔辞

わが釧路クラブに君が入会されたのは、いまから23年前の1955年7月14日でありました。姿勢温厚、円満なる人格と天性聡明にして努力勤勉家の君は、会員一同の敬慕的でありましたが、数年ならずしてロータリーの神髄を究めこの7月よりはじまる本年度ガバナーノミニーに推挙されたのであります。ロータリアンとして最高の名誉であるガバナーとして会員一同は、君の大活躍を期待申し上げておりました。然るに、20年間も連続100%出席という記録を持つ健康体の君に突然病魔が襲い、去る5月、東京国立病院に入院の身となりました。

私が、病院へお見舞いに馳せ参じた時は、手術直前の7月2日のことでありました。その時、私は「まだまだ君は若い、せめて私の歳まで後25～26年は頑張ってくださいよ」と申しますと、大きく頷いておられました。

君がクラブへ残された功績は数多く、枚挙にいとまがありませんが、70年・ロータリー創立50周年の会長としての記念講演、73年・クラブ創立37年の講演、75年・ロータリー創立70周年の記念講演など、会員の啓蒙に務められた幾多の教訓は、クラブの歴史とともに永久に残されることと信じますが、特に君の会長としての最後のスピーチであった「ロータリーが好きになるは」と題する5つの要綱は君の遺言と心得、反復励行を怠らぬよう心がけていきたいと存じます。君は、かつてわれわれに「ひとつの商品をお客に売る時には『商品+満足』を売り、代金を受け取る時には『代金+感謝』を受け取るもの。1個の取引に伴う当事者の心と心の交流に着目して、ロータリーはこれを奉仕と呼ぶ」と教えてくれましたが、君自身がその良き実践者でした。君はまた口癖のように「ロータリーは本当に楽しい。ロータリーをもっと広く人々に知ってもらいたい」と言っておられましたが、本当にロータリーを愛し、楽しみ、ロータリーを通して、その奉仕を徹底された半生を生き抜かれました。

という村上さんの弔辞でございますが、ここに出てきました柳田さんの『ロータリーを好きになる5箇条』を調べてみましたので、これをご紹介します終わりにしたいと思います。

1. まずロータリーを知ること。
2. クラブメンバーと親しみ合うこと。
3. 一役、持つこと。
4. 卓話や会報に積極的に参加すること。

5. 家族ぐるみのお付き合いをすること。

と残されております。

これを見ますと、やはりロータリーというのは、あまり難しく考えずに、自ら親しみ楽しんでいくことが入り口一番だだと思います。これだけロータリーをやられた方がそれを言うのですから、やっぱりそうなのだと思います。弔辞を拝見させていただいておりました。

話は変わりますが、釧路は最近、良いお話がありませんが、釧路100年の計ということで、いよいよ鉄道高架が動き出していると聞いております。鉄道高架に限らずこの機会にぜひ『釧路のまちづくり』について考える機会として素晴らしいことだと思い、今日の例会を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。

冒頭に、例会案内並びに出席記入表を皆さまへ配布が遅れましたことを私からお詫び申し上げます。申しわけございませんでした。

また、『家族例会』のご案内が届いていると思いますが、昨日11月24日が返信期日となっております。この場で教えていただける方は、私もしくは青島事務局員、瀧波委員長まで例会終了時にお伝えいただければと思います。どうぞ協力をよろしくお願い申し上げます。

他クラブの例会につきましては、お配りした例会案内をご一読ください。

私からは以上となります。

■本日のプログラム■

鉄道高架と都心部まちづくり計画について

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



中島でございます。本日のプログラム、『鉄道高架と都心部まちづくり計画について』ということで、釧路市都市整備部都心部まちづくり担当部長山中 広徳様、都市整備部都心部まちづくり推進室室長吉岡 亨様をお願いしております。短い時間ですけれどもよろしくお願い申し上げます。

釧路市都市整備部都心部まちづくり担当部長

山中 広徳様

皆さま、お疲れ様でございます。釧路市都市整備部

都心部まちづくり担当部長のやまなかでございます。本日はこのような説明の機会を作ってくださいまして大変ありがとうございます。

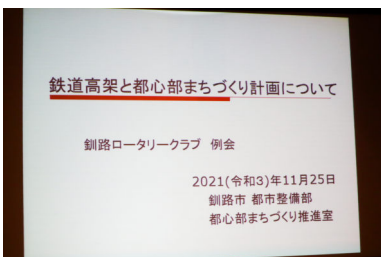


今日は、釧路都心部のまちづくり計画についてご説明をさせていただきます。これは、釧路駅を中心とし、都心部を釧路市の顔とし、また東北道の玄関口として市民の皆さんと民間の事業者の方々、そして私も行政がこの将来の姿を共有して、連携をしながら活性化に向けて取り組んでいくための指針でございます。今年、3月に策定いたしました。

この計画は、3つの柱からなる事業構想で、1つ目が鉄道高架事業、2つ目が新たな道路ネットワーク、3つ目が土地区画整理事業です。この後、吉岡室長から詳しくご説明をいたしますけれども、私からはこれらの事業の必要性について簡単にご説明をさせていただきます。

現状の都心部の課題といたしましては、交通ネットワークの観点、それから賑わい創出の観点、それぞれ課題があると認識しております。

まず、交通ネットワークの観点です。現状、都心部は鉄道で南北に分断をされており、南北の往来はいま駅の西側にあります北中跨線橋、東側にあります旭跨線橋の2カ所に限定をされており、都心部はアクセスしにくい場所となっております。この2



つの跨線橋は供用をしてから50年から60年経っており、近い将来、更新時期を迎えようとしております。今後、多額の費用をかけて

新しく架け替えをしたとしても、また次の50年間、南北市街地が分断をされた状況が変わらずに都心部は相変わらずアクセスしにくい場所のまま残ってしまうことになります。

また、賑わい創出の観点では、釧路では市街地がどんどん郊外へ分散していき、人口そのものも減少しております。そういったことによって現在の都心部は、かつての賑わいがなくなっている状況です。こうした課題を解消するために鉄道高架事業、それから土地区画整理事業を実施することによりまして市街地の分断が解消され、交通の円滑化が図れます。また高架下の空間の活用や釧路駅の周りの広い鉄道敷地を有効に使うことによって、駅周辺の土地を再編して賑わいを創出していきたいと考えております。具体的に言いますと、

駅前に集客効果のある公共施設を持ってきたり、それと一体となるように人が集まるような広いオープンスペースを配置しまして、それを呼び水として周辺の区画に民間のマンションや商業施設・ホテルなどを誘致していきたいと考えております。

現在、鉄道高架の実現に向けまして、関係機関との協議や概略の検討を行っている段階で、今後、国の採択を経まして事業が着工をして完成するまで、まだまだ相当な年数がかかってしまいますけれども、まずは市民の皆さんにこのような計画を理解していただくことが重要と考えており、今日のような説明の機会や、12月には市民フォーラムの開催も計画しておりますので、そのようなことをとおして気運の醸成に務めていきたいと考えております。

本日は、限られた時間ではございますけれどもどうぞよろしくお願いいたします。

釧路市都市整備部都心部まちづくり推進室

室長 吉岡 亨様



続きまして、私の方から計画の詳しい内容について説明をさせていただきます。

皆さん、鉄道高架のイメージをどのよう

にお持ちでしょうか。単純に駅が高架になるというわけではなく、大きなコンクリート製の橋を架けてその上に鉄道を走らせる。これが鉄道高架というものになります。

では、どうしてこのような時代、このような釧路市を取り巻く環境が大変厳しい時代の中で、そのような大きな公共事業を行うのか。そして、どうして今なのか。皆さんは、結構疑問に思われる方も多いと思います。釧路市では、鉄道高架そのものをつくるのが目的ではなくて、鉄道高架を基本に都心部の街をつくり替えていくことが今回のわれわれの計画の大きなポイントとなります。

現状の釧路市の都心部は、人口増加の時代、人が増えて自動車交通がどんどん増えて、渋滞や円滑な交通を妨げないように道路を大きく作ったり、いろいろな道路を優先としたまちづくりを行ってきました。もちろん、そのようなまちづくりは、釧路の発展に大きく寄与してきました。

ただ、社会情勢の変化があって、人口の減少と自動車交通量もどんどん減ってきて、その社会基盤整備が少しずつ時代に合わなくなってきました。そこを今回の計画でつくり替えていくことが鉄道高架というところでございます。

今日は資料を用意しましたけれどもポイントを絞って説

明をしていきたいと思ひます。

まず、このスライドをご覧ください。いま私が説明をしたとおり、1945年（昭和20年）の時代、釧路市の人口はわずか8万人に過ぎませんでした。その後、水産・石炭・紙パルプと高度経済成長期に併せて産業がどんどん進展をした結果、人口が倍増し、20年後の1965年（昭和40年）には、あっという間に人口が20万人を突破しました。

その間、釧路市のまちづくりは、自動車交通優先として、そこに記載をしておりますように1961年（昭和36年）に現在の釧路駅が開業しました。それに併せて、今の北大通、この時点では、まだ狭い北大通でした。今日ご参加の皆さまの中にも狭い時代の北大通をご存じの方もいらっしゃると思ひます。それを今のような大きな幅員30mに達する北大通の拡幅の工事が始まった。また1963年には、旭跨線橋を架けた。1973年には、北中跨線橋を架橋した。つまりこの時代はまさに自動車交通優先を基本としたまちづくりを行ってきました。

その後、人口のピーク・昭和55年に約23万人を迎えて、その後人口がどんどん減少することになるのですが、まだ当時の想定では人口は伸びていくだろうという予測があって、平成元年に釧路市として第一期の鉄道高架事業の検討に入ったところでした。この第一期では、なんと将来の予測人口が30万人を突破するという想定の中で、いまの跨線橋も渋滞が発生して持たない。跨線橋を架け替えるか、もしくは鉄道を上げてその下に道路をつくるのか。そこから鉄道高架の検討がスタートしておりました。

ただ、釧路市の場合は、帯広市などと違って、早い時点で踏切ではなく跨線橋で整備をしていたこともありまして、渋滞が発生しない、車はソコソコ円滑に流れることもありましたので、この第一期の検討は、一旦ここで中断をして、次の第二期の計画に移ってまいります。

第二期の計画では、そろそろ人口減少が見えてきたこともありまして、車優先だけではなく、都心部に必要なまちづくりとはどのようなものなのかを検討したのが第二期の計画になります。ご記憶がある方もいらっしゃると思ひますけれど、平成19年にAプラン・Bプランで凍結をしました。これが第二期の検討に当たります。

今回、われわれが計画をしていることが、この第三期目。まさに人口減少が分かってきた。釧路市の場合は、持続をしていくためにコンパクトなまちづくりの推進、お話を聞いたことがあると思ひますけれど、要は広がり過ぎた街を少しずつゆっくりゆっくり市内8つの拠点に市民の方を誘導していくことで、都市を維持する、コストを下げっていくことと、その拠点間を公共交通で結ぶことで、高齢化による自動車免許証の返

納などに対応するまちづくりを行っていくということ。これをいま釧路市では進めておりますが、この鉄道高架の計画もまさにこの都心部という1つの拠点を将来的に市民の方にここに住んでいただく、また観光やお仕事をされる方が交流としてここに訪れてくれる、そのような人と公共交通を中心とした街に変えていきたい。これがわれわれの計画の大きな中身となります。

ここに、2枚の象徴的な写真があるのですが、左側が昭和50年代の北大通。沿道には、デパート丸三鶴屋があり、様々なデパートがあって、車も混雑して、人も多く歩いている。右側が同じ場面から見た令和時代の北大通でして、この都心部は人口の減少・街の拡大、様々な要因によってかつての人の賑わいがなくなっています。

現在の道路網は、先ほど私が説明をしたとおり、自動車交通優先につくられたところがあるものですから、朝と夕方のラッシュの時間、車は大変流れます。但し、その他の時間はほとんど車が通っていない状況になっています。また、約50年前に整備をした社会基盤の老朽化や津波災害のリスクが高まっている状況になります。

では、どうして自動車交通優先なのかを簡単に示した図表を作っています。左側に釧路駅前や北大通に流入をする通過交通を示しております。

ここでの通過交通という言葉は、この都心部に用事がなく別な目的地に移動をするため都心部を通り抜けるだけの車、とご理解ください。その通過交通は、まず東西が、旭橋から駅前を通って国道に合流をして、そのまま西側へ向かう交通。これが約1日1万台あります。駅前を通ることで、駅と北大通は分断されている。また、南北の通過交通については、幣舞橋を通過して北大通を直進して、途中右側に旭跨線橋へ向かう道路から旭跨線橋へ向ってただ通り抜ける車が、北側へ行き、釧路町の方へ行くような交通が1日あたり1万台から2万台存在しています。

市としては、この都心部を人と公共交通中心の空間に変えていくためには、この車の流れをどのように変えていくのかがわれわれの大きな検討の材料となっております。そこをどのようにしていくのかを後ほど詳しく説明をいたします。

資料の右上を見てください。先ほど説明をしたとおり、北中跨線橋も旭跨線橋も整備を終えてから約50年が経過しています。一般的に土木構造物・道路・橋・トンネルなどは、50年を耐用年数として設計・計画・施工をしています。ですから2つの跨線橋とも、そろそろ架け替えの時期が迫っている。もちろん、釧路市



としては、延命化を図っていく努力はしていきますが、いつかの時点で必ず架け替えをしなければいけません。今この鉄道高架を検討しておかないと、いつかの時点で「はい、架け替えます」となった時に「そのまま新しい橋で架け替えますか」となってしまう可能性があります。ですから今からこの鉄道高架の検討を進めておいて、その架け替えのタイミングの時期を睨みながら新たなまちづくりにつなげていきたいのが釧路市の考え方でございます。

右下に大津波のお話がございます。想定が少し古いですが、平成24年6月に北海道が公表した大津波の想定によりますと「都心部は、5m以上10m以下の津波が襲う」と。この都心部は、東側を釧路川、西側を新釧路川で、南北は鉄道で分断されている陸の孤島という所にありますので、通常は非常に交通の便が良い場所ですけれど、何かあったら陸の孤島になって



しまいますので、鉄道を上げて、下に道路がつくりやすくなると、南北の移動の活性化、何かあったら避難できる道路網を併せて考えていく

ことが釧路市の考え方でございます。

最初に、私が説明をしたとおり、都心部の通過交通をどのように都心部から遠ざけていくのかの説明をしてみたいです。

現状の都心部は、左の図をご覧くださいとおり、北大通・旭橋駅前通・共栄新橋大通があって、大部分の自動車は都心部を目的地とするのではなくて、通過をするために都心部の赤いエリアに入って行って抜けていくだけという状況になっています。これを変えていくためには、右側の都心部環状道路（緑の太線で表示しております）に道路を大きくつくることによって、都心部に用事がない車は中へ入る前にその環状道路を通してそれぞれの目的地へ向かってもらう。そうすることで、この都心部内のエリアの中に通過を目的とした交通が減少しますから、そこを上手く活用して人と公共交通が中心の空間につくり替えていくのが釧路市の考え方です。

ただし、誤解をしていただきたくないことは、全ての車をこの都心部の中に入らせないわけではありません。これまでどおり都心部に用事がある車は、どうぞ車で中へ入って駐車場に止めて、お仕事に行かれ、お買い物をしてください。ただし、通過を目的とする車には、環状道路を抜けてそれぞれの目的地へ進んでください。これが釧路市の考え方でございます。

では、具体的にどのような道路網を考えていくのかです。太いピンクの線が、市が考える都心部環状道路でございます。幣舞橋を通過して北洋銀行の交差点、

国道38号線と44号線の交差点からそれぞれ目的地へ向かっていただいて、通過をする車は抜けていただきます。北中跨線橋と旭跨線橋は、現在の位置で道路を平面化します。まず、1カ所と、この2カ所です。それと、ここに柳町公園大通という三十間道路、大変幅員が広い道路がありますが、そこに新たに道路をつくって、このようなルートで都心部へ入りやすくしていきます。ここは人も車も通れます。

次に、市役所横通、和商市場の西側の道路。ここは、いま道路はありませんが、新たに鉄道を上げることによって道路をつくって、ここも人も車も通れる道路にすることによって、いまよりも自動車も人も都心部にアクセスしやすい道路環境ができてくると考えています。ただし、この北大通と共栄新橋大通の道路の繋ぎ方ですが、そこを繋いでしまうと、先ほどから説明をしております通過交通がここに集中してしまい、都心部の空間が人と公共交通中心の空間にはならないということが分かってきましたので、ここに関しましてはバス専用道路という形で釧路市では考えています。ただし、歩行者の方はここを最短で移動ができるように新たに歩行者専用道路をつくっていきます。

では、具体的に道路網を見ていきたいと思います。この道路の西側に北中跨線橋の道路があります。先ほど言った市役所横通ここに1本、それから三十間道路から1本、ここは人も車も通れます。この小さな道路は、交通広場といってタクシープールや駐車場へアクセスする道路をつくっていきます。北大通と共栄新橋大通は、真っ直ぐ繋いで、人は最短距離で南北を移動できるようにする。この道路につきましては、バス専用ということで、高架下にバスターミナルを設けてここは公共交通優先。公共交通の利便性を上げていくのが釧路市の考え方でございます。

今後のスケジュールについて、簡単に説明をいたします。今年度から概ね3カ年をかけて、鉄道高架・街路整備・土地区画整理の概略設計を進めて行きます。その後、国との着工準備の採択と協議に入りまして、国から「よし、釧路の鉄道高架をやれ」というお話があれば、さらに5年間の詳細設計について、市としては最短で8年で工事が着手できるように今後も鋭意努力を進めていきたいと考えております。

ロータリークラブの皆さんには、これからも引き続きご支援ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

以上で終わります。

会長謝辞

山中部長、吉岡室長、今日はお忙しいところをありがとうございます。

聞くとおきよればこれから議会が始まるというお忙しいときに足をお運びいただきましてありがとうございます。

います。

僕は不動産屋でして多少、都心部に関わりが強い不動産でございます。話せばキリがありませんが、最近、都心部で貸店舗を行うと、昔はちょっと家賃を下げると多少でも反響がありましたが、うちの力不足・営業努力不足もあるかもしれませんが、本当にここ1～2年は都心部に対する反響がないのです。若い人からすると、「北大通で何をするの」という感覚があるように思えてなりません。僕らとしたら都心部について「待ったなし」じゃないかという思いを強く持っております。

先ほど、100年の計とありましたけれども手遅れになる前に市役所さんも頑張っていたいただいていると思いますが、山田支社長もいらっしゃいますし、JRさんともご協力をいただきながらできる限りスピーディーに行っていただくことと、われわれも他人ごとではなく、市民としてしっかりとここにコミットして、より

良いものを。他都市に比べると少々周回遅れの高架になってしまっていますが、「遅い分、素晴らしいものができた」となるようにわれわれもしっかりコミットして参加をして行っていきたいと思います。

これから寒い時期になってまいります、お身体に気を付けていただきまして、釧路のためにぜひ頑張ってくださいと思います。

どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

2021.12.2 (木)
第16回例会
(通算3643回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正伸
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	年次総会 (担当: 理事会)
次週例会	年末クリスマス家族会 (担当: 親睦活動委員会)

- ロータリーソング: 奉仕の理想
- ソングリーダー: 山田 浩司君
- 会員数 103 名
- ビジター なし
- ゲスト 赤い羽根共同募金 釧路市共同募金委員会 釧路地区委員会 卯月 ひとみ会長
釧路市社会福祉協議会 総務課 藤倉 裕康係長

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日もたくさんのご出席をいただきましてありがとうございます。12月に入りました。クラブ会長を受けてからつくづく1週間の経つのが早いものだなと思っております。これを1年間とおされてこられた歴代会長の皆さまに、改めて尊敬の念を表しまして12月を迎えたいと思っている次第でございます。オミクロンなるものが出現しまして、どうなることやらというところでございますが、お話を聞いていますと情報集会も活発に行われているようです。これから来週のクリスマス家族例会、新年交礼会と無事に何とか年を越していければなと思っている次第でございます。気持ち良く年を越してみんなで、通常で例会を重ねていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今日の会長挨拶はクラブ歴史編第6弾で最後になります。お付き合いいただければと思います。

先ほど卯月さんが来られていましたが、お気づきの皆さんはお気づきだと思います。シロアム病院の高岡先生の娘さんで、僕も言われて初めて聞きました。実は、高岡さんも僕が資料を見ていたらすごく素晴らしいス

ピーチをされていた方で、皆さんの称賛の記述がある方でした。もしかしたら高岡先生も紹介させてもらおうかなと思っていた一人でございました。なにか縁を感じました。

今日はクラブのベテランメンバーの皆さんにとっては歴史を紹介するというよりも、ついこの間までお酒を飲んでいたという方でしたが、僕の考えている三代目のミスターロータリーということで川口雄さんをご紹介したいと思います。

川口さんは見てみると、どのメンバーからも「ロータリーの生き字引」として敬愛されておりまして「困った時は川口さんに聞け」という存在だったようでございます。

昭和34年クラブに入会されまして、昭和61年クラブ会長、平成2年にガバナー補佐を務められております。平成15年に、小船井ガバナー事務所の事務局長在職中のままお亡くなりになられました。そのお亡くなりになるまで44年間、連続100%出席という記録を残されている方でございます。

この記録は僕の調べた限りでは、北村藤兵衛さんが40年間連続100%出席という記録を持っていたようですが、その記録を抜きまして歴代1位は間違いのないと思っております。

そうはいつでもこの川口さんの40年連続100%出席と、村上祐二さんの地区大会出席102回という2つの記録がありますが、この2つの記録はいつてみれば、

王の 868 本と金田の 400 勝みたいなので、更新するのは難しいだろうと思っています。一番可能性のある佐藤君におかれましては、前人未到の二冠王を目指して、44 年連続 100% と地区大会 102 回出席の更新をぜひとも目指していただければと思っています。川口さんを振り返るのにいつの追悼文的なものをご紹介させていただいて、人となりを見ていただければと思います。

その中で、亡くなられた当時地区幹事であった吉田パストガバナーの追悼文の一部をご紹介させていただければと思います。

「一昨年、釧路クラブより 20 年ぶりに小船井ガバナーエレクトが誕生いたしました。不肖私が地区幹事に指名され、一番大切な事務局を責任もって預かってくれる人材を検討し、真っ先に浮かんだのが川口さんでした。意を決して『2 年間、深いお付き合いをお願いいたします。ガバナー事務所に入り、事務局の総括をお願いしたいのですが』と話しました。すると『いいよ、ロータリー最後のご奉公を一緒にするかい』と明るく笑って答えてくれたのが本当にほんの少し前のような気がします。

それからが毎日、戦いの連続でした。事務局にはさまざまな問い合わせがたくさん来ますが、不安を与えるような返答は絶対にできません。川口さんはどんな質問にも実に明快に答えておりました。私たちはその卓越したロータリー知識に感心するとともに、すべてのロータリアンに公平に面倒くさらず、対応されていた姿には本当に頭が下がりました。ガバナー事務所が高い評価をいただきましたのも、みんな川口さんが作ったものでした」

また、清水先生からも、
「まさにロータリーの生き字引であった。地区内外からも『分からないことがあったら釧路の川口に聞け』と評価が定着し、パストガバナーからも一目置かれる人材でした。それも、聞かれれば丁寧に控えめに教えてくれた。目立ちたがり屋は毛頭もない、奥ゆかしい人であり、それが尊敬される故でもあった。嵯峨さんと同期ガバナーの旧皇族の武田 R I 理事が昭和 59 年、丹頂スケート国体で釧路に来られた時に『嵯峨さんのご遺族にお会いしたい』という要望の実現も川口さんが手配してくれ、同期ガバナーからのご香料が武田様からご遺族に手渡された」

ということもあったようです。

小船井パストガバナーからは、
「川口さんが釧路クラブに残していただいたのは半世紀近いロータリアンとしての行動・生き方・行き方でありました。私はロータリアンとしての素晴らしい手本を持ったことの素晴らしさをかみしめながら、ご冥福をお祈りします」

と、述べられておりました。

という川口さんに関するお話でございますが、85 周年ちなみまして私なりに釧路クラブの歴史を少しかいつまんでご紹介させていただきました。

一番勉強になったのは本当に私自身でございます。先輩方からは人生を前向きに楽しく生きてく生き様みたいなものを調べながら勉強させていただきました。

この 85 周年を迎えて、また 90 周年、100 周年にむけて、この思いをわれわれはしっかりつないでいく責任があると思っていますところでございます。まさに今日がそのバトンを渡す大切な節目になる日だと思っています。

今日の総会、どうぞよろしく願いしまして、会長挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋 孝佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週の例会につきましては例会案内をご一読お願いします。

また、12 月のロータリーレート 1 ドル 114 円となっております。

本例会終了後、ローズホールにて理事会を開催いたしますので理事者の皆さまはご移動をスムーズにお願いいたします。以上でございます。

赤い羽根共同募金 釧路市共同募金委員会

釧路地区委員会 卯月 ひとみ会長

感謝状授与

貴会は国民助け合い共同募金運動の趣旨をよく理解され、多額の浄財を寄付し、釧路市の社会福祉事業の推進に寄与された功績は誠に顕著であります。よって、ここに深く感謝の意を表します。



令和 3 年 12 月 2 日 釧路市共同募金委員会会長 卯月ひとみ。

ありがとうございました。

ご挨拶

皆さま、本日は誠にありがとうございました。8 月 1 日より、釧路市共同募金委員会の会長を務めさせていただいております卯月ひとみでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

釧路ロータリークラブの皆さまにおかれましては、日頃より赤い羽根共同募金運動をはじめ、社会福祉の発展・向上のため格別なご配慮ご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。また、この度は皆さまからの温



かいご寄付をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

今年の募金活動は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大

変厳しい状況下ではありますが、地域の活動団体に寄り添いながら資金確保ができる貴重な仕組みとして推進されることが期待されております。コロナ禍のこのような時だからこそ取り組む必要があるということを発信しながら、役職員が一丸となって募金活動を展開しているところでございます。

共同募金会では「つながりを絶やさない社会づくり」を全国共通のテーマとし、これまで地域で築かれてきたつながりを維持するために取り組まれる福祉活動や、感染拡大の影響で地域の複雑多様化する課題の解決に向けて取り組まれる活動などへの助成をこれからも後押ししていく所存でございます。

私ごとではございますが、私の父・故高岡邦夫は1989年から1990年の間にこちらの釧路ロータリークラブ様で会長を務めさせていただいておりましたようで、釧路ロータリー60周年記念にいただいた盾を大事に飾っておりました。その盾には『奉仕とは未来である』と書いてございました。募金活動もまた未来を支えるひとつと確信しております。

最後になりましたが、歴史ある釧路ロータリークラブの皆さまの今後益々のご発展と一層のご活躍をご祈念申し上げまして、はなはだ措辞ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

■本日のプログラム■ 年次総会

司会 これより2021-2022年度年次総会を始めさせていただきます。釧路ロータリークラブ細則第4条第1節により、杉村会長に議長をお願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

それでは、総会を始めさせていただきたいと思います。不慣れではございますが、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。また、円滑なる議事進行へのご協力よろしくお願いいたします。

それでは、釧路ロータリークラブ細則第5条第1節に基づきまして、年次総会を始めます。初めに定足数の確認と本日の出席状況について報告をお願いいたします。

司会 定足数については釧路ロータリークラブ細則

第1条の5に基づき当クラブ会員総数の3分の1となります。

12月2日現在の釧路ロータリークラブ会員総数は103名、定足数は34名となります。本日の出席者は62名ですので本総会は成立することをご報告いたします。

議長 杉村 莊平会長

ありがとうございます。本日の年次総会が成立すると報告がありました。

次に議案の確認をいたします。本日の議案は3点でございます。

第1号議案 2022-2023年度釧路ロータリークラブ理事・役員の選挙について。

第2号議案前年度の財務報告及び現年度の収入と支出を含む中間報告。

第3号議案でその他となります。その他をお持ちの方はいらっしゃいますか。

なければ、第3号議案その他は削除させていただきます。

それでは、第1号議案 2022-2023年度釧路ロータリークラブ理事・役員の選挙について進めさせていただきます。

釧路ロータリークラブ細則第3条第1節に基づき、11月4日に次年度役員及び理事の選挙を告示し、立候補を募りましたが、11月11日の立候補締め切りまでに申し出がなかったことを受けまして、指名委員会を設置させていただき、11月18日に指名委員会を開催し、推挙させていただく候補者を決定いたしました。

初めに、次々年度会長の候補者を私から発表させていただきます。指名委員会において満場一致で決定した後藤公貴君を次々年度会長に推挙いたします。

後藤公貴君は、2012年2月9日入会以来、11年間に亘り小委員長を2度、大委員長を1度、

2017-2018年度に幹事、2019-2020年度に副会長、そして今年度に副SAAを歴任されております。

また、これまでの釧路クラブの各種事業における実行委員会等でも要職を務めあげ、クラブへの多大な貢献も皆さんの知るところでもあります。以上の点を含め、人格・経歴とともに素晴らしい人材と判断し、推挙させていただくことを決定いたしました。

皆さまの満場の拍手をもってご承認いただければと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

大きな拍手ありがとうございます。全会一致を持ちましてご承認とさせていただきます。

それでは、会長ノミニーとなりました後藤公貴君よりご挨拶を頂戴したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

2023-2024 年度 後藤 公貴会長ノミニー

全会でのご承認、誠にありがとうございました。後藤公貴でございます。

まさか、私がこうしてこの場に立たせていただく日がくるとは夢にも思っておりませんでした。改めて、この重責に身が引き締まる思いをいたしております。

杉村会長をはじめといたします指名委員会の皆さま、そしてこれまで 11 年の間、私を優しくこの釧路ロータリークラブの中で育てていただいた諸先輩の皆さまに感謝を申し上げたいと思います。

2011-2012 年度に、時の五明正吉会長、そして白幡パスト会長のスポンサー等をいただきまして、皆さまのお仲間に加えさせていただきました。

今、杉村会長からもあったように、この 11 年間、自分なりに一生懸命ロータリーの役職をやってきたつもりですし、自分なりに楽しくそしゃくしてこのクラブに馴染んできたつもりでありますけれども、こうして改めて会長という役職を受けるということになりますと、まだまだ社会的な経験も、そしてロータリークラブの中での経験も足りないことがだんだん感じ始めておりまして、自分の任期が始まるその日まで、改めて一から勉強させていただきたいと思っております。ぜひ、皆さま方にはこれまで以上に叱咤激励を頂戴いたしたいと思っております。

最後になりますけれども、私は末広町で皆さんご存知のように飲食店を経営させていただいております。2 年ほど前から続くコロナ禍において、われわれの業界は以前のように活気を取り戻したとはいにくい状況でもございますし、また新たな変異株というざわついたニュースも飛び込んで来るように予断を許さない状況が続いております。

しかしながら私がこうして皆さまの前で会長として何ができるかと考えた時に、何とか皆さまの職業を基盤とする、職業の尊さを大切にする、このクラブの中で何とか少しでも元気を発信できればいいなと思い、この度の決断に至ったところでございます。

まだまだ勉強不足でございます。まだまだ若輩者でもございます。ぜひ皆さまの支援そして叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。受託のスピーチと代えさせていただきます。

今後ともぜひよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。



議長 杉村 莊平会長

後藤ノミニー、ありがとうございました。よろしくお願いいたします。頑張ってください。続きまして、2022-2023 年度の理事・候補者につきまして滝越会長エレクトに発表していただきます。

滝越会長エレクト、よろしくお願いいたします。

2022-2023 年度理事者発表

滝越 康雄会長エレクト

会長エレクトの立場から 2022-2023 年度理事者の発表を行います。お名前を呼ばれた方はその場にてご起立ください。読み上げます。

理事・清水輝彦君、理事・中島 徳政君、S A A として理事・脇弘幸君、会計として理事・白幡博君ですが、ご存じのとおり不幸がございましたので今日のご欠席です。理事・佐藤貴之君、理事・及川雅順君、理事・吉田英一君、理事・米本富夫君。直前会長として理事・杉村莊平君。会長ノミニーから来年度は会長エレクトで理事・後藤公貴君。最後、私は会長職で滝越康雄。以上、11 名でしっかりとやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



議長 杉村 莊平会長

滝越会長エレクト、ありがとうございました。発表になった次年度理事につきまして、皆さまの拍手をもってご承認いただければと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。全会一致での承認とさせていただきます。

度々で恐れ入りますが滝越会長エレクト、ご挨拶をお願いいたします。

ご挨拶 滝越 康雄会長エレクト

私は最近、勉強不足なので会報くまなく見ていました。本当はこのスピーチなかったのです。まったく飛び入りでございます。ノミニーが話すことなのです。いま、準備の真っ最中でございます。ただ、去年の舟木会長時代から、クラブじゃなくてもう時代そのものが変化しております。そして、みんながそのことを認識したのは、今までの普通の状態が非常に貴重なものであって、個人は家に閉じこもり、会社はリモート、だんだんそうってきている時代で、逆に、クラブというのは非常な価値観を占めております。

この前の日曜日、9時半から 17 時まで Zoom で財団のセミナーをやって、言い合ったのです。接近感があっ

て会議室で話すよりもモノが言えるのですよ。喫茶店で話す雰囲気なので、バツバツははっきり言いました。私の性格からして「ロータリー、このままでいいのか」という思いもありますし、「時代に追いつくのか」というものもあります。例えば、「ここで釧路のトップグループが言いだしても、結果として街が落ち込んでいるのじゃ、何にもならないじゃないか」とそこまで言いました。

ということで、第一目標は、クラブ活性化というよりもクラブを3年前ぐらいまで戻して平常にすると。ロータリーとして大きな奉仕というテーマがありますが、奉仕の枠だけでは時代的に間に合わない。例えば奉仕の中に少し地域振興でも入れるとテーマが大きく広がりますので、R I を批判するつもりはないけど、組織そのものがトップの方が一致していないかなと、おこがましいですが、こういう放言を Zoom で言いました。これは私、間違っていないのではないかと思います。

何といえますか、1年間無事にはしますけれど、ちょっと新しい風を起こしたいなという、いつ辞任しても構わないので、そういう年が年です。最後は言いたい放題言って、実行もしたいと思います。

皆さん、その場面になったらお力添えください。よろしく願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

滝越会長エレクト、ありがとうございました。期待しております。頑張ってくださいと思います。続きまして、第2号議案に移ります。前年度の財務報告及び現年度の収支と支出を含む中間報告についてとなります。

まずは、前年度の財務報告を昨年度幹事・荒井剛君よりお願いいたします。

前年度財務報告及び現年度の収支と支出を含む中間報告 荒井 剛前年度幹事



前年度幹事の荒井から前年度の財務報告をさせていただきます。まず、収入の部ですが最終的には合計10万円ほどプラスになっております。

当初、会員数97名と予算組したところ、最終的には98名だったこと、また新入会員につきましても当初8名で予算組していたところ、昨年度合計10名の新入会員に入会していただきましたので、その分収入としてはプラスになっております。

次に、支出ですが、ご存じのとおり新型コロナウイルスの関係で、もともと予定していた例会数は46回だっ

たのですが最終的には33回の例会になっております。その他、実施予定だった事業等もできなかったこともありまして、一定の予算が余った形になっております。収支としては、700万円近くプラスになっております。その700万円を以下のように振り分けさせていただきました。

昨年度も特別対策基金を設置していただきまして、そこに今年度、収支差額として700万円が残ったところから300万円を振り替えさせていただきました。また、嵯峨記念育英会についても100万円振り替えさせていただいております。その他、釧路ロータリークラブ周年事業積立金に50万円。また、昨年度更新させていただきました台北中央ロータリークラブ等の姉妹クラブ交流積立基金として50万円を積み立てさせていただきました。

さらにニコニコの分として次年度から収入としてあげるのではなくて、昨年度の実績をそのまま次年度に引き継ぐ形を本年の杉村年度でそのような方針となったとお聞きしております。それを踏まえて昨年度のニコニコ実績52万8,000円をニコニコとして明確に分かるようにさせていただきました。

最終的な繰越金としては、151万2,087円のプラスということになっております。

以上、前年度の財務報告でした。

今年度の中間報告

市橋孝佳丞幹事



本年度の中間報告をさせていただきます。中間報告と申しましても、現状、予算実績報告書があるのですが締めているのが10月末までと

いうところで、年度の3分の1の、7月・8月・9月・10月の実績となります。ご承知おきをお願いいたします。

会費収入ですが、皆さま方のご協力を持ちまして概ねの入金はいただいております。まだ、若干名未入金の方がおりますのでそちらの方には個別対応したいと思っております。

事業費の支出ですが、実際のところ約30%の進捗率となっております。9月に1カ月の休会を挟んでおりますので、実際の進捗率としてはちょうどいいところと考えております。

また、先月10月に85周年の記念事業としまして市役所にサーマルカメラの寄贈を行っております。そちらの寄贈内容は釧路ロータリークラブのホームページ「例会報告」の中に特別枠で作っていただいております。ぜひ、そちらをご一読いただければと思っております。

ます。
私からは以上となります。

議長 杉村 莊平会長

市橋幹事、ありがとうございました。以上で中間報告を終わりますが、皆さまの拍手をもちまして、承認とさせていただきますと思います。いかがでございましょうか。

(拍手)

はい、ありがとうございます。皆さまの拍手をもちまして、ご承認とさせていただきます。以上で本日の議案は終了となります。時間どおり終わることができました。

皆さまのご協力により、円滑に進行終了することができましたので、以上で議長の任を解かせていただきます。

どうもありがとうございました。

2021.12.9 (木)
第17回例会
(通算3644回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	年末クリスマス家族会 (担当: 親睦活動委員会)
次週例会	情報集会報告会 (担当: クラブ研修委員会)

■ロータリーソング: 四つのテスト

■ソングリーダー: 浅野 清貴君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト

会長の時間

杉村 莊平会長



改めまして、皆さんこんばんは。本日はメンバーをはじめ、ご家族の皆さま、そしていまご紹介をしましたインターアクトクラブの皆さま、ロータリーアクトクラブの皆さま、多数ご出席いただきましてありがとうございます。そして瀧波委員長をはじめとする親睦活動委員会の皆さま、本当に一生懸命今日の設えをしていただきました。ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

思い起こせば、ちょうど昨年の今ごろの1年前、昨年の『家族例会』が終わった直後からコロナが再度猛威を振るい始めて、長期の休会へ入ったわけでございます。僕の年度の当初には、ワクチンも行き届いて大体が治まっているだろうと安心をしていたところ、まさかの9月の再度緊急事態宣言、そしてまた休会となり10カ月間、夜例会を開催することができない状態が続いておりました。

夜例会には、昼例会と違いまして親睦を大きく深める効果がありますので、やっとこの10月に夜例会を再開できたこと。そして何より今日、このように盛大に皆さんにご出席いただきまして『クリスマス家族会』

を開けたことを本当に喜んでおります。改めて皆さんのおかげだと思っております。ありがとうございます。

本日は、駄弁は無用でございます。皆さんが揃った中で、家族に改めて感謝をしていただきながら大いに楽しんで行きたいと思っております。親睦活動委員会の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、限られた時間でございますが、大いに楽しんでください。メリークリスマス。

司会

先日行われた年次総会で選出されました会長ノミニーのご紹介を杉村会長よりお願いいたします。

会長ノミニー紹介 杉村 莊平会長

過日、12月2日に『年次総会』が行われまして、皆さまの満場一致をもちまして選ばれました会長ノミニー、これがまた分かりづらいのですが、次の次の年度の会長をご紹介したいと思います。

品行方正、人柄も良く、素晴らしい人物でございますが、何せ挨拶に初々しさが足りないのです。いつも落ち着いているものですから僕が困ってしまいますが、後藤公貴君です。

よろしくお願いいたします。

会長ノミニー挨拶 後藤 公貴会長ノミニー

皆さま、こんばんは。柄にもなく妻が参加をさせて

いただいているものですから、妻の前で偉そうに喋ることは大変緊張をして支離滅裂な話になるかもしれませんが、少しでもお時間をお借りしたいと思います。

ただいま杉村会長よりご紹介がありましたとおり、先週開催されました年次総



会におきまして、次の次の年度の会長ということで、皆さまのご承認をいただきました後藤公貴でございます。ご存じの方も多かもしれませんが、私は末広歓楽街で炉端焼きのお店と居酒屋、どちらも小さなお店ですけれども2軒ほど経営をさせていただいております。いま、申し上げましたとおり、小さなお店でございますから私も毎日一人工としてお店に立たせていただいて、従業員とともに汗を流させていただいている毎日であります。

今日、妻と2人でこのような席にお邪魔をするとなかなか従業員が大変な思いをしているわけでありまして。出てくる前にお店に行って「よろしく頼むね。ちょっと忙しい思いをさせるね」と話したところ、「いやいや、ゆっくり楽しんでください。ロータリー、頑張ってください」と送り出してもらいました。本当に嬉しかったです。

いつも思うのですが、私自身のいろいろな役職や仕事などを受ける時に、従業員、そして妻には感謝の言葉しかないと思っています。少し時間が経つと忘れがちになるのですけれども、こうして改めてこのような思いを思い出させていただきましたことも、こうしてロータリーの皆さまにご了解をいただいて重責を任せていただける機会があったればこそと思っております。

この感謝の気持ちを忘れずにこのまま頑張っていきたいと思っております。

最後になりますけれども、10年前にこのクラブの門を叩かせていただき皆さまの末席のお仲間に入れていただいて、こうしてこの場に立たせていただけるような機会を与えていただいたこと、これは私の成長にとって本当にかげがいのないものになると思っています。

新しい私のロータリーライフが始まる大切な1日だと私の中で位置付けて、これから1年半、自分の当該年度が来るその日までしっかりと努力を重ねてまいりたいと思っておりますし、目一杯ロータリーを楽しみたいと思っております。従業員や妻にも「ロータリーに入って良かったね」と言われるような男に育ってまいりたいと思っております。

今後とも引き続きよろしくお願いを申し上げまして私のご挨拶とさせていただきます。ぜひ、よろしくお願い

い申し上げます。ありがとうございました。

次年度理事者紹介 滝越 康雄会長エレクト

次年度会長予定者、ロータリー用語で言えば、会長エレクトから

2022-2023年度理事者の紹介をさせていただきます。



恐縮ですが、お名前を呼ばれた方は一緒にご登壇ください。読み上げます。

副会長理事・清水輝彦君、清水先生はアクシデントがあって出席予定でしたがご欠席でございます。

幹事理事・中島徳政君

続きまして、S A A理事・脇弘幸君

続きまして、会計理事・白幡博君

続きまして、クラブ運営委員長理事・佐藤貴之君



同じくクラブ広報・会員組織委員長理事・及川雅順君
続きまして奉仕プロジェクト委員長理事・吉田英一君
四大委員長の最後

です。ロータリー財団奨学推進委員長理事・米本富夫君そして、直前会長として理事・杉村莊平君
会長ノミニー・来年度会長エレクト理事・後藤公貴君そして、会長職を務めます私、滝越です。よろしくお願いいたします。

以上11名で、しっかりとやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

続きまして、理事会にいろいろとお手伝いをいただく役職の方々をご紹介します。

呼ばれた方はその場でご起立ください。

会計監査・甲賀伸彦君

副S A A・浅川正紳君

副幹事・篠原実君、

副幹事・濱口憲太君

以上のメンバーでございます。

私も在籍は長いですがあまり主催者の立場で体験したことがないので失敗も多いと思いますが、何卒大目に見ていただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。以上です。

(点鐘)

■本日のプログラム■
年末クリスマス家族会

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

皆さん、メリークリスマス。これより年に一度のお楽しみ釧路ロータリークラブの『クリスマス家族会』を行います。それでは早速、開会宣言をクラブ運営委員会・中島委員長よりお願いいたします。

開会宣言 クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

ご指名をいただきましたクラブ運営委員長をさせていただきます。お待ちしております中島です。

本日は、釧路ロータリークラブの『クリスマス家族会』に皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。

本年度杉村会長のテーマは、そちらに書かれてありますとおり『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』でございます。ぜひ本日は会員のみならず、ご家族の皆さま、それからご来賓の皆さまで、このクラブの家族例会を楽しんでいただければと思います。

本日は、よろしくお願いいたします。

親睦活動委員会 芦名 健一君

それでは、早速でございますが、乾杯を行います。乾杯のご発声を舟木直前会長、お願いいたします。皆さまにおかれましては、ご準備をお願いいたします。

乾杯挨拶 舟木 博直前会長



皆さん、こんばんは。久しぶりです。久しぶりに顔を見て昨年を思い出しました。昨年の今ごろは一生懸命楽しんで、変な寸劇を行って皆

さんに笑われて楽しかったことを思い出します。今日の後藤君、そして滝越さん、3年前のことを急に思い出しました。すごく初々しい挨拶をしていたと思って。皆さんやお二人のような素晴らしい挨拶はできませんけれど、ぼくとなら挨拶をさせていただきます。

今日は、年末クリスマス会ということで、私も楽しみにしておりました。体調があまり良くないもので皆さんとあまりお話もできませんけれど、昨年のコロナ禍の中で何とかクリスマス家族会ができたことで、昨年は行うよりも終わった後、「このあと、もし出たらどうしよう」と寝られませんでしたね、この性格なのですけど。

そして、今日を迎えることができて安心をして参加することができ、嬉しいと思いました。昨年の場合でし

たら企業等も「出てはいけない」と随分ご指導がありましたけれど、今日はこのように立派なクリスマス家族会ができ嬉しいと思っています。また今日一生懸命努力をされた親睦活動委員会の皆さま、本当にご苦勞様でした。

そのようなわけで、12月のクリスマス、そして今日のクリスマスと、クリスマスを2度楽しめると思います。

そろそろ乾杯に移りたいと思います。

ご唱和を「メリークリスマス」でお願いいたします。

“メリークリスマス”

ありがとうございました。

親睦活動委員会 芦名 健一君

舟木直前会長、ありがとうございました。それでは、これよりお食事の時間といたします。ごゆっくりお過ごしください。

また、申し遅れましたが、本日の司会は親睦活動委員の芦名が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

暫しご歓談ください。

(食事・歓談中)

親睦活動委員会 芦名 健一君

皆さん、ご歓談の中に失礼いたします。これより毎年恒例となっております理事者の皆さまによる余興をご披露いただきます。



本年度の理事者チーム・杉村 JAPAN による余興は、『アートステック 陸スイミング』水面に見立てた青



い布の向こう側で繰り返し広げられる「いい歳こいたオッサンたち」のシンクロスイミングです。シンクロしているのか、していないのか微妙なところはお愛嬌。練習期間は5日間。クオリティが低いこともご容赦ください。

AKB48 に対抗し釧路ロータリークラブ 85 周年にちなんで「KRC85」の登場です。

親睦活動委員会 芦名 健一君

理事者の皆さまお疲れ様でございました。

皆さん、大変お待たせしております。これからマジックショーをはじめます。遠くからだとなかなか見えないので、ぜひステージ前方でマジックを間近で見てください。

(ヤマちゃんマジックショー)



親睦活動委員会 芦名 健一君

ヤマちゃんありがとうございました。最後にお楽しみ大抽選会があります。

大抽選会 司会 親睦活動委員会 東堂 光春君

毎年恒例の大抽選会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。抽選の司会は私入会1年経ちました。東堂と申します。よろしくお願いいたします。景品すごいことになっています。

(大抽選会)



親睦活動委員会 芦名 健一君

それでは、宴もたけなわではございますが、楽しい祝宴も閉会の時間が近づいてまいりました。ここで皆さまと手に手をつないで大きな輪を作って斉唱したいと思います。

ソングリーダーは、次年度三役の皆さまです。よろしくお願いいたします。

(手に手つないで)

閉会挨拶 天方 智順パスト会長



こんばんは。杉村夫人いいね。「Yogibo」ありがとうございました。

楽しく過ごしてまいりました。私は昨年・舟木年度の『クリスマス家族会』

に出ていなかったもので、私の年度から数えて2年振りになります。やっぱり夜例会はいいですね。楽しい時間・美味しいお料理・お酒・気品のない芸。すみませんね、やっぱり会長のカラーが現れるのが理事の芸でございます。と言っても、私は何をやったか、覚えていらっしゃるでしょうか。当時、2019年ラグビーワールドカップで全然そろっていない『ハカ』、本当に懐かしく思っております。

先週は年次総会、そして今日『クリスマス家族会』ということで、これで大体半分、あと半分です。多分、杉村会長もそう思っていることと思います。今日は、みんなで楽しく杉村年度のパーティーをやってまいりました。年が明けてあと6カ月あります。杉村会長がまた楽しく囃まない挨拶をすることを皆さんと一緒に祈念させていただいて、この場を締めたいと思います。

僭越です。ご起立願います。奥さま、お子さま方、ご一緒に一発で締めたいと思います。それでは入ります。

親睦活動委員会 芦名 健一君

天方君、ありがとうございました。皆さま、本日は長時間にわたりご参加いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして『クリスマス会』を終了させていただきます。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 舟木 博君 お久しぶりです。皆様の顔をみて、元気がでました。
- 理事者より 協賛金。

今年度累計 279,000 円

年末クリスマス家族会スナップ





2021.12.16 (木)
第18回例会
(通算3645回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	情報集会報告会 (担当: クラブ研修委員会)
次週例会	釧路ロータリークラブ重大ニュース (担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 我等の生業
- ソングリーダー: 米倉 幸泰君
- 会員数 103 名
- ビジター なし
- ゲスト

会長の時間 杉村 莊平会長



お食事の方は、お続けいただければと思います。本日はまた多数ご出席をいただきましてありがとうございます。

先週の『クリスマス家族会』は、今年の9月に休会になった時には「もしかしたら開催ができないのではないか」という思いもありましたけれども、盛大に開催できまして感慨深いものがありました。ありがとうございました。また親睦活動委員会の皆さんには、コロナの中、開催が難しい中で事前に委員会を何度も開催をしていただきまして素晴らしい家族会を開催していただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、理事の皆さま・副幹事のお二人には、素晴らしい『理事出し物』をしていただきまして、手前味噌でございますが例年を軽く凌駕する、例年に類を見ない、格段の違いの出し物をご披露できたのではないかと思います。重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。ちょっと言い過ぎました。すみません。

会長挨拶・釧路歴史編の付録になりますけれども、ネタを調べていた時にクリスマス家族会の「間違いなく歴代で一番盛大だったクリスマス会」を見つけまし

たので、そこだけご紹介したいと思います。

1967 年の砂山会長年度ですが、場所が、なんとキャバレー銀の目を貸し切りで、参加人数が 290 名。僕が見た中で最大のクリスマス会でございました。どのように雇ったかはよく分かりませんが、司会は NHK の本職のアナウンサーです。昔ありましたが、サンタが天井から飛び出してきた、生バンドの演奏で銀の目さん専属ダンサーのダンスショー有り。予算がどれぐらいかかっているのかよく分かりませんけれども、とにかく昭和 40 年代当時の釧路の勢いは本当に凄まじいものだったと改めて見たクリスマス会、このような家族会がありました。

そのようなことで、家族会も無事に終わりましたので、年がもうそろそろ閉まってくるところで、今日と明日をしっかりとっていききたいというところでございます。

今日は情報集会で報告がありますので、時間がないことは重々なのですが、ここでひとつ皆さんに大事なお知らせがありますので、少しお時間をいただきます。実は、事務局員の青島さんから退職願が出ております。一身上の都合ということで、少し体調に問題がありまして退職ということになりました。大変残念でございますが、会長挨拶で言うべきかどうかと思いましたが、皆さんにお知らせをしたいと思いますお伝えさせていただきます。

そのような事情がありますから、後任を探す時間があ

まりございません。つきましては、青島さんも、三ツ石さんもそうでしたが、口コミ的なもので探せたように思いますので、改めまして皆さんの近しい方、知人の方、奥様のお知り合いなどがいらしたら良い職場だと思っておりますので、年末年始で大変申し訳ありませんが、どなたかいらっしゃいましたら早めに市橋幹事へお知らせいただき、引き継ぎを早急に行いたいと思いますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

今日は、『情報集会報告』でして、手短かに終わらせたいと思いますが、改めましてこの情報集会にあたりまして、協委員長をはじめクラブ研修委員会の皆さんには大変ご苦勞をおかけしお世話になりましたことをお礼申し上げまして今日の会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。私から幹事報告をさせていただきます。先日、前年度の荒井幹事からご報告があった昨年度の会報

綴りのPDF版データをメモリースティックに入った物を皆さまのキャビネットに入れておりますので、皆さまお持ち帰りいただければと思います。

また、冊子の方ですけれど、ご入用の方は私に言っていただければ15冊までですけれども皆さまにお渡ししたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

他クラブの例会は記載のようになっておりますが、釧路北ロータリークラブ12月22日金曜日となっておりますが水曜日の記載ミスでございます。

また、ニコニコ献金ですが、前回合計が190,000円となっておりますが、こちら191,000円に訂正をお願いいたします。それに伴い、今年度累計を370,000円となっておりますのでその修正もお願いいたします。

私からの報告は以上でございます。

■本日のプログラム■

情報集会報告会

クラブ研修委員会 脇 弘幸委員長

皆さん、こんにちは。時間があまりございませんので、手短にお話をさせていただきます。今回の情報集会は、10グループに分けて開催をしていただきました。参加人数が延べ74名で、多くのメ

ンバーの皆さまにご出席をいただきました。ご参加いただいたメンバーの皆さまにはお礼を申し上げます。ありがとうございました。



今回のテーマが、今年設立60年、また今年吉田潤司理事長から石田博司理事長に引き継がれた『嵯峨記念育英会について』というテーマにさせていただきました。この育英会の在り方、また今後の展望などについて各グループで話し合いをしていただきました。

このあと、グループごとに報告いただきますが、例会の時間の都合もございますので、各グループ3分での報告をお願いいたします。時間が3分と短いものですから参加日時や参加者等については割愛をお願いできればと思います。参加者・開催日時等は、各テーブルに参加者一覧を配布しておりますのでご確認をいただければと思います。

発表の順番につきましては、Aから始まり最後はJグループという流れで順次ご登壇をお願いいたします。グループ名等はご紹介しませんので、前のグループの発表が終わりましたら速やかに登壇をしていただき報告をお願いいたします。

それでは、Aグループからよろしくお願い申し上げます。

Aグループ 田内 康章君

皆さま、こんにちは。Aグループ・サブリーダーの田内でございます。Aグループの発表をさせていただきます。私を含め「炬辺会合に



出席をしたことがない」という方もいて、ましてや嵯峨記念育英会がどのようなものなのか、私も詳しく分かりませんでした。当日は、石田さん、脇さんにどのような経緯かなどを分かりやすく教えていただき、その中で現状の運営の仕方や基金の有効な使い方について討議させていただきました。

出た意見としましては、「釧路活性化のためにも地域貢献の職種に進みたい子どもたちを支援したらどうか」、「米山記念奨学会とは逆に釧路から海外へ進出したい子を支援したらどうか」という話も出てきました。その中で、支援をしている私たちロータリー会員と支援を受けている子どもたちがともに「釧路ロータリーは素晴らしい」と誇れるようにして行こうという話になりました。

そのような意見がどんどん出てくる中で少しずつ話がそれて、「釧路を良くするにはどうしたらよいか」という話題になりました。「釧路の良い所はたくさんあるけれども、他の地域との違いの自慢をしないところだ」「交通の便が悪く感じるが、良くするためには自然や環境を破壊してしまう。だからこそ、その不便が良い」と言ったところで、石田さんから「釧路へ来るなら1日前」というお話を受けまして、その言葉に納得・共感いたしました。最終的に得地さんが「文化遺産でもある旧日銀さんの建物を買い取る」という話でまとまりました。

最後に、参加されていた木村さんからも「このように有意義な情報集会は初めてだった」と言っていたきまして、改めて自分たちの会費から支払われているお金でどのように青少年育成を行っているのかを知ることができて、とてもためになる情報集会でした。

以上です。どうもありがとうございます。

B グループ 東堂 光春君



K こんにちは。Bグループの東堂です。今回の情報集会で嵯峨記念育英会について私も初めて聞かせていただき、歴史や伝統を聞いていくうちに釧路ロータリークラブ独自の組織であることを知って、本当にすごいこと、長い間語り継がれていまでも運営をしていることに感銘を受けました。

討議をしていく中で、いまの高校の苦学生への月額10,000円の支給について、「いまは高校の授業料の無償化などを受けて、そこまでお金に困っている学生がいるのか」というところから議論もされました。支援をした学生たちがいま何をやって、その後を把握できているのかも議論になりました。「せっかく奨学金を出すなら将来釧路に戻って貢献してくれる人材に絞った方が良くはないか」というような意見もございました。

まとめとして、対象を高校生から大学生にした方が良くはないかということで、「いまは大学生に苦学生が多いのではないか」という意見もありました。将来の夢に向かって頑張っている方に支援をする方が良くはないかということで、「地元のスポーツアスリートでプロを目指している子、芸能・芸術に秀出している人に将来は釧路のために頑張ってもらおうような支援はどうでしょう」という話もありました。「夢に向かって大学生にプレゼンを行ってもらい、1人に絞って一気に500,000円を奨学金として支援をして、夢を叶えてもらい、それを実現して釧路に還元してもらおう」という意見もたくさん出ました。

結論としては、僕の意見ですけれどもアスリートや芸能・芸術に秀出している学生、向かっている人にしっかり支援をして、釧路のために有名になってもらって、還元をしてもらうという奨学金制度がいいのではないかという結論に至りました。以上でございます。

C グループ 篠原 実君



皆さん、こんにちは。Cグループ・サブリーダーを仰せつかりました篠原です。よろしくお願いします。

私も炉辺会合に初めて参加をさせていただきました。どのような話になるか少し不安でしたが、2時間があっという間に過ぎるような、皆さんにたくさん意見を出していただき話し合いをさせていただきました。

その中で私なりにまとめさせていただくと、大きく分けて3つあります。1つ目が、支援をする活動・活躍の内容はどのようなものか。2つ目に、支援の対象者はどのような学生か。3つ目ですけれども、支援の方法及び金額についてはどうか、と3つにわけてみました。

1つ目の支援をする活動・活躍の内容として、これは2つあって、これからの活動・活躍に期待を込めて夢のある内容であるかどうか。2つ目が、釧路の名を残す、または名を高める活動・活躍をした内容か。この2つ目の支援の対象者の中にも2つありまして、1つ目が、学業支援については、大学4年生で釧路に残り、水産業関連などで活躍に期待ができる学生。2つ目が、高専から大学を目指して今後の活躍に期待ができる学生。その他としてどのようなものがあるかということでは、スポーツ関係で日本代表などに選出されるような内容。もう1つが、楽器及び音楽関係で全国大会に出場するなどではどうだろう、ということでした。3つ目の支援の方法及び金額については、年間に複数の対象者ではなく年度内に1名に絞る。そして毎年ではなく対象者が出た場合に一時金で褒賞する。例えば一括100万円のお祝い金をあげることではどうだろうか、という意見が出ておりました。

最後にこの基金名、育英会設立の目的で『青少年にささやかな贈り物をする』と冊子に書かれておりましたので、この基金名を「釧路ロータリー夢物語基金」というのもいいのではないかという話も出ておりました。以上です。

D グループ 小野 正晴君

Dグループの小野です。Dグループの討議を報告さ

させていただきます。
あくまでも私がまとめましたので、私の責任でということで報告をさせていただきます。



Dグループは主に2つのテーマについて話し合っています。1つは、育英資金の現状認識について、もう1つは、今後の展望についてです。

現状認識については、Bグループとも同じような「高校生に毎月10,000円はどの程度役に立っているのか疑問である」という意見です。「育英会が始まった60年前は高校進学率も低く意味があったのではないかな。いまの公立高校は実質的に無償化されておりますし、私立についてもかなりの補助が出ておりますので、いまはどれぐらいの意味があるのだろうか」という意見が出ました。「いまの時代のニーズに合う支援対象・支援額に変更すべきではないか」という意見が出ました。また、「報告会にも最近出席をしない奨学生が多いけど、必ず出席を求めるのも行き過ぎで、趣旨に反するのではないかな。そうした礼儀の部分を教えることは親の責務ではないか」といった意見も出ました。一方で「応援をしている生徒がいまのような生活、将来展望を持っているのかをぜひ聞きたい」という意見もありました。

そのような現状認識を元に今後の展望についてです。1つは、「今後の方針が決まるまで現行の奨学生制度は当面ストップすべきではないか」という意見が出ました。このストップとは、現在の高校1年生で卒業まで給付を始めている生徒さんがいますが、その生徒さんには卒業まで給付をしますが、新年度からの募集を一旦ストップしてはどうか。その上で、対象は先ほど同じような意見も出しましたが、コロナ禍で大学中退の動きもあるので、対象を大学生にしてはどうか。月の支援額も10,000円ではなく数万円に増額してはどうか、などです。

この場合でも釧路出身者、もしくは釧路にある大学・高専が対象。元々の趣旨、釧路の発展に寄与する人材を育成するという観点は大切にすべきだ。さらに「若手経営者にも対象を広げてはどうか」という意見も出ました。この場合、開業資金や支援額は増額する必要があります。その中で、5,000万円の基金を取り崩してはどうかという議論にまで発展しました。

ただこの基金の取り崩しについては、賛否の意見がありまして有効に支援をするためにも取り崩しても良いのではないかなという意見がある一方、教育は長期にわたる投資であり、限られた学生を支援して釧路の発展に資するかどうかは分からない。できるだけ長く制度を設けて多くの学生を支援するためにも基金は取り崩

すべきではない、という意見も出ました。

その他として、「われわれロータリアンが嵯峨記念奨学金について関心を持つべきだ」という意見が最後に出たことを報告させていただきます。

すみません。少し時間が延びまして失礼いたします。

Eグループ 小西 卓哉君

皆さん、こんにちは。Eグループは、小西から発表をさせていただきます。時間の関係から割愛をしながら本題から述べさせていただきます。

過去の育英会の話



交えながら、大胆に発想の転換もありではないかというテーマとしてざっくりばらんな会話をさせていただきました。いま私5番目の発表ですが、話が被ってきているのでご了承いただきたいと思っております。

大きく3つに絞りました。1つ目として「勉強だけでなくスポーツ・文化系クラブに燃えている高校生を対象にしてはどうかということです。例えばアイスホッケー、フィギュアスケート、ピアノ、バイオリン等々、地元から羽ばたく可能性を持った若者を対象にしては」との意見がありました。現在は高校の先生から推薦を受ける形で対象者を選考していますが、なかなか対象者が集まらないとも聞いております。そこで勉強に限らずスポーツ・文化系クラブなどを対象者に加えてはどうかという発想の転換です。

2つ目として、先ほどもありましたけれども、そもそもいまのニーズに合っているのか。違うニーズもあるのではないかな、というテーマです。現在、1人毎月10,000円ですが、対象者を絞って1人あたりの金額を30,000円や50,000円と厚くする。また該当者がいなければ、その年度は繰り越しをして次年度に金額を厚くして支給をする。また金額は3年間定額ではなく単発で100万円といった形の支給支援もありではないか、という意見が出されました。

3つ目として、対象者を高校生に限定せず大学生を対象にしてはどうか。これは先ほどから意見が出ていますけれども、せっかく地元で4年制大学が2つもあり、卒業生が将来世界へ羽ばたく可能性もあることに目を向けてはどうかという発想です。

先ほど話をしました勉強・スポーツ・文化系クラブの対象者に月々数万円を支給することも1つの方法ですが、ここは発想を転換して、最近増えている学生の起業化に先行投資をすることも1つの方法ではないかということです。もちろんケースバイケースですが、基金を一部取り崩して1人に数百万円～1,000

万円を先行投資する形を取って将来釧路にフィードバックしてもらうという大胆な意見も出ておりました。

以上、大きく3つの意見がありましたけれども、嵯峨記念育英会の定款や規定から一部逸脱したと思われる議論にもなりましたが、大胆な発想の転換、殻を破る発想、可能性を秘めた子どもに夢を託すという思いから、少しでも嵯峨記念育英会をバージョンアップし、進化させたいと議論が交わされました。以上でEグループの発表を終わります。

Fグループ 吉岡 央君



お疲れ様です。Fグループの発表は、吉岡からさせていただきます。

今回の会合に参加をさせていただき、まず私自身があまり理

解をしていなかった嵯峨記念育英会の内容を理解することができて、参加をさせていただき良かったと思っています。

われわれの班で出た意見としては、既に皆さんが発表されたものと大体同じですけれども主なものでは、「この仕組みは、釧路の人が釧路の人のために作った奨学金制度で、素晴らしいもの。その意志を継続するために学生さんへの奨学金制度は続けていくべき」という話がありました。

ただ他の班でもありましたが、「スポーツなど特別な形で支援できる仕組みがあっても良いのではないかな」という意見もありました。「その支援を受けた人たちには、市内にある嵯峨さんの銅像の周りの草刈りや清掃活動をして、嵯峨さんのことをもっと知っていただくことがあっても良いのではないかな」という意見がありました。

その他に出た意見としては、ロータリークラブは経営のプロの集まりなので、釧路で起業したいという人々への支援として釧路版の『マネーの虎』を開催して、起業したい人にプレゼンをしてもらい、皆さんが審査員となって、「これだ!」というものに対して支援をしてはどうか、という意見が出ましたが、これは公益財団法人として「収益事業はできませんね」という結論になりました。

以上、Fグループではこのような意見がありました。ありがとうございます。

Gグループ 竹村 康治君

Gグループは、竹村から報告をさせていただきます。会合では冒頭、脇さんと石田さんから基金のこれまでの経緯や運営状況について丁寧に説明をしていただき

ました。私もロータリーは日が浅いので、非常に勉強になりました。ありがとうございます。

基金自体については、嵯峨晃さんの思

いを受け継ぐ釧路ロータリー独自の大切な事業で、これからも続けてほしいということで異論はありませんでした。ただ、対象の人を選考するにあたって、本当に奨学金を必要とする生徒に巡り会えているのかという問題提起がありました。

今は公的な私的な奨学金もありますから、そこから落ちこぼれて本当に苦学している生徒を見つけ出しているのか。月額10,000円という金額も含めてどのような支援がいいのか、また選考の方法も見直すべきではないか、という意見が出ました。

選考の方法については、特に学校推薦について議論になりました。メンバーからは、学校の先生が非常に多忙で、生徒ひとりひとりの事情や家庭の状況まで深く把握できていないのではないかな。学校でもロータリーに推薦するのだから、それなりの生徒を選ばなくてはと思い表面的な情報だけで推薦しがちになるのではないかな。また一方で、ロータリーとしても学校に任せただけで選考ミスにならないという事情もあって、どうしても選考が形骸化しているのではないかな、という指摘がありました。提言として、労力を惜しまず学校推薦を止めて、生徒自ら応募をしてもらう公募方式にして呼びかけて募ってはどうか、という意見がありました。あとは、皆さまからも出ていましたけれど、「学業ばかりではなくスポーツや文化など一芸に秀出した生徒なども対象にしてはどうか」や「釧路市内だけではなく東北道全域を対象にしたらどうか」という意見などもありました。

良い話が出たところで、メンバーの1人の差し歯が取れてしまい爆笑になって、それで話が終わってしまいました。

以上、簡単ですが報告とさせていただきます。ありがとうございました。

Hグループ 織田 亨君

Hグループのサブラーダー織田です。よろしくお願いいたします。Hグループは私を除いて、どう考えてもあまり真面目そうな方はいらっ

しゃらないので、本当にこの議論をするのかと不安だったのですけれども、約2時間、一度も脱線をする



ことなくみんなが真剣にこの育英会について議論をさせていただきました。

育英会、制度としては本当に素晴らしいものだという事で一致をしております。ただ、問題点としては、この時代、月 10,000 円という支給額にありがたみがあるのかということ。それから、「そもそも苦学生とは」や「相応の奨学金制度が他にもたくさんあります」、それから「支給されている間の 3 年間、生徒さんにお会いする機会がない」「支給のしっぱなし」等の問題点が出てまいりました。

では、どのように変えていくことが良いのかでは、「月々 10,000 円ではなく毎年 1 回年間 120,000 円をこのロータリーの例会に来ていただいてお渡しをする」。または「該当する人数を減らして 1 人当たりの支給額を引き上げる」「将来、釧路に残る学生さんを優先して選び支援する」、また「釧路市内の中学校へこの制度のパンフレット等をお配りして伝える」「学業に対する支援の他に、スポーツ分野の学生さんも選択肢の 1 つとする」等々と改善策の話が出てまいりました。

余談で唯一脱線をした話が、このメンバーで「私たちの高校時代はどのような学生だったのだろう」と少し脱線をしましたけれども、いまはとても紳士で格好いい土橋さん、脇さんの高校時代の話になりました。私が言うのもあれなのですが、「高校時代のお二人はとても悪い方だった、道ですれ違う時も非常に怖かった」と。これは私が言っているのではなく参加メンバーの某建設会社の社長さんがおっしゃっていました。

ちなみに私は銀行員ですので、高校時代はきちんと Y シャツは第 1 ボタンまで止めて、詰襟もホックをきちんとして非常に真面目な学生だったものですから。おそらく脇さんと土橋さんはひょっとしたらリーゼントかパンチパーマで、長ラン・ボンタンをはいて恐ろしかったのではないかなと思って。以後、私は本当にお二人を直視できないのですけれども、終わってから私に隅で暴力を振るわないようお願いいたします。すみません。

以上でございます。

I グループ 曾我部 元親君

皆さん、こんにちは。I グループのサブリーダーを務めました曾我部です。初めての機会ですので、少し緊張をしています。

わがグループでは、他のグループと同じで、「対象については、高校生より大学生が良いのではないかな」と



という意見が出ました。ただ公立大学の卒業生を見ても管内に就職をする学生が 2 割程度しかいないということです。管外に就職をするような学生に支援をすることはどうかと言ったような意見も出ました。

それよりも、「いまの若者は奨学金の返済に大変苦しんでいるのが現状らしいので、社会人に支援をしてはどうか。これは I ターン・U ターンにもつながる政策ですから良いのではないかな」という意見が出ました。ただ「転勤なども考えられますので、一定の縛りは必要ではないかな」ということです。

この財源について非常に話が出ました。いまは奨学金の最低額も 20,000 円ということですので、当然 10,000 円では足りません。「そのためには、資産を増やさなければならず、例えば会員の増強で 100 名を 150 名、1.5 倍にする」意見も出ました。ただ、釧路クラブは小船井さんが入会した時と変わらない体制で、100 人以上いることは素晴らしいことですが、全国的にみると 12 万人～8 万人と減少していますので、おそらく釧路クラブにとってこれ以上増やすことは難しいのではないかなということでした。

では、どうするのか。「会員の負担を増やす」という意見が出ました。ただ全員に負担を求めることも大変だろうということで、これまでリーダーシップを取っていただいた方の負担を増やすということでございます。もう一度言います。これまでリーダーシップを取っていただいた方々の負担を増やすということです。具体的には、パスト会長やパストガバナーと名前が出ました。私のメモには金額も入っていますが、議事録が残るとまずいと思いますので。結構、大きな数字が出ております。

あとは基金について。これについても「運営費として使われている部分のオーバーをした部分については、こちらの基金に移してはどうか」という意見も出ました。

最後になりますけれども、僕が初めてこの情報集会に出て心に残ったことが 2 つあります。1 つは、青少年に対する奉仕は釧路クラブの誇りであるということ。もう 1 つは、3 月の例会で、抜ける方がここで謝辞を言われるそうですが、その時に「釧路クラブで良かったと、そう思える」と言う。これは小船井さん、天方さんの言葉ですが、それが非常に心に残った情報集会でした。以上でございます。

J グループ 濱口 憲太君

皆さん、こんにちは。J グループのサブリーダーを仰せつかりました濱口が報告します。何より、入会をさせ



ていただいて4カ月という短い期間で、全く分からない、そして大変緊張ある場面でしたので、ご報告内容に少し違うのではないかなという点がありましたらご容赦をと思います。

テーマ『嵯峨記念育英会について』、当グループで話し合われた内容のご報告をさせていただきます。当日ご参加の育英会第6代石田理事長より、嵯峨記念育英会とは、その歴史や現在に至るまでの大変貴重な話をいただきました。その後、主に育英会のこれから、移り変わる社会背景を直視したうえで、どのような懸案があるのか。また育英会の理念とその目的を果たしていくために今後どのような変化が求められるのか、を中心に話し合いがされました。

主な内容としては、社会経済や生活レベルの向上の変化に伴いまして、当初に比べ現在では、経済的に困難な学生、いわゆる苦学生というものが減少傾向にある。また現在の社会情勢を踏まえて、当財団の奨学金制度を検証し、必要に応じて一部見直すということも今後は視野に入れる必要があるのではないだろうか、が話し合いの焦点となっております。

具体的にどのようなことが話し合われたかですが、かなり重複する部分はあるかと思います。

1つ目は、時代の流れで、「奨学金を受けることに対する対象者の感じ方に変化が見られるのではないだろうか」という意見がありました。また学校から高校生の推薦がされますけれども、その際、成績を重視されると思いますが、成績も大事だがやはり本人の頑ななまでの学ぶ意欲。成績はそうでもなくても本当に頑張りたいという学ぶ意欲が強い人間に光が当てられているのかどうかもしっかり見ていくべきではないかという意見もありました。

また、運営面ですが、給付額 10,000 円が妥当なのかどうか検証が必要であり、増額も検討するべきではないかという意見もありました。さらには給付対象を高校生から大学生への支援にした方が良いのではないだろうかという意見がありました。

話し合いの流れでは、大学生対象という点でお金だけではなく、例えば物資支援も併せて検討をすることも良いのではないだろうか、という意見も出ておりま

した。

また、給付金増額では、「当然会員の理解が必要」であり、また給付対象を大学生にという意見では「学業・生活、その他で困って支援を必要としているのは大学生ではないか」。その大学生を支援するというところから育まれる「われわれとの絆」というところに、今後釧路に留まっていいただき、今後釧路を支える人材となってくれるのではないだろうかという期待も含まれているように感じておりました。

また、われわれ会員も釧路で事業を行っている身としても決して他人事ではありません。大学生支援については、今後の地域経済の活性化、または次代の釧路を担う人材の定着という観点からもこの点を重要視して取り組んでいく必要があるのではないかという見解が示されていたように感じております。

最後に、石田理事長より「今回の情報集会を経て、釧路クラブ会員全員で育英会の理解を深め、これからのよりよい育英会の発展に向けた議論を進めていきたい」という強いお話を頂戴しまして、Jグループ全員が嵯峨記念育英会への気持ちをひとつにして会合を終えました。以上となります。

クラブ研修委員会 脇 弘幸委員長

発表をしていただきました皆さま、大変ありがとうございました。今回のテーマが「嵯峨記念育英会」ひとつでしたが、この育英会に対するメンバーの思いがやはり強い情報集会だった。情報集会の中で、ほとんど脱線することもなく、いろいろな角度から話し合いが持たれたということで、大変良い情報集会だったと思います。

また、今年度から石田理事長に引き継がれたということで、石田理事長にも6グループの情報集会に加わっていただきました。本当にありがとうございました。

以上で、『情報集会報告会』とさせていただきます。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■佐藤 貴之君 先週は私の笑顔、今日は家の笑顔が新聞に掲載されました。

今年度累計 374,000 円

2021.12.23 (木)
第19回例会
(通算3646回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	釧路ロータリークラブ重大ニュース (担当：プログラム委員会)
次週例会	新年交礼会 (担当：親睦活動委員会)

■ロータリーソング：それでこそロータリー

■ソングリーダー：曾我部 元親君

■会員数 103 名

■ビジター なし

■ゲスト

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はそのままお続けください。

今年最後の例会になります。何とか半分まで来られました。皆さんのおかげをもちまして今日まで来られて本当にありがとうございます。

まだ半分残っておりますが、脇パスト会長が言っていた名言「1 週間はあっという間に来るけども、1 か月はやがて過ぎない」というのを毎週実感しながらこうやって例会に立たせていただいております。何とかあと半分、緊張感を持ちながら、会長職を楽しんで務めていきたいと思っております。改めてよろしく申し上げます。

さて、今日は『重大ニュース』という例会です。今年の釧路地域の大きいニュースということであれば、明るい話題で締めたいところですが、やはり日本製紙撤退というのが釧路地域にとって一番大きなニュースだったなと思っております。

先日、12 月の頭に札幌に定期的にあいさつ回りに行くわけなのですが、釧路への進出の計画がないかどうかということで、札幌に支店がある大手の不動産会社

さんやゼネコンさんに行って、ご挨拶回りして来るわけですが、行く先々で最初から「釧路さん大変ですね」「釧路さん本当に大丈夫ですか」とさんざん言われていまして、10 件くらい回るのですが、最後の方では「申し訳ないですが、釧路から来たのですがいいですか」の感じで回っておりました。とにかく一番思ったのは、数字的にというよりも、釧路地域自体への印象が悪くなっているのが本当に心配になって帰ってまいりました。

釧路と同じような状況である室蘭市は、1970 年の人口 16 万 2,000 人が 50 年後の現在で約 8 万人、半分になっています。釧路のピークが 1980 年で約 23 万人、ちょうど 10 年後で 50 年というところですよ。「悲観は気分属し、楽観は意思属する」という言葉があります。そういうことで前向きに考えたいところですが、やっぱり見て見ないふりをするよりも、しっかり問題を直視して具体的に具体策を立てていくことが大切だと思います。

そう考え、思い起すと 20 年前になりますが、2001 年に青年会議所に入っておりました。実は 2001 年というのは釧路町との合併運動に燃えていた時期でして、私も J C の中で「合併、合併」とうるさくて「杉村合併」なんて言われていました。夜は自宅訪問で署名活動、昼はイオンの玄関で署名活動やっていた思い出があります。

当時、その僕らの上に立っていたのが、その当時の Y

E Gの先輩たちでして、良く働かされました。本当に格好よく仰ぎ見て、頼もしい先輩たちだと思って見ておりました。結果、その先輩たちの背中を追いかけてこのロータリークラブに入って、当時は口もきけなかったような先輩たちとお酒を飲める間柄になって、そういうご縁をいただいているわけでございます。何を言いたいかというと、この街の活力はこういう循環で成り立っているのではないかと思った次第です。ロータリークラブも地域に関わる比率をもう少し増やして、この循環に入っていくことが、結局は、ロータリーは増強・拡大をやっていますが、そういう活動が遠回りのようで実は一番近道ではないかなと思っております。

県庁所在地にあるような大きいロータリークラブとわれわれみたいな地方、街の心配がなくいいロータリークラブと街の心配をしなければならないロータリークラブ、これは自ずと取り組み方、活動に違いがあつて然るべきと思った次第でございます。

ということで、我々も街とロータリーの関わりをもう少し意識しながら来年以降、良い街・地域になるようにしっかりと活動して行きたいと思った次第でございます。

最後の例会になりますが、来年1月6日、皆さんと元気な顔でもう一度再会できること祈願いたしまして、今日の会長挨拶とさせていただきます。また、どうぞよろしくお願いいたします

幹事報告 市橋孝佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。先日、皆さま方にご案内をさせていただきました青島事務局員の退職に伴い、事務局職員の募集を

させていただきました。その中で、皆さま方のご協力ももちまして、候補者が見つかりそうな状況となっておりますことをご報告させていただきます。それに伴いまして、この募集を候補者がいることで一度ストップさせていただきます。正式な採用が確定しましたら、皆さま方にメール等でご報告をさせていただきます。まず、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2点目です。事務局の休業期間ですが、本年12月29日から来年1月4日まで事務局を休業とさせていただきます。その期間、前後でも構いませんが何かございましたら幹事の市橋までご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします

続きまして、1月6日に新年交礼会が行われます。返信の期日が昨日までとなっております。まだ返信をされていない方がいらっしゃいましたら、私か親睦委員の瀧波委員長までご一報をいただければと思います。また、新年交礼会、例年のことですが、1万円の登録料を皆さま方から頂戴いたします。その都合上、キャンセルの方がおりましたら2日前までにご連絡いただかないと登録料がかかってしまいますので、ご承知おきをいただければと思います。

最後になります。このキャッスルホテルさんのWi-Fiシステムが変更になったことでパスワード等が変わりました。ということで、ホワイトボードにIDとパスワード記載させていただいております。後ほど、ご覧いただければと思います。私からは以上となります。

歳末助け合い募金の贈呈

日本放送協会釧路放送局 小野正晴局長

小野でございます。毎年毎年、ロータリークラブからご厚意をいただきましてありがとうございます。私たちお預けする立場なのですが、お届けさせていただいて、困っている方々に役に立つようにしっかりとやっていきたいと思っております。毎年、ありがとうございます。

北海道新聞社釧路支社 竹村康治支社長

皆さま、毎年ご寄付いただきまして本当にありがとうございます。このご寄付を北海道新聞社社会福祉基金に寄託いたしまして、道内の福祉のために活用したいと思っております。本当にありがとうございました。



■本日のプログラム■

釧路ロータリークラブ 2021 重大ニュース

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長



皆さん、こんにちは。「ロータリーの基本は挨拶」ということをこの前、聞かされましたので大きな挨拶をいたしました。

2年前にN T Tの池田委員長が「ロータリーの重大ニュース2019」をやって、結構面白くて、これを見た現会長が「これ、絶対やってくれ」ということで、企画いたしました。こ

みなさんにアンケートたくさんいただきました。ただ、手違いで全部が私の手元に来ておりません。大変申し訳なく思っております。こ

今日の流れです。まず、月ごとに大きな流れを見てもらって、ロータリーの重大ニュース、皆さんのアンケート読んで最後の例会を楽しく終わりたいと思います。よろしくお願いします。

さて、2021年の釧路ロータリークラブ重大ニュース、まずは普通編ですね。1月、「1都3県に緊急事態宣言が2度目です」。今年は1年間、コロナに始まりという感じです。2番目に「アメリカ連邦議会議事堂にトランプ派乱入」ということすごかったですね。アメリカでもこういうこと起きるのですね。次は「バイデン政権誕生」ということで1月20日ですね。バイデン大統領は78歳だそうです。

2月に「ワクチン接種始まる」。医療従事者やお年寄りから始まりました。2番目に「ミャンマーでクーデター」。

3番目に「スエズ運河でコンテナ船が座礁」、これも今年の話です。次の写真。これって画像処理しているけれども、横に本当はエバーグリーンと書いてあるはず。これエバーグリーンという船ですが全長が400メートル、20万トン。この運航会社が長栄海運というところで、ご存じの方はこの会社の会長が東北大震災の時に10億円寄付したという方ですね。次、これ松山英樹。ゴルフ好きな人だったら「日本の男子で初のマスター優勝」となります。

次お願いします。「大坂なおみ、全仏で会見せず」という流行りなのでしょうか。なにかあったらPTSDだと流行りました。これ、後でも出てきますけれども、そのうちPTSDについて清水先生にゆっくり講演していただきたいと思っております。

次、「香港、リンゴ日報26年の歴史に幕」ということで中国本土による圧力があるようです。

6月で「集団下校の小学生にトラック、5人死傷」。今年は子どもさんや園児が被害にあう事件があって、皆さん記憶にあると思います。「熱海で土石流」ですね。これは映像なのですが、最近はスマホや携帯が普及しているから、こういう流れるのを全部ビデオで見た方いると思います。

次は、「オリンピック、無観客」ということで始まりました。ついに「杉村年度」が7月から始まりました。6月のクラブアッセンブリーでは誰か乱入もしませんでしたね。大丈夫でしたね。

「オリンピックの最後」、これ、凄かったですね。どうやっているのか分からなくて、ドローンが1840機ぐ

らい飛んでやった日本の技術、すごいなと一番感動したのがこれです。

次、これも同じような事件がありました。「切りつけ」のいろんな人が模倣犯。この後も京王でもあったし、そういう悲惨な事件でした。次に「タリバン、アフガンを制圧」と。1975年、ベトナム戦争が終わったときに『サイゴン陥落』という映像があるのです。全く同じで、アメリカ大使館にアメリカに協力した人が逃げて行く写真があるのです。30年近く経ったアメリカも同じことを繰り返しているのが気になっておりました。

次、先ほど、会長から話もありましたけれど「9月末で日本製紙釧路工場閉鎖」と。もう1つ、「道東の赤潮被害拡大」、これも気になるニュースでした。

これで「また解除」が出て、10月から初めての夜間例会が実施されました。それで「岸田内閣発足」と、これは僕が一番好きな「眞子様の結婚届」。写真を左から行きますと佳代さんの元の婚約者、名前を言えないものですからジャガーさんと言っているのです。なぜかという、ジャガーに乗っているというのです。荒井先生もこれからはジャガーさんと言わないとダメですね。

次、11月、「新庄監督」ですね。すごいド派手な入場をしていました。将棋の「藤井聡太、最年少で四冠」、四冠は調べてきました。8大タイトルあるそうですが、四冠は竜王・王位・叡王・棋聖の4つを取っているのですが、これにランクがあって一番上が竜王らしいのですが、スポンサーが賞金を出すらしいのですが一番集まる竜王がナンバーワンという話です。

次は「大谷翔平」、皆さんのアンケートでも大谷翔平が活躍したことで、コロナ禍で毎朝テレビ8〜9時からのBSで大谷翔平が出るのを本当に楽しみにしていました。あと、「日大の田中理事長逮捕」。これにコメントしたら2人を敵に回すので飛ばしましょう。

次に進みます。本当は11月までなのですが、「ノーベル物理学賞」、日本人の素晴らしさです。そして「オミクロン株」。今日もニュースになっていました。「大阪で市中感染が」ということです。今年もまた来年どうなるかという、またコロナで振り回されるのかなという気がします。これが今年の一般的なニュースです。これからは皆さまのアンケートを読んでいきたいと思えます。アンケートを出した方で「これ、まづいから読んじゃダメ」という人、手を上げてください。大丈夫ですね？読んじゃいますよ。

まずは篠原実さん、気になったニュースが「大谷翔平米リーグで活躍11冠」。というのが先ほど出ていましたね。あと「日本ハム、白いカウンタックでド派手な入場」で、あと「オミクロン株、国内で確認される」ということです。ご自分のニュースとしては「長女が水の教会で結婚式」。いいですね、水の教会はトマム

ですね。トマムは氷の教会があるのですね。「初めての夜例会に参加にわくわく」。そうですね、10 カ月もやらなかったので本当に 10 カ月我慢したという感じですよ。

次の方は北電の米倉幸泰支店長からいただいています。まず、気になったニュースは「アフガニスタンからの米軍撤退において中口の勢力が拡大した」。2 番目に「コロナの死者が全世界で 500 万人」、今日調べたら 530 万人が亡くなっているそうです。3 番目として「東部太平洋沿岸の赤潮被害の拡大、影響の甚大さ」が出ております。個人的なニュース、ロータリーのニュースといったら「新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が繰り返され、公私に亘り活動に制約」。そうです、皆さんもそうだったと思います。2 番目には「杉村会長以下、新メンバーによる体制始動」といいこと書いてあります。

次は日銀の二宮拓人支店長です。個人的では、ここを食いついたのかということ書いてあります。「OSO (オソ) 18」を知っていますか。ヒグマの被害ということで、「牛を食べる熊がいることに素直にビックリしました」。北海道の人間は、小さいころからこんなニュース見て「よけ方」や「死んだふりをすれ」「背中向けるな」とか、いろんなこと教わるのであまりびっくりもしない。「57 頭くらいの牛を 3 年間で襲った」。熊は足が速い、100m を 7 秒で走るの人間は逃げても絶対追いつかれる。背中を向けたら駄目なのです。昨日も映像でやっていましたが、札幌の東区などでは全部背中から襲われていて、「背中を向けない。逆に目と目を合わせる」と教わりました。ここに食いついたのはすごいですね。2 番目は「時々、新聞に掲載される日銀支店長の活動が掲載」。すごいですね。3 番目が「日本銀行釧路支店の建物に関する議論が話題になった」ということです。個人的なロータリーに関しては、「蒸し風呂のような東京からクーラーのいらぬ釧路に赴任したこと」。2 番目に「妻子を放置し、22 年ぶりの単身赴任生活を開始」。字が嬉しそうですね。「ひがし北海道、空の青さと夕日の美しさに心を奪われる」という。きっと 3 年なので、転勤の方々は釧路を楽しんでいただきたいと思います。

次は小西卓哉さんからいただいています。「私自身が釧路ロータリーに入会させていただくこと」。謙虚な方ですね。

次は森村好幸支店長です。気になったニュースは「大谷翔平の活躍」、2 番目は「赤潮被害」、次に「みずほのシステム障害」。

次は、木下正明さん。長崎ではセクハラで訴えられる行事も木下さん、大丈夫ですね。気になったニュース「大谷翔平選手のメジャーリーグ MVP」、いいですね。2 番目「東京オリンピック開催」、3 番目「香港のアップルデイリー、リング日報が廃刊になった、中国の圧

力に」。それで、ロータリーに関してこれを書いた人は 1 人だけでした。「釧路ロータリークラブ創立 85 周年」、これ忘れちゃいけないですね。2 番目、「台北中央ロータリーとの姉妹クラブ締結延長」、これも忘れちゃいけない。3 番目は「ブランディングカリスマ村尾隆介さんの講演」で、ひがし北海道ブランディング協会。なかなかいい講演でした。

続きまして廣部雅資さんの気になるニュースは、「コロナ感染」「釧路は赤潮被害・人口減少」と書いてあります。ご自分のニュースとしては「長女の就職内定」、いいですね。「次女は母校に入学。関西学院大学です」、関西学院大学に入学したということで本人も関西学院大学なのでしょうね。「新しい家族、タイニープードル・マロンちゃん仲間入り」。

次は後藤公孝君。気になったニュースは「新型コロナウイルス感染者が 11 月に減少して収束に向かう」。2 番目は「日本製紙釧路工場の閉鎖」。3 番目「道東中心とした太平洋沿岸で赤潮」。これやっぱり気になる場所ですね。個人的なニュース、「おおよそ 10 カ月ぶりの夜間例会開催」、皆さんそう思っていますね。2 番目が「妻と初めて長期国内旅行」、行ってきましたか、良かったですね。楽しかったですか。3 番目「タバコを止め、一時 10kg 太った」ということ。

これは土橋賢一君の殴り書きですね。1 番、「長引くコロナ」。2 番、「小室圭さん・真子さん」。個人的なニュースとしては「孫の成長」。思いですが、去年、舟木さんが出られなくて土橋さんが会長の代わりに挨拶をして、挨拶がだんだんうまくなってくるのです。だから、「おれの成長」と書いてほしかったですね。昔、ピンクのバイクに乗っていたと思えない、本当に。人間は成長するものです。

西村智久さんからです。「大谷翔平、二刀流で MVP」、「日本製紙釧路工場 100 年の歴史に幕」、「無観客開催、東京オリンピック」と 3 つあります。ロータリーに関しては「ロータリーの活動を再開へ」ということ。2 番目「あの時の尾身茂先生が・・・」。そうですね、尾身茂先生を地区大会に呼んで、吉田潤司さんの娘さんのお知り合いということ。娘さんがハーバード卒。T シャツにハーバードって書いてある人を見たことあるけれど、ハーバード卒は僕初めて見ました。

はい、荒井剛先生です。ごめんなさい、ジャガーさんからいただいております。ジャガーさんのすごいですね、「赤潮と軽石」。小説みたいな題名が飛び込んできましたね。戦争と平和とかね、すごい。荒井先生は仕事柄、罪と罰です。赤潮と軽石。2 番目、「日本ハムの新監督に新庄が就任した」。3 番目、「東京オリンピック」。ロータリーに関しては 1 番目、「ロータリー幹事から解放」、どれだけいやだったのさ。2 番目は「息子の野球チーム、全道大会ベスト 8 入り、息子が釧路選抜に選出された」いいですね。3 番目、「両親が釧

路に完全に移住」。これ、嬉しいニュースですか、はい、嬉しい。奥さんは嬉しくないと思いますけど。

次に行きましょう。吉田潤司パストガバナーからいただいています。気になったニュースは「7分区のベテラン会員、相次いで逝去する。釧路クラブの五明正吉会員、北クラブの中島会員、バイククラブの成田会員、残念です」と書いてあります。あと、「保育園バスに園児が取り残され熱中症で亡くなった。この苦しさを想像すると耐えられない」。初めて人間味のあることを聞きました。次は「総選挙の件」、これは駄目ですね。ロータリーは政治的な発言は禁止していますので割愛します。個人的な意見、「大腸ポリープ除去、1日入院した。ひどく暇だった、健康第一を痛感した」と。いいですね。2番目、家族の話で「孫が4人になったと同時に家の金魚に60匹前後の子どもが生まれた。子どもだらけ」、おお、すごいですね。ロータリーに関しては、杉村会長、よく聞いていてくださいね。「クラブ会員が100人の壁を突破したこと」。20年前115名の前後からあって、これを超えようと言われているよ。64匹の孫がいる人からのお便りです。最後、杉村会長なのですが、さっき言ったけど自分で話しますか。いいですか。気になったニュースは、1「コロナ」、2「オリンピック」、3「アメリカ大統領選」。アメリカ大統領選挙は去年です。はい。ロータリーに関しては「会長年度突入」、「娘、就職」、良かったですね。「夜の例会再開」、そうですね10月にやりましたものね。

皆さん、本当にたくさんのアンケートありがとうございました。再度言いますけど、お手元に小野正晴さんからもいただいているし、市橋多佳丞さんからもいただいている、いろいろまだあったかと思います。私の手元に来なかったことをお詫び申し上げます。

最後に10分が余ったので、これからは陰となり足となり手となり、杉村会長の影を踏まずに前を歩いた市橋幹事が、自分で送ったという証拠を見せてもらうために5分くらい話して、そのあと副会長も話してもらおうかな。そういうことで僕は司会を降ります。そのまま終わってください。どうもありがとうございました。

市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。工藤委員長にお話を振っていただきましたので、私の中での今年の重大ニュースを皆さまに披露させていただければと思っております。

1つ目ですが、先日の話で、生まれて2度目の入院をして、「親知らず」を3本ほど抜いてまいりました。一度目の入院は20歳ごろに盲腸で、この盲腸も開いた所から化膿して1カ月ほど入院したという経歴の持ち主なのです。今回は3泊4日でしっかり抜かせていただいて、その代わり顔が倍ぐらい腫れていたという

ことで、人の顔はこんなに腫れるということを実感させていただいた3日間でした。

その後、木曜日の午前中には退院をして、会社には出社せずに例会場に直行するという幹事の鏡をしっかりと体現したことをお伝えしたいと思います。

2つ目ですが、私、普段からジム通いをアクアトピアでしておりました。昨年1年間はコロナの感染の絡みで一切行くことができませんでした。私は普段から暴飲暴食をやる癖がありまして、年間をとおして体重が増えたり減ったりする体質なのですが、昨年の12月ぐらいに体重計に乗ったところ約90kgにいきまして、人生で多分1位・2位を争うような体重になりました。

そのころから次年度の幹事を受けておりましたので、幹事の職務等が活発化して会社で資料をこしらえていると、体を動かしたくなってくる杉村会長の無言のプレッシャーがストレスではないかと思いましたが、これは体を動かさなければ駄目だなどということ、今も通わせていただいております。12kgほど痩せることができました。だいたい月に1kgほど落とすことができて、これは杉村会長の暖かなストレスを与えていただいたおかげで、心身共にリフレッシュできていると思っています。

3つ目ですが、これは本当にどうでもいい話なのですが、私の名前は市橋多佳丞ですが、名前の方は多佳丞で、皆さまに覚えていただきやすい名前なのですが、初めて私、たかじょうさんという名字の方とお会いすることができました。本当に会ったことがなくて、「僕の名前は多佳丞というのです。あなたの名字はたかじょうと言うのですね。その後・・・」となって終わったというくだらないお話でした。これで私の3つのスピーチになります。どうもありがとうございました。

浅川 正紳副会長

皆さんこんにちは。少し風邪気味で、変な声で申し訳ございません。確か工藤さんからは「副会長は絶対喋るものじゃない、人前に出るものじゃない」と教わっていたのですが、まさかの無茶振りでお話させていただきます。重大ニュースがお手元に届いていないということですね。また私のお手元にあったかもしれませんね。申し訳ございません。

冗談はさておき、重大ニュースと言っても世界のニュースとか、先ほどいろんな方のお話とまったく同じでして、個人的な重大ニュースは、やはり7月から今年度三役でやらせていただきまして、コロナの関係で夜例会ができない時に、7月の始まる前からの打ち合わせの中で半年近く「夜例会はどうしようか」を毎回のよう会长・幹事と話していると思います。

そういう時に杉村会長は、「もうそろそろいいのでは」と言うのですが、私が「まだじゃない」と言うので、

間に入った市橋幹事がいつも汗拭きながら「どっちに寄ったらいいのかな」という顔をしながら、何とかホテルさんのご協力をいただいてパーティーを置いたり、1テーブルに今は6名ですが、最近まで4名で、いつになったら5名にと話しながら10月に初めて行いました。その時の杉村会長の嬉しそうな顔を見て、何とかお手伝いできて良かったなど。最近も「7名で行けるのではない」とか、「そろそろパーティーいらぬのでは」と話していますが、まだ「1月はもう少しこのままで」という話です。早くこのパーティーがなくなって、マスクをしてもいいですから横のひとと楽しくお話できる例会をできればいいなと思っております。

きれいごとばかり言ってもあれなので、私の重大ニュースって思い出すまでもなかったのですが、うちの父親を知らない方もいると思いますが、元ロータリアンで今年85歳なのです。当クラブが昭和11年11月23日、父親がその少し前の11月9日で、この周年と一緒にだとな年を覚えているのです。

先週、突然「冬になって雪が降ったら靴を買いたい」と。父親は免許返上しておりますので足がないから、遠回しに「行け」と言っているのだなと思い、イオンに行きました。

昔ですと、父親の後ろを私が背中を見ながら歩いて行くのが親子かなと思っていたのです。年齢も重ねているので足元もおぼつかなく遅くて、私がそれに合わせて歩かなきゃと思いながら、私もそういう歳だなど思いながら歩いて、そんな高い物ではなく、とにかく滑らないようにだけを考えて買って、そういう靴を履く

ようになったんだと思いながら見ていました。

その後、釧路町のイオンにスターバックスがありましたので、「ちょっと、スターバックス寄っていこう」と言われました。思えば2人で喫茶店に入ってお茶を飲むのは20数年ぶりだったような。私の父親が社長で元気な時もあまり2人で動くこともなかったのです。

その時も、父親に「先に席に座っていて、買って行くから」と、システムがよく分からないのですが、後ろから見るとどうしてもお爺ちゃんの背中なのです。でも、父親があとからうちの母親に言っていたのは「本当に今日楽しかった」と。息子とコーヒーを飲んだだけのはずですが、そう聞いて、もう少し親子の会話を持たなきゃいけないなと反省をしながらも、そうはいっても顔を見るとなかなか素直に言えないので、多分、ここのこの言葉がホームページに載ったのを見て「お前、そんなこと言ったのか」と言われると思います。これからも父親のそばを歩いて行きたいと思うのが、ニュースというよりも当たり前のことなのですが、いまさら思った話をさせていただきました。

大体、時間ですね。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

本日のニコニコ献金

■工藤 彦夫君 12月で創業110年になりました。釧路に皆様に感謝申し上げます。

■木下 正明君 ニュージーランドで孫がうまれました、当分会えません。

今年度累計 389,000 円

2021.10.21
号外

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)



釧路ロータリークラブ

創立 85 周年事業

令和 3 年 10 月 13 日、釧路市役所にて当会の創立 85 周年の記念事業として、いまだ収束しない新型コロナの感染拡大防止の一助となるよう釧路市に対してサーマルカメラ 11 台を寄贈致しました。釧路ロータリークラブを代表して杉村会長をはじめ、市橋幹事、奉仕プロジェクト委員会小野寺 俊委員長、社会奉仕委員会菅原 顯史委員長が蝦名釧路市長に目録を手渡しました。また、釧路市からは感謝状を頂きました。

設置場所として釧路市の公共施設（生涯学習センター、市民文化会館、図書館等）となります。



感謝状を受け取る杉村会長



寄贈したサーマルカメラ

寄贈品の説明

【寄贈予定先】

釧路市生涯学習センター・釧路市民文化会館
釧路市交流プラザさいわい・釧路市こども遊学館
釧路市中央図書館・釧路市鳥取温水プール
釧路市立博物館

【寄贈予定品】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ① サーマルカメラ（スタンド付き） | ② ドーム型サーマルカメラ |
| メーカー：HIKVISION | （三脚ブラケット、三脚付き） |
| 形式：DS-K1TA70MI-T | メーカー：HIKVISION |
| 台数：10 台 | 形式：DS-2TD1217B-6/PA |
| | 台数：1 台 |
| | （接続用中古パソコン付属） |

2021.10.21
号外

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022 年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 年度
RI 会長 シェカール・メータ
第 2500 地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

漆崎ガバナーとの会長幹事懇談会

去る 9 月 30 日、11 時より、10 月 28 日へと延期になりましたガバナー公式訪問に先立ちまして国際ロータリー第 2500 地区 漆崎 隆ガバナーと当クラブ杉村会長、市橋幹事との会長幹事懇談会が行われました。

懇談会の中では漆崎ガバナーより 2500 地区の他クラブの状況や 2500 地区としての取り組み状況を、杉村会長より当クラブの現状や会員増強、例会でのコロナ対策や取り組みの状況について意見交換を行わせていただきました。

1 時間という短い時間ではございましたが、大変有意義な機会となりました。会談の後半ではバナー交換を、最後に第 7 分区長倉巨樹彦ガバナー補佐と共に記念撮影を行いました。お忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございました。



漆崎ガバナーとのバナー交換



記念撮影